

arrows Tab

取扱説明書

スタートガイド
活用ガイド

サポート情報のご案内

紙 マニュアル

『取扱説明書<スタートガイド>』（本書）

本製品を使い始めるために必要な情報を中心に説明しています。

※お使いの機種により、これ以外にもマニュアルや重要なお知らせなどの紙・冊子類があります。

電子 マニュアル

インターネットに
接続してください

『取扱説明書<スタートガイド><活用ガイド>』

本書の内容に加え、本製品の取り扱い方法や、設定の変更方法などを説明しています。

『Windows 10 基本操作クイックガイド』

Windows 10 の基本的な操作や、詳しい操作・便利な使い方などを紹介します。

※お使いの機種により、上記以外の電子マニュアルが用意されている場合があります。

電子マニュアルの参照方法については「マニュアルの表記」をご覧ください。



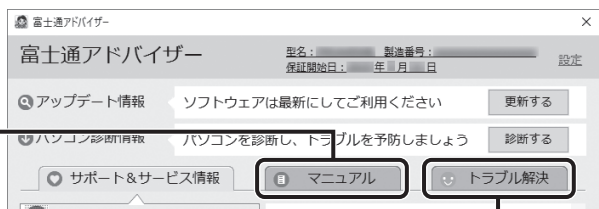
「富士通アドバイザー」からご覧ください。

「富士通アドバイザー」については「この後の使い方」をご覧ください。

『取扱説明書<スタートガイド><活用ガイド>』

『Windows 10 基本操作クイックガイド』

クリックし、「トラブル解決」の一覧が表示されたら、「Windows 10 基本操作クイックガイド」をクリックしてください。



FMV サポート

インターネットに
接続してください

サポートページ <http://azby.fmwworld.net/support/>

FMVに関するQ&A事例や活用情報など、「知りたい・困った」ときに役立つ情報を提供しています。

このページの上部の入力欄に、知りたいことや困ったことに関連するキーワードやQ&Aナンバーを入力して「検索」ボタンをクリックします。



「富士通アドバイザー」の「サポート&サービス情報」タブからサポートページを開くこともできます。

さまざまな使い方のご提案
「パソコン活用情報」

（この画面は、改善のために予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。）

目次

スタートガイド

このタブレットをお使いになる前に	6
マニュアルの表記	9
安全上のご注意	12
取り扱い上のご注意	16
タブレットの使用環境についての注意	16
タブレットの取り扱いについての注意	16
疲れにくい使い方	19
認定および準拠について	19
各部の名称について	20

セットアップする

セットアップの流れを確認する	23
タブレットの準備をする	24
Windows のセットアップをする	25
インターネットに接続する	31
有線 LAN でインターネットに接続する（有線 LAN コネクタ搭載機種または LAN 変換ケーブル／アダプタ対応機種のみ）	31
無線 LAN でインターネットに接続する（無線 LAN 搭載機種のみ）	31
Microsoft アカウントに切り替える	35
Microsoft アカウントとは	35
Microsoft アカウント切り替え方法	35
「はじめに行う設定」で初期設定する	41
この後の使い方	47
『取扱説明書＜活用ガイド＞』を読む	47
「富士通アドバイザー」を活用する	48
回復ドライブを作成する	50
バックアップをとる	51
『ソフ得』ソフト使い放題	51
動画でこのタブレットの使い方を学ぶ	52
キーボードなどを使う	53
スタイラスペンを使う（arrows Tab RH77/B1 のみ）	53
U スタンド、カバーキーボードを使う（arrows Tab RH77/B1 のみ）	53
カバー付きキーボードを使う（arrows Tab QH35/B1 のみ）	55
スリムキーボード／軽量スリムキーボードを使う（arrows Tab WQ2/B1 のみ）	56

困ったときは

メールや Office で困ったときは	58
ウイルス対策アプリなどで困ったときは	59
マカフィー リブセーフのお問い合わせ先	59
その他のアプリのお問い合わせ先	59
よくあるトラブルと解決方法	61
トラブルが発生した場合、まず次の点を確認してください	61
起動・終了時のトラブル	61
ディスプレイのトラブル	63
他のトラブル解決方法を参照する	64
インターネット上のサポートページを使う	64
「富士通ハードウェア診断ツール」を使う	64
タブレットを以前の状態に戻す	66
富士通の窓口相談する	67
お問い合わせ窓口のご紹介	67
修理を申し込む前の準備	68
修理の申し込み	69
お引き取りとお届け（パソコン修理便）	70
修理状況の確認	70
その他の修理サービスのご案内	70

タブレットの状態を回復する

タブレットの状態を回復するとは	71
この PC を初期状態に戻す機能	71
この PC を初期状態に戻す準備	72
BitLocker 回復キーの取得	72
この PC を初期状態に戻すうえでの注意	72
作業中に起こる可能性のあるトラブルの解決方法	72
この PC を初期状態に戻す	73
このタブレットに保存されたデータを使う	73
回復ドライブを使う	74
リカバリ USB メモリを購入してリカバリする	76

こんなときは

インターネットを安心してお使いいただくには	77
青少年によるインターネット上の有害サイトへのアクセス防止について	77
タブレットの電源を完全に切るには	77
起動メニューの表示のしかた	77
廃棄・リサイクルするときは	78
タブレットの廃棄・譲渡時のフラッシュメモリ上のデータ消去に関するご注意	78

仕様一覧

タブレット本体の主な仕様	79
仕様一覧の注記について	80

富士通パーソナルコンピュータ修理規定

活用ガイド

各部の名称と働き

arrows Tab RH シリーズ	84
タブレット本体表面	84
タブレット本体裏面	86
カバーキーボード	87
クレードル	90
arrows Tab QH シリーズ	91
タブレット本体表面	91
タブレット本体裏面	94
カバー付きキーボード	96
スリムキーボード／軽量スリムキーボード	99
クレードル	102

取り扱い

Windows をスタートする／終了する	104
Windows をスタートする	104
Windows を終了する	105
電源ランプの状態	105
スリープにする／復帰させる	106
スリープにするときの注意	106
スリープにする	106
スリープから復帰する	106
バッテリー	107
バッテリーの充電	107
充電状態や残量の確認	107
マウス	108
マウスをお使いになるうえでの注意	108
各部の名称と働き	108
マウスの使い方	109
フラットポイント	110
フラットポイントをお使いになるうえでの注意	110
フラットポイントの基本的な使い方	110

タッチ機能	111
タッチ機能をお使いになるうえでの注意	111
タッチ機能を使う	114
音量	115
画面の明るさ	116
メモリーカード	117
お使いになるうえでの注意	117
使えるメモリーカード	117
メモリーカードを差し込む／取り出す	117
周辺機器の取り扱い	120
周辺機器の取り扱い上の注意	120
電源オフ USB 充電機能	120
電源オフ USB 充電機能とは	120
電源オフ USB 充電機能をお使いになるうえでの注意	120
カバーキーボード	121
カバー付きキーボード	121
スリムキーボード／軽量スリムキーボード	122
クレードル	123
arrows Tab RH77/B1 の場合	123
arrows Tab WQ2/B1 の場合	125
スタイラスペン	126
ペンのメンテナンス	126
ペンホルダー	127
防水性能	128
防水性能でできること	128
防水性能を維持するために	129
防水性能をお使いになるうえでの注意	129
水抜き	130
充電のときの注意	131
お手入れ	131

バックアップ

バックアップガイド	133
バックアップガイドの使い方	133
ファイル履歴を有効にしてバックアップ／管理／復元する	134
バックアップ／復元できる項目	134
ファイル履歴の注意事項	134
ファイル履歴のバックアップ／管理／復元方法	135
システムイメージバックアップ	135
システムイメージバックアップの注意事項	135
システムイメージをバックアップする場所	136
システムイメージをバックアップ／復元する	136
システムイメージを削除する	136

使いこなすために

搭載されているアプリを使う（@メニュー）	137
「@メニュー」の使い方	137
My Cloud プレイを活用する	137
「My Cloud プレイ」でできること	138
「My Cloud プレイ」を使う	139
「My Cloud プレイ」のすべての機能を使う	139
F-LINK Neo	140
「F-LINK Neo」をお使いになるうえでの注意	140
ワンタッチプライバシー	141
「ワンタッチプライバシー」の初期設定をする	141
表示中の画面を保存する	141
スクリーンショット	141
ワンタッチキャプチャ	142
Cortana（コルタナ）	142
Cortana をお使いになる前に	142
Cortana を使う	144

i-フィルター	145
スリープ	146
スリープとは	146
スリープにするうえでの注意	146
ディスプレイの電源を切る、スリープになるまでの時間を変更する	146
スリープの設定変更	147
節電	148
省電力モード	148
バッテリーユーティリティ - ECO Sleep	148
バッテリーユーティリティ - 満充電量の設定	149
ステータスパネルスイッチ	149
「ステータスパネルスイッチ」をお使いになるうえでの注意	149
「ステータスパネルスイッチ」の使い方	150
各モードの設定を変更する	151
フラットポイント	152
フラットポイントでできる機能	152
フラットポイントの設定を変更する	156
フラットポイントの有効／無効の切り替え	159
ディスプレイ	160
解像度と発色数についての注意	160
タブレット本体の液晶ディスプレイに表示できる解像度と発色数	161
接続できるディスプレイ	161
外部ディスプレイやデジタルテレビの接続	162
外部ディスプレイやデジタルテレビに表示できる解像度と発色数	163
画面の解像度の変更	166
表示するディスプレイの切り替え	167
画面表示の回転	171
ディスプレイ省電テクノロジー設定	171
Miracast を使う	172
サウンド	174
再生時／録音時のサウンドを調節する	174
兼用端子の機能切り替え	178
通信	179
有線 LAN	179
無線 LAN	180
Bluetooth ワイヤレステクノロジー	185
無線通信機能の電波を発信する／停止する	188
アプリ	189
Windows ユニバーサル アプリ	189
デスクトップアプリ	189
BIOS の設定	192
BIOS セットアップの操作	192
BIOS のパスワード機能	195
BIOS が表示するメッセージ一覧	197



スタートガイド

本製品を使い始めるために必要な情報を中心に説明しています。

※スタートガイドの内容は、添付の  『取扱説明書<スタートガイド>』と同じです。

ただし、最新の内容に更新されている場合があります。

本製品の取り扱い方法など、さらに詳しい説明は、「活用ガイド」(→ P.83) をご覧ください。

セットアップする	23
困ったときは	58
タブレットの状態を回復する	71
こんなときは	77
仕様一覧	79



このタブレットをお使いになる前に

安全にお使いいただくために

このマニュアルには、本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。本製品をお使いになる前に、このマニュアルを熟読してください。特に、「安全上のご注意」をよくお読みになり、理解されたうえで本製品をお使いください。
また、このマニュアルは、本製品の使用中にいつでもご覧になれるよう大切に保管してください。

保証書について

- ・保証書は、必ず必要事項を記入し、内容をよくお読みください。その後、大切に保管してください。
- ・修理を依頼される場合には、必ず保証書をご用意ください。
- ・保証期間内に、正常な使用状態で故障した場合は、無料で修理いたします。
- ・保証期間内でも、保証書の提示がない場合や、天災あるいは無理な使用による故障の場合などには、有料での修理となります。ご注意ください（詳しくは、保証書をご覧ください）。
- ・修理後は、本製品の内容が修理前とは異なり、ご購入時の状態や、何も入っていない状態になっている場合があります。大切なデータは、バックアップをおとりください。
- ・本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造終了後 6 年間で。

使用許諾契約書（ライセンス条項）

本製品にインストール、または添付されているソフトウェアをご使用いただく権利をお客様に対して許諾するにあたり、ご同意いただくことを使用の条件とさせていただいている「ソフトウェアの使用条件」は、本製品内に格納しています。
セットアップ時にご同意いただいた後に再度ご覧になりたい場合は、ファイルの検索で「OEMEULA.rtf」を検索してください。
ただし、本ソフトウェアのうち、Windows ストア アプリについては、本契約は適用されず、Microsoft 社所定の標準アプリケーションライセンス条項が適用されます。なお、Microsoft 社所定の標準アプリケーションライセンス条項に加えて、個別の追加条件が適用される場合があります。

データのバックアップについて

本製品に記録されたデータ（基本ソフト、アプリケーションソフトも含む）の保全については、お客様ご自身でバックアップなどの必要な対策を行ってください。また、修理を依頼される場合も、データの保全については保証されませんので、事前にお客様ご自身でバックアップなどの必要な対策を行ってください。
データが失われた場合でも、弊社ではいかなる理由においても、それに伴う損害やデータの保全・修復などの責任を一切負いかねますのでご了承ください（大切なデータは日ごろからバックアップをとられることをお勧めします）。

液晶ディスプレイの特性について

- ・液晶ディスプレイは非常に精度の高い技術で作られておりますが、画面の一部に点灯しないドットや、常時点灯するドットが存在する場合があります（有効ドット数の割合は 99.99% 以上です。有効ドット数の割合とは「対応するディスプレイの表示しうる全ドット数のうち、表示可能なドット数の割合」を示しています）。これらは故障ではありません。交換・返品はお受けいたしかねますのであらかじめご了承ください。
- ・本製品で使用している液晶ディスプレイは、製造工程により、各製品で色合いが異なる場合があります。また、温度変化などで多少の色むらが発生する場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- ・長時間同じ表示を続けると残像となることがありますが故障ではありません。残像は、しばらく経つと消えます。この現象を防ぐためには、省電力機能を使用してディスプレイの電源を切るか、スクリーンセーバーの使用をお勧めします。
- ・表示する条件によってはムラおよび微少な斑点が目立つことがあります。故障ではありません。

本製品のハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用などの一般的用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。
お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。
ハイセイフティ用途とは、以下の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。

- ・原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など

有寿命部品について

- ・本製品には、有寿命部品が含まれています。有寿命部品は、使用時間の経過に伴って摩耗、劣化等が進行し、動作が不安定になる場合がありますので、本製品をより長く安定してお使いいただくためには、一定の期間で交換が必要となります。
- ・有寿命部品の交換時期の目安は、使用頻度や使用環境等により異なりますが、1日約8時間、1ヶ月に25日のご使用で約5年です。なお、この期間はあくまでも目安であり、この期間内に故障しないことをお約束するものではありません。また、長時間連続使用等、ご使用状態によっては、この目安の期間よりも早期に部品交換が必要となる場合があります。
- ・本製品に使用しているアルミ電解コンデンサは、寿命が尽きた状態で使用し続けると、電解液のもれや枯渇が生じ、異臭の発生や発煙の原因となる場合がありますので、早期の交換をお勧めします。
- ・摩耗や劣化等により有寿命部品を交換する場合は、保証期間内であっても有料となります。なお、有寿命部品の交換は、当社の定める補修用性能部品単位での修理による交換となります。
- ・本製品をより長く安定してお使いいただくために、省電力機能の使用をお勧めします。また、一定時間お使いにならない場合は電源をお切りください。

＜主な有寿命部品一覧＞

液晶ディスプレイ、フラッシュメモリディスク、キーボード、スタイラスペン、ACアダプタ

消耗品について

一般的にバッテリーパックは、300～500回の充放電で寿命となります。（温度条件や使用環境によって異なります。）

24 時間以上の連続使用について

本製品は、24 時間以上の連続使用を前提とした設計にはなっていません。

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

本製品に接続する LAN ケーブルはシールドされたものでなければなりません。

本製品は、国内での使用を前提に作られています。海外での使用につきましては、お客様の責任で行っていただくようお願いいたします。

無線 LAN について

2.4 DS/OF 4

- ・上記表示の 2.4GHz 帯を使用している無線設備は、全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能です。変調方式として DSSS 変調方式および OFDM 変調方式を採用しており、与干渉距離は 40m です。
- ・本製品の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。
 - （1）本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
 - （2）万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止した上、下記の連絡先にご連絡頂き、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談してください。
 - （3）その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、次の連絡先へお問い合わせください。
連絡先：「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」
- ・本製品は、日本国内での無線規格に準拠し、認定を取得しています。日本国内でのみお使いいただけます。また、海外でご使用になると罰せられることがあります。
- ・タブレット本体と通信相手の機器との推奨する最大通信距離は、IEEE 802.11a 準拠では見通し半径 15m 以内、IEEE 802.11b 準拠、IEEE 802.11g 準拠では見通し半径 25m 以内、IEEE 802.11n 準拠、IEEE 802.11ac 準拠では見通し半径 50m 以内となります。ただし、無線 LAN の特性上、ご利用になる建物の構造・材質、障害物、ソフトウェア、設置状況、電波状況等の使用環境により通信距離は異なります。また、通信速度の低下や通信不能となる場合もありますのであらかじめご了承ください。
- ・IEEE 802.11g 準拠と IEEE 802.11b 準拠の無線 LAN の混在環境においては、IEEE 802.11g 準拠は IEEE 802.11b 準拠との互換性をとるため、IEEE 802.11g 準拠本来の性能が出ない場合があります。IEEE 802.11g 準拠本来の性能が必要な場合は、IEEE 802.11g 準拠と IEEE 802.11b 準拠を別のネットワークにし、使用しているチャンネルの間隔を 5 チャンネル以上あけてお使いください。
- ・本製品に内蔵の無線 LAN を 5.2/5.3GHz 帯でご使用になる場合、電波法の定めにより屋外ではご利用になれません。
- ・航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

Bluetooth® ワイヤレステクノロジーについて

2. 4 FH8

- ・上記表示の 2.4GHz 帯を使用している無線設備は、全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可です。変調方式として FHSS 変調方式を採用しており、与干渉距離は 80m です。
- ・本製品の使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）が運用されています。
 - （1）本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局が運用されていないことを確認してください。
 - （2）万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに電波の発射を停止した上、下記の連絡先にご連絡頂き、混信回避のための処置等（例えば、パーティションの設置など）についてご相談してください。
 - （3）その他、本製品から移動体識別用の特定小電力無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、次の連絡先へお問い合わせください。
連絡先：「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」
- ・本製品は、日本国内での無線規格に準拠し、認定を取得しています。日本国内でのみお使いいただけます。また、海外でご使用になると罰せられることがあります。
- ・タブレット本体と通信相手の機器との推奨する最大通信距離は、見通し半径 10m 以内です。
ただし、Bluetooth ワイヤレステクノロジーの特性上、ご利用になる建物の構造・材質、障害物、ソフトウェア、設置状況、電波状況等の使用環境により通信距離は異なります。また、通信速度の低下や通信不能となる場合もありますのであらかじめご了承ください。
- ・航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

本製品は、社団法人電子情報技術産業協会の定めたパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策規格を満足しております。しかし、本規格の基準を上回る瞬時電圧低下に対しては、不都合が生じることがあります。また、バッテリー残量が不十分な場合は、規定の耐力がないため不都合が生じることがあります。

本製品は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 適合品です。

本製品は電気・電子機器の特定の化学物質＜鉛、六価クロム、水銀、カドミウム、ポリブロモビフェニル、ポリブロモジフェニルエーテルの 6 物質＞の含有表示を規定する JIS 規格「J-Moss」において、化学物質の含有率が基準値以下であることを示す「グリーンマーク（非含有マーク）」に対応しています。
本製品における特定の化学物質（6 物質）の詳細含有情報は、下記 URL をご覧ください。
<http://www.fmworld.net/fmv/jmoss/>

本製品は、VCCI 自主規制措置運用規程に基づく技術基準に適合したマークを画面に表示することができます。
表示の操作方法は、「認定および準拠について」（→ P.19）をご覧ください。

arrows Tab WQ2/B1 は、電波法ならびに電気通信事業法に基づく技術基準に適合し、技適マーク  を画面に表示することができます。
表示の操作方法は、「認定および準拠について」（→ P.19）をご覧ください。

マニュアルの表記

このマニュアルの内容は 2017 年 1 月現在のものです。

お問い合わせ先や URL などに変更されている場合は、「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」へお問い合わせください。

■本文中での書き分けについて

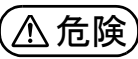
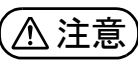
このマニュアルには、複数の機種の内容が含まれています。機種によっては、記載されている機能が搭載されていない場合があります。また、機種により説明が異なる場合は、書き分けています。

お使いの機種に機能が搭載されているかを「各部の名称について」、「仕様一覧」、富士通製品情報ページ (<http://www.fmwORLD.net/fmv/>) で確認して、機種にあった記載をお読みください。

■安全にお使いいただくための絵記号について

このマニュアルでは、本製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられるおそれのある危害や損害を、未然に防止するためのシンボルマークと警告絵文字を使っています。

□警告レベルを表すシンボルマーク

 危険	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負うことがあり、その切迫の度合いが高いことを示しています。
 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、物的損害が発生する可能性があることを示しています。

□危害や損害の内容を表す警告絵文字

△で示した記号は、警告・注意をうながす内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容が示されています。			
 破裂注意	特定の条件において、破裂する可能性について注意を喚起します。	 高温注意	特定の条件において、高温による傷害の可能性について注意を喚起します。
 レーザー光 注意	特定の条件において、レーザー光を直視する危険性について注意を喚起します。	 指のケガに 注意	特定の条件において、けがする可能性について注意を喚起します。

○で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な禁止内容が示されています。			
 一般禁止	一般的な禁止行為や禁止事項を示します。	 火気禁止	特定の条件において、外部の火気によって製品の発火する可能性を示します。
 接触禁止	特定の条件において、機器の特定の場所に触れることによって傷害が起こる可能性を示します。	 水場使用禁止	防水処理のない機器を水場で使用して漏電によって傷害が起こる可能性を示します。
 分解禁止	機器を分解することで感電などの傷害が起こる可能性を示します。	 ぬれ手禁止	機器を濡れた手で扱うと、感電する可能性を示します。
 水ぬれ禁止	防水処理のない機器を水がかかる場所で使用または、水に濡らすなどして使用すると、漏電して感電や発火する可能性を示します。		

●で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容が示されています。			
	安全アース端子付きの機器の場合、使用者に必ずアース線を接続するように指示します。		故障時や落雷の可能性がある場合、使用者に電源プラグをコンセントから抜くように指示します。
	特定しない一般的な使用者の行為を指示します。		

■危険ラベル／警告ラベル／注意ラベル

本製品には危険・警告・注意ラベルが貼ってあります。
これらのラベルは、絶対にはがしたり、汚したりしないでください。

■本文中の記号

本文中に記載されている記号には、次のような意味があります。

	お使いになるときの注意点や、してはいけないことを記述しています。必ずお読みください。
	操作に関連することを記述しています。必要に応じてお読みください。
	以降の手順が分かれることを表しています。
	冊子のマニュアルを表しています。
	「富士通アドバイザー」で見るマニュアルを表しています。参照方法は表紙の裏面をご覧ください。
	CD や DVD などのディスクを表しています。
	参照ページを表しています。

■画面例およびイラストについて

本文中の画面およびイラストは一例です。お使いの機種によって、実際に表示される画面やイラスト、およびファイル名などが異なることがあります。また、イラストは説明の都合上、本来接続されているケーブル類を省略していることがあります。

■操作手順について

このマニュアルでは、連続する操作手順を「▶」でつなげて記述しています。
なお、アプリの状態を変更した場合は、操作手順が異なることがあります。

■電源プラグとコンセント形状の表記について

本製品に添付されている電源ケーブルの電源プラグは「平行 2 極プラグ」です。マニュアルでは「電源プラグ」と表記しています。
接続先のコンセントには「平行 2 極プラグ (125V15A) 用コンセント」をご利用ください。マニュアルでは「コンセント」と表記しています。

■タッチ操作について

タッチ操作の場合、「クリック」と記載されている箇所を「タップ」と読み替えてください。また、「右クリック」は「長押し」に読み替えてください。

■製品の呼び方

本文中では、製品名称を次のように略して表記することがあります。

製品名称	このマニュアルでの表記
Windows 10 Home 64 ビット版	Windows または Windows 10
Windows 10 Home 32 ビット版	
Internet Explorer 11	Internet Explorer
Office Personal Premium プラス Office 365 サービス	Office または Office Personal Premium
Office Home & Business Premium プラス Office 365 サービス	Office または Office Home & Business Premium
Office Mobile	Office
Microsoft Word 2016	Word [注]
Word Mobile	
Microsoft Excel 2016	Excel [注]
Excel Mobile	
Microsoft Outlook 2016	Outlook [注]
Windows Media® Player 12	Windows Media Player
Bluetooth®	Bluetooth
Corel® WinDVD®	WinDVD
ポータブル CD/DVD ドライブ	光学ドライブ
ATOK 2016 for Windows	ATOK
マカフィー® リブセーフ™	マカフィー リブセーフ
Roxio Creator LJ	Roxio Creator
「ソフ得」ソフト使い放題 by OPTiM	ソフト使い放題
i-フィルター® for マルチデバイス	i-フィルター

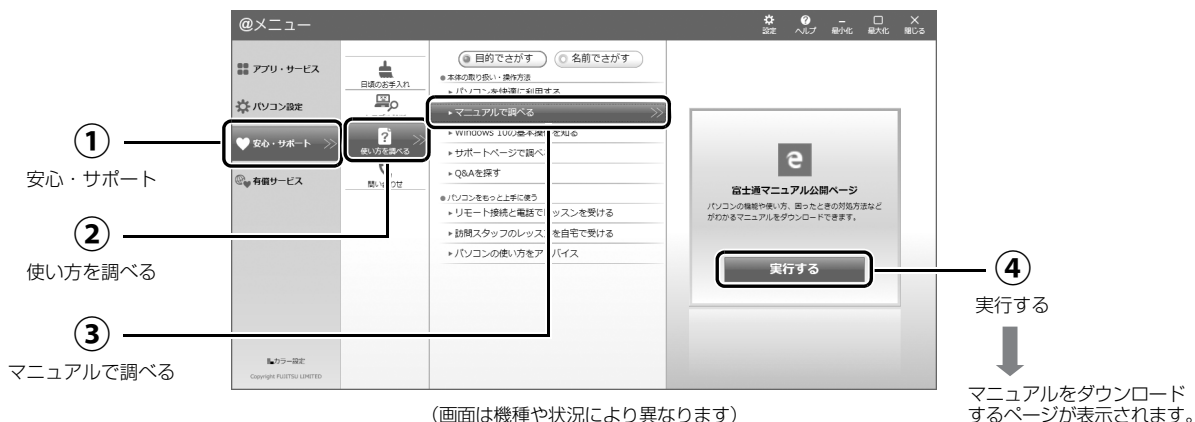
注：これらのアプリをまとめて「Office」と表記することがあります。

また、本文中では本製品をシリーズ名で表記することがあります。シリーズ名は「仕様一覧」(→ P.79)でご確認ください。

■インターネットに掲載されている電子マニュアルの参照方法

🖥️▶️「@メニュー」▶️「@メニュー」の順にタップします。

「@メニュー」が見つからないときは、画面を上スクロールしてください。



安全上のご注意

本製品を安全に正しくお使いいただくための重要な情報が記載されています。本製品をお使いになる前に、必ずお読みになり、正しく安全に、大切に取扱ってください。また、本製品をお使いになるときは、マニュアルをよくお読みになり、正しくお使いください。

「安全上のご注意」はインターネット上でも公開しています。
<http://azby.fmworld.net/support/manual/safety/>
ACアダプタと電源ケーブルが添付されている場合、ここでは、ACアダプタのケーブルと電源ケーブルを合わせて「電源ケーブル」と表記している箇所があります。

お使いの機種によっては、添付や搭載されていない機能などについての記載もありますが、あらかじめご了承ください。

設置／準備

⚠ 警告



プラグを抜く

コンセントの近くに設置し、電源プラグに容易に手が届くようにしてください。
万一の場合に、電源プラグが抜けなくなり、危険につながることがあります。



一般禁止

梱包に使用している袋類は、お客様の手の届く所に置かないでください。
口に入れたり、頭にかぶったりすると、窒息の原因になります。



一般指示

台に設置して使う場合は、台からはみ出したり、片寄ったりしないように載せてください。
本製品が落ちたり、倒れたりして、けが、故障の原因になります。特に、お子様が近くにいる場合はご注意ください。



一般禁止

振動している場所や傾いた所などの不安定な場所に置かないでください。
本製品が倒れたり、落下して、けが、故障の原因になります。



一般禁止

本製品を風通しの悪い場所、火気のある場所、引火性ガスの発生する場所で使用したり、置いたりしないでください。
火災の原因になります。



一般禁止

矩形波が出力される機器（UPS（無停電電源装置）や車載用 AC 電源など）に接続しないでください。
火災の原因になることがあります。



一般指示

本製品や周辺機器のケーブル類の配線にご注意ください。
ケーブルに足を引っ掛け、転倒したり、本製品や周辺機器が落ちたり倒れたりして、けがや故障の原因になります。



一般禁止

添付もしくは指定された以外の AC アダプタや電源ケーブルを本製品に使ったり、本製品に添付の AC アダプタや電源ケーブルを他の製品に使ったりしないでください。
感電、火災の原因になります。



一般指示

電池を機器に入れる場合は、+（プラス）と-（マイナス）の向きに注意し、表示どおりに入れてください。
間違えると電池の破裂、液もれ、発火の原因になります。



一般指示

電源ケーブルやACアダプタは、指定された電圧（100V）の壁のコンセントやコネクタに直接かつ確実に接続してください。
不完全な接続状態で使用すると、感電、火災の原因になります。



一般禁止

タコ足配線をしないでください。
感電、火災の原因になります。



ぬれ手禁止

濡れた手で電源ケーブルや AC アダプタを抜き差ししないでください。
感電の原因になります。



一般禁止

ケーブル類を束ねた状態で使用しないでください。
発熱して、火災の原因になります。

⚠ 注意



一般禁止

本製品を調理台や加湿器のそばなどの油煙や湯気の多い場所や、ほこりの多い場所などで使用したり、置いたりしないでください。
感電、火災の原因になることがあります。



一般禁止

本製品や AC アダプタを直射日光が当たる場所、閉めきった自動車内、ストーブのような暖房器具のそば、ホットカーペットの上で使用したり、置いたりしないでください。
感電、火災、故障の原因になります。



プラグを抜く

本製品を移動する場合は、次の点にご注意ください。
電源ケーブルや AC アダプタが傷つき、感電、火災の原因となったり、本製品が落下したり倒れたりして、けがの原因になります。
・電源ケーブルやACアダプタをコンセントから抜いてください。
・接続されたケーブルなどを外してください。
・作業は足元に充分注意して行ってください。

使用時

⚠ 警告



火気禁止

火中に投入、加熱しないでください。
発煙、発火、破裂の原因になります。



一般禁止

端子をショートさせないでください。
感電、火災の原因になります。



プラグを抜く

発熱や煙、異臭や異音がするなどの異常が発生したときは、ただちに電源プラグをコンセントから抜いてください。
異常状態のまま使用すると、感電、火災の原因になります。その後、異常な現象がなくなるのを確認して、弊社お問い合わせ窓口、またはご購入元にご連絡ください。



プラグを抜け

落したり、カバーなどを破損した場合は、電源を切り、電源ケーブルや AC アダプタを抜いてください。バッテリーパックを取り外せる場合は、バッテリーパックも取り外してください。そのまま使用すると、感電、火災の原因になります。その後、弊社お問い合わせ窓口、またはご購入元にご連絡ください。



一般禁止

開口部（通風孔など）から内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。感電、火災の原因になります。



一般禁止

本製品や本製品を設置している台にぶら下がったり、上に乗ったり、寄りかかったりしないでください。本製品が落ちたり、倒れたりして、けが、故障の原因になります。特に、お子様が近くにいる場合はご注意ください。



一般禁止

排気孔付近や AC アダプタなど、本製品の温度が高くなる場所に長時間直接触れて使用しないでください。排気孔からの送風に長時間あたらないでください。特に、お子様が近くにいる場合はご注意ください。低温やけどの原因になります。



水電使用禁止

防水に対応していない機種をお使いの場合は、風呂場やシャワー室など、水のかかるおそれのある場所で使用したり、置いたりしないでください。感電、火災の原因になります。



水ぬれ禁止

防水に対応していない機種をお使いの場合は、本製品の上下周りに、花びんやコップなど液体の入ったものを置かないでください。水などの液体が本製品の内部に入って、感電、火災の原因になります。



一般指示

防水対応の機種を、次のような場所で使用する場合は、マニュアルの防水性能に関する説明に従ってください。従わずに操作すると感電、火災の原因になります。
・風呂場やシャワー室など、水のかかるおそれのある場所
・花びんやコップなど液体の入ったものに近い場所



一般禁止

使用中の本製品や AC アダプタに、ふとんや布などをかけないでください。通風孔がある場合は、ふさがないようにしてください。通気孔が目詰まりしないように、掃除機などで定期的にはこりを取ってください。内部に熱がこもり、火災の原因になります。



一般指示

ご使用になる場合には、部屋を明るくして、画面からでせるだけ離れてください。お使いになる方の体質や体調によっては、強い光の刺激を受けたり、点滅の繰り返しによって一時的な筋肉のけいれんや意識の喪失などの症状を起こす場合がありますので、ご注意ください。過去にこのような症状を起こしたことがある場合は、事前に医師に相談してください。本製品をご使用中にこのような症状を発症した場合には、すぐに本製品の使用を中止し、医師の診断を受けてください。



一般指示

本製品や周辺機器のケーブル類に、お子様が容易に触れないようにしてください。誤って首に巻きつけると窒息の原因になります。



一般禁止

AC アダプタ本体や、ケーブルが変形したり、割れたり、傷ついている場合は使用しないでください。感電、火災の原因になります。



一般禁止

AC アダプタ本体を落下させたり、強い衝撃を与えないでください。カバーが割れたり、変形したり、内部の基板が壊れ、故障、感電、火災の原因になります。修理は、弊社問い合わせ窓口、またはご購入元にご連絡ください。



一般禁止

自転車、バイク、自動車などを運転中に本製品を使用しないでください。安全走行を損ない、事故の原因になります。安全な所に止めてからお使いください。



一般禁止

歩行中に本製品を使用しないでください。駅のホームや道路などで歩きながら本製品を使用すると、視野が極端に狭くなり、接触事故の原因になります。安全な場所で立ち止まってからお使いください。

バッテリーパックや電池を取り扱うときは、次の点にご注意ください。

液もれ、けが、やけど、破裂、火災、周囲を汚す原因になります。

- ・指定された方法以外で使用しない
- ・分解や改造をしない
- ・加熱したり、火の中に入れたりしない
- ・熱器具に近づけない
- ・火のそばや炎天下などで充電したり、放置したりしない
- ・落したり、ぶつけたり、大きな衝撃を与えない
- ・先のとがったもので力を加える、強い圧力を加えない
- ・ショートさせない
- ・端子部分をぬらしたり、水の中に入れたりしない
- ・金属製のネックレスやヘアピンなどといっしょに携帯、保管しない
- ・お子様の手の届く所に保管しない
- ・乾電池を充電しない
- ・ハンダ付けしない

特に、バッテリーパックは、落下などの衝撃による内部の電池や回路基板の損傷によって発熱・発火し、けがの原因になったり、破裂・液もれによる周囲の汚損の原因になることがあります。

バッテリーパックに衝撃を与えた場合、あるいは外観に明らかに変形や破損が見られる場合には、使用をやめてください。



一般禁止

電源ケーブルや AC アダプタが傷ついている場合は使用しないでください。感電、火災の原因になります。



一般禁止

電源ケーブルや AC アダプタの接続部分に、ドライバーなどの金属を近づけないでください。感電、火災の原因になります。



一般禁止

ケーブル類は、傷つけたり、加工したり、加熱したり、重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったりしないでください。感電、火災の原因になります。



一般禁止

AC アダプタ本体にケーブル類をきつく巻きつけるなどして、根元部分に負担をかけないでください。ケーブル類の芯線が露出したり断線したりして、感電、火災の原因になります。



一般禁止

電源ケーブルや AC アダプタを抜くときは、コード部分を引っ張らず、必ず電源プラグを持って抜いてください。ケーブル類が傷つき、感電、火災の原因になります。

無線 LAN、無線 WAN、Bluetooth® ワイヤレステクノロジー、NFC ポート、CLEARSURE、ワイヤレスキーボード／マウスの注意

次の場所では、無線通信機能を停止してください。「ワイヤレススイッチ自動オン機能」対応の CLEARSURE 搭載機種の場合は、自動的に無線通信機能がオンにならないようにしてください。

無線機器からの電波により、誤動作による事故の原因となります。

- ・病院内や医療用電子機器のある場所
特に手術室、集中治療室、CCU（冠状動脈疾患監視病室）などには持ち込まないでください。
- ・航空機内など無線通信機能の使用を禁止されている場所
- ・自動ドア・火災報知機など自動制御機器の近く
- ・身動きが自由に取れない状況など、植込み型医療機器（心臓ペースメーカーなど）を装着している方と密着する可能性がある場所
- ・満員電車の中など付近（15cm（NFC ポートは 12cm））に植込み型医療機器を装着している方がいる可能性がある場所

本製品は、レーザー光線を装置カバーで遮断する安全な構造になっていますが、次のことにご注意ください。

- ・光源部を見ないでください。
光学ドライブのレーザー光の光源部を直接見ないでください。
- また、万一の故障で装置カバーが破損してレーザー光線が装置外にもれた場合は、レーザー光線をのぞきこまないでください。
- レーザー光線が直接目に照射されると、視力障害の原因になります。
- ・お客様自身で分解したり、修理・改造したりしないでください。
- レーザー光線が装置外にもれて目に照射されると、視力障害の原因になります。

レーザーマウスは底面から、目に見えないレーザー光が出ています。

クラス 1 レーザー製品は、予測可能な使用環境において極めて安全ですが、マウス底面の光は直視しないでください。

本製品の上に重いものを置かないでください。
けがの原因となることがあります。

本製品をお使いになる場合は、次のことに注意し、長時間使い続けるときは 1 時間に 10～15 分の休憩時間や休憩時間の間の小休止をとるようにしてください。

本製品を長時間使い続けると、目の疲れや首・肩・腰の痛みなどを感じる原因になることがあります。画面を長時間見続けると、「近視」「ドライアイ」などの目の健康障害の原因になります。

- ・画面の位置や角度、明るさなどを見やすいように調節する。
- ・なるべく画面を下向きに見るように調整し、意識的にまばたきをする。場合によっては目薬をさす。
- ・キーボードやマウスは、肘の角度が 90 度以上になるように使用する。

液晶ディスプレイを開閉するとき、手などをはさまないように注意してください。

けが、故障の原因になります。特に、お子様が近くにいる場合はご注意ください。



指のケガに注意

光学ドライブのトレイやスロット、コネクタ、通風孔など、本製品の開口部に、手や指を入れないでください。ディスクなどをセットまたは取り出す場合も、手や指を入れないでください。

けが、感電の原因になります。特に、お子様が近くにいる場合はご注意ください。



一般禁止

ヘッドホン・イヤホン・ヘッドセットをご使用になるときは、音量を上げすぎないでください。

耳を刺激するような大きな音量で聞くと、聴力に悪い影響を与える原因になります。



一般指示

電源を入れたり切ったりする前には音量を最小にしておいてください。

ヘッドホン・イヤホン・ヘッドセットをしたまま、電源を入れたり切ったりしないでください。

突然大きな音や刺激音が出て、聴力に悪い影響を与える原因になります。



高温注意

「ExpressCard™」、「PC カード」、「SD メモリーカード」、「UIM カード」の使用終了直後は、高温になっていることがあります。

これらを取り外すときは、使用後充分に温度が下がるのを待ってから取り出してください。

やけどの原因になります。



一般禁止

マウス底面の光を直視しないでください。レーザー式マウスの場合も、目に見えないレーザー光が出ています。

目の痛みなど、視力障害を起こすおそれがあります。

メンテナンス／増設



警告



分解禁止

お客様ご自身で修理、改造しないでください。また、マニュアルなどで指示がある場合を除いて分解しないでください。

けが、感電、火災の原因になります。

修理や点検などが必要な場合は、弊社問い合わせ窓口、またはご購入元にご連絡ください。



一般禁止

取り外したカバー、キャップ、ネジ、電池などの部品は、お客様の手の届く所に置かないでください。

誤って飲み込むと窒息の原因になります。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。



一般禁止

清掃するときに、清掃用スプレー（可燃性物質を含むもの）を使用しないでください。

故障や火災の原因になります。



一般禁止

本製品の内部に搭載されているリチウム電池には触らないでください。

取り扱いを誤ると、人体に影響を及ぼすおそれがあります。リチウム電池はご自身で交換せずに、弊社問い合わせ窓口にご相談ください。



一般指示

必ず本製品に添付のバッテリーパックを使用してください。寿命などでバッテリーパックを交換する場合は、必ず指定品を使用してください。

指定以外のバッテリーパックは、電圧や端子の極性が異なっていることがあるため、火災、破裂、発熱のおそれがあります。



一般禁止

指定以外の電池は使用しないでください。
また、2 本以上セットする場合は、新しい電池と古い電池を混ぜて使用しないでください。
電池の破裂、液もれにより、火災、けが、周囲を汚損する原因になります。



一般指示

電源ケーブルや AC アダプタはコンセントから定期的に抜いて、接続部分のほこりやゴミを乾いた布でよく拭き取ってください。
ほこりがたまつたままの状態で使用すると感電、火災の原因になります。1 年に一度は点検清掃してください。特に電源プラグ部分についてはほこりがたまりやすいので、ご注意ください。



プラグを抜け

内蔵オプションや周辺機器の取り付け／取り外し、お手入れなどを行うときは、本製品および接続されている機器の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。
バッテリーパックを取り外せる場合は、バッテリーパックも外してください。
故障、感電、火災の原因になります。



一般指示

周辺機器のケーブルは、本製品や周辺機器のマニュアルをよく読み、正しく接続してください。
誤った接続状態で使いになると、感電、火災の原因になります。また、本製品および周辺機器が故障する原因になります。



注意



一般禁止

周辺機器などの取り付け、取り外しを行うときは、指定された場所以外のネジは外さないでください。
けが、故障の原因になります。

異常時



警告



プラグを抜け

本製品の内部に水などの液体や金属片などの異物が入った場合は、すぐに本製品の電源を切り、電源ケーブルや AC アダプタを抜いてください。
バッテリーパックを取り外せる場合は、バッテリーパックも取り外してください。
そのまま使用すると、感電、火災の原因になります。その後、弊社お問い合わせ窓口、またはご購入元にご連絡ください。



一般禁止

雷が鳴り出したときは、落雷の可能性がなくなるまで本製品やケーブル類に触れないでください。ケーブル類の接続作業は、落雷の可能性がなくなるまで行わないでください。
落雷の可能性がある場合は、あらかじめ本製品の電源を切り、その後電源ケーブルや AC アダプタをコンセントから抜き、ケーブル類を取り外しておいてください。
落雷による故障、感電、火災の原因になります。



一般指示

タッチパネルのガラスにヒビ、傷などがあつた場合は、すみやかにご使用を中止し、弊社お問い合わせ窓口、またはご購入元にご連絡ください。
そのまま使用するとけがをするおそれがあります。



一般指示

バッテリーパックや電池が液もれし、もれ出た液が万一、目や口に入ったときは、こすらず水道水などの多量のきれいな水で充分に洗った後、すぐに医師の治療を受けてください。
失明など障害の原因になります。
液が皮膚や衣類に付着したときは、ただちに水でよく洗い流してください。皮膚に障害を起こす原因になります。



注意



指のケガに注意

カバーや部品などが破損・脱落したり、キーボードのキー・トップが外れた場合は、使用を中止し、弊社お問い合わせ窓口、またはご購入元にご連絡ください。
破損した製品や破片によるけがや故障の原因になります。特に、お子様が近くにいる場合はご注意ください。



一般指示

液晶ディスプレイが破損し、液状の内容物が流出して皮膚に付着した場合は、流水で 15 分以上洗浄してください。
また、目に入った場合は、流水で 15 分以上洗浄した後、医師に相談してください。
中毒を起こすおそれがあります。
液晶ディスプレイの内部には、刺激性物質が含まれています。

保管／廃棄



警告



破裂注意

バッテリーパックの廃棄については、マニュアルの説明に従ってください。
本製品は「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の規制を受けます。
バッテリーパックはリチウムイオン電池を使用しており、一般のゴミといっしょに火中に投げられると破裂のおそれがあります。



注意



プラグを抜け

本製品を長期間使用しないときは、安全のため電源ケーブルや AC アダプタをコンセントから抜いてください。
バッテリーパックや乾電池を取り外せる場合は、取り外してください。
火災の原因になります。



破裂注意

本製品の廃棄については、マニュアルの説明に従ってください。
本製品は「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の規制を受けます。
本製品はリチウム電池を使用しております。
ワイヤレスキーボード、ワイヤレスマウス、リモコンなどには、乾電池、充電電池を使用しております。
一般のゴミといっしょに火中に投げられると電池が破裂するおそれがあります。
使用済み電池の廃棄については、マニュアルの説明に従ってください。

取り扱い上のご注意

タブレットの使用環境についての注意

タブレットは精密機器です。使用環境に注意してご利用ください。取り扱い方法を誤ると故障や機能低下、破損の原因となります。

内容をよくご理解のうえ、注意してお取り扱いください。

・タブレットをお使いになる環境の温度と湿度

次の範囲内としてください。

・動作時：温度 5 ～ 35 ℃／湿度 20 ～ 80%RH

・非動作時：温度 -10 ～ 60 ℃／湿度 20 ～ 80%RH

・タブレットの結露

動作時、非動作時にかかわらず、タブレット本体が結露しないようにご注意ください。

結露は、空気中の水分が水滴になる現象です。タブレットを温度の低い場所から温度の高い場所、または、温度の高い場所から温度の低い場所へ移動すると、タブレット内部に結露が発生する場合があります。結露が発生したままタブレットを使用すると故障の原因となります。

タブレットを移動したときは、直射日光があたらない風通りの良い場所に設置し、室温と同じくらいになるのを待ってから電源を入れてください。

・タブレットをお使いにできない場所

・直射日光のあたる場所

感電、火災、破損や故障の原因となります。

・水など液体のかかる場所

タブレット内部の回路がショートして、壊れてしまうことがあります。

・ほこりの多い場所や、油を使用する場所

故障の原因となります。

・熱がこもりやすい場所（ふとんやクッションの上など）

放熱が妨げられ、故障の原因となります。

・静電気の発生しやすい場所

タブレットは、静電気に対して弱い部品で構成されており、人体にたまった静電気により破壊される場合があります。使用する前には、アルミサッシやドアノブなどの金属に手を触れて、静電気を放電してください。

・電磁波の影響を受けやすいもの（テレビやラジオなど）や、磁気を発生するもの（モーターやスピーカーなど）に近い場所

故障や機能低下の原因となります。

・腐食性ガス（温泉から出る硫黄ガスなど）が存在する場所

タブレット本体が腐食する可能性があります。

・吸気孔や排気孔（搭載機種のみ）

・吸気孔や排気孔をふさがないでください。

放熱が妨げられ、故障の原因となります。

タブレット本体と壁の間に前後左右10cm以上のすき間を空けてお使いください。

・排気孔の近くに物を置いたり、排気孔の周辺には手を触れないでください。

排気孔からの熱で、排気孔の近くに置かれた物や手が熱くなることがあります。

・タブレット使用中の環境

・タブレットを長時間同じ場所に設置すると、その場所の材質が変質したり劣化したりすることがありますので、ご注意ください。

・無線通信機能をお使いになる場所

・タブレット本体に搭載されている無線通信機能をお使いになるときは、できるだけ見通しの良い場所でお使いください。電子レンジの近く、アマチュア無線機の近くや足元など見通しの悪い場所でお使いになると、周囲の電波の影響を受けて、接続が正常に行えないことがあります。

・お使いになる場所によっては電波を停止する必要があります（「安全上のご注意」▶「無線 LAN、無線 WAN、Bluetooth® ワイヤレステクノロジー、NFC ポート、CLEARsure、ワイヤレスキーボード／マウスの注意」（→ P.14））。機内モードに切り替えて電波の発信を止めてください。

手順については、サポートページから Q&A ナンバー「2610-8225」を検索してご覧ください（→ P.64）。

タブレットの取り扱いについての注意

■タブレット本体の取り扱い上の注意

・衝撃や振動を与えないでください。

・操作に必要な力以外の部分を押ししたり、必要以上の力を加えたりしないでください。

・水などの液体や金属片、虫などの異物を混入させないようにしてください。

故障の原因になる可能性があります。

・タブレット本体を立てたり、傾けたりして置かないでください。タブレット本体が倒れて、故障の原因となることがあります。

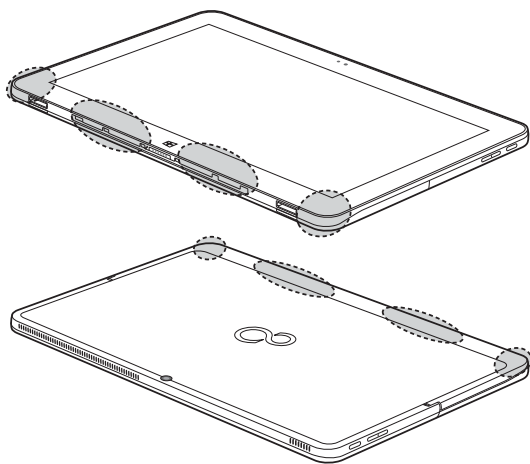
・タブレット本体は昼夜連続動作（24 時間動作）を目的に設計されていません。ご使用にならないときは電源を切ってください。

・タブレットを投げ付けたり、不安定な姿勢で使用したりしないでください。

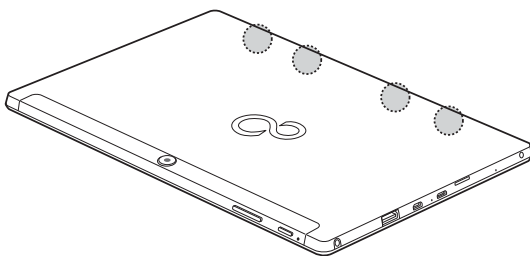
落下などにより、けがや故障の原因となります。

- arrows Tab RH77/B1、QH35/B1 では、下図の点線部分に磁石が取り付けられています。心臓ペースメーカーや磁気カードなど、磁気の影響を受けやすいものは近づけないでください。故障やデータ消失などのおそれがあります。

arrows Tab RH77/B1



arrows Tab QH35/B1



■タブレットの温度上昇に関して

- 長時間使用すると、タブレット表面の温度が上昇して、温かく感じる場合がありますが、故障ではありません。これは、タブレット内部の温度が一定以上になると、装置から放熱するためです。
- タブレットの表面、裏面は熱くなります。長時間触れたままにすると、低温やけどの原因になります。
- タブレット本体および AC アダプタは、使用中に熱をもつことがあります。そのため、長時間同じ場所に設置すると、設置する場所の状況や材質によっては、その場所の材質が変質したり劣化したりすることがあります。ご注意ください。

■タブレットを持ち運ぶ場合の注意

- タブレット本体に接続しているケーブルなどをすべて取り外してください。
- タブレット本体を持ち上げたり移動させたりするときは、落としたりしないように、タブレット本体をしっかりと掴んでください。
- タブレット本体や AC アダプタを運ぶ場合は、ぶつけたり落としたりしないでください。かばんなどに入れて衝撃や振動から保護してください。

- タブレット本体をかばんなどに入れて持ち運ぶ場合には、次の点に注意してください。
- タブレット本体に無理な力がかかったり、強い衝撃や振動が伝わったりしないように、かばんなどに入れてください。
- AC アダプタをいっしょに入れて持ち運ぶと、AC アダプタでタブレット本体を傷つけたり、破損したりするおそれがあります。
- 液晶ディスプレイの傷や破損にご注意ください。
- タブレット本体を自動車内に設置した状態での使用は、保証しておりません。
- 自転車やバイクのカゴなどにタブレット本体を直接載せて運ばないでください。衝撃や振動により故障するおそれがあります。また、落下などにより、けがや故障の原因となります。

■液晶ディスプレイの取り扱い上の注意

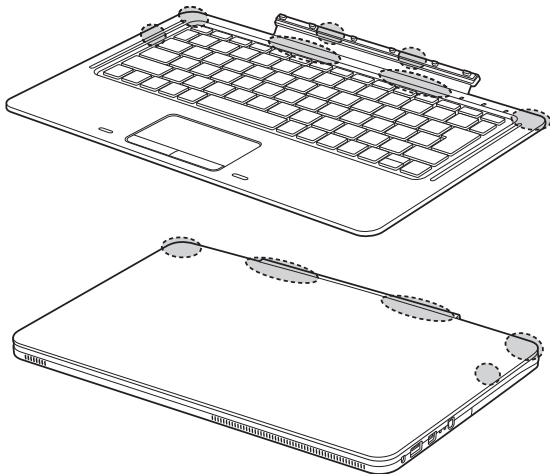
- 液晶ディスプレイをたいたり強く押ししたりしないでください。また、引っかいたり先のとがったもので押ししたりしないでください。
- 表示面・裏面にかかわらず、液晶ディスプレイに強い圧力が加わると、画面にムラが発生する場合があります。
- 液晶ディスプレイにゴムやビニール製品を長時間接触させないでください。表面がはげたり、変質したりすることがあります。

■カバーキーボード、カバー付きキーボードの取り扱い上の注意 (arrows Tab RH77/B1、QH35/B1 のみ)

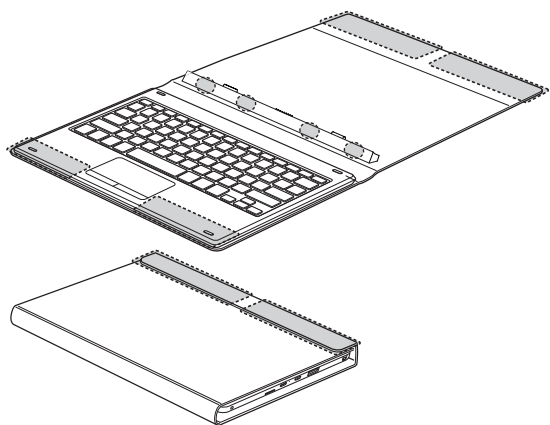
- 火気や暖房機器を近づけないでください。
- 直射日光が当たる場所、高温、多湿の場所に放置しないでください。
- 涼しく乾燥していて風通しの良い、ほこりや化学薬品のないところに保管してください。
- 乳幼児の手の届かないところに保管してください。
- 本製品は樹脂材製品（合皮ソファ、樹脂シートなど）の上に置かないでください。長時間の接触や、強い力でのかすれにより、色移りする場合があります。
- ご購入直後は、素材のにおいがすることがありますが、時間と共に少なくなっていくしますので、ご了承ください。
- 本製品は素材の特性上、時間と共に変色する場合があります。
- 質感を大切にしているため、多少の色落ち、水漏れなどによる汚れ、シミになることがあります。ご了承ください。
- き裂などの破損、ほつれ、破れ、変形、劣化を発見した場合は、使用を中止してください。
- 本製品は、タブレットを衝撃から保護するためのカバーではありません。
- 本製品は、収納物の傷防止を保証するものではありません。
- 硬い布で本製品を拭かないでください。
- 本製品は洗濯できません。汚れた場合は、水に浸した布をよく絞ってから汚れを拭き取り、その後、乾いた布で拭いてください。
- ベンジン、シンナー、アルコールなどの溶剤や家庭用洗剤・化学ぞうきんは、変質、変色するおそれがありますので、使用しないでください。

- ・濡れたときは、乾燥したタオルなどで濡れた部分の水分を拭き取ってください。
- ・本製品には、下図の点線部分●●●に磁石が取り付けられています。本製品に心臓ペースメーカーや磁気カードなど、磁気の影響を受けやすいものは近づけないでください。故障やデータ消失などのおそれがあります。

カバーキーボード（RH77/B1 のみ）



カバー付きキーボード（QH35/B1 のみ）



- ・キーボードをタブレット本体に取り付けてお使いの場合、次の点に注意してください。
- ・タブレット本体を持ち運ぶときは、カバーを閉じてください。
- ・キーボード部分だけを掴んで、持ち上げたり振り回したりしないでください。タブレット本体の故障または破損の原因となることがあります。
- ・キーボードを開閉するときは、次の点に注意してください。
 - タブレット本体やキーボードに衝撃を与えないようにゆっくりと開閉してください。
 - 無理に大きく開けないでください。
- ・タブレット本体とキーボードの間に、物をはさまないでください。
- ・キーボードをタブレット本体裏面まで開いた状態で、タブレット本体を操作したり持ち運んだりしないでください。

- ・キーボードスタイルで使用するときは、次の点に注意してください。
 - 不安定な場所に設置しないでください。落下により、けがや故障の原因となることがあります。
 - タッチパネルを操作するときは強く画面を押さないでください。タブレット本体が倒れて、けがや故障の原因となることがあります。
 - 周辺機器を接続する場合は、タブレット本体を押さえながら、接続してください。
- ・タブレット本体が転倒するおそれがあります。

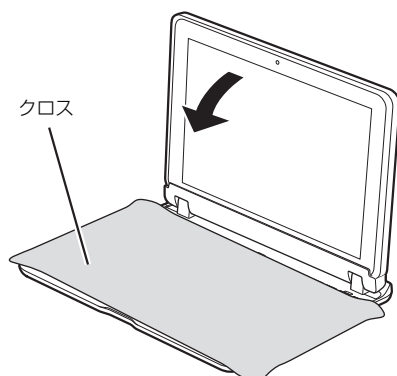
■Uスタンドの取り扱い上の注意 (arrows Tab RH77/B1 のみ)

- ・Uスタンドを開いてタブレット本体を立ててお使いの場合、次の点に注意してください。
 - ・タッチパネルを操作するときは強く画面を押さないでください。タブレット本体が倒れて、けがや故障の原因となることがあります。
 - ・タブレット本体を持ち運ぶときは、Uスタンドを閉じてください。
 - ・Uスタンド部分を掴んで、持ち上げたり振り回したりしないでください。タブレット本体やUスタンドの故障または破損の原因となることがあります。
- ・Uスタンドを閉じるときに、指などをはさまないようにしてください。けがの原因となることがあります。
- ・強く押ししたりしないでください。Uスタンドの故障または破損の原因となることがあります。

■スリムキーボード／軽量スリムキーボードの取り扱い上の注意 (arrows Tab WQ2/B1 のみ)

- ・液晶ディスプレイを閉じてもしスリープにしない設定の場合は、電源が入っているときに液晶ディスプレイを閉じないでください。放熱が妨げられ、故障の原因となることがあります。
- ・使用するアプリによっては、キーボードのパームレスト部（手を載せる部分）が多少熱く感じられることがあります。長時間使用する場合には低温やけどを起こす可能性がありますので、ご注意ください。
- ・本製品に接続したまま移動させるときは、液晶ディスプレイを閉じてください。
- ・液晶ディスプレイを開閉するときは、次の点に注意してください。
 - ・衝撃を与えないようにゆっくりと開閉してください。
 - ・無理に大きく開けないでください。
 - ・液晶ディスプレイを開くときは、机の上など平らな場所に置いてください。
- ・タブレット本体の中央に指をかけ、持ち上げるときに、キーボードの中央を押さえてください。
- ・キーボードの端を押さえながら開くと、スリムキーボード／軽量スリムキーボードが変形するおそれがあります。
- ・液晶ディスプレイを開いたまま、本製品を裏返して置かないでください。
- ・タブレット本体とキーボードの間に、物をはさまないでください。

- ・ほこりや異物などによって液晶ディスプレイ（タッチパネル）が傷つくことを防止するため、キーボードにクロスを添付しています。タブレット本体にキーボードを取り付けて本体を閉じるときには、タブレット本体とキーボードの間にクロスを挟んで使用してください。



■スタイラスペンの取り扱い上の注意 (arrows Tab RH77/B1、WQ2/B1 のみ)

- ・ペン先を強くこすったり、ペン先に強い圧力を加えないようにしてください。ペン先が変形する場合があります。

■雷についての注意

落雷の可能性がある場合は、タブレットの電源を切るだけでなく、すべてのケーブル類を抜いておいてください。また、雷が鳴り出したときは、落雷の可能性がなくなるまでタブレット本体やケーブル類、およびそれらにつながる機器に触れないでください。

安全のため、避雷器の設置をお勧めします。

ただし、どのような避雷器をお使いになってもタブレット本体を保護できない場合があります。あらかじめご了承ください。

□落雷について

落雷には、直撃雷と誘導雷の2種類あります。直撃雷と誘導雷のどちらも避雷器で保護できない可能性があります。

・直撃雷

避雷針によって雷を誘導して対象物を保護できます。ただし、避雷器の許容値を超えた非常に大きな雷を受けた場合には、避雷器を用いてもタブレット本体を保護できないことがあります。

・誘導雷

タブレットの故障は主に誘導雷によって起こります。雷により周囲に強力な電磁場ができると発生し、電線や電話線などから侵入するのが誘導雷です。タブレットの場合、電源ケーブル、外部機器との接続ケーブル、LAN ケーブルなどから誘導雷の侵入が考えられます。誘導雷を防ぐにはケーブル類を抜くなどの対策が必要です。

□落雷時の故障について

落雷によるタブレット本体の故障は、保証期間内でも有償修理となります。

故障の状況によっては、修理費用が高額になることもあるので、ご注意ください。

また、場合によっては、落雷によってタブレット本体だけでなく周辺機器などが故障することもあります。

疲れにくい使い方

タブレットを長時間使い続けていると、目が疲れ、首や肩や腰が痛くなることがあります。その主な原因は、長い時間同じ姿勢でいることや、近い距離で画面やキーボードを見続けることです。タブレットをお使いになるときは姿勢や環境に注意して、疲れにくい状態で操作しましょう。

- ・次のようにして、画面の向きや角度を調節しましょう。
 - ・直射日光があたらないようにする
 - ・外光が直接目に入ったり画面に映り込んだりしないようにする
- ・画面の輝度や文字の大きさなども見やすく調節しましょう。
- ・目と画面との距離をとり、疲れにくい位置を保って利用しましょう。
- ・1 時間以上続けて作業しないようにしましょう。
 - ・続けて作業をする場合には、1 時間に 10 ～ 15 分程度の休憩時間を取りましょう。
 - ・休憩時間までの間に 1 ～ 2 分程度の小休止を 1 ～ 2 回取り入れましょう。
- ・キーボードを取り付けてタブレット本体を立ててお使いの場合、次の点にも注意しましょう。
 - ・背もたれのあるいすに深く腰かけ、背筋を伸ばす
 - ・いすの高さを、足の裏全体が付く高さに調節する
 - ・手首や腕、肘は机やいすの肘かけなどで支えるようにする
 - ・固くて水平な場所に置く
 - ソファの上など、柔らかい場所や不安定な場所に置くと、落下によるケガや故障の原因となることがあります。

認定および準拠について

このタブレットに固有の認定および準拠マークに関する詳細（認証・認定番号を含む）は、次の手順で表示される画面で確認できます。

- 1 BIOS セットアップを起動します。
- 2 「情報」（「Info」）メニューから「認証表示」（「Display Regulatory Compliance」）を選択します。
BIOS セットアップについて詳しくは、「BIOS の設定」（→ P.192）をご覧ください。

各部の名称について

このタブレットの主な各部の名称は次のとおりです。

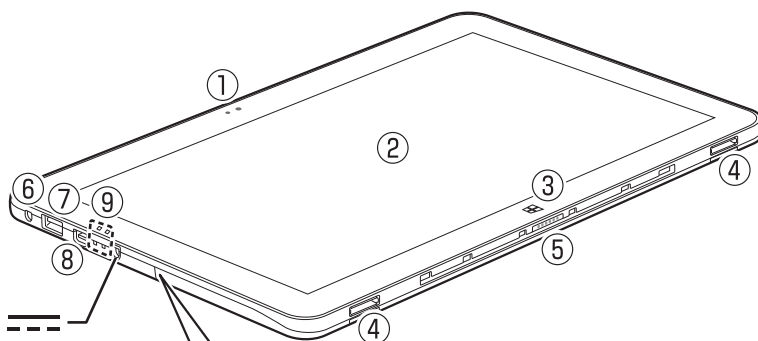


- ▶ ここに掲載されていない部分の名称や、各部の働き、また、カバーキーボード、クレードルなどについて詳しくは、「各部の名称と働き」(→ P.84) をご覧ください。

arrows Tab RH77/B1

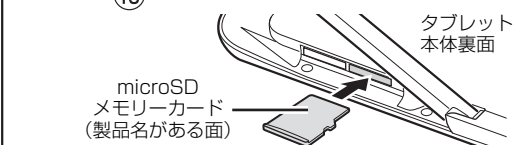
□ 本体表面

- ① イン Web カメラ
- ② 液晶ディスプレイ
(タッチパネル搭載)
- ③ Windows ボタン
- ④ クレードル接続コネクタ
- ⑤ カバーキーボード接続コネクタ
- ⑥ マイク・ラインイン・ヘッドホン・
ラインアウト・ヘッドセット
兼用端子
- ⑦ USB3.0 コネクタ
(電源オフ USB 充電機能対応)
- ⑧ miniDisplayPort コネクタ
- ⑨ 状態表示 LED
 - Ⓛ 電源ランプ
 - ➡➡➡ バッテリー充電ランプ
- ⑩ ダイレクト・メモリースロット



DC-IN コネクタ
(→ P.24)

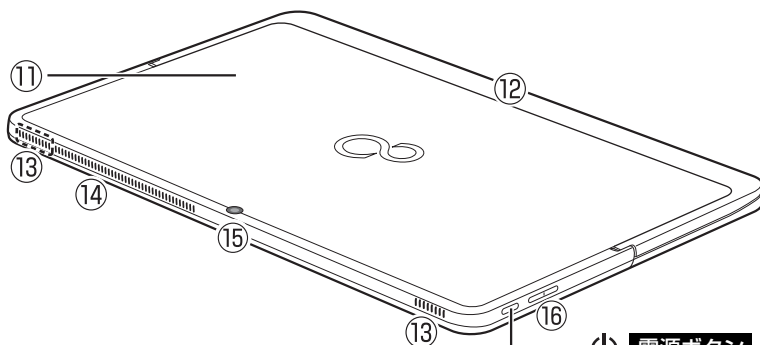
ダイレクト・メモリースロットを使うときは、U スタンドを開き、カバーを開けます。
メモリーカードを差し込むときは、指で「カチッ」と音がするまで押してください。
メモリーカードを取り出すときは、いったん「カチッ」と音がするまで押してください。



※ 指で押しにくいときは、硬貨などを使って押してください。

□ 本体裏面

- ⑪ リセットスイッチ
- ⑫ U スタンド (ユースタンド)
- ⑬ スピーカー
- ⑭ 排気孔
- ⑮ アウト Web カメラ
- ⑯ 音量調節ボタン

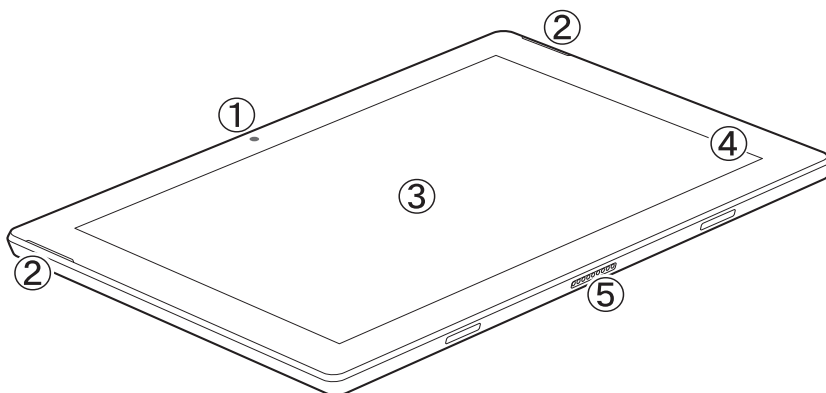


電源ボタン
(→ P.25)

■arrows Tab QH35/B1

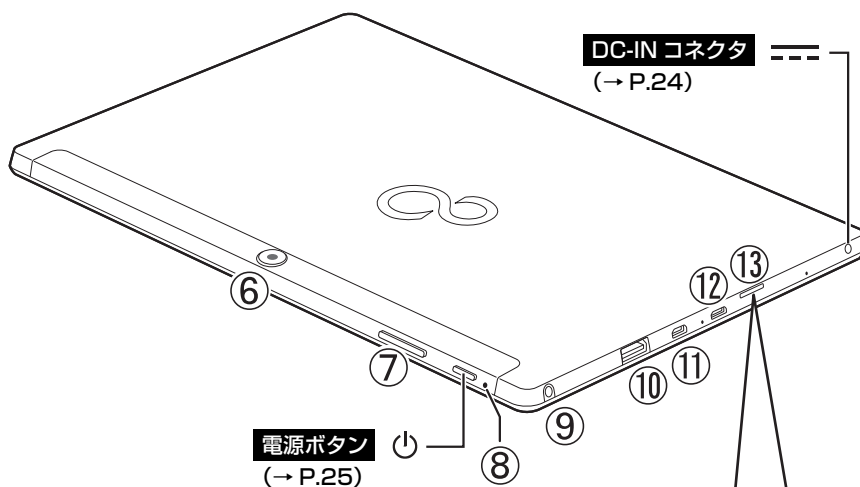
□本体表面

- ① イン Web カメラ
- ② スピーカー
- ③ 液晶ディスプレイ
(タッチパネル搭載)
- ④ バッテリー充電ランプ
- ⑤ カバー付きキーボード
接続コネクタ

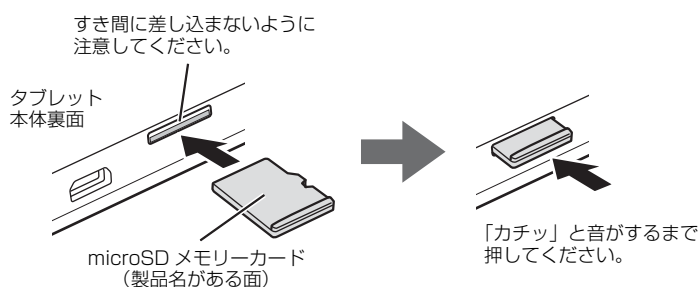


□本体裏面

- ⑥ アウト Web カメラ
- ⑦ 音量調節ボタン
- ⑧ リセットスイッチ
- ⑨ ヘッドホン・ヘッドセット
兼用端子
- ⑩ USB3.0 コネクタ
- ⑪ microHDMI 出力端子
- ⑫ microUSB コネクタ
- ⑬ ダイレクト・メモリー
スロット



メモリーカードを差し込むときは、メモリーカードの製品名のある面を、右図の向き（タブレット本体の裏面側）にし、「カチッ」と音がするまで押します。また、タブレット本体のすき間に差し込まないように注意してください。メモリーカードが取り出せなくなる場合があります。



メモリーカードを取り出すときは、「カチッ」と音がするまでメモリーカードを押し、少し出てきたメモリーカードを引き抜きます。

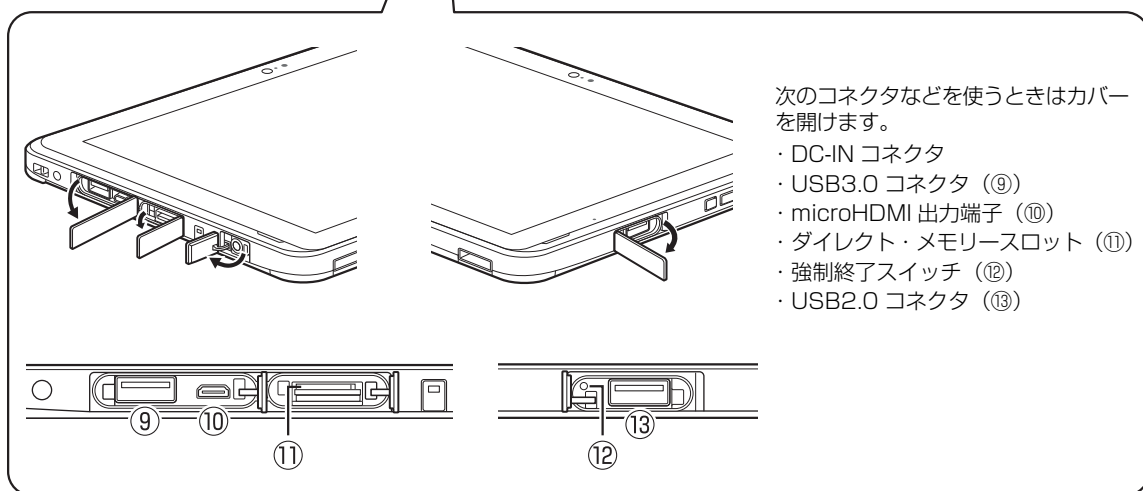
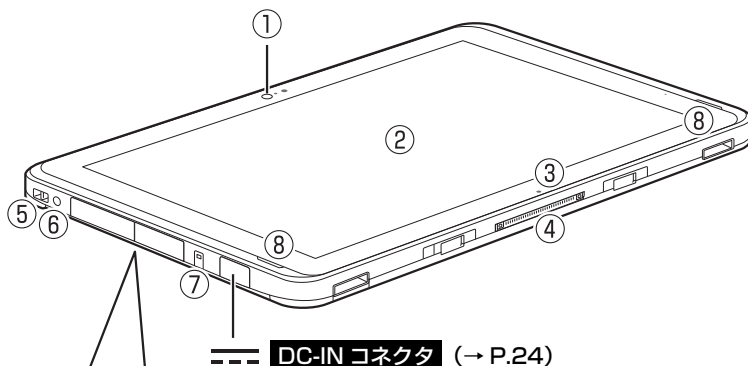


※ 指で押しにくいときは、硬貨などを使って押してください。

■arrows Tab WQ2/B1

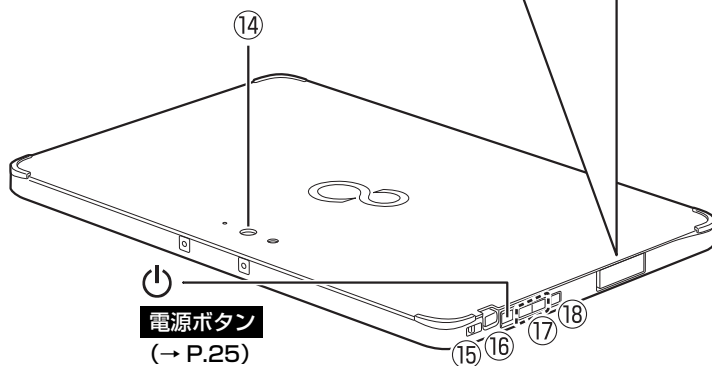
□本体表面

- | | | |
|--------------------------|------------------------|------------------|
| ① イン Web カメラ | ⑤ ペンひも取り付け用穴 | ⑨ USB3.0 コネクタ |
| ② 液晶ディスプレイ
(タッチパネル搭載) | ⑥ ヘッドホン・ヘッドセット
兼用端子 | ⑩ microHDMI 出力端子 |
| ③ 位置合わせマーク | ⑦ バッテリー充電ランプ | ⑪ ダイレクト・メモリースロット |
| ④ ドッキングコネクタ | ⑧ スピーカー | |



□本体裏面

- | |
|---------------|
| ⑫ 強制終了スイッチ |
| ⑬ USB2.0 コネクタ |
| ⑭ アウト Web カメラ |
| ⑮ ペンひも取り付け用穴 |
| ⑯ ペンホルダー (ペン) |
| ⑰ 音量調節ボタン |
| ⑱ ショートカットボタン |



セットアップする

セットアップの流れを確認する

タブレットの準備をする (→ P.24)

- **セットアップ前に周辺機器を接続しないでください**
プリンター、LAN ケーブル、USB メモリ、メモリーカードなどは、「Windows のセットアップをする」が終わるまで接続しないでください。カバーキーボード、カバー付きキーボード、スリムキーボード、クレードルも接続しないでください (添付機種のみ)。
- **セットアップはタッチで行ってください**
スタイラスペンは使わないでください (添付機種のみ)。
- **必ず AC アダプタを接続してください**

電源を入れる

Windows のセットアップをする (→ P.25)

ローカルアカウントでセットアップします。

所要時間 10 分程度です。

- **インターネットに接続しないでください**
- **この間は絶対に電源を切らないでください**
途中で電源を切ると、故障の原因になる場合があります。

ネット接続して行います

インターネットに接続する (→ P.31)

Microsoft アカウントに切り替える (→ P.35)

新規取得、またはお持ちの Microsoft アカウントに切り替えます。

所要時間 10 分程度です。

「Microsoft アカウント」については「Microsoft アカウントとは」(→ P.35) をご覧ください。

再起動 (Microsoft アカウントでサインイン)

「はじめに行う設定」で初期設定する (→ P.41)

「はじめに行う設定」というアプリのガイドに従って「ユーザー登録」や「Office のセットアップ」などを行うと、タブレットを快適にお使いいただけます。

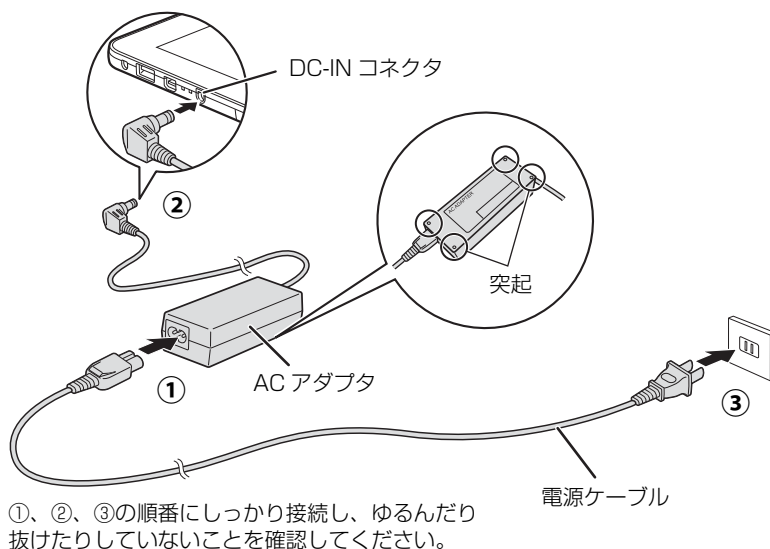
さあ、セットアップを始めましょう！

タブレットの準備をする

1 タブレットを電源に接続します。

■arrows Tab RH77/B1 の場合

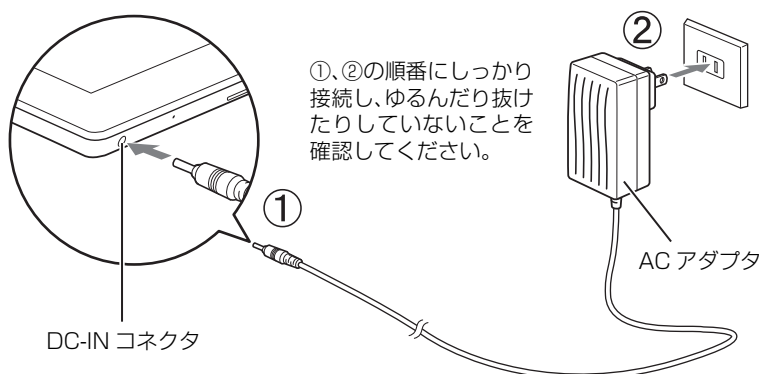
- ① AC アダプタに電源ケーブルを接続します。
 - ② タブレット本体側面の DC-IN コネクタ (→ P.20) に接続します。
 - ③ 電源プラグをコンセントに接続します。
- AC アダプタに突起がある場合は、その面を下にして設置します。



(イラストは機種や状況により異なります)

■arrows Tab QH35/B1 の場合

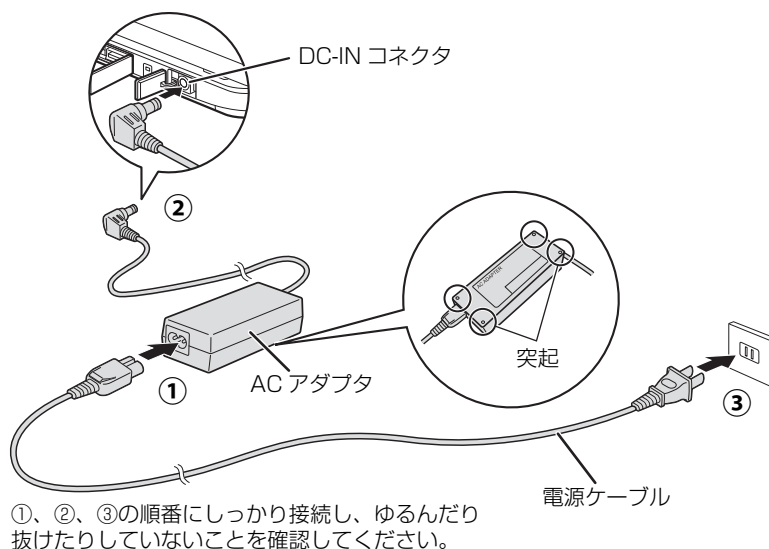
- ① AC アダプタをタブレット本体側面の DC-IN コネクタ (→ P.21) に接続します。
- ② 電源プラグをコンセントに接続します。



(イラストは機種や状況により異なります)

■arrows Tab WQ2/B1 の場合

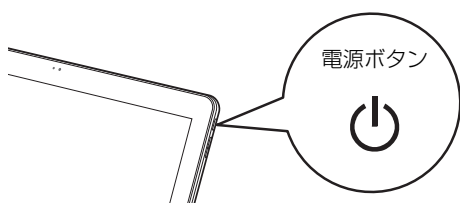
- ① AC アダプタに電源ケーブルを接続します。
- ② タブレット本体側面の DC-IN コネクタ (→ P.22) のカバーを開けて、DC-IN コネクタに接続します。
- ③ 電源プラグをコンセントに接続します。
AC アダプタに突起がある場合は、その面を下にして設置します。



(イラストは機種や状況により異なります)

Windows のセットアップをする

- 1 電源ボタン (⏻) を 2 秒ほど押し続けます。

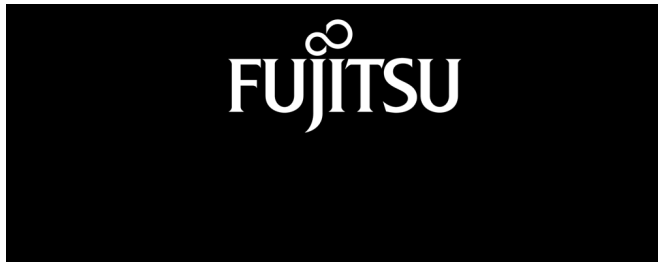


(イラストは機種や状況により異なります)

重要

- ▶ 「こんにちは」画面が表示されるまで絶対に電源を切らないでください。

2 「こんにちは」画面が表示されるまで、そのまましばらくお待ちください。



(これ以降の画面は機種や状況により異なります)

画面が何度か変化します。

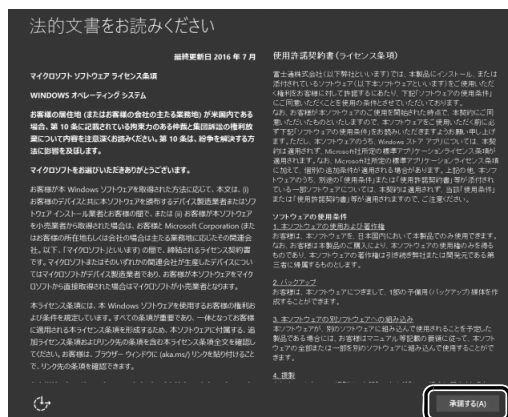


- しばらく操作をしないと省電力機能が働き、画面が真っ暗になることがあります。電源が切れたわけではありません。元の画面に戻すため、電源ボタン (⏻) をポチッと押してください。

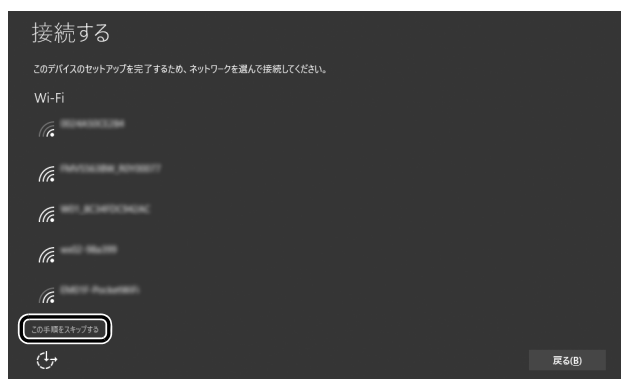
3 「こんにちは」画面が表示されたら、「次へ」をタップします。



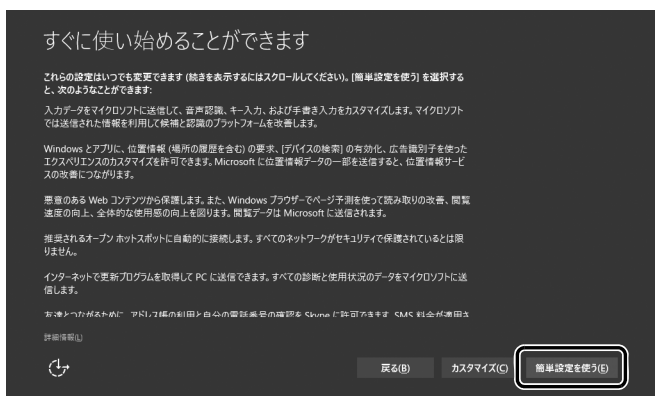
4 ライセンス条項をよく読みます。読み終わったら「承諾する」をタップします。



5 「この手順をスキップする」をタップします。



6 「簡単設定を使う」をタップします。



7 「このPC用のアカウントの作成」画面が表示されたら、ローカルアカウントを作成します。



①「ユーザー名」を入力します。

12文字以内の半角英数字(a～z、A～Z、0～9)でお好きな名前を入力してください。

②「次へ」をタップします。

Point

- ▶ インターネットに接続後、ローカルアカウントを Microsoft アカウントに切り替えるため、ここではパスワード入力の必要はありません。

8 Cortanaの説明画面が表示された場合は、「Cortanaを使う」をタップします。



9 「富士通サービス&サポートのご利用登録」の説明をよく読んで、ご利用登録をします。

富士通 サービス&サポートのご利用登録 (無料)

My Cloud アカウントの登録、サポートツールおよびセキュリティソフトの利用設定を行います。
登録にあたりメールアドレスが必須です。普段お使いのメールアドレスを正しく入力してください。

名 姓

国/地域

☒ 次の3項目のうちチェックした項目に関して、富士通・マカフィーが上記情報を利用することに同意する。(この項目のチェックを外すと情報の送信、ご利用登録は行われません)

☒ 富士通のサポート情報、提供する企業からのお知らせなどをメールで受信する。My Cloud アカウント利用規約に同意し、入力したメールアドレスを My Cloud アカウントとして登録する。
FMV サポート登録を簡略化するために、本(ペ)ンの型名・製造番号・保証開始日を富士通に送信する。(「My Cloud」は富士通が提供する(ペ)コンをより便利にお使い頂けるサービスです。既に登録済みの方は、登録されたメールアドレスを入力してください)

☒ サポートツール「富士通アドバイザー」の利用規約に同意し、有効にする

☒ セキュリティソフト「McAfee LiveSafe」使用許諾契約に同意して利用を開始し、メールアドレスを登録する(マカフィーの個人情報保護方針はプライバシーに関する声明でご確認ください)

次へ(N)

① My Cloud アカウント (マイ クラウド アカウント) の ID として登録するメールアドレスを入力します。ここで入力したメールアドレスは、「マカフィーリブセーフ」のメールアドレス登録にも使用されます。

② 「次へ」をタップします。

ここで入力するメールアドレスについて

● My Cloud アカウントをお持ちでない場合

My Cloud アカウントを取得すると富士通タブレットを快適にお使いいただけます。My Cloud アカウントの ID として登録するメールアドレスを入力します。パスワードのご連絡など重要な通知を行うため、通常よく使うメールアドレスを入力してください。

● My Cloud アカウントをお持ちの場合

登録済みのメールアドレスを入力していただければ、このタブレットの機種追加登録が簡単にできるようになります。

● メールアドレスをお持ちでない場合

何も入力しないで進めてください。メールアドレスを取得後、「富士通パソコンユーザー登録」をするときに My Cloud アカウントを取得できます。

※ メールアドレスを入力した場合は、富士通パソコンユーザー登録をするときに使用するため、「「はじめに行う設定」で初期設定する」の手順 6 (→ P.43) の記入欄に書きとめておくことをお勧めします。

Point

- ▶ 「名」「姓」は何も入力する必要はありません。
- ▶ 「国 / 地域」は選択する必要はありません。
- ▶ 「タブレットの状態を回復する」(→ P.71) を行った後などの再セットアップのとき、このタブレットが製品登録済みの場合は、①にメールアドレスの入力は必要はありません。

マカフィー リブセーフのユーザー登録で困ったときには

「マカフィー株式会社 テクニカルサポートセンター」へお問い合わせください。
電話：0570-060-033 (携帯電話からの場合：03-5428-2279)
受付時間：9:00 ～ 21:00 (年中無休)

10 デスクトップが表示されるまで待ちます。

デスクトップが表示されるまで画面が何回か変化します。



➡ この後は、「インターネットに接続する」(→ P.31)に進んでください。

インターネットに接続する

このタブレットをお使いになるときは、有線 LAN または無線 LAN でインターネットに接続してください。

マイクロソフト社のサービスを受けるために必要です。また弊社のインターネットを使用したサポートや各種サービスなどが活用できるようになります。

インターネット接続方法はご契約のプロバイダーにお問い合わせください

インターネットに接続するための設定方法や情報は、ご契約のプロバイダーから提供されます。プロバイダーの指示に従って、インターネット接続設定をしてください。



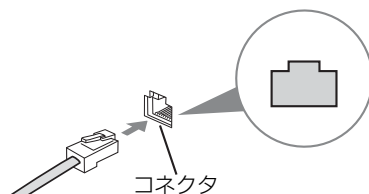
- ▶ データ通信カードやアダプター、モバイル Wi-Fi ルーターなどのデータ通信機器をお使いになりインターネットに接続する場合、設定および使用方法については、データ通信機器に添付のマニュアルをご覧ください。
- ▶ データ通信機器に関しては、ご契約のデータ通信サービス会社にお問い合わせください。

有線 LAN でインターネットに接続する（有線 LAN コネクタ搭載機種または LAN 変換ケーブル／アダプタ対応機種のみ）

有線 LAN をお使いになる場合は、LAN ケーブルをタブレット側の LAN コネクタに接続し、もう一方をお使いになるネットワーク機器のコネクタに接続します。



- ▶ コネクタ類の位置は「各部の名称について」（→ P.20）で確認してください。
- ▶ LAN ケーブルを接続するときは、コネクタの向きを確認してしっかり差し込んでください。



無線 LAN でインターネットに接続する（無線 LAN 搭載機種のみ）

ここでは、無線 LAN アクセスポイントと内蔵無線 LAN を使って、Windows 10 の標準機能でインターネットに接続する方法を紹介します。

重要

- ▶ 無線 LAN が搭載されていない場合は、有線 LAN または別売の無線 LAN アダプターをお使いください。
- ▶ 無線 LAN アクセスポイントは、パスワードを設定するなどセキュリティの設定をしてお使いになることをお勧めします。セキュリティの設定をしないと、通信内容を傍受されたり、ネットワークに侵入されたりする危険があります。
- ▶ 設定方法について詳しくは、無線 LAN アクセスポイントのマニュアルをご覧ください。設定方法についてわからないときは、無線 LAN アクセスポイントの製造会社に問い合わせてください。

- ▶ 5GHz 帯チャンネルに対応した無線 LAN 搭載モデルでは、タブレットを屋外で使う場合、電波法の定めにより 5GHz 帯の電波を停止する必要があります。

Point

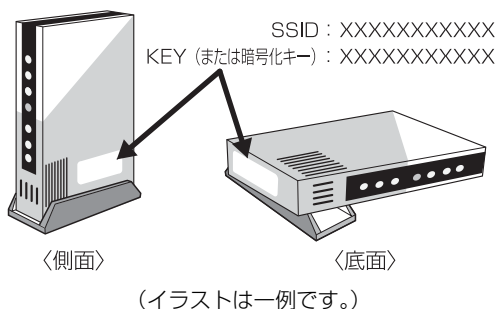
- ▶ 無線 LAN アクセスポイントではなくルーターなどと呼ばれる機器でも同じように設定できる場合があります。

Step1 無線 LAN アクセスポイントを設定する

別売の無線 LAN アクセスポイントを用意し、ネットワーク名と（SSID）パスワードを設定してください。

Point

- ▶ 無線 LAN アクセスポイントやルーターのパスワード（KEY、暗号化キーなど）は、出荷時に設定されている場合があります。その場合は、機器本体の側面や底面、またはマニュアルに記載されていることがあります。



Step2 タブレットの設定をする

Windows 10 の標準機能を使って無線 LAN の設定を行う方法を説明します。

- 1 無線 LAN アクセスポイントの電源が入っていることを確認します。**
無線 LAN アクセスポイントの電源の入れ方については、無線 LAN アクセスポイントに添付されているマニュアルをご覧ください。

- 2 通知領域の  をタップします。**

3 Step1 で設定した無線LANアクセスポイントのネットワーク名 (SSID) をタップします。

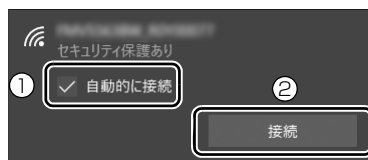


ネットワーク名 (SSID) が表示されず「無効」と表示されているときは、「Wi-Fi」をタップして「オン」にしてください。

Point

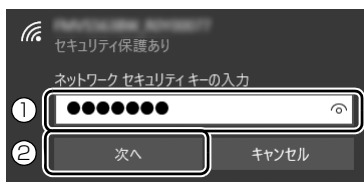
- ▶ セキュリティのためネットワーク名 (SSID) が表示されないようにしている場合は、「非公開のネットワーク」をタップし画面の指示に従って操作してください。「非公開のネットワーク」は画面下に隠れていることがあります。ネットワーク名の一覧を上スクロールしてください。

4 ①「自動的に接続する」の□をタップして☑にし、②「接続」をタップします。



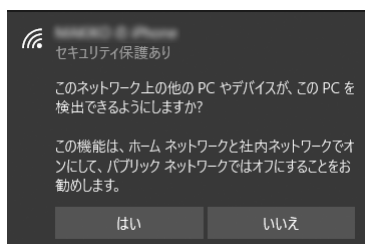
5 ① Step1 で設定した無線 LAN アクセスポイントのパスワードを入力し、②「次へ」をタップします。

「ルーターのボタンを押して接続することもできます。」と表示されていたら、無線 LAN アクセスポイント（ルーター）のボタンを押して接続できる場合があります。詳しくは、無線 LAN アクセスポイントのマニュアルをご覧ください。



6 「このネットワーク上の他の PC やデバイスが、この PC を検出できるようにしますか？」と表示されたら、お使いの状況に合わせ、「はい」か「いいえ」をタップします。

よくわからない場合は「いいえ」を選択してください。



7 正しく設定できたか確認します。

正しく設定できると、「接続済み」と表示されます。



Point

- ▶ 「接続済み」と表示されなかった場合は、もう一度、Step1 で設定した無線 LAN アクセスポイントの設定情報と、手順 5 で入力したパスワードを確認してください。
- ▶ 無線 LAN アクセスポイントで設定した内容と同じ情報をタブレットに設定しないと、ネットワークに接続できません。無線 LAN アクセスポイントの設定がわからない場合は、無線 LAN アクセスポイントのマニュアルをご覧ください。

これで無線 LAN を使ったインターネット接続は完了です。

➡ この後は、「Microsoft アカウントに切り替える」(→ P.35) に進んでください。

Microsoft アカウントに切り替える

Microsoft アカウントとは

マイクロソフト社が提供するサービスを利用するためのアカウントです。

「Office」(Office 搭載機種)、OneDrive、「ストア」などのサービスは、Microsoft アカウントがないと利用できません。

Microsoft アカウントで Windows にサインインすれば、マイクロソフト社の各サービスに一括でサインインできるようになり便利です。

できるだけ早く Microsoft アカウントに切り替えることをお勧めします。

Microsoft アカウント作成で困ったときは

Microsoft アカウントに切り替える操作については、日本マイクロソフト株式会社のサーバーにインターネットで接続して行っています。本書と異なる画面が表示された場合など、ご不明な点は日本マイクロソフト株式会社にお問い合わせください。

日本マイクロソフト株式会社 Answer Desk (アンサーデスク)

※ お電話で問い合わせると、「マイクロソフト コミュニティ」のご利用を案内される場合があります。

電話番号：0120-54-2244

受付時間：月～金／ 9:00 ～ 18:00、土・日／ 10:00 ～ 18:00 (祝祭日、指定休業日を除く)

マイクロソフト コミュニティ

URL：http://answers.microsoft.com/ja-jp/

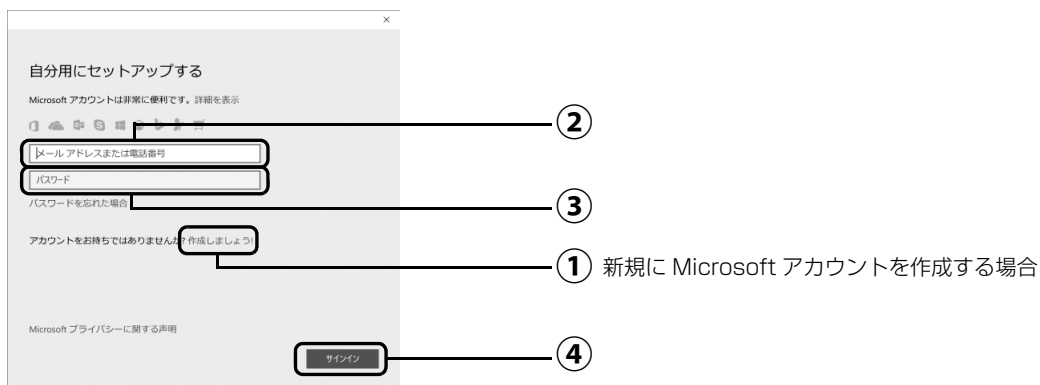
Microsoft アカウント切り替え方法

1 画面左下の   (設定) ▶ 「アカウント」の順にタップします。

2 ① 「ユーザーの情報」をタップし、② 「Microsoft アカウントでのサインインに切り替える」をタップします。



3 「自分用にセットアップする」が表示されたら、次のように操作します。



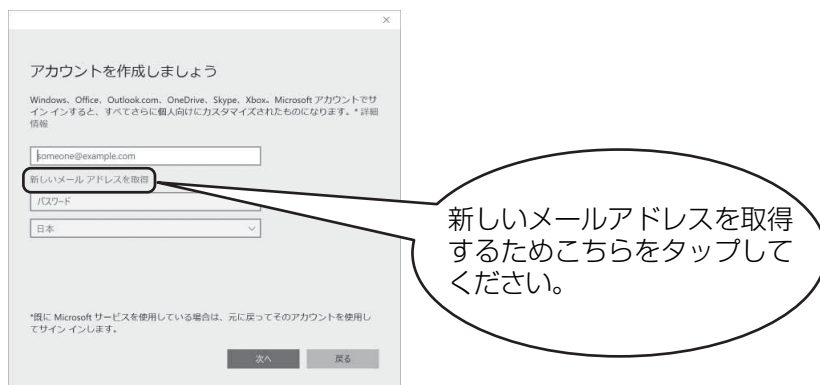
■新規に Microsoft アカウントを作成する場合

- ①「作成しましょう！」をタップします。
手順 4 に進んでください。

■すでにお持ちの Microsoft アカウントに切り替えたい場合

- ② Microsoft アカウントを入力し、③ パスワードを入力し、④「サインイン」をタップします。
手順 9 に進んでください。

4 「アカウントを作成しましょう」が表示されたら「新しいメールアドレスを取得」をタップします。



5 Microsoft アカウントになるメールアドレスを新規に作成します。

アカウントを作成しましょう

Windows, Office, Outlook.com, OneDrive, Skype, Xbox, Microsoft アカウントでサインインすると、すべてさらに個人向けにカスタマイズされたものになります。* 詳細情報

kaj-microsoft@outlook.jp は使用できます。

①

②

③

次へ

- ① Microsoft アカウント（メールアドレス）として使いたい文字列を入力します。
半角英数字（a～z、A～Z、0～9）およびピリオド（.）、ハイフン（-）、下線（_）のみ使用できます。
入力後、「このメールアドレスは既に使われています。」と表示された場合は、別のメールアドレスを入力するか、「次の中から選んでください」をタップして表示される候補からメールアドレスを選択します。
- ② パスワードを入力します。

【パスワードの作成例】

半角英字

半角数字

半角記号

ab1-c23d4

8文字以上

安全性を高めるため、8文字以上で、半角英数字（a～z、A～Z、0～9）および半角記号を組み合わせで作成してください。

※ 例とまったく同じ文字をパスワードとして使わないでください。

- ③ 「次へ」をタップします。

Point

- ▶ 「次へ」をタップしたとき、「日本」の上に「この情報は必須です。」というメッセージが表示され、次に進めないことがあります。その場合は「日本」の右側の ▾ をタップし、「日本」を選択しなおしてから、再度「次へ」をタップしてください。

6 次の欄に手順5で作ったMicrosoftアカウントを記入します。

Windows のサインインのときや、「Office」をインストールするときにも必要です。

Microsoftアカウント

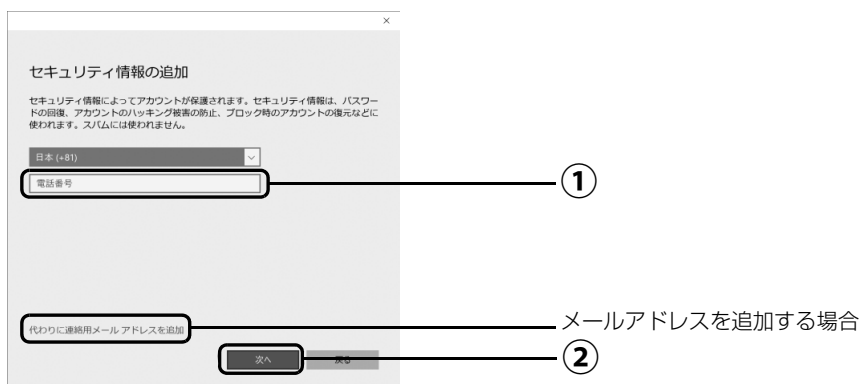
@

※パスワードも、絶対に忘れないようにしてください。

※ 記入した情報は、第三者に漏れないように充分に注意して管理してください。

7 パスワードを忘れた場合のセキュリティ情報を入力します。

ここで入力した情報で、パスワードを再設定することができます。
「電話番号」と「連絡用メールアドレス」のどちらか 1 つを必ず入力してください。



■電話番号を追加する場合

- ① 電話番号を入力します。固定電話と携帯電話（スマートフォンを含む）、どちらの番号も使用できます。
本人確認をするときに必要になります。すぐに対応できる電話番号を入力してください。
- ② 「次へ」をタップします。

■メールアドレスを追加する場合

「代わりに連絡用メールアドレスを追加」をタップします。
メールアドレスの入力画面が表示されたら、メールアドレスをセキュリティ情報に追加します。



- ① 以前から使用しているメールアドレスを入力します（携帯電話およびスマートフォンのメールアドレスを除く）。本人確認をするときに必要になります。すぐに対応できるメールアドレスを入力してください。
- ② 「次へ」をタップします。

8 「最も関連の高いものを表示」が表示されたら、「次へ」をタップします。



9 「現在の Windows パスワード」は空欄のまま、「次へ」をタップします。

「Windows をセットアップする」の手順 7 (→ P.28) でローカルアカウントを取得したときにパスワードを設定した場合はパスワードを入力します。



ローカルアカウント取得時にパスワードを設定していない場合は空欄で「次へ」をタップします。
パスワードを設定している場合は、パスワードを入力してください。

10 「PIN のセットアップ」が表示されたら、①「PIN の設定」をタップします。

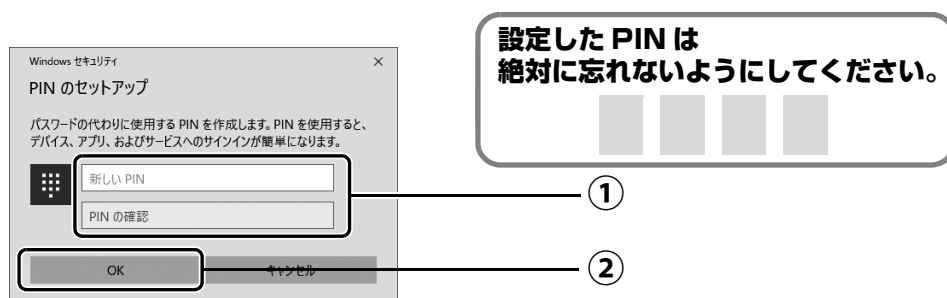


PIN は、このタブレットでのみ Microsoft アカウントのパスワードの代わりに使えます。
※ 代わりに使えない場合もあります。

「PINが長いパスワードより安全なのはなぜですか?」をタップすると説明がご覧になれます。

①

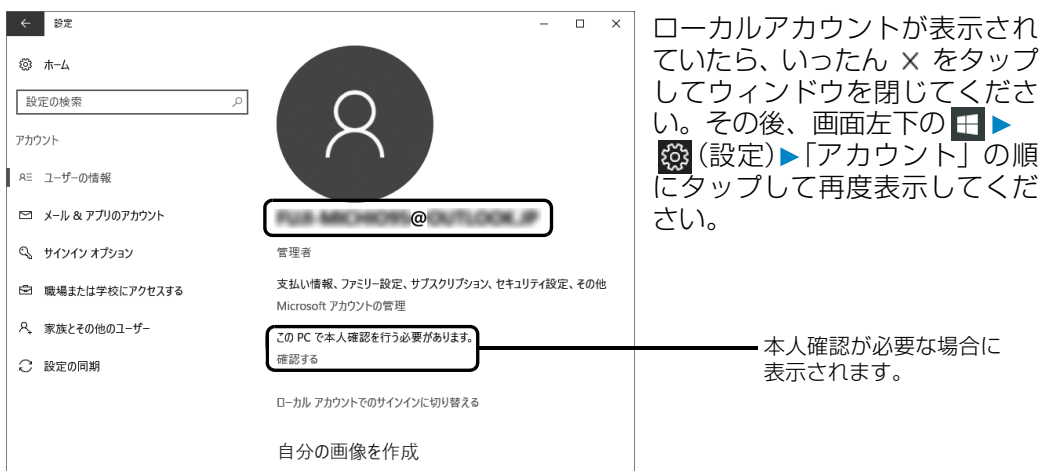
- # 11
- ①数字 4 桁を上段に入力し、下段にも同じ数字 4 桁を確認入力し、
 - ②「OK」をタップします。



Point

- ▶ PIN はアカウントの切り替え後に設定や変更ができます。[スタート] [設定] (設定) ▶「アカウント」▶「サインインオプション」の順にタップし、右側に表示された「PIN」から設定してください。

- # 12
- 「アカウント」の「ユーザーの情報」画面に戻ったら、作成した Microsoft アカウントが表示されていることを確認します。



Point

- ▶ 他のパソコンやタブレットで取得済みの Microsoft アカウントに切り替えた後など、このタブレットを快適にお使いになるために、本人確認を行う必要がある場合があります。「確認する」をタップし、その後は画面の指示に従って操作してください。

- # 13
- 画面左下の [スタート] [電源] (電源) ▶「シャットダウン」の順にタップします。ここで、いったんシャットダウンしてください。

➡ この後は、「はじめに行う設定」で初期設定する (→ P.41) に進んでください。

「はじめに行う設定」で初期設定する

「はじめに行う設定」から、タブレットを快適にお使いになるために必要な初期設定を行ってください。

1 電源ボタン（）を 2 秒ほど押し続けます。

2 ロック画面が表示されたら、下から上にスライドします。

スライドとは画面に指を押しつけながら動かす操作です。



（これ以降の画面は機種や状況により異なります）

（ロック画面）

3 PIN を入力します。

「Microsoft アカウント切り替え方法」の手順 11（→ P.40）で設定した PIN です。

point

- ▶ PIN の設定をしていない場合は「Microsoft アカウント切り替え方法」の手順 6（→ P.37）で記入したパスワードを入力し、 をタップします。

4 10 秒程度待ちます。

デスクトップに「はじめに行う設定」ウィンドウが自動で表示されます。

5 「ようこそ！」画面で、「次へ進む」をタップします。



Point

- ▶ 「はじめて行う設定」の **X** をタップし、「終了」をタップした場合は、未確認のページがあるため、タブレットを再起動したときに、「はじめて行う設定」が自動起動されます。
- ▶ 「はじめて行う設定」は次のように起動することもできます。
 ▶ 「FUJITSU - はじめて行う設定」▶ 「はじめて行う設定」の順にタップします。「はじめて行う設定」は下の方に隠れているのでスクロールして表示してください。

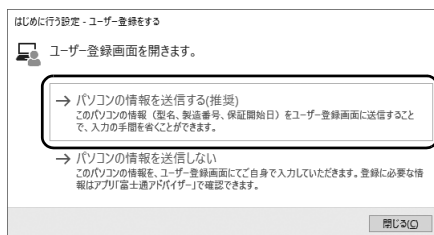
6 「パソコンのユーザー登録」画面が表示されたら、次のように操作し、富士通パソコンユーザー登録を行います。

ユーザー登録済の方は製品情報の追加登録を行います。



富士通パソコンユーザー登録を行い、ご購入されたタブレットとお客様の情報を、富士通に登録していただくと1年間の無料電話相談などの手厚いサポートや専用の充実したサービスをご利用いただけます（入会費・年会費無料）。

1. 「パソコンのユーザー登録を開く」をタップします。
2. 「はじめに行う設定 - ユーザー登録をする」ウィンドウが表示されたら、「パソコンの情報を送信する（推奨）」をタップします。
3. 「Microsoft Edge」が起動したら、画面の指示に従って富士通パソコンユーザー登録または製品情報の追加登録を行います。



Point

- ▶ メールアドレスを入力する画面が表示された場合は、Windows のセットアップ中の「富士通サービス&サポートのご利用登録」（→P.29）でご登録いただいたメールアドレスを入力してください。

発行されたユーザー登録番号と My Cloud ID として設定したメールアドレスを、記入しましょう。

- ユーザー登録番号はお問い合わせや修理依頼のときに必要です。

ユーザー登録番号	
メールアドレス (My Cloud ID)	@

※パスワードも、絶対に忘れないようにしてください。

※ 記入した情報は、第三者に漏れないように充分に注意して管理してください。

7 「Officeをセットアップ」画面が表示された場合は、「セットアップの手順を開く」をタップします。



「Office」のセットアップ方法を説明するページが表示されます。よく読んで必要に応じてセットアップをしてください。

Office のセットアップで困ったときは

「日本マイクロソフト株式会社 Answer Desk（アンサーデスク）」にお問い合わせください。

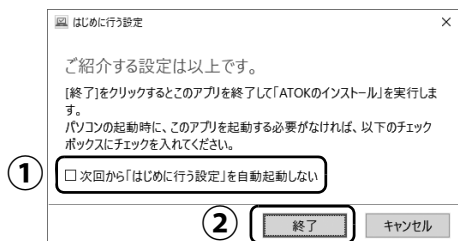
電話番号：0120-54-2244

受付時間：月～金／9:00～18:00、土・日／10:00～18:00
（祝祭日、指定休業日を除く）

8 「ATOKをインストール」画面が表示されたら、「ATOKのインストールを実行」をタップします。



9 「はじめて行う設定」を終了します。

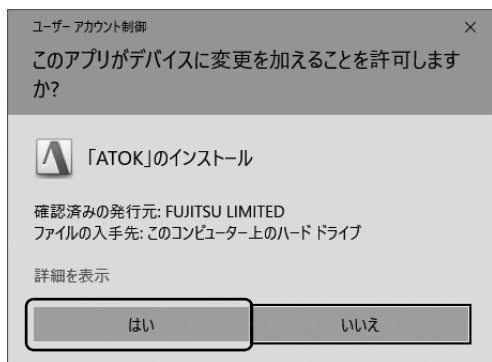


- ① 「次回から「はじめて行う設定」を自動起動しない」をタップし、☒ にします。

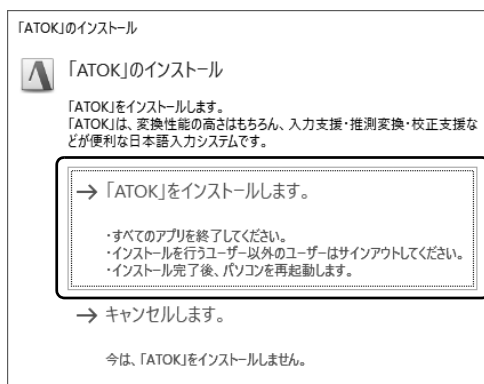
タブレットを再起動したときに、「はじめて行う設定」が表示されなくなります。

- ② 「終了」をタップします。

10 「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示されたら、「はい」をタップします。



11 「「ATOK」をインストールします。」をタップします。 「ATOK」のインストールが開始されます。しばらくお待ちください。



12 「「ATOK」のインストールを完了するには、パソコンを再起動する 必要があります。」と表示されたら、「はい」をタップします。 再起動後に「ATOK」が使えるようになります。

これでセットアップは完了です。

この後の使い方

このタブレットの機能を充分活用するために、セットアップ後にやっておくとよいことをご紹介します。

『取扱説明書<活用ガイド>』を読む

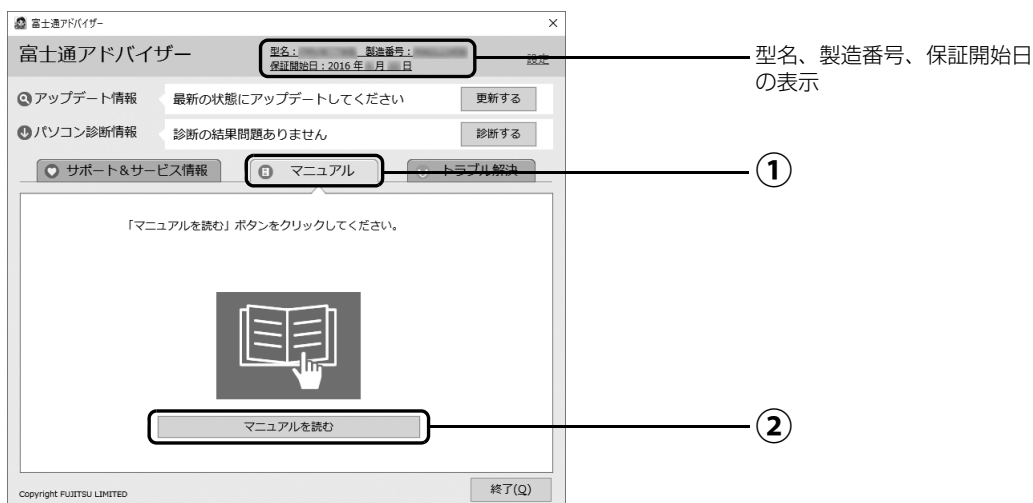
📖『取扱説明書<活用ガイド>』にはこのタブレットに搭載されている機能やアプリを使いこなすための情報が掲載されています。必要に応じてお読みください。

■ 富士通アドバイザーを使って 📖『取扱説明書<活用ガイド>』を読む

1 ▶「富士通アドバイザー」▶「富士通アドバイザー」の順にタップします。

2 ①「マニュアル」タブをタップし、②「マニュアルを読む」をタップします。

📖『取扱説明書<スタートガイド>』および 📖『取扱説明書<活用ガイド>』が、まとめて表示されます。



Point

- ▶ 「このファイルを開く方法を選んでください」と表示された場合は、「Microsoft Edge」が選択されていることを確認して、「OK」をタップしてください。
- ▶ セットアップ直後はネットの状況やタイミングによってダウンロードに時間が掛かることがあります。お急ぎの場合は「型名、製造番号、保証開始日の表示」をタップし、このタブレットの「機種別サポート情報・ダウンロード」ページを表示し、📖『取扱説明書<活用ガイド>』をダウンロードしてください。

■『取扱説明書＜活用ガイド＞』の内容

●各部の名称と働き

本製品の各部分の名称と働きについて説明しています。

●取り扱い

本製品の基本的な取り扱い方法について説明しています。主な掲載内容は次のとおりです。

- ・ Windows のスタート／終了方法
- ・ キーボード、フラットポイント、メモリーカードなど各部の取り扱い方法
- ・ 音量や画面の明るさの調節
- ・ お手入れの方法

●バックアップ

本製品に搭載されている「バックアップガイド」を使って大切なデータをコピー（バックアップ）する方法を説明しています。

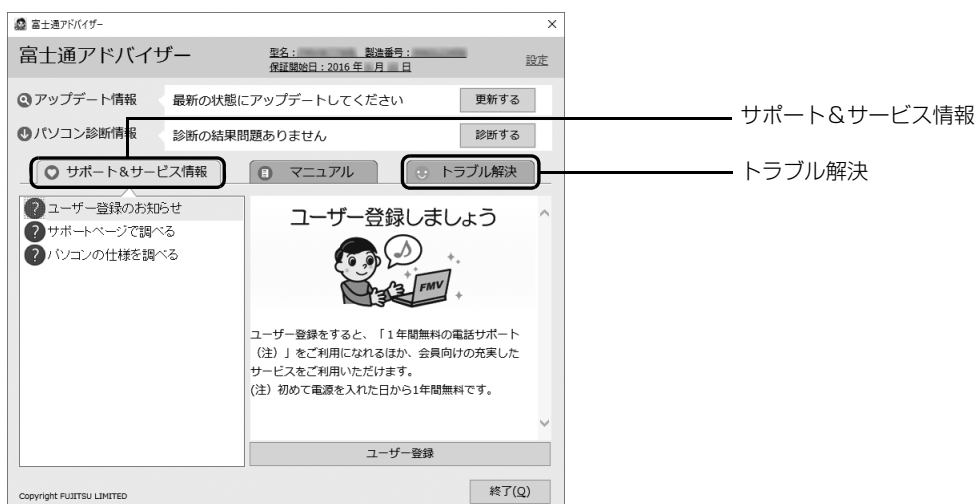
●使いこなすために

本製品ならではの機能のご紹介や、本製品を使いこなすための細かい設定方法などを説明しています。

- ・ @メニュー、My Cloud プレイ、ステータスパネルスイッチなどの搭載アプリの説明
- ・ スリープや節電方法
- ・ ディスプレイ、サウンド、通信の設定
- ・ BIOS の設定

「富士通アドバイザー」を活用する

『取扱説明書＜活用ガイド＞』を読むだけでなく、タブレットを安心・快適にお使いいただくためのさまざまな情報を入手できます。



■サポート＆サービス情報

受信したお知らせが左側に一覧表示されます。

- 使いはじめの時期のお役立ち情報
- Windows 10 の基本的な使い方、古いパソコンやタブレットからのデータの移行方法、写真の取り込み方などの、使いはじめの時期に役立つ情報をお知らせします。

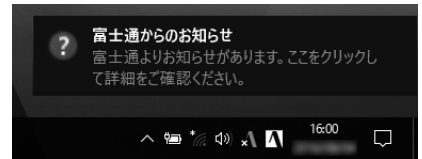
● 緊急のお知らせ

Windows やアプリのセキュリティ危機、障害などが発生したときに、対処方法を配信します。



- ▶ 新しくお知らせを受信した場合は、通知領域にメッセージが表示されます。タップすると、「富士通アドバイザー」が起動して、お知らせの詳細を確認することができます。

・メッセージが消えてしまったときは、▶「富士通アドバイザー」▶「富士通アドバイザー」の順にタップして「富士通アドバイザー」を起動してください。



■ トラブル解決

- 「Windows 10 基本操作クイックガイド」をご覧ください。

● Q&A

タブレットでよくあるトラブル（起動・終了時、Windows、アプリ関連など）について解決方法を調べることができます。

■ 「富士通アドバイザー」（スマートフォン版）のご紹介

「富士通アドバイザー」（スマートフォン版）をご利用いただくと、万が一、タブレットが起動しなかったり、インターネットに接続できなかったりする場合でも、サポート情報やマニュアルをご覧ください。

※Android 4.0 以上、iOS7.0 以上を搭載したスマートフォンが必要です。

※「富士通アドバイザー」（スマートフォン版）の利用設定が必要です。

□ ダウンロード手順

1. 富士通アドバイザーアプリのダウンロードページを開きます。
<http://azby.fmworld.net/support/mycloudapps/download/#fjadviser>



スマートフォンから

2. Google play バナーまたは App Store のバナーをタップして、アプリをダウンロードします。



回復ドライブを作成する

回復ドライブを作成しておく、Windows が起動しないなど、タブレットに問題が発生したときに、修復できる場合があります。できるだけ早く作成することをお勧めします。

※ サポートページでは画面例のある詳しい手順を公開しています。必要に応じて Q&A ナンバー「7410-8229」を検索してご覧ください (→ P.64)。

32GB 以上の容量を持つ USB メモリを用意してください

- 回復ドライブは 1 つの USB メモリで作成してください
容量が 32GB に満たない USB メモリを複数用意しても作成できません。Blu-ray Disc や DVD には作成できません。
- 回復ドライブを作成すると USB メモリに作成前に記録していたデータはすべて削除されます
必要なデータはバックアップをとってください。
- 回復ドライブを作成後に、データを追加することはできません
- 回復ドライブにした USB メモリは、他の用途には使えません
- すべての USB 対応機器の動作を保証するものではありません。
- 一部の USB メモリの中には、Windows 10 の回復ドライブの作成に対応していないものがあります。

※ 暗号化機能 (パスワード) 付きの USB メモリの使用について

- 暗号化機能 (パスワード) が搭載されている場合、回復ドライブを作成したときに、USB メモリ内の暗号化ソフトが削除される可能性があります。暗号化機能を再度使用したい場合は、事前に暗号化ソフトを提供元のホームページなどから入手可能かどうかをご確認ください。
- 一部の高性能な USB メモリでは、暗号化機能が削除されないものがあります。起動時に USB メモリの内容を読み込めるかどうかは、USB メモリの提供元にご確認ください。

■ 回復ドライブを作成する上での注意

- 回復ドライブの作成に使用する USB メモリ以外の、USB メモリや外付けハードディスクは、必ず取り外してください
接続したまま操作すると、大切なデータが消去されてしまう可能性があります。
- 管理者アカウントで Windows にサインインしていることを確認してください
セットアップ時に作成したアカウントは管理者アカウントです。
- 作成した回復ドライブは紛失しないよう大切に保管してください
- 必ず AC アダプタを接続してください

■ 回復ドライブの作成手順

-  「FUJITSU- バックアップガイド」▶「バックアップガイド」の順にタップします。
「FUJITSU- バックアップガイド」が見つからないときは画面を上スクロールしてください。
- 「バックアップガイド」が表示されたら、「次へ」ボタンをタップします。
- 「回復ドライブを作成する」欄にある「回復ドライブの作成」をタップします。
「ユーザーアカウント制御」が表示されたら、「はい」ボタンをタップします。
- 「回復ドライブの作成」という画面が表示されたら、「システムファイルを回復ドライブにバックアップします。」にチェックを付け、「次へ」をタップします。
- 「USB フラッシュドライブの接続」という画面が表示されたら、タブレットの USB コネクタに 32GB 以上の USB メモリを接続します。
- 「USB フラッシュドライブの選択」という画面が表示されたら、「使用可能なドライブ」欄に USB メモリを接続したドライブが表示されていることを確認し、「次へ」をタップします。
- 「作成」をタップします。
回復ドライブの作成が完了するまで、しばらく待ちます。
- 「回復ドライブの準備ができました」と表示されたら、「完了」をタップします。
- ✕ をタップし「バックアップガイド」を閉じます。

バックアップをとる

タブレットが起動しなくなってしまった場合に備え、定期的にバックアップをとりましょう。
詳しくは、『取扱説明書＜活用ガイド＞』の「バックアップ」(→ P.133)をご覧ください。

■ バックアップガイド

Windows 10 に搭載されたバックアップ機能の設定手順のガイドを表示し、設定ウィンドウを簡単に表示するアプリです。「バックアップガイド」を利用し、各機能を組み合わせて効率的にバックアップをとりましょう。

□「ファイル履歴」および「個人ファイルの復元」

日々作成する写真やドキュメントなどのデータを、外付けハードディスクや USB メモリなどにバックアップします。定期的にバックアップすることをお勧めします。

□システムイメージバックアップ

外付けハードディスクなどに、システム全体のバックアップをとります。セットアップ直後や大きな変更を加えたときにとっておけば、その時点の状態に戻すことができます。

『ソフ得』ソフト使い放題

『ソフ得』ソフト使い放題は、100 種類以上、総額 44 万円相当のアプリが、月額 540 円 (税込) で使い放題になる大変便利なサービスです。お申し込みいただくとすぐに、使いたいアプリを使いたいときに、いくつでもダウンロードして使用できます。

■ こんなアプリが使えます

- ・ パソコン高速化ソフト「Wise Care 365 Pro」
 - ・ 漢字学習ソフト「らくらく漢字脳 中級」
 - ・ パソコンゲーム「IT 麻雀」
 - ・ 写真編集ソフト「かんたん写真編集 3」など …
- (2016 年 12 月時点取り扱いアプリ)

使用できるすべてのアプリや使い方の詳細については、ホームページをご覧ください。

<http://azby.fmworld.net/bm/st3/>

Point

- ▶ ご利用にあたって必要となる環境などは、次のとおりです。
 - ・ インターネットへの接続
 - ・ My Cloud アカウント
 - 『ソフ得』のお申し込み手続きのときに取得することもできます。
 - ・ クレジットカード
- ご利用料金のお支払いはクレジットカードのみとなります。

■ 使い放題ツール

『ソフ得』ソフト使い放題をご利用になるには、「使い放題ツール」が必要になります。「使い放題ツール」では、サービスへのお申し込み、アプリのインストール、インストールしたアプリの管理を行います。

▶「ソフト使い放題 セットアップ」▶「ソフト使い放題 セットアップ」の順にタップすると「使い放題ツール」のインストールが開始されます。

※「使い放題ツール」のインストールは無料です。

動画でこのタブレットの使い方を学ぶ

「動画でわかる FMV・arrows Tab」から、このタブレットのさまざまな使い方を説明した動画をご覧になれます。難しそうな操作も動画で観れば、理解しやすくなります。参考に活用してください。

※ 動画をご覧になるにはインターネットに接続する必要があります。

■ 動画を観るには

1. ▶「動画でわかる FMV・arrows Tab」の順にタップします。
2. 「動画でわかる FMV・arrows Tab」が表示されたら、観たい動画をタップします。



(タイルの表示は機種や状況により異なります)

■ このような動画が観られます

- Windows 10 の基本的な操作方法
 - タブレットの設定やデータを保存する手順
 - 写真の取り込み方
 - Office を始める準備
 - 「パソコン乗換ガイド」の手順
 - 「PaintShop Pro」の使い方
- ※ 機種により対象外の動画もあります。

キーボードなどを使う

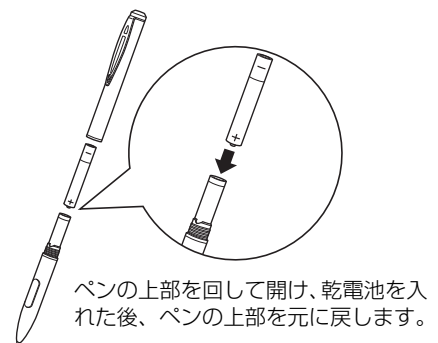
このタブレットに添付のキーボードなどの使い方をご紹介します。
詳しい説明は、「取り扱い」(→ P.104)をご覧ください。

Point

- ▶ カバーキーボード、カバー付きキーボードを取り付けたり、取り外したりすると、Windows 10 の「コンティニュウム」機能が自動的に起動し、モードの切り替えを確認するメッセージが表示されます。この機能を使って、キーボードの取り付け、取り外しと連動して簡単にデスクトップモードとタブレットモードを切り替えることができます。デスクトップモードとタブレットモードについては、『Windows 10 基本操作クイックガイド』をご覧ください。

スタイラスペンを使う (arrows Tab RH77/B1 のみ)

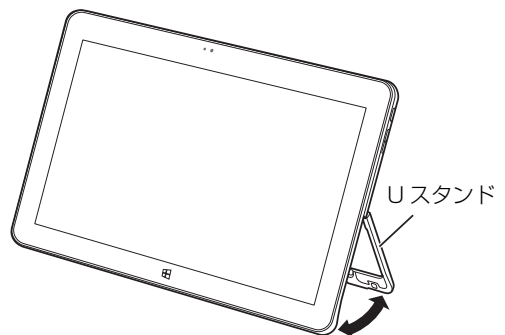
スタイラスペンを使うときは、次のように添付の乾電池を入れます。
スタイラスペンやペンホルダーの使い方について詳しくは、「スタイラスペン」(→ P.126)をご覧ください。



U スタンド、カバーキーボードを使う (arrows Tab RH77/B1 のみ)

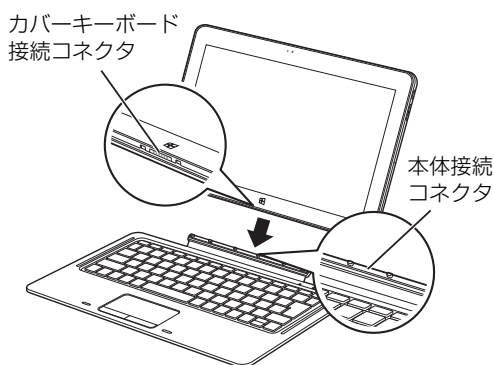
■ U スタンドを開く／閉じる

図のようにU スタンドを開閉できます。また、U スタンドを開くと、タブレット本体を立てて使えます。



■ カバーキーボードを取り付ける

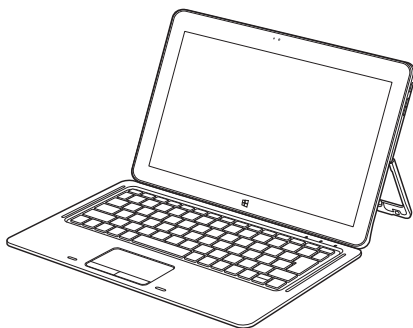
タブレット本体のカバーキーボード接続コネクタと、カバーキーボードの本体接続コネクタの位置を合わせながら固定されるまで近づけます。



■ カバーキーボードを取り付けたときの使い方

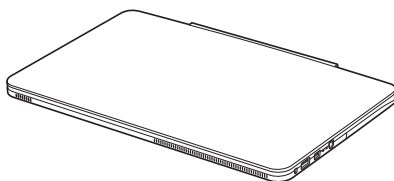
□ キーボードスタイル

U スタンドを開いてタブレット本体を立てると、ノートパソコンと同じ感覚でキーボードとフラットポイントを操作できます。



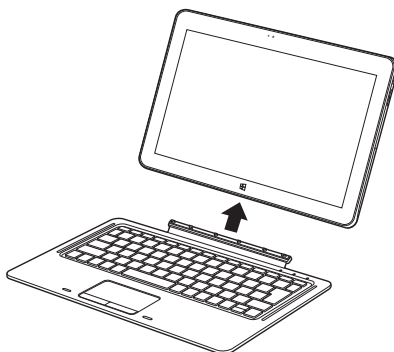
□ 持ち運びスタイル

キーボードをたたんで持ち運べます。キーボードをたたむときは、タブレット本体とカバーキーボードの間に、物をはさまないように注意してください。



■ カバーキーボードを取り外す

タブレット本体とカバーキーボードをしっかりと持って、タブレット本体を引っ張ります。

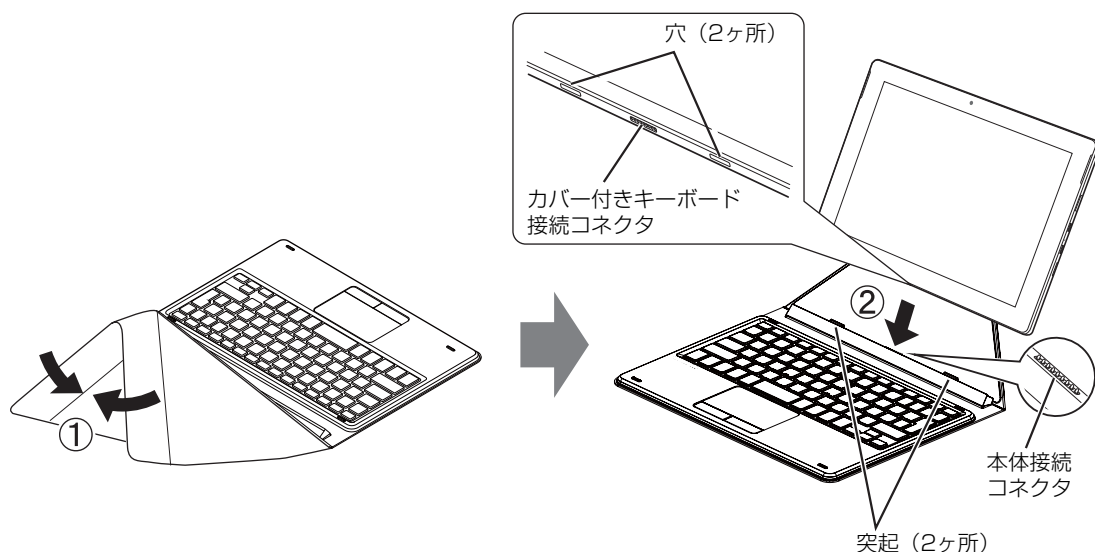


カバー付きキーボードを使う (arrows Tab QH35/B1 のみ)

■ キーボードスタイルで使う

ノートパソコンと同じ感覚でキーボードとフラットポイントを操作できます。

- ① カバーを矢印の方向に、固定されるまで折り曲げます。
- ② タブレット本体のカバー付きキーボード接続コネクタと、カバー付きキーボードの本体接続コネクタの位置を合わせながら近づけ、タブレット本体の穴 (2ヶ所) にカバー付きキーボードの突起 (2ヶ所) を差し込むようにして固定します。



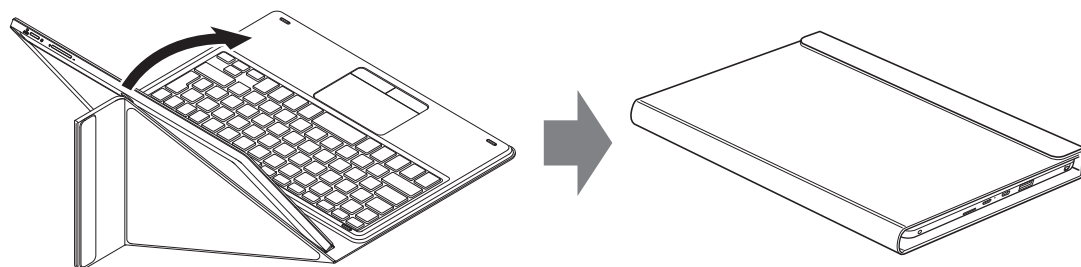
■ 持ち運びスタイルにする

カバーをたたんで持ち運べます。

カバーをたたむときは、タブレット本体とカバー付きキーボードの間に、物をはさまないように注意してください。

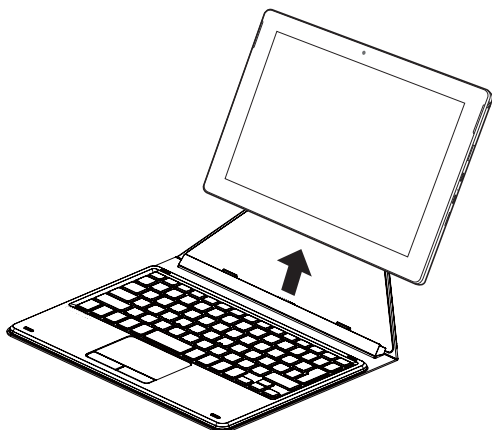
- ① 上記の「キーボードスタイルで使う」の手順に従って、タブレット本体をカバー付きキーボードに取り付けます。
- ② 図の矢印のように、キーボードと重ね合わせるように、タブレット本体をカバーと一緒に倒した後、カバーを開いて折り曲げます。

タブレット本体を倒すとき、タブレット本体を落とさないように注意してください。



■ カバー付きキーボードを取り外す

タブレット本体と、キーボードの部分をしっかりと持って、タブレット本体を引っ張ります。



スリムキーボード／軽量スリムキーボードを使う（arrows Tab WQ2/B1 のみ）

タブレット本体と一緒に購入されていない場合は、別売として用意されています。

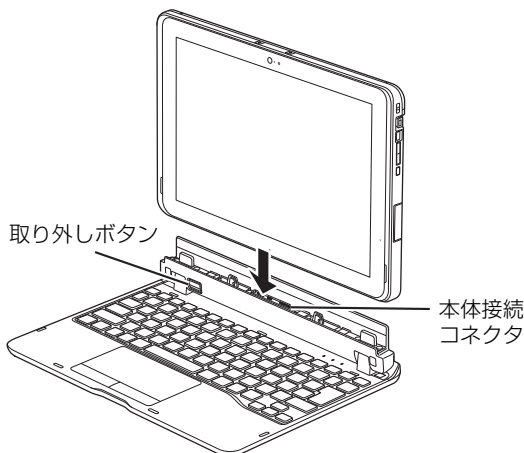
この項目の以降の説明では、スリムキーボードと軽量スリムキーボードをまとめて「スリムキーボード」と表記しています。

■ スリムキーボードを取り付ける

- ① タブレット本体のコネクタから、周辺機器を取り外します。
- ② スリムキーボードの本体接続コネクタ部を90°に開きます。
- ③ スリムキーボードの取り外しボタンを押して、赤いマークを確認します。

- ④ スリムキーボードとタブレット本体を接続します。

本体接続コネクタと、タブレット本体のドッキングコネクタ（→ P.22）の位置を合わせて、タブレット本体をまっすぐ下ろし、「カチッ」と音がするまでしっかりと取り付けます。



（イラストは機種や状況により異なります）

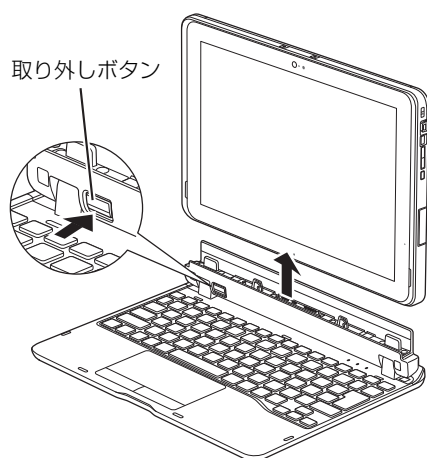
- 挿入のしかたによっては、「カチッカチッ」と2回音がする場合があります。
- ⑤ 接続後、タブレット本体を軽く引っ張り、きちんとロックされているか確認します。ロックされていない場合は、取り外しボタンを押してタブレット本体をいったん取り外してから、もう一度取り付けてください。

■ スリムキーボードを取り外す

- ① タブレット本体とスリムキーボードを90°に開きます。
- ② スリムキーボードの取り外しボタンを押し、タブレット本体をまっすぐ持ち上げます。

重要

- ▶ スリムキーボードの取り外しボタンを押す前に、タブレット本体を持ち上げないでください。タブレット本体を持ち上げていると、スリムキーボードの取り外しボタンが押せない場合があります。
- ▶ スリムキーボードの取り外しは、キーを押さないように注意してください。



(イラストは機種や状況により異なります)

困ったときは

メールや Office で困ったときは

「Outlook」（メールアプリ）や「Word」、「Excel」などの Office の製品については、アプリ提供元の日本マイクロソフト株式会社にお問い合わせください。

オフィス ホーム ビジネス プレミアム Office Home & Business Premium オフィス パーソナル プレミアム Office Personal Premium オフィス モバイル Office Mobile エクセル ワンノート アウトLOOK 「Excel」、「OneNote」、「Outlook」、 「PowerPoint」、「Word」、「楽しもう！ Office ライフ」、「楽しもう フォト ウィザード」のお問 い合わせ先もこちらです。

※ 搭載されているアプリはお使いの機種により異なります。

ウイルス対策アプリなどで困ったときは

マカフィー リブセーフのお問い合わせ先

マカフィー リブセーフ	マカフィー株式会社 URL : http://www.mcafee.com/japan/home/support/ ①テクニカルサポートセンター インストール方法、製品削除など技術に関するお問い合わせ窓口 電話 : 0570-060-033 (IP 電話からの場合 : 03-5428-2279) 受付時間 : 9:00 ~ 21:00 (年中無休) お問い合わせフォーム : http://www.mcafee.com/japan/home/support/tsquery/ ②カスタマーサービスセンター ご契約の更新、ご契約期間の確認など、ご契約に関するお問い合わせ窓口 電話 : 0570-030-088 (IP 電話からの場合 : 03-5428-1792) 受付時間 : 9:00 ~ 17:00 (土・日・祝祭日を除く) お問い合わせフォーム : http://www.mcafee.com/japan/home/support/csquery/ マカフィー リブセーフの有効期限まで、サポートいたします。
-------------	--

「マカフィー リブセーフ 3 年無償版」をご利用いただけます。

その他のアプリのお問い合わせ先

本製品に搭載されているアプリで、次の「アプリ提供会社がサポートするアプリ」以外は弊社がサポートいたします。

※ 搭載されているアプリはお使いに機種により異なります。

■アプリ提供会社がサポートするアプリ

D	DigiBook®Browser for FUJITSU	株式会社 DigiBook 電話 : 03-6805-9240 FAX : 03-5468-1250 受付時間 : 10:00 ~ 17:00 (土・日・祝祭日を除く) URL : https://secure.digibook.net/contact/ E メール : info@digibook.net
I	i-フィルター	デジタルアーツ株式会社 サポートセンター 電話 : 0570-00-1334 受付時間 : 10:00 ~ 18:00 (指定休業日を除く) URL : http://www.daj.jp/faq/ お問い合わせフォーム : http://www.daj.jp/ask/ 試用期間中、サポートいたします。
か 行	学研パーソナル英和辞典 学研パーソナル和英辞典 学研パーソナル現代国語辞典 学研パーソナル版漢字辞典	株式会社学研教育出版 デジタルコンテンツ事業室 電話 : 03-3493-3286 (辞書データについてのお問い合わせ先) 受付時間 : 10:00 ~ 12:00、13:00 ~ 17:00 (土・日・祝祭日を除く) 辞書のひき方や、「電子辞書」の使い方については「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」(→ P.67) へお問い合わせください。
	広辞苑第六版	株式会社岩波書店 電子出版編集部 電話 : 03-5210-4082 (辞書データについてのお問い合わせ先) 受付時間 : 13:00 ~ 17:00 (土・日・祝祭日を除く) 辞書のひき方や、「電子辞書」の使い方については「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」(→ P.67) へお問い合わせください。

※ 搭載されているアプリはお使いの機種により異なります。

さ 行	新和英中辞典第 5 版 リーダーズ英和辞典第 3 版	株式会社研究社 電子出版室 電話：03-3288-7711（辞書データについてのお問い合わせ先） 受付時間：10:00～12:00、13:00～17:00（土・日・祝祭日を除く） 辞書のひき方や、「電子辞書」の使い方については「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」（→ P.67）へお問い合わせください。
	ソフト使い放題	株式会社オプティム ソフト得 ソフト使い放題サポートセンター 電話：ご契約前のお客様 03-6435-8566 ご契約後のお客様 050-3734-4960 受付時間：10:00～18:00（年中無休） FAQ： http://azby.fmworld.net/monthly/faq.html?unlimitedfrom=unlimitedNavi_faq#unlimited お問い合わせフォーム： http://www.optim.co.jp/contents/12049
は 行	筆ぐるめ 24	富士ソフト株式会社 インフォメーションセンター 電話（ナビダイヤル）：0570-550-211 （IP 電話 /PHS の場合：03-5638-6139） 受付時間：9:30～12:00、13:00～17:00 （土日、祝祭日、及び弊社休業日を除く／11 月 1 日から 12 月 30 日までは無休（12 月 30 日は 12:00 まで）） URL： http://www.fudegurume.jp/ E メール：users@fsi.co.jp

※ 搭載されているアプリはお使いの機種により異なります。

よくあるトラブルと解決方法

トラブルが発生した場合、まず次の点を確認してください

- 使用する装置（タブレットや周辺機器）の電源はすべて入っていますか？
- ケーブル類は正しいコネクタに接続されていますか？ また、ゆるんだりしていませんか？
- 電源コンセント自体に問題はありますか？
他の電器製品を接続して動作するか確認してください。
- ネットワーク接続ができなくなった場合は、ネットワークを構成する機器（ハブなど）の接続や電源も確認してください。
- タブレットを再起動するとトラブルが解消される場合があります。タブレットの操作が可能なときは、▶ (電源)▶「再起動」の順にタップし、タブレットを再起動してください。

起動・終了時のトラブル

症状	考えられる原因	対処方法
電源が入らない	AC アダプタが正しく接続されていない	AC アダプタが正しく接続されているか確認してください（→ P.24）。
	バッテリー残量が少ない	ACアダプタを接続し、バッテリーを充電してください。
	上記の対処で解決しない	AC アダプタをいったん取り外し、リセットスイッチまたは強制終了スイッチ（→ P.63）を押してから、再び取り付けてください。
画面に何も表示されない	画面が暗すぎる	次の手順で画面の明るさを調節してください。 1. 通知領域の  をタップする。 2.  のボタンをタップする。 キーボードをお使いの場合は、次のように調節することもできます。 ・明るくする：  を押しながら  を押す。 ・暗くする：  を押しながら  を押す。
	ディスプレイのバックライトが消灯している	画面をタップしてください。
	スリープになっている	電源ボタンを押してください。
	上記の対処で解決しない	電源ボタンを 4 秒以上 (arrows Tab QH35/B1、WQ2/B1 の場合は 10 秒以上) 押して電源を切ります。その後、10 秒以上待ってから、電源を入れ直してください。 電源ボタンを押しても電源が切れないときは、AC アダプタを取り外してからリセットスイッチまたは強制終了スイッチを押してください（→ P.63）。 なお、保存されていない作業中のデータは失われます。
Windows が起動しない	周辺機器が正しく取り付けられていない	周辺機器のマニュアルをご覧ください、正しく取り付けられているか確認してください。
	上記の対処で解決しない	ハードウェアの診断を行ってください（→ P.64）。

症状	考えられる原因	対処方法
電源が切れない	(キーボードをお使いの場合) Windowsが正しく動いていない	次の手順で Windows を終了させてください。 フラッシュメモリディスクが動作しているときに電源を切ると、ファイルが失われたり、フラッシュメモリディスクが壊れたりする可能性がありますので、ご注意ください。 1. [Ctrl] + [Alt] + [Delete] を押す。 または、次のようにボタンを押す。 ・ arrows Tab RH77/B1  を押しながら電源ボタンを押す。 ・ arrows Tab QH35/B1 電源ボタンを押し、すぐに音量調節ボタン(－)を押す。 ・ arrows Tab WQ2/B1 電源ボタンを押しながら音量調節ボタン(－)を押す。 2. [Tab] で画面右下の  を選択して [Enter] を押す。 3. カーソルキーで「シャットダウン」を選択して [Enter] を押す。
	(キーボードをお使いの場合) フラットポイントが使えない	次の手順で、Windows を終了させてください。 1.  を押す。 2. [Tab] を 2 回押す。 3. カーソルキーで  (電源) を選択して [Enter] を押す。 4. カーソルキーで「シャットダウン」を選択して [Enter] を押す。
	上記の対処で解決しない	電源ボタンを 4 秒以上 (arrows Tab QH35/B1、WQ2/B1 の場合は 10 秒以上) 押して、電源を切ってください。 電源ボタンを押しても電源が切れないときは、AC アダプタを取り外してからリセットスイッチまたは強制終了スイッチを押してください(→ P.63)。 なお、保存されていない作業中のデータは失われます。
(arrows Tab QH35/B1 をお使いの場合) キーを押してもロック画面から画面表示が変わらない	自動的にスリープに移行した後、復帰(レジューム)した	カバー付きキーボードを取り付けている場合に、キーボードを押しても画面表示が元に戻らないときは、フラットポイントのボタンを押すか、タブレット本体の画面を下から上にスライドしてください。



▶ リセットスイッチ、強制終了スイッチについて

電源ボタンで電源が切れなくなったときは、次のスイッチを使用します。

- ・ arrows Tab RH77/B1：タブレット本体裏面のリセットスイッチ
- ・ arrows Tab QH35/B1：タブレット本体側面のリセットスイッチ（RESET）
- ・ arrows Tab WQ2/B1：タブレット本体側面の強制終了スイッチ

AC アダプタを取り外し、クリップの先などを差し込んで押すと、タブレットの電源が切れます。

リセットスイッチ、強制終了スイッチを使用するときは、次の点にご注意ください。

- ・ クリップの先などを差し込むときは、できるだけ垂直に、堅い物を押す感覚があるところまで差し込んでください。
- ・ リセットスイッチ、強制終了スイッチで電源を切った後、最初にタブレットの電源を入れるときには、必ず AC アダプタを接続した状態で電源ボタンを押してください。
- ・ arrows Tab WQ2/B1 の場合、強制終了スイッチを押すと、内蔵の時計がリセットされます。通知領域の日付と時刻を長押しし、表示されたメニューから「日付と時刻の調整」をタップして、日付と時刻を設定し直してください。

ディスプレイのトラブル

症状	考えられる原因	対処方法
画面に何も表示されない	「起動・終了時のトラブル」の「画面に何も表示されない」の項目をご覧ください（→ P.61）。	
（arrows Tab QH35/B1 をお使いの場合） 画面表示の向きが横向きになったり、上下が逆になったりする	—	タブレット本体だけでお使いの場合は、タブレット本体の向きを変えて画面表示を回転させた後、元の向きに戻します。カバー付きキーボードを取り付けている場合は、カバー付きキーボードを取り外し、画面表示が正しい向きになった後、再度取り付けます。なお、「この PC を初期状態に戻す」や、Windows を最新の状態にアップデートしているときに、画面表示の向きが横向きになる場合がありますが、処理が完了すると正しい向きに戻りますので、そのままお待ちください。
（arrows Tab QH35/B1 をお使いの場合） 画面が急に表示されなくなった	パソコンが磁気に反応し、スリープや休止状態になった	磁気の発生するものを遠ざけ、電源ボタンを押してください。

他のトラブル解決方法を参照する

次の手順で表示される説明をご覧ください。

- 1 ▶「富士通アドバイザー」▶「富士通アドバイザー」の順にタップします。

富士通アドバイザーのご利用について表示された場合は、内容をよくお読みになり、「同意する」をタップします。

- 2 「富士通アドバイザー」の「トラブル解決」タブをタップします。

インターネットに接続して上記の操作を行うと、表示される内容が最新の状態に更新されます。

インターネット上のサポートページを使う

インターネット上のサポートページにも、多くの Q&A 事例をご用意しております。次のようにご利用ください。

- 1 上記の「他のトラブル解決方法を参照する」の手順に従って「富士通アドバイザー」の「トラブル解決」の画面を表示し、「困っていることから探す（インターネット）」をタップします。

サポートページが表示されます。

- 2 サポートページ上部の入力欄に、困っていることに関連するキーワードを入力し、入力欄の横にある「検索」をタップします。

入力欄に Q&A ナンバーを入力して検索することもできます。

「富士通ハードウェア診断ツール」を使う

Windows が起動しなくなったときに、このタブレットのハードウェア（CPU、メモリ、ディスプレイなど）に問題がないか診断します。

- タブレット本体の電源を切り、あらかじめ周辺機器を取り外しておいてください。
- 診断したいハードウェアを選択できます。
- 診断時間は 5 ～ 20 分程度です（診断するタブレットの環境によっては長時間かかる場合があります）。
- arrows Tab QH35/B1 をお使いの場合は、画面表示の向きに合わせて、タブレット本体を持ち替えて操作してください。

- 1 BIOS の設定をご購入時の状態に戻します（→P.65）。

- 2 タブレット本体に外付けハードディスクなどを接続している場合は、取り外します。arrows Tab QH35/B1 をお使いの場合は、カバー付きキーボードも取り外します。

- 3 タブレットの電源が入っていたら、電源を切ります。

- 4 次のボタンを押しながら、タブレットの電源ボタンを押し続けます。

・ arrows Tab RH77/B1、QH35/B1

音量調節ボタン（－）

・ arrows Tab WQ2/B1

音量調節ボタン（＋）

- 5 起動メニューが表示されたら、ボタンから指を離します。

- 6 画面右下にある「Tab」をタップし、「アプリケーションメニュー」または「Application Menu」に切り替えます。

- 7 メニューが表示されたら、「診断プログラム」または「Diagnostic Program」をタップして選択し、もう一度タップします。

- 8 「診断プログラムを実行しますか？」または「Do you want to run Diagnostic Program?」と表示されたら、「実行」または「Run」をタップしてハードウェア診断を開始します。

ハードウェア診断が終了すると、診断結果が表示されます。

■エラーコードが表示された場合

メモなどに控え、お問い合わせのときにサポート担当者にお伝えください。その後、「電源オフ」または「PowerOFF」をタップしてタブレットの電源を切ってください。

■問題がない場合

「再起動」または「Reboot」をタップして、次の手順に進んでください。

- 9 表示された注意事項をよく読み、「OK」をタップします。

「富士通ハードウェア診断ツール」の画面が表示されます。

- 10 「診断」タブをタップします。

- 11** 診断したいアイコンにチェックが入っていることを確認し、「実行」をタップします。
ハードウェア診断が始まります。

Point

- ▶ 診断を取りやめる場合は「キャンセル」をタップしてください。

- 12** 「診断結果」ウィンドウに表示された内容を確認します。

■ エラーコードが表示された場合

メモなどに控え、お問い合わせのときにサポート担当者にお伝えください。

■ 問題がない場合

手順 15 まで行った後、「タブレットを以前の状態に戻す」(→ P.66)に進んでください。

- 13** 「診断結果」ウィンドウの「閉じる」をタップします。
「富士通ハードウェア診断ツール」の画面に戻ります。

- 14** 「終了」をタップします。

「終了」ウィンドウが表示されます。

- 15** 「はい」をタップします。

タブレットの電源が切れます。

□ BIOS の設定をご購入時の状態に戻す

- 1** タブレット本体に外付けハードディスクなどを接続している場合は、取り外します。arrows Tab QH35/B1 をお使いの場合は、カバー付きキーボードも取り外します。

- 2** タブレットの電源が入っていたら、電源を切ります (→ P.77)。

- 3** 次のボタンを押しながら、タブレットの電源ボタンを押し続けます。

- ・ arrows Tab RH77/B1、QH35/B1
音量調節ボタン (+)
- ・ arrows Tab WQ2/B1
音量調節ボタン (-)

- 4** BIOS の画面が表示されたら、ボタンから指を離します。

Point

- ▶ Windows が起動してしまった場合は、手順 2 から操作をやり直してください。
- ▶ BIOS の画面が表示されず、Windows も起動しない場合は、電源ボタンを 4 秒以上 (arrows Tab QH35/B1、WQ2/B1 の場合は 10 秒以上) 押し、電源を切り、10 秒以上待った後、手順 3 から操作をやり直してください。
- ▶ arrows Tab QH35/B1 をお使いの場合、BIOS の画面は、タブレット本体を縦にして操作してください。

- 5** 「終了」または「Exit」メニュー▶「標準設定値を読み込む」または「Load Setup Defaults」の順にタップします。

- 6** 「はい」または「Yes」をタップします。

- 7** 「変更を保存して終了する」または「Exit Saving Changes」をタップします。

- 8** 「はい」または「Yes」をタップします。

BIOS セットアップについて詳しくは、「BIOS の設定」(→ P.192)をご覧ください。

タブレットを以前の状態に戻す

ハードウェアに問題がなく、マニュアルやインターネットのQ&Aでも解決できなかった場合は、タブレットが問題なく動作していた時点の状態に戻す、という解決方法があります。

ただし、この解決方法は、今まで作成したデータや設定が削除されてしまう場合があります、現在お使いの状態に戻すには大変手間がかかります。

本当に必要かどうか再度確認してください。

どうしても必要な場合は、次の説明の参照先に記載された注意事項を必ず確認したうえで行ってください。このタブレットでは2つの方法でタブレットを以前の状態に戻すことができます。

- 「システムイメージバックアップ」から復元する
「システムイメージバックアップ」を作成している場合、作成した時点に戻すことができます。
バックアップ後に行った設定や作成したデータなどは削除されます。
詳しくは、「バックアップ」(→ P.133) をご覧ください。
- このPCを初期状態に戻す
「システムイメージバックアップ」を作成していない場合は、Windows 10の機能「このPCを初期状態に戻す」を使い、タブレットをご購入時に近い状態に戻すことができます。
ご購入時に近い状態に戻るため、現在お使いの状態に戻すには、アプリをインストールしたり、設定を復元したりなど大変手間がかかる場合があります。
詳しくは、「タブレットの状態を回復する」(→ P.71) をご覧ください。

富士通の窓口で相談する

「よくあるトラブルと解決方法」(→ P.61) で解決しなかった場合は富士通の窓口にご相談ください。

お問い合わせ窓口のご紹介

富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口

お客様に合わせた様々な方法でお問い合わせができます。

技術相談も、修理相談もワンストップで解決！ より便利に簡単にご利用できる窓口になりました。

富士通FMVサポートページ <http://azby.fmworld.net/support/> ※最新の情報はホームページをご覧ください。



“メール”で相談する

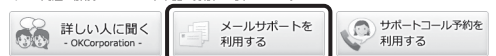
メール

ホームページ上の専用の質問フォームから送信いただいたFMVに関するお問い合わせを受け付け、メールで回答いたします。
Q&A・パソコン活用情報を検索後にお問い合わせいただけます。

- ① Q&Aで調べる
- ② 質問フォームに入力する
- ③ メールで回答

各Q&Aページの下の方に質問フォームを表示するボタンがあります。

Q&Aで問題が解決しないときは、下記の方法もお試しください。



* ユーザー登録が必要となります。

タブレット スマートフォン



“Twitter”でアドバイスを受ける

Twitter

TwitterのFMV公式アカウントを、ぜひフォローしてください。
お役立ちQ&Aをご紹介します。お困り内容をつづやくと、担当者からアドバイスが届くことも！(「富士通」「FMV」「My Cloud」などの言葉を交えてツイートしてみましょう)

FMV公式アカウント：@Fujitsu_FMV_QA

- * お問い合わせにはTwitterへのログインが必要となります。
- * お客様に沿った案内が必要な場合は、メールでの相談をご案内する場合がございます。
- * お問い合わせいただいたすべてのご質問にお答えできない場合もございます。
- * Twitterの特性を最大限に生かすため、お客様とのやりとりはみなさまに見える状態でツイートいたします。

タブレット スマートフォン

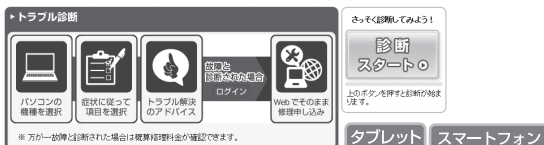


“インターネットで故障を診断”する

ネットで故障診断

画面にしたがって状況を確認したり設定を変更したりするだけでトラブルを診断し、解決方法をアドバイスします。
故障と診断された場合は、その場で修理申し込みができます。

<http://azby.fmworld.net/webcrepair/>



電話予約

電話



“電話”で相談する

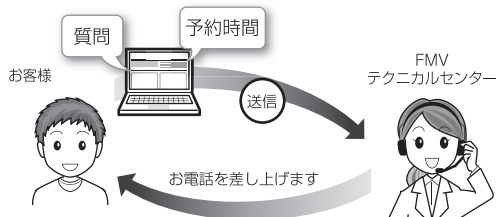
※ご利用料金に関しては、次ページの「ご利用料金とお支払いについて」をご覧ください。

電話相談の“予約”をする

タブレット スマートフォン

お客様がホームページよりご予約された時間帯に、FMVテクニカルセンターのサポート担当者からお電話を差し上げ、ご予約の際に入力されたご質問にお答えします。

<https://azby.fmworld.net/callback/>



- * ユーザー登録が必要となります。
- * 富士通からお電話をかける連絡先は、日本国内に限らせていただきます。また日本語対応のみとなります。

使い方、技術相談、修理相談、すべてこちら

通話料無料 **0120-950-222** 受付時間：9:00～19:00(注)

携帯電話、PHS、IP電話、海外からはこちら **045-514-2255**
(通話料金お客様負担) 受付時間：9:00～17:00

注：受付時間は窓口によって異なります。ガイダンスに従ってご利用ください。

- * 電話番号はお間違えないように、十分ご確認のうえおかけください。
- * システムメンテナンスのため、サポートを休止させていただく場合があります。
- * 音声ガイダンス内容・操作方法・受付時間は、予告なく変更させていただく場合があります。
- * ユーザー登録されている電話番号とお客様の発信番号が一致した場合には、ユーザー登録番号の入力が省略できます。
非通知設定による発信や、ユーザー登録されている番号と異なる発信番号等、一部ユーザー登録情報の確認ができない場合は、音声ガイダンスの指示に従ってユーザー登録番号を入力してください。

■ご利用料金とお支払いについて

●ご利用料金

- ・タブレット本体に初めて電源を入れた日(保証開始日)から、**1年間無料**でご利用いただけます。[注]

注：Refreshed PCに関する電話による技術サポートに関しては、1年目もお問い合わせ1件あたり2,060円(税込)となります。

また、受付時間は月～金曜日(祝日を除く)9時～17時となります。

- ・2年目以降

お問い合わせ1件あたり2,060円(税込)

※ My CloudカードまたはAzbyClubカードでお支払いの場合は、1,540円/件(税込)でご利用いただけます。My CloudカードおよびAzbyClubカードについて詳しくは、(<http://azby.fmworld.net/members/mycloudcard/>)をご覧ください。

※ プレミアムサービスに利用登録されているお客様のご利用料金につきましては、プレミアムサービスの専用ホームページにてご案内いたします。



- ▶ 保証開始日は「富士通アドバイザー」(→ P.48)から確認できます。
画面右上に表示されます。
- ▶ お問い合わせ1件は、お電話の回数ではなく、技術相談1項目ごとに1件と扱います。同じご相談内容であれば次回お問い合わせいただく際、料金は加算いたしません。(ただし14日以内に限り)

●お支払い方法

お支払い方法は、音声ガイダンスに従って、次のいずれかを選択してください。

クレジット カード支払い	音声ガイダンスで、クレジットカード番号、有効期限の入力をお願いします。
コンビニ振込	コンビニ振込をご利用の場合は、手数料が別途210円かかります。

■お問い合わせ前に確認してください

- 「サポートページ」(<http://azby.fmworld.net/support/>)で解決方法を確認しましたか？
知りたい情報やトラブル解決方法をお調べいただけます。

- ユーザー登録はしましたか？

電話サポートの利用にはユーザー登録が必要です。ユーザー登録方法は「[はじめに行う設定]で初期設定する」(→ P.41)の手順6をご覧ください。

- アプリのお問い合わせ先を確認しましたか？

各アプリ提供会社のお問い合わせ先は、「メールやOfficeで困ったときは」(→ P.58) および「ウイルス対策アプリなどで困ったときは」(→ P.59)をご覧ください。

- お使いのタブレットをお手元にご用意いただいていますか？

お電話中に操作を行っていただく場合がありますので、お手元にご用意ください。

- データのバックアップはしましたか？

大切なデータの予備を保存しておく、安心です。バックアップ方法については、「バックアップ」(→ P.133)をご覧ください。

修理を申し込む前の準備

- 故障かどうかをもう一度ご確認ください

タブレットのトラブルは、設定の誤りなど、故障以外が原因のこともあります。実際に故障に関する電話でのお問い合わせの半数以上は、タブレットの故障ではなく、設定を変更することで問題が解決しています。「ネットで故障診断」(<http://azby.fmworld.net/webpcrepair/>)で、本当にタブレットが故障しているか確認してください。

- 修理規定をご確認ください

お申し込み前に必ず「富士通パーソナルコンピュータ修理規定」(→ P.81)を確認のうえ、同意をお願いします。

- 修理料金の目安を確認できます

ホームページで概算修理料金をご覧ください。
<http://azby.fmworld.net/support/repair/syuribin/charge.html>

- 保証書をお手元にご用意ください

保証期間は、初めてタブレット本体の電源を入れた日(保証開始日)から1年間となります(→ P.68)。保証期間内は無料で修理させていただきます。ただし、保証期間内でも有料となる場合があります。詳しくは、保証書裏面「無料修理規定」を確認してください。

- 故障品をお手元にご用意ください

お申し込み時に操作いただく場合があるため、お手元に故障品をご用意ください。

●データのバックアップをおとりください

修理前の診断作業および修理の結果、記憶装置（フラッシュメモリなど）内に記録されたお客様データが消失する場合があります。弊社ではいかなる作業においても、お客様のデータの保証はいたしかねるため、大切なデータは必ずお客様自身でバックアップしてください。

バックアップの方法については、「バックアップ」（→P.133）をご覧ください。

また、タブレットの故障などによりお客様がバックアップできない場合には、「PC データ復旧サービス」（有料）もご利用いただけます。

PCデータ復旧サービス(有料)

<http://azby.fmworld.net/datarescue/>

修理の申し込み

タブレットの修理は、ホームページまたは電話でお申し込みください。

■ホームページで申し込む（ネットで故障診断）

「ネットで故障診断」では、タブレットが故障しているかどうかを調べることができます。

故障と診断された場合は、ホームページから修理を申し込むことができます。

ネットで故障診断

<http://azby.fmworld.net/webpcrepair/>

■電話で申し込む

「お問い合わせ窓口のご紹介」（→P.67）の「使い方、技術相談、修理相談、すべてこちら」をご覧ください。

重要

- ▶ 修理のために交換した故障部品は返却しません。あらかじめご了承ください。
- ▶ 修理のお申し込みの際は、お客様の名前や電話番号をお伺いいたします。お客様の個人情報の取り扱いについては「富士通パーソナルコンピュータ修理規定」（→P.81）の第13条（個人情報の取り扱い）をご覧ください。

お引き取りとお届け（パソコン修理便）

弊社指定の宅配業者がご自宅へタブレットをお引き取りに伺います。

お引き取りから修理・お届けまで約 7 日間です（土・日・祝日を含む）。[注]

注：修理の内容によっては、日数を要する場合があります。
また、離島の場合は船便のための日数がかかります。

■お引き取り日時について

お引き取りは、修理受付の翌日以降、弊社設定の時間帯（9:00～21:00[注]）で指定できます。

注：地域により異なります。お申し込み時にご確認ください。また、交通事情などにより指定日時にお伺いできない場合があります。

■お引き取りについて

宅配業者が指定日時にご自宅へ伺います。

梱包は宅配業者が行いますので、故障品は梱包せずに玄関先にご準備ください。

重要

- ▶ 次の各種パスワードは事前に解除してください。確認のために修理作業が中断し、修理に時間がかかる場合があります。

- ・ BIOS パスワード
- ・ ハードディスクパスワード

●保証書を用意してください（保証期間中の場合）。宅配業者が故障品といっしょに梱包いたします。

●宅配業者がお渡しする「お預かり伝票」を大切に保管してください。

●お引き取り後のキャンセルについては、診断料を申し受けます。あらかじめご了承ください。

●「修理状況確認サービス」

（<http://azby.fmworld.net/support/pcrepair/>）で携帯電話やスマートフォン、タブレットのメールアドレスをご登録ください。故障品の当社への到着、お見積もり発行時の連絡、修理完了品の発送、お届け予定日などをメールでお知らせします。

■お届けとお支払いについて

修理完了品を玄関先までお届けします。有料の場合は代金引換払いとなりますので、宅配業者に現金でお支払いください。

●修理料金について

- ・保証期間内（保証開始日より 1 年間）：無料（保証書記載の「無料修理規定」による）（→ P.68）
- ・保証期間外：有料（修理にかかる部品代、技術料等）

※ 交通事情などにより、ご指定の日時にお伺いできない場合があります。

修理状況の確認

ホームページや電話で、修理状況を確認できます。

■修理状況確認サービス

タブレット、スマートフォン、携帯電話（i モード、Ezweb、Yahoo! ケータイ）で「お預かり伝票」の「修理お問合せ番号」（8 桁の番号）を入力して、修理状況を確認できます。

修理状況確認サービス

タブレット・スマートフォン・携帯電話から

<http://azby.fmworld.net/support/pcrepair/>

バーコード読み取り機能付きのスマートフォンや携帯電話では、右のバーコードからアクセスいただけます。



※ 携帯電話、スマートフォンの操作方法については、お使いの機種メーカーにお問い合わせください。

※ システムメンテナンスのため、サポートを休止させていた場合があります。

その他の修理サービスのご案内

その他の修理サービス一覧

<http://azby.fmworld.net/support/repair/>

次のような修理サービスもご用意しています。詳細はホームページでご確認ください。

※ 保証期間内であっても別途料金が必要になります。

●訪問修理サービス（有料）

弊社指定の修理サービス会社にご自宅に伺い、その場で修理を行う有料サービスです。

●PC 引取点検サービス（有料）

タブレットを安心して長く使っていただくために、ハードウェア・ソフトウェアの点検や、タブレット内部の清掃を行う有料サービスです。

タブレットの状態を回復する

タブレットの状態を回復するとは

Windows 10 には、トラブルに備え、タブレットを以前の状態に戻す機能が搭載されています。ここでは、タブレットをご購入時に近い状態に回復する方法について説明します。

この PC を初期状態に戻す機能

この PC を初期状態に戻す機能を使うと、ご購入時に近い状態に回復することができます。ご購入時に近い状態に戻るため、削除されるデータもあります。

そのため「よくあるトラブルと解決方法」(→ P.61) と「富士通アドバイザー」のトラブル解決をご覧ください。すべて対処しても解決しなかった場合のみ行ってください。

重要

- ▶ 回復のためのデータは、タブレット内に保存されていますが、そのデータが破損したときは、「回復ドライブ」から回復します。「回復ドライブを作成する」(→ P.50) をご覧くださいになりできるだけ早く作成してください。
- ▶ arrows Tab QH35/B1、WQ2/B1 では、この PC を初期状態に戻すときに BitLocker 回復キーが必要になります。トラブルに備え、できるだけ早く取得してください。取得方法は「BitLocker 回復キーの取得」(→ P.72) をご覧ください。
- ▶ 回復ドライブを作成していなかったり、破損・紛失してしまったりしたときは、リカバリ USB メモリを購入してリカバリしてください (→ P.76)。

■タブレットの状態を回復する方法の種類

回復方法には次の種類があります。

ご購入時に近い状態に回復するときは「すべて削除する」を行ってください。

●すべて削除する

- ・ ファイルの削除のみ行う

ほぼご購入時の状態に戻ります。アカウントも削除されるので、セットアップをやり直す必要があります。

- ・ ドライブを完全にクリーンアップする
消去されるものは「すべて削除する (ファイルの削除のみ行う)」と同じですが、簡単に回復できないように完全に削除されます。そのため操作に数時間かかります。他人にタブレットを譲渡するなど完全にデータを削除したいときにお使いください。

P point

- ▶ タブレットから「この PC を初期状態に戻す」を行った場合、Windows はロールアップが適用された状態に戻ります。ドライバーは最新のロールアップ適用前に戻ります。
ロールアップとは、修正プログラム、セキュリティ修正プログラム、重要な更新およびアップデートを配布しやすいように 1 つにまとめた累積的なパッケージです。
 - ▶ 回復ドライブから回復した場合は、Windows とドライバーはほぼ回復ドライブ作成時点の状態に戻ります。
 - ▶ このタブレットを購入したときにインストールされていたアプリはインストールされた状態に戻ります。
- 個人用ファイルを保持する
Windows が起動するときのみ行います。Windows、ドライバー、アプリの状態は「すべて削除する」を行ったときと同じ状態に回復します。それに加えて、次のデータも回復します。
 - ・ クイックアクセスに登録されたフォルダーなどのユーザーの個人用ファイル
個人用ファイルは「C:\Users」配下のデータです。
ただし、次のパスの配下のデータは消去されます。この配下にはアプリに固有のアプリ設定、ファイル、データが含まれます。
C:\Users\ユーザー名\AppData
 - ・ 「ごみ箱」内のデータ
 - ・ ユーザーアカウント
 - ・ インターネットや無線 LAN などのネットワーク接続設定
 - ・ 「設定」ウィンドウの設定

消去されないデータについても念のためバックアップをとったり、メモしたりすることをお勧めします。

この PC を初期状態に戻す準備

BitLocker 回復キーの取得

arrows Tab QH35/B1、WQ2/B1

次の手順で BitLocker 回復キーを取得し、大切に保管してください。なお、この操作は他のパソコンやタブレットでも行うことができます。

- 1 次の URL にアクセスし、Microsoft アカウントでサインインします。
<http://windows.microsoft.com/recoverykey>
この後は、画面の指示に従って操作してください。
- 2 「BitLocker 回復キー」が画面に表示されたら、印刷したりメモをとったりして大切に保管します。

この PC を初期状態に戻すうえでの注意

■バックアップをとってください

この PC を初期状態に戻すと、消去されるデータがあります(→ P.71)。必要なデータはバックアップしてください。

Windows 10 には、個人用ファイルをバックアップする機能が搭載されています。詳しくは「バックアップ」(→ P.133)をご覧ください。

■外付けハードディスクやUSBメモリは必ず取り外してください

接続したまま操作を続けると、大切なデータを壊してしまう可能性があります。

■周辺機器(プリンター、デジタルカメラ、スキャナーなどの装置、HDMI 入力/出力端子、USB コネクタに接続しているすべての周辺機器)は取り外してください

アンテナケーブルや LAN ケーブルなど接続できる機種をお使いの場合はすべて抜いてください。

接続したままだとマニュアルに記載されている手順と異なってしまう場合があります。

キーボードやクレードルも接続しないでください(添付機種のみ)。

■メモリーカードは取り出してください

メモリーカードをセットしていると、マニュアルに記載されている手順と異なってしまう場合があります。

■この PC を初期状態に戻しているときには他の操作をしないでください

むやみにタップせず、しばらくお待ちください。他の操作をすると、正常に終了しない場合があります。

■時間に余裕をもって作業しましょう

途中で中断したり、タブレットの電源を切ったりすることはできません。消去されたアプリなどを再インストールしたり、バックアップしたデータを復元したりするとさらに時間がかかります。時間に余裕をもって、じっくりと作業することをお勧めします。

■必ず AC アダプタを接続してください

■画面表示の向きに合わせて、タブレット本体を持ち替えて操作してください。

作業中に起こる可能性のあるトラブルの解決方法

■画面が真っ暗になった

画面が真っ暗になった場合は、省電力機能が働いた可能性があります。

復帰(レジューム)させるため、電源ボタンをタッチして押してください。

■電源が切れない

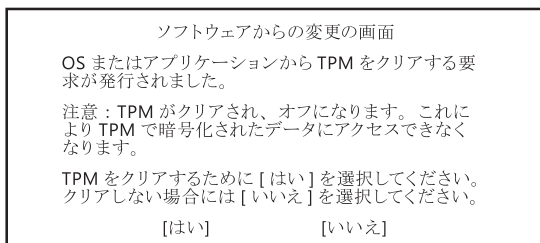
arrows Tab RH77/B1 の場合は、電源ボタンを4秒以上押して電源を切ってください。

arrows Tab QH35/B1、WQ2/B1の場合は、電源ボタンを10秒以上押して電源を切ってください。

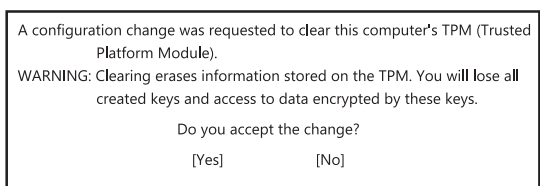
■エラーメッセージが表示された

次のようなメッセージが表示された場合は、「はい」または「Yes」をタップして選択してください。

日本語の場合



英語の場合



この PC を初期状態に戻す

「この PC を初期状態に戻す準備」(→ P.72) をよくお読みになり、必要なバックアップなど準備を済ませてから実行してください。

まず「このタブレットに保存されたデータを使う」(→ P.73) をご覧になり、この PC を初期状態に戻す操作を行ってください。

操作がうまくいかなかった場合や、操作後もタブレットのトラブルが継続した場合は、「回復ドライブを使う」(→ P.74) をご覧になり、この PC を初期状態に戻す操作を行ってください。



- ▶ 回復ドライブから回復した場合は、Windows とドライバーはほぼ回復ドライブ作成時点の状態に戻ります。そのためタブレットを現在お使いの状態に戻すには、より手間がかかります。

このタブレットに保存されたデータを使う

タブレットの電源が切れた状態から「オプションの選択」画面を表示して操作します。



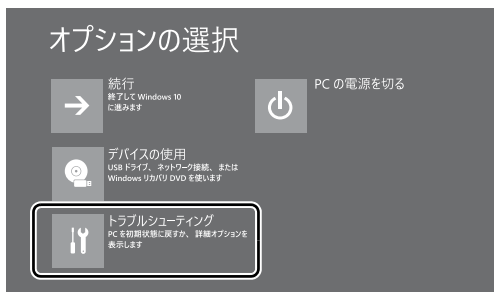
- ▶ Windows が起動した状態からでも操作できます。

1. (設定) ▶ 「更新とセキュリティ」の順にタップします。
2. 「更新とセキュリティ」ウィンドウ左の「回復」をタップします。
3. ウィンドウ右の「今すぐ再起動する」をタップします。

「オプションの選択」画面が表示されたら、手順 4 から操作してください。

- ▶ arrows Tab QH35/B1 の場合、Windows が起動するまでは、画面表示の向きに合わせてタブレット本体を持ち替えて操作してください。

- 1 タブレットの電源が切れた状態で、音量調節ボタン (－) (arrows Tab WQ2/B1 では音量調節ボタン (+)) を押しながらタブレットの電源ボタンを押し続け、「起動メニュー」または「Boot Menu」が表示されたら両方のボタンから指を離します。
- 2 画面右下にある「Tab」をタップし、「アプリケーションメニュー」または「Application Menu」に切り替えます。
- 3 「Windows 回復環境」または「Windows Recovery Environment」をタップして選択し、もう一度タップします。
- 4 「オプションの選択」画面で、「トラブルシューティング」をタップします。



- 5 「トラブルシューティング」画面が表示されたら、「この PC を初期状態に戻す」をタップします。



- 6 「すべて削除する」をタップします。

Point

- ▶ 個人用ファイルを保持する場合は「個人用ファイルを保存する」をタップします。その後の操作は「個人用ファイルを保持する場合は」(→ P.74) をご覧ください。

- 7 arrows Tab QH35/B1、WQ2/B1 で「使用できる状態に戻すには回復キーを入力してください」と表示された場合は、BitLocker 回復キーを入力し、「続行」をタップします。

- 8 通常は「ファイルの削除のみ行う」をタップします。

データを完全に消去したいときのみ「ドライブを完全にクリーンアップする」を行います。「タブレットの状態を回復する方法の種類」(→ P.71) をご確認ください。

- 9 「準備が完了しました。」と表示されたら、「初期状態に戻す」をタップします。

初期化が開始されます。電源を切らずにお待ちください。

- 10 「こんにちは」画面が表示されたら、「セットアップする」(→ P.23) をご覧になり、セットアップします。

「Windows 回復後にセットアップするときの注意」(→ P.75) をご覧ください。

■個人用ファイルを保持する場合は

「このタブレットに保存されたデータを使う」の手順 6 (→ P.74) で「個人用ファイルを保存する」をタップした後の手順です。

- 1 「続けるにはアカウントを選んでください。」と表示されたら、お使いのアカウントをタップします。

Point

- ▶ 姓を設定していないアカウントをお使いの場合、以前取得したローカルアカウント名などが表示されることがあります。表示されたアカウント名を選択してください。

- 2 「このアカウントのパスワードを入力してください。」と表示されたら、パスワードを入力し、「続行」をタップします。

- 3 「準備が完了しました。」と表示されたら、「初期状態に戻す」をタップします。

初期化が開始されます。電源を切らずにお待ちください。Microsoft アカウントのパスワードまたは PIN 入力を求められた場合は入力してください。デスクトップが表示されたら、初期化は完了です。

- ・ デスクトップアプリが消去された場合、デスクトップに「削除されたアプリ.html」が作成されます。消去されたデスクトップアプリ一覧が確認できます。

回復ドライブを使う

Point

- ▶ arrows Tab QH35/B1 の場合、Windows が起動するまでは、画面表示の向きに合わせてタブレット本体を持ち替えて操作してください。

- 1 電源が切れた状態で、回復ドライブを作成した USB メモリをタブレット本体の USB コネクタに接続します。

- 2 起動メニューを表示します。

起動メニューは、機種や状況によって Boot Menu と表示される場合もあります。

■arrows Tab RH77/B1 の場合

音量調節ボタン(－)を押しながら、タブレットの電源ボタンを押し続け、起動メニューが表示されたら両方のボタンから指を離します。

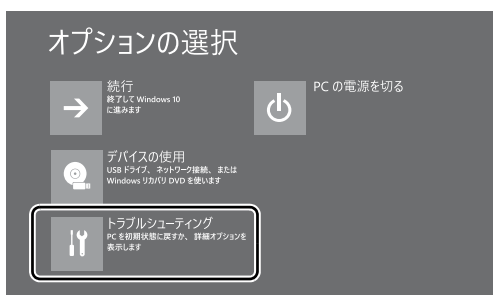
■arrows Tab QH35/B1 の場合

音量調節ボタン(－)を押しながら、タブレットの電源ボタンを押し続け、起動メニューが表示されたら両方のボタンから指を離します。

■arrows Tab WQ2/B1 の場合

音量調節ボタン(＋)を押しながら、タブレットの電源ボタンを押し続け、起動メニューが表示されたら両方のボタンから指を離します。

- 3 接続した USB メモリをタップして選択し、もう一度タップします。
- 4 「キーボードレイアウトの選択」が表示されたら、「Microsoft IME」をタップします。
- 5 「オプションの選択」画面で、「トラブルシューティング」をタップします。



- 6 「トラブルシューティング」画面が表示されたら「ドライブから回復する」をタップします。



- 7 arrows Tab QH35/B1、WQ2/B1 で「使用できる状態に戻すには回復キーを入力してください」と表示された場合は、BitLocker 回復キーを入力し、「続行」をタップします。

- 8 通常は「ファイルの削除のみ行う」をタップします。

データを完全に消去したいときのみ「ドライブを完全にクリーンアップする」を行います。「タブレットの状態を回復する方法の種類」(→ P.71) をご確認ください。

- 9 「準備が完了しました。」と表示されたら、「回復」をタップします。

初期化が始まります。電源を切らずにお待ちください。

- 10 「こんにちは」画面が表示されたら、「セットアップする」(→ P.23) をご覧になり、セットアップします。

「Windows 回復後にセットアップするときの注意」(→ P.75) をご確認ください。

■Windows 回復後にセットアップするときの注意

- Microsoft アカウントを新規に取得する必要はありません。「自分用にセットアップする」画面が表示されたら、入力欄をお持ちの Microsoft アカウントとそのパスワードを入力してください。
- 富士通パソコンユーザー登録も再度行う必要はありません。「富士通サービス&サポートのご利用登録」画面でメールアドレスの入力も必要ありません。

Point

- ▶ arrows Tab QH35/B1、WQ2/B1 では、すべての手順を終え、セットアップを完了させた後、デバイス暗号化が無効になる場合があります。次の手順でデバイス暗号化の状態を確認し、有効にしてください。

1. Microsoft アカウントで Windows にサインインします。
2.   (設定) ▶ 「システム」の順にクリックします。
3. 「システム」ウィンドウ左の「バージョン情報」をクリックし、画面を下にスクロールします。
4. 「デバイス暗号化が無効になっています。」と表示されている下にある「オンにする」ボタンをクリックします。

リカバリ USB メモリを購入してリカバリする

Windows が起動しない場合、回復ドライブを作成していなかったり、破損・紛失してしまったりしたときは、リカバリ USB メモリから起動してご購入時の状態に戻すリカバリを行うと回復できることがあります。

- リカバリ USB メモリを購入してリカバリすると、タブレットはご購入時の状態とまったく同じ状態に戻すことができます。そのため、セットアップが必要になります。
- リカバリ USB メモリは、弊社のホームページから購入できます。

「リカバリメディア有償サービス」

<http://azby.fmworld.net/support/attachdisk/>

Point

- ▶ リカバリ方法は、リカバリ USB メモリに同梱されたマニュアルをご覧ください。

インターネットを安心してお使いいただくには

青少年によるインターネット上の有害サイトへのアクセス防止について

インターネットの発展によって、世界中の人とメールのやり取りをしたり、個人や企業が提供しているインターネット上のサイトを活用したりすることが容易になっており、それに伴い、青少年の教育にもインターネットの利用は欠かせなくなっています。しかしながら、インターネットには違法情報や有害な情報などを掲載した好ましくないサイトも存在しています。

特に、下記のようなインターネット上のサイトでは、情報入手の容易化や機会遭遇の増大などによって、青少年の健全な発育を阻害し、犯罪や財産権侵害、人権侵害などの社会問題の発生を助長していると見られています。

- ・アダルトサイト（ポルノ画像や風俗情報）
- ・他人の悪口や誹謗中傷を載せたサイト
- ・出会い系サイト・犯罪を助長するようなサイト
- ・暴力残虐画像を集めたサイト
- ・毒物や麻薬情報を載せたサイト

サイトの内容が青少年にとっていかに有害であっても、他人のサイトの公開をやめさせることはできません。情報を発信する人の表現の自由を奪うことになるからです。また、日本では非合法であっても、海外に存在しその国では合法のサイトもあり、それらの公開をやめさせることはできません。

有害なインターネット上のサイトを青少年に見せないようにするための技術が、「フィルタリング」といわれるものです。フィルタリングは、情報発信者の表現の自由を尊重しつつ、情報受信側で有害サイトの閲覧を制御する技術です。100% 万全ではありませんが、多くの有害サイトへのアクセスを自動的に制限できる有効な手段です。特に青少年のお子様がいらっしゃるご家庭では、「フィルタリング」を活用されることをお勧めします。

「フィルタリング」を利用するためには、一般に下記の 2 つの方法があります。

「フィルタリング」はお客様個人の責任でご利用ください。

- ・タブレットにフィルタリングの機能をもつアプリをインストールする
 - ・インターネット事業者のフィルタリングサービスを利用する
- これらのアプリのインストール方法やご利用方法については、それぞれのアプリの説明書またはヘルプをご確認ください。なお、アプリやサービスによっては、「フィルタリング」機能を「有害サイトブロック」、「有害サイト遮断」、「Web フィルター」、「インターネット利用管理」などと表現している場合があります。あらかじめ機能をご確認のうえ、ご利用されることをお勧めします。

[参考情報]

- ・社団法人電子情報技術産業協会のユーザー向け啓発資料「パソコン・サポートとつきあう方法」
- ・デジタルアーツ株式会社（i-フィルター提供会社）「フィルタリングとは - 家庭向けケーススタディー」

■「i-フィルター」について

このタブレットには、フィルタリング機能をもつ「i-フィルター」が用意されています。使い方については、「i-フィルター」（→P.145）をご覧ください。

タブレットの電源を完全に切るには

日常的なタブレットの使用では、この方法で電源を切る必要はありません。

重要

- ▶ 次のような場合は、ここで説明している手順でタブレットの電源を切ってください。
 - ・メモリを取り付ける／取り外す（対象機種のみ）
 - ・BIOS セットアップを起動する上記以外にも、操作前にタブレットの電源を完全に切る必要のある場合があります。詳しくは、「Windows を終了する」（→ P.105）をご覧ください。

- 1   (設定) ▶ 「更新とセキュリティ」の順にタップします。
- 2 「更新とセキュリティ」ウィンドウ左の「回復」をタップします。
- 3 ウィンドウ右の「今すぐ再起動する」をタップします。
- 4 「オプションの選択」画面が表示されたら、「PC の電源を切る」をタップします。

起動メニューの表示のしかた

回復ドライブやリカバリ USB メモリから起動する場合などに、起動メニューを表示します。

タブレットの電源が切れた状態から操作を開始します。

起動メニューは、機種や状況によって Boot Menu と表示される場合もあります。

■arrows Tab RH77/B1 の場合

音量調節ボタン（－）を押しながら、タブレットの電源ボタンを押し続け、起動メニューが表示されたら両方のボタンから指を離します。

■arrows Tab QH35/B1 の場合

音量調節ボタン（－）を押しながら、タブレットの電源ボタンを押し続け、起動メニューが表示されたら両方のボタンから指を離します。

この後は、画面表示の向きに合わせてタブレット本体を持ち替えて操作してください。

■arrows Tab WQ2/B1 の場合

音量調節ボタン(+)を押しながら、タブレットの電源ボタンを押し続け、起動メニューが表示されたら両方のボタンから指を離します。



- ▶ 起動時のパスワードを設定している場合は、画面の指示に従ってパスワードを入力してください。
- ▶ 起動メニューが表示されず Windows が起動してしまった場合は、このタブレットの電源を完全に切ってからもう一度操作してください。

廃棄・リサイクルするときは

■個人のお客様へ

PC リサイクル対象外であり、一般廃棄物の扱いとなりますので、地方自治体の廃棄処理に関連する条例または規則に従ってください。

■法人・企業のお客様へ

弊社ではお客様から排出される機器を回収リサイクル(有償)し、リチウムイオン電池など資源の有効活用に積極的に取り組んでいます。詳細は当社ホームページ「事業系 IT 製品リサイクルサービス」(<http://fenics.fujitsu.com/outsourcingservice/lcm/recycle/>)をご覧ください。

タブレットの廃棄・譲渡時のフラッシュメモリ上のデータ消去に関するご注意

タブレットを廃棄あるいは譲渡する際、フラッシュメモリに記録されたお客様のデータが流出して、再利用される可能性があります。結果的にデータが流出してしまうことがあります。原因として、タブレットのフラッシュメモリに記録されたデータは、削除したり、フラッシュメモリを再フォーマットしたりしても、データが消えたように見えるだけで、特殊なソフトウェアを利用することで、読み取ることができるからです。

また、フラッシュメモリ上のソフトウェアを削除することなくタブレットを譲渡すると、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合があります。

そのため、タブレットを廃棄あるいは譲渡する際は、フラッシュメモリ上のデータが第三者に流出することがないように全データの消去の対策をお願いいたします。対策として、専用ソフトウェアやサービス(有償)のご利用をお勧めいたします。

詳しくは、サポートページの「パソコン廃棄、譲渡前の常識！データを消去しよう」(<http://azby.fmworld.net/usage/special/erasedata/>)をご覧ください。

■データ消去ツール

タブレットの廃棄・譲渡時のデータ流出というトラブルを回避する安全策の1つとして、専用ソフトウェア「データ消去ツール」が搭載されています。

「データ消去ツール」は、Windows などの OS によるファイル削除やフォーマットと違い、フラッシュメモリの全領域について、元あったデータに固定パターンを上書きするため、データが復元されにくくなります。

「データ消去ツール」の使用方法については、サポートページから Q&A ナンバー「6604-6237」を検索してご覧ください(→ P.64)。



- ▶ 「データ消去ツール」は画面表示の向きに合わせて、タブレット本体を持ち替えて操作してください。

タブレット本体の主な仕様

ここでは、タブレット本体の主な仕様を紹介しています。

■仕様の調べ方

仕様について詳しくは「富士通アドバイザー」(→ P.48) の「サポート & サービス情報」の画面から「パソコンの仕様を調べる」を選択して表示されるホームページの内容をご覧ください。なお、仕様の詳細を調べるときに、お使いのタブレットの型名が必要になることがあります。型名は次の場所に記載されています。

- 保証書
- タブレット本体の裏面に貼付されたラベル
- 「富士通アドバイザー」(→ P.48) の画面右上



- ▶ 型名の確認方法の詳細は、サポートページから Q&A ナンバー「3702-5873」を検索して参照できます(→ P.64)。

■arrows Tab RH77/B1

注記については、「仕様一覧の注記について」(→ P.80) をご覧ください。

シリーズ名		RH シリーズ
品 名		arrows Tab RH77/B1
CPU 注 1		インテル® Core™ i5-7200U プロセッサー (HT テクノロジー対応)
メインメモリ注 2		4GB (オンボード LPDDR3-1866)
無線 LAN 注 3	規格	IEEE802.11a/b/g/n/ac 準拠 (5GHz 帯チャンネル: W52/W53/W56) (Wi-Fi® 準拠) 注 4
電源供給方式	AC アダプタ	入力 AC100V ~ 240V、出力 DC19V (3.42A)
	バッテリー注 2	リチウムイオン 34Wh
外形寸法 (幅 × 奥行 × 高さ) (突起部含まず)		タブレット単体: 319×201.3×9.5mm カバーキーボード装着時: 319×201.3×14.7mm
本体質量注 5		タブレット単体: 約 890g カバーキーボード装着時: 約 1.25kg

タブレットの仕様は、改善のために予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

■arrows Tab QH35/B1

注記については、「仕様一覧の注記について」(→ P.80) をご覧ください。

シリーズ名		QH シリーズ
品 名		arrows Tab QH35/B1
CPU 注 1		インテル® Atom™ プロセッサ x5-Z8350 (インテル® バースト・テクノロジー対応)
メインメモリ注 2		2GB (オンボード DDR3L-1600)
無線 LAN 注 3	規格	IEEE802.11a/b/g/n/ac 準拠 (5GHz 帯チャンネル: W52/W53/W56) (Wi-Fi® 準拠) 注 4
電源供給方式	AC アダプタ	入力 AC100V ~ 240V、出力 DC5V (3A)
	バッテリー注 2	リチウムポリマ 25.9Wh
外形寸法(幅×奥行×高さ) (突起部含まず)		タブレット単体: 259.8×171.4×8.9mm カバー付きキーボード装着・折り畳み時: 270×190×20mm カバー付きキーボード装着・実使用時: 270×358×150mm
本体質量注 5		タブレット単体: 約 620g カバー付きキーボード装着時: 約 999g

タブレットの仕様は、改善のために予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

■arrows Tab WQ2/B1

arrows Tab WQ2/B1 は、インターネットの富士通ショッピングサイト「WEB MART」でのみご購入いただける製品の仕様です。

注記については、「仕様一覧の注記について」(→ P.80) をご覧ください。

シリーズ名		QH シリーズ
品 名		arrows Tab WQ2/B1
CPU 注 1		インテル® Atom™ プロセッサ x5-Z8550 (インテル® バースト・テクノロジー対応)
メインメモリ注 2		4GB (オンボード LPDDR3-1600)
無線 LAN 注 3	規格	IEEE802.11a/b/g/n/ac 準拠 (5GHz 帯チャンネル: W52/W53/W56) (Wi-Fi® 準拠) 注 4
電源供給方式	AC アダプタ	入力 AC100V ~ 240V、出力 DC12V (3A)
	バッテリー注 2	リチウムポリマ 34Wh
外形寸法(幅×奥行×高さ) (突起部含まず)		タブレット単体: 264×169.7×11.8mm スリムキーボード装着時: 264×205.7×22.1mm 軽量スリムキーボード装着時: 264×214.9×22.1mm
本体質量注 5		タブレット単体: 約 635g スリムキーボード装着時: 約 1305g 軽量スリムキーボード装着時: 約 999g

タブレットの仕様は、改善のために予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

仕様一覧の注記について

- 注 1 ソフトウェアによっては CPU 名表記が異なることがあります。
- 注 2 メモリ、バッテリーの交換、増設はできません。
- 注 3 無線 LAN の仕様については、「無線 LAN」(→ P.180) をご覧ください。
- 注 4 Wi-Fi® 準拠とは、無線 LAN の相互接続性を保証する団体「Wi-Fi Alliance®」の相互接続性テストに合格していることを示します。
- 注 5 各製品で質量が異なる場合があります。

■富士通パーソナルコンピュータ修理規定

最新版はホームページに掲載しています。
<http://azby.fmworld.net/support/repair/syurikitei/>

第1条 (本規定の適用)

- 富士通株式会社（以下「富士通」といいます）は、お客様が富士通のFMVサポートお問い合わせ窓口にて修理の依頼をされた場合、または富士通の専用ホームページ「<http://azby.fmworld.net/support/repair/index.html>」（以下「専用ホームページ」といいます）にて修理の依頼をされた場合、本規定に定める条件により修理を行います。なお、お客様が日本国外から修理の依頼をされる場合および販売店または販売会社経由で修理の依頼をされる場合は、本規定は適用されないものとします。
- 前項に基づき富士通が本規定に定める条件により修理を行う場合は、本規定の内容が、次条に定める対象機器に同梱されている保証書（以下「保証書」といいます）裏面の無料修理規定（以下「無料修理規定」といいます）の内容に優先して適用されるものとします。なお、本規定に定めのない事項については、無料修理規定の内容が有効に適用されるものとします。

第2条 (対象機器)

本規定に基づく修理の対象となる機器（以下「対象機器」といいます）は、お客様が日本国内において購入された日本国内向け富士通製パーソナルコンピュータ（詳細は本規定末尾記載、以下同じ）および当該日本国内向け富士通製パーソナルコンピュータ用の富士通製周辺機器（ただしプリンタは除きます）とします。

第3条 (修理の形態)

- 富士通は、お客様より対象機器の修理をご依頼いただいた場合、現象や使用状況等を伺いながら簡単な切り分け診断を行い、修理の必要があると富士通が判断した場合に、次のいずれかの形態により修理を行います。ただし、対象機器の機種または離島等の一部地域等、修理の形態が限定される場合があります。
- (1) 引取修理（パソコン修理便）
お客様のご自宅から故障した対象機器を引き取り、修理完了後ご自宅までお届けします。
- (2) 訪問修理
訪問修理が可能な製品について、お客様が訪問修理を希望された場合は、富士通指定の修理サービス会社の担当者がお客様のご自宅を訪問し、修理作業を行います。なお、訪問料は、保証書で特に無料と定められている場合を除き、保証期間の内外を問わず、別途有料となります。また、離島の一部地域では、訪問料とは別に訪問に要する実費（フェリー代、宿泊代等）をお客様にご負担いただく場合があります。
- 前項にかかわらず、当該切り分け診断の結果、故障の原因が外付けキーボード、マウス、ACアダプタにあると富士通が判断した場合は、富士通は、原因部品の良品をお客様のご自宅に送付いたします。なお、故障部品については、お客様から富士通に送付していただきます。

第4条 (保証期間内の修理)

- 保証期間内に、取扱説明書、対象機器添付ラベル等の注意書きに従った正常な使用状態で対象機器が故障した場合には、富士通は、無料修理規定に従い、無料で修理を行います。
- 前項にかかわらず、次の各号のいずれかに該当する場合は、保証期間内であっても有料修理となります。
- (1) 保証書が対象機器に添付されていない場合
- (2) 保証書に必要事項の記入がない場合、または字句を書き替えられた場合、その他事実と異なる記載がされている場合
- (3) ご使用上の誤り（水などの液体こぼれ、水没、落下等）、または改造、誤接続や誤挿入による故障・損傷の場合
- (4) 火災、地震、水害、落雷その他の天災地変、公害、塩害、ガス害（硫化ガス等）、異常電圧や指定外の電源使用による故障・損傷の場合
- (5) 富士通指定の有寿命部品、消耗品（バッテリー、乾電池等）または定期交換部品の自然消耗、磨耗、劣化等により部品の交換が必要となった場合
- (6) 接続している他の機器、非純正品、不適当な消耗品またはメディアのご使用に起因して対象機器に生じた故障・損傷の場合
- (7) お買い上げ後の輸送や移動または落下等、お客様における不適当なお取り扱いにより生じた故障・損傷の場合
- (8) 対象機器のハードウェア部分に起因しない不具合（例：対象機器にプレインストールまたは添付されたソフトウェア製品に起因する不具合、ウイルス感染による不具合等をい、以下同じとします）の場合
- (9) お客様が設定されたパスワードの忘却やお客様が施錠された鍵の紛失により、メインボード、本体カバーその他の部品の交換が必要となった場合
- (10) お客様のご使用環境や維持・管理方法に起因して生じた故障・損傷の場合（例：埃、錆、カビ、虫・小動物の侵入および糞尿による故障等）
- 第1項にかかわらず、次の各号のいずれかに該当する場合は、保証期間内であっても、別途それぞれの料金が発生するものとします。
- (1) 第3条第1項第(2)号に基づき訪問料が発生した場合は、当該訪問料
- (2) 対象機器のハードウェア部分に起因しない不具合で、ソフトウェアの再インストールにより復旧する場合であって、お客様が当該再インストールを希望された場合は、ソフトウェア再インストール料

第5条 (保証期間外の修理)

- お客様による修理のご依頼が保証期間外の場合、富士通は、有料で修理を行います。
- 次の各号のいずれかに該当する場合は、修理料金の他にそれぞれの料金が発生するものとします。
- (1) 第3条第1項第(2)号に基づき訪問料が発生した場合は、当該訪問料
- (2) ハードウェア部分に起因する故障ではなく、ソフトウェアの再インストールで復旧する場合で、お客様が当該再インストールを希望された場合は、ソフト再インストール料
- お客様による修理のご依頼が保証期間外の引取修理の場合であって、お客様に同った故障の現象が確認できず、修理の必要がないと富士通が判断した場合は、その診断作業に対して診断料が発生するものとします。また、対象機器お預かり後にお客様が修理のご依頼をキャンセルされた場合（第6条第2項および第3項に定める場合を含みます）であっても、診断料が発生するものとします。
- お客様による修理のご依頼が保証期間外の訪問修理の場合であって、富士通指定の修理サービス会社の担当者が、訪問先でお客様に同った故障の現象が確認できず、修理の必要がないと判断した場合は、当該診断作業に対して訪問料と診断料が発生するものとします。また、担当者がお客様ご指定の場所と訪問し、修理作業に入る前に修理のご依頼をキャンセルされた場合は、訪問料が発生するものとします。

第6条 (修理料金の見積もり)

- 修理が有料修理の場合であって、お客様が修理のご依頼時に修理料金の見積もりを希望された場合、富士通は、引取修理の場合は対象機器のお預かり後に診断作業を行い、見積金額をお知らせするものとし、訪問修理の場合は訪問前にお客様から現象や使用環境等伺いした内容に基づき診断を行い、概算の見積金額をお知らせするものとします。富士通もしくは富士通指定の修理サービス会社の担当者は、当該見積金額での修理について、お客様にご了承いただいたうえで、修理を行います。ただし、お客様から修理のご依頼時に修理料金の上限金額をご提示いただいた場合であって、修理料金が上限金額を超えない場合は、お客様にご了承いただいたものとして見積提示なしに修理を行います。
- 前項のうち引取修理の場合であって、お客様に見積金額をお知らせした日から1か月を超えても、お客様から見積もりに対するご回答がなかった場合は、お客様が修理のご依頼をキャンセルされたものとし、富士通は、修理を実施せずに、お預かりした対象機器をお客様に返却いたします。
- 第1項のうち引取修理の場合であって、修理の過程において新たな故障の原因が判明した場合等、お客様に見積金額をお知らせした後に当該金額を変更する必要がある場合には、富士通は、再度見積金額をお知らせするものとし、当該再見積もり後の金額での修理についてお客様にご了承いただいたうえで、修理を継続いたします。なお、当該再見積もり後の金額での修理についてお客様にご了承いただかなかった場合は、お客様が修理のご依頼をキャンセルされたものとし、富士通は、修理を中止し、お預かりした対象機器をお客様に返却いたします。

第7条 (修理料金等の支払い方法)

第4条または第5条に基づき発生した修理料金等については、お預かりした対象機器の返却時に現金にてお支払いいただきます。

第8条 (修理期間)

引取修理の場合、富士通は、対象機器のお預かりから、修理完了後の対象機器のご自宅へのお届けまで、原則として7日間に対応いたします。ただし、次の各号のいずれかに該当する場合は、7日間を超える場合があります。

- (1) お客様から同った故障の現象が確認できず、修理箇所の特定ができない場合
- (2) 引取修理の場合であって、引き取り先が離島の場合
- (3) 有料修理の場合であって、お客様が修理料金の見積もりを希望された場合
- (4) お客様のご都合により、修理完了後の対象機器の返却日に日程変更等が生じた場合
- (5) 天災地変、戦争、暴動、内乱、輸送機関の事故、労働争議その他不可抗力の事由が生じた場合
- (6) 第12条第1項に定める補修用性能部品が在庫切れの場合

第9条 (修理品の保管期間)

引取修理の場合であって、修理完了後にお客様に修理の完了および返却日をお知らせしているにもかかわらず修理後の対象機器をお受け取りいただけない場合、または対象機器お預かり後にお客様が修理のご依頼をキャンセルされたにもかかわらず当該対象機器をお引き取りいただけない場合は、富士通は、対象機器をお預かりした日から6か月間の保管期間の経過をもって、お客様が当該対象機器の所有権を放棄されたものとみなし、当該対象機器を自由に処分できるものとします。この場合、富士通はお客様に対し、当該保管に要した費用および当該処分に要する費用を請求できるものとし、また、保証期間外の修理の場合は、別途修理料金または診断料を請求できるものとします。

第10条 (故障部品の取り扱い)

修理を行うために対象機器から取り外した故障部品については、お客様はその所有権を放棄するものとし、富士通は、当該故障部品をお客様に返却しないものとします。なお、当該故障部品は、環境への配慮から再調整後検査し、富士通の品質保証された補修用性能部品として再利用する場合があります。

お客様は、修理をご依頼されるにあたり、あらかじめ以下の事項についてご了承いただくものとします。

- a. お客様が対象機器出荷時の標準搭載の部品を加工・改造されたこと、または対象機器出荷時の標準搭載以外の部品を使用されたことに起因する故障の修理
- b. ウィルスの除去
- c. 液晶ディスプレイの一部に非点灯、常時点灯などの表示が存在する場合の修理・交換
- d. データ等のバックアップおよび復旧作業
- (12) 訪問修理の場合であって、富士通または富士通指定の修理サービス会社がお客様への訪問日程調整のご連絡に努めたにもかかわらず、ご連絡がつかない状態が2週間以上継続した場合は、修理をキャンセルされたものとみなすことがあります。

1. 補修用性能部品は、製品の機能を維持するために必要な部品をいい、故障部品と機能、性能が同等な部品（再利用品および第 10 条に定める故障部品の再利用も含む）とします。
2. 富士通における補修用性能部品の最低保有期間につきましては、対象機器に同梱された説明書記載のとおりとなります。補修用性能部品の保有期間の終了をもって、当該対象機器の修理対応は終了となります。

1. 富士通は、本規定に基づく修理に関してお客様から入手した情報のうち、当該お客様個人を識別できる情報（以下「お客様の個人情報」といいます。）につき、以下の利用目的の範囲内で取り扱います。
 - (1) 修理を実施すること。
 - (2) 修理の品質の向上を目的として、電子メール、郵便、電話等によりアンケート調査を実施すること。

- ・ ARROWS Tab QH シリーズ
- ・ ARROWS Tab Wi-Fi QH シリーズ
- ・ arrows Tab QH シリーズ
- ・ arrows Tab RH シリーズ
- ・ FMV シリーズ
- ・ FMV STYLISTIC QH シリーズ
- ・ ESPRIMO / LIFEBOOK (品名が以下のように表記される製品)

品名： * H / R **
 ↑ ↑
 アルファベット 数字またはアルファベット
 (1～2桁)



活用ガイド

本製品の取り扱い方法や、設定の変更方法などを説明しています。

各部の名称と働き	84
取り扱い	104
バックアップ	133
使いこなすために	137



各部の名称と働き

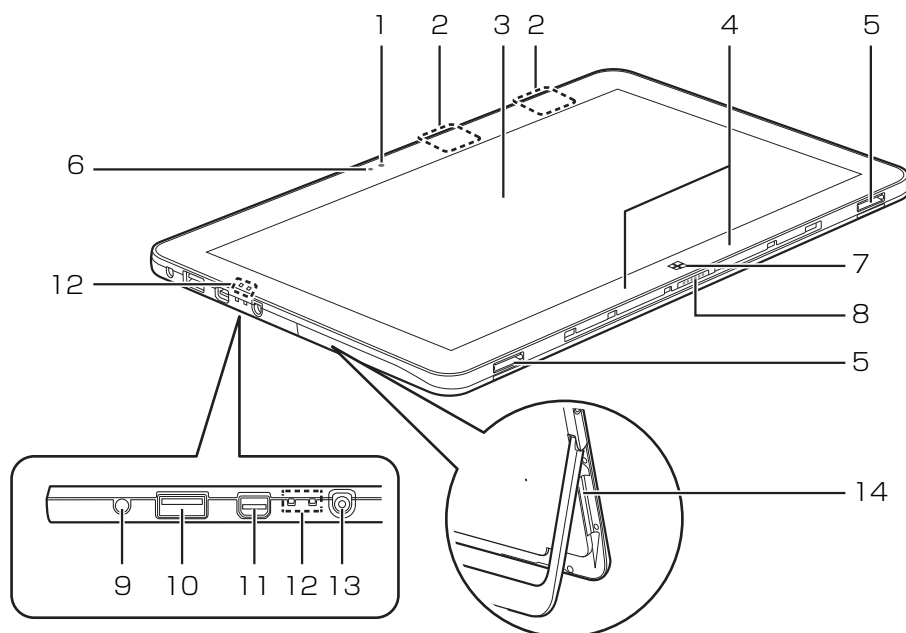
お使いの機種にあわせてご覧ください。

- ・ arrows Tab RH シリーズの場合 (→ P.84)
- ・ arrows Tab QH シリーズの場合 (→ P.91)

arrows Tab RH シリーズ

タブレット本体表面

■arrows Tab RH77/B1



(イラストは機種や状況により異なります)

1 イン Web カメラ

自分を撮影するときなどに使います。

2 無線 LAN・Bluetooth ワイヤレステクノロジー兼用アンテナ

無線 LAN・Bluetooth ワイヤレステクノロジー兼用のアンテナが内蔵されています。



- ▶ 無線 LAN、Bluetooth ワイヤレステクノロジーについて、詳しくは「通信」(→ P.179) をご覧ください。

3 液晶ディスプレイ (タッチパネル)

入力した内容や、タブレット内のデータなどを表示します。画面に触れて操作することができます (→ P.111)。

次のようなときに、画面にムラが発生する場合があります。

- ・ 液晶ディスプレイに強い圧力が加わったとき
- ・ タッチ操作を行ったとき

4 内蔵マイク

マイクを使うアプリで使います。

5 クレードル接続コネクタ

クレードルを接続します (→ P.123)。

6 明るさセンサー

周囲の明るさを検知して、画面の明るさを自動的に調節します (→ P.116)。

7 Windows ボタン

「スタート」メニューを表示したいときに押します。

8 カバーキーボード接続コネクタ

カバーキーボードを接続します (→ P.121)。

9 マイク・ラインイン・ヘッドホン・ラインアウト・ヘッドセット兼用端子 (🎧)

外径 3.5mm のミニプラグに対応した市販のヘッドホンを接続します。また、設定を変更することで、マイク入力端子、ライン入力／出力端子、ヘッドセット端子としても使用できます (→ P.178)。なお、この端子はハイレゾに対応しています。

Point

- ▶ ハイレゾで音源を聴く場合、ハイレゾ対応イヤホン・ヘッドホンが必要です。
- ▶ ハイレゾで出力する場合、ハイレゾの音源が必要です。ハイレゾについては、「ハイレゾを楽しむ (<http://www.fmworld.net/fmv/func/hires/>) 」でご紹介しています。こちらもあわせてご覧ください。
- ▶ CDなどのディスクのハイレゾ音源には対応していません。

10 USB3.0 コネクタ (電源オフ USB 充電機能対応) (🔌🔌)

USB 規格の周辺機器を接続します。

接続した USB 機器の動作は、周辺機器や間に接続されている USB ハブやケーブルの性能に依存します。このコネクタは、設定を変更することにより、電源オフ USB 充電機能を使用できます (→ P.120)。

11 miniDisplayPort コネクタ

デジタルテレビや、デジタル接続の外部ディスプレイを接続します。

12 状態表示 LED

タブレット本体の状態を表示します。

①	電源ランプ 電源の状態を表示します (→ P.105)。
➡🔌	バッテリー充電ランプ ACアダプタに接続されている場合に、バッテリーの充電状態を表示します (→ P.107)。

13 DC-IN コネクタ (==)

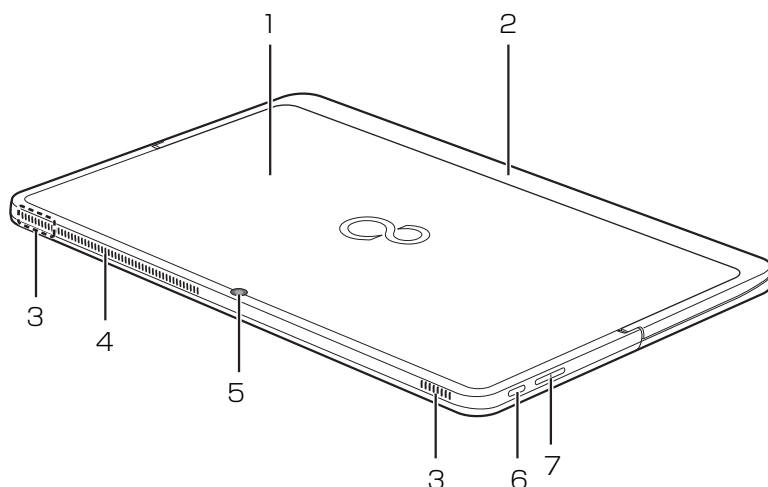
添付の AC アダプタを接続します。

14 ダイレクト・メモリースロット (microSD)

microSD メモリーカードを差し込みます (→ P.117)。

タブレット本体裏面

■arrows Tab RH77/B1



(イラストは機種や状況により異なります)

1 リセットスイッチ

電源ボタンで電源が切れなくなったときに使用します (→ P.63)。

2 Uスタンド (→ P.53)

3 スピーカー

タブレットの音声を出力します (→ P.115)。

4 排気孔

タブレット本体内部の熱を外部に逃がします。

5 アウトWebカメラ

静止画や動画を撮影するときに使用します。

6 電源ボタン (⏻)

Windows をスタートします (→ P.104)。

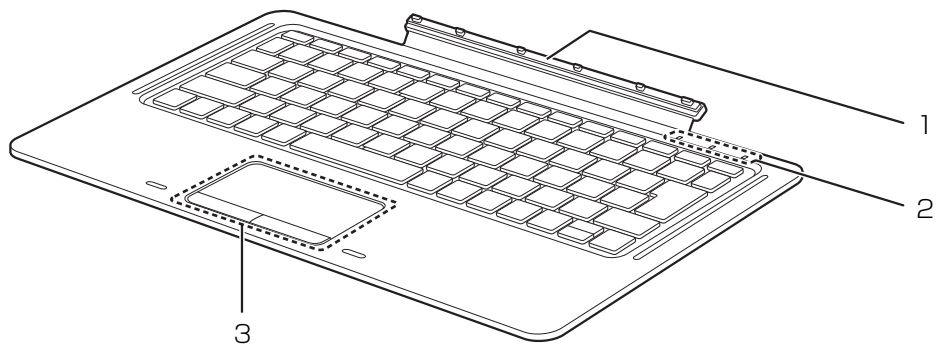
7 音量調節ボタン (+/-)

音量を調節します。

カバーキーボード

■arrows Tab RH77/B1

□上面



(イラストは機種や状況により異なります)

1 本体接続コネクタ

タブレット本体を接続します (→ P.53)。

2 状態表示 LED

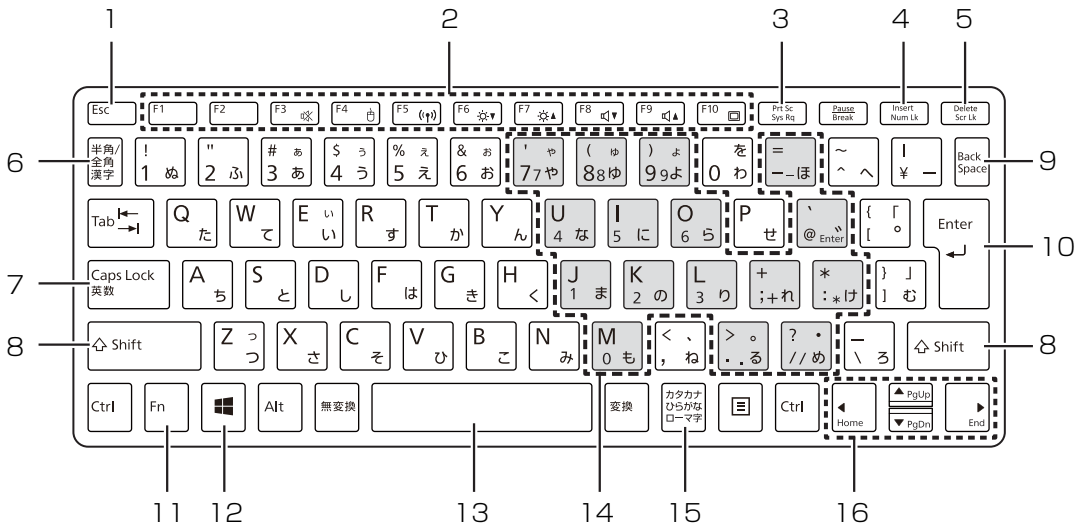
キーボードの状態を表示します。

	Num Lock ランプ キーボードがテンキーモード (→ P.89) のときに点灯します。
	Caps Lock ランプ キーボードが英大文字固定モード (英字を大文字で入力する状態) のときに点灯します。
	Scroll Lock ランプ  を押しながら  を押したときに点灯します。点灯中の動作は、アプリによって異なります。

3 フラットポイント

マウスポインター()を操作します (→ P.110)。

□キーボード



1 Esc キー

現在の作業を取り消します。

10 Enter キー

入力した文字を確定したり、改行したりします。

2 ファンクションキー

アプリごとにいろいろな機能が割り当てられています。青い刻印の機能は、**(Fn)** を押しながらそのキーを押して使います。

11 Fn キー

(Fn) を押しながら青い刻印のあるキーを押すと、それぞれのキーに割り当てられた機能を使用することができます。

3 Prt Sc キー

画面に表示されている内容を画像としてコピーできます。

(Fn) + (F3) 音声出力のON/OFFを切り替えます。

4 Num Lk キー

(Fn) を押しながらこのキーを押すと、テンキーモード (→ P.89) になります。もう一度押すと解除されます。

(Fn) + (F4) フラットポイントの有効/無効を切り替えます (→ P.159)。

5 Delete キー

カーソルの右側にある 1 文字を削除します。

(Fn) + (F5) 本タブレットの内蔵アンテナを使用する無線通信機能の電波の発信/停止を切り替えます。

6 半角/全角キー

このキーを押すごとに、半角入力/全角入力を切り替えます。全角入力にすると、日本語を入力できます。

(Fn) + (F6) 画面を暗くします。

7 Caps Lock キー

(Shift) を押しながらこのキーを押して、英大文字入力/小文字入力を切り替えます。

(Fn) + (F7) 画面を明るくします。

8 Shift キー

このキーを押しながら文字キーを押すと、キーの上段に刻印されている記号を入力できます。

(Fn) + (F8) 音量を小さくします。

9 Back Space キー

カーソルの左側にある 1 文字を削除します。

(Fn) + (F9) 音量を大きくします。

(Fn) + (F10) 外部ディスプレイを接続した場合に、液晶ディスプレイと外部ディスプレイで表示先を切り替えます。

(Fn) + (Home) カーソルを行の最初に移動します。

(Fn) + (Ctrl) + (Home) 文章の最初に移動します。

(Fn) + (Pg Up) 前の画面に切り替えます。

(Fn) + (Pg Dn) 次の画面に切り替えます。

(Fn) + (End) カーソルを行の最後に移動します。

(Fn) + (Ctrl) + (End) 文章の最後に移動します。

12 Windows キー

「スタート」メニューを表示したいときに押します。

13 空白 (Space) キー

文字を入力するときに、空白 (スペース) を入力します。

14 テンキーになるキー

テンキーモードのときに、テンキーとして使えるキーです。

15 カタカナ／ひらがなキー

 を押しながらこのキーを押して、ローマ字入力／ひらがな入力を切り替えます。

16 カーソルキー

カーソルを上下左右に移動します。

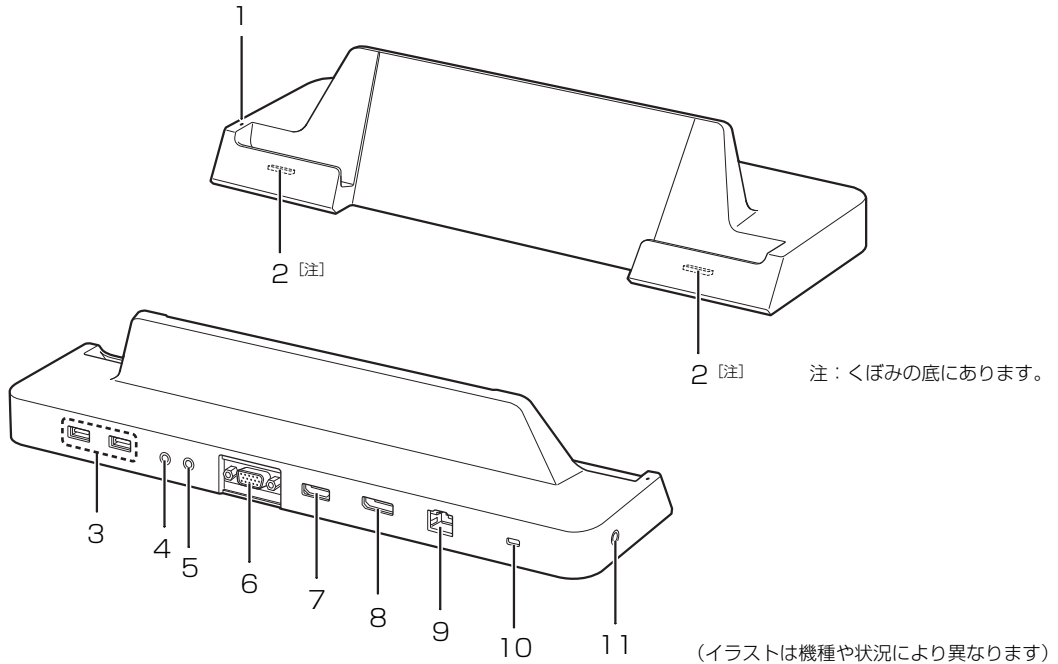


- ▶ テンキーモードとは、文字キーの一部をテンキー (数字の入力を容易にするキー配列) として使えるように切り替えた状態のことです。テンキーモードのときは、状態表示 LED の Num Lock ランプが点灯します。
テンキーモードで入力できる文字は、「テンキーになるキー」の下段に青い文字で刻印されています。

クレードル

■arrows Tab RH77/B1

オプション（別売）として用意されています。



1 タブレット接続表示ランプ

タブレット本体が接続されているときに点灯します。

2 タブレット接続コネクタ

タブレット本体を接続します（→ P.123）。

3 USB3.0 コネクタ (●)

USB 規格の周辺機器を接続します。
接続した USB 機器の動作は、周辺機器や間に接続されている USB ハブやケーブルの性能に依存します。

4 マイク端子 (🎧)

外径 3.5mm のミニプラグに対応した市販のマイクを接続します。

5 ヘッドホン端子 (🎧)

外径 3.5mm のミニプラグに対応した市販のヘッドホンを接続します。
なお、この端子はハイレゾに対応していません。



- ▶ この端子にオーディオ機器を接続したり取り外したりするときは、オーディオ機器の再生音量を小さくするか、再生を停止してください。

6 アナログ RGB コネクタ (📺)

アナログディスプレイを接続します。

7 DisplayPort コネクタ

デジタルテレビや、デジタル接続の外部ディスプレイを接続します。

8 HDMI 出力端子 (HDMI)

デジタルテレビや、デジタル接続の外部ディスプレイを接続します。



- ▶ DisplayPort コネクタや HDMI 出力端子を使った同時表示やマルチモニター表示などについては、「外部ディスプレイやデジタルテレビに表示できる解像度と発色数」（→ P.163）をご覧ください。

9 LAN コネクタ (📶)

LAN ケーブルを接続します。

10 盗難防止用ロック取り付け穴 (🔒)

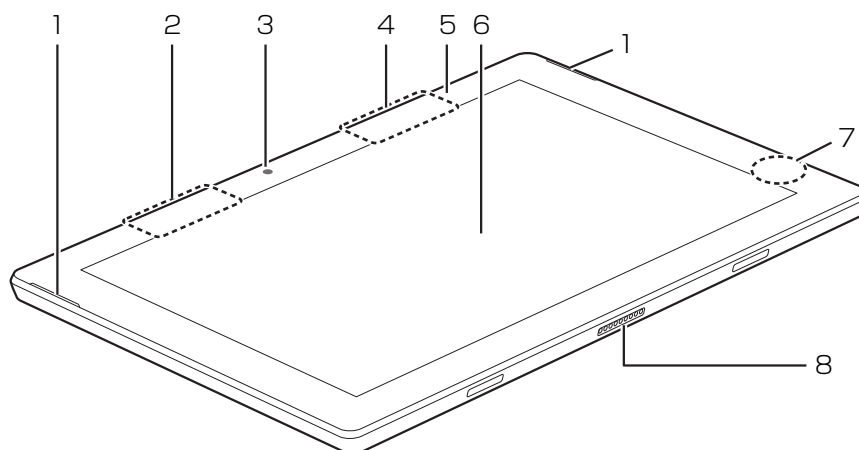
市販の盗難防止用ケーブルを接続します。

11 DC-IN コネクタ (==)

タブレット本体に添付の AC アダプタを接続します。

タブレット本体表面

■arrows Tab QH35/B1



(イラストは機種や状況により異なります)

1 スピーカー

タブレットの音声を出力します (→ P.115)。

2 Bluetooth ワイヤレステクノロジーアンテナ

Bluetoothワイヤレステクノロジーのアンテナが内蔵されています。

3 イン Web カメラ

自分を撮影するときなどに使います。

4 無線 LAN アンテナ

無線 LAN のアンテナが内蔵されています。

5 明るさセンサー

周囲の明るさを検知して、画面の明るさを自動的に調節します (→ P.116)。

6 液晶ディスプレイ (タッチパネル)

入力した内容や、タブレット内のデータなどを表示します。画面に触れて操作することができます (→ P.111)。

次のようなときに、画面にムラが発生する場合があります。

- ・液晶ディスプレイに強い圧力が加わったとき
- ・タッチ操作を行ったとき

7 バッテリー充電ランプ

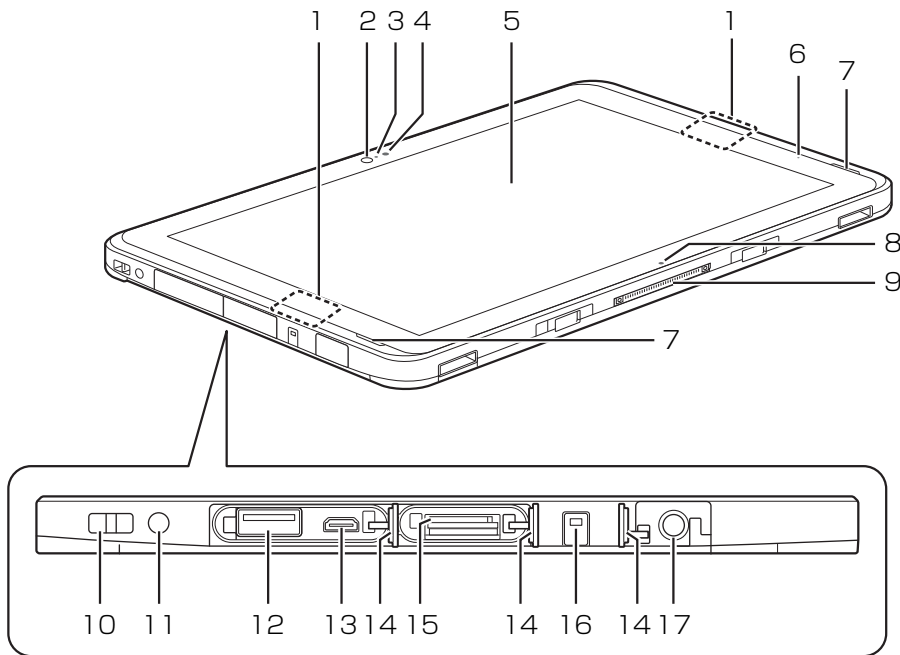
AC アダプタに接続されている場合に、バッテリーの充電状態を表示します (→ P.107)。

8 カバー付きキーボード接続コネクタ (→ P.121)

カバー付きキーボードを接続します。

Point

- ▶ 無線 LAN、Bluetooth ワイヤレステクノロジーについて、詳しくは「通信」 (→ P.179) をご覧ください。



(イラストは機種や状況により異なります)

1 無線 LAN・Bluetooth ワイヤレステクノロジー 兼用アンテナ

無線 LAN・Bluetooth ワイヤレステクノロジー 兼用のアンテナが内蔵されています。



▶ 無線 LAN、Bluetooth ワイヤレステクノロジー について、詳しくは「通信」(→ P.179) をご覧ください。

2 イン Web カメラ

自分を撮影するときなどに使います。

3 イン Web カメラ状態表示ランプ

イン Web カメラが動作しているときに点灯します。

4 明るさセンサー

周囲の明るさを検知して、画面の明るさを自動的に調節します (→ P.116)。

5 液晶ディスプレイ (タッチパネル)

入力した内容や、タブレット内のデータなどを表示します。画面に触れて操作することができます (→ P.111)。

次のようなときに、画面にムラが発生する場合があります。

- ・液晶ディスプレイに強い圧力が加わったとき
- ・タッチ操作を行ったとき

6 電源ランプ (①)

本タブレットの状態を表示します (→ P.105)。

7 スピーカー

タブレットの音声を出力します (→ P.115)。

8 位置合わせマーク

クレードルやキーボードに接続するときに位置を合わせます。

9 ドッキングコネクタ (→ P.123)

クレードルやキーボードを接続します。

10 ペンひも取り付け用穴 (→ P.111)

11 ヘッドホン・ヘッドセット兼用端子 (🎧)

外径 3.5mm のミニプラグに対応した市販のヘッドホン・マイク・ヘッドセットを接続します。
なお、この端子はハイレゾに対応していません。

12 USB3.0 コネクタ (🔌)

USB 規格の周辺機器を接続します。
接続した USB 機器の動作は、周辺機器や間に接続されている USB ハブやケーブルの性能に依存します。

13 microHDMI 出力端子 (HDMI)

デジタルテレビや、デジタル接続の外部ディスプレイ、VGA変換アダプタ(別売)などを接続します。

Point

- ▶ 同時表示やマルチモニター表示などについては、「外部ディスプレイやデジタルテレビに表示できる解像度と発色数」(→ P.163)をご覧ください。
- ▶ VGA 変換アダプタを使用する場合は、先に VGA 変換アダプタとディスプレイを接続し、その後タブレット本体と VGA 変換アダプタを接続してください。

14 カバー

15 ダイレクト・メモリースロット (microSD)

microSD メモリーカードを差し込みます
(→ P.117)。

16 バッテリー充電ランプ (🔋)

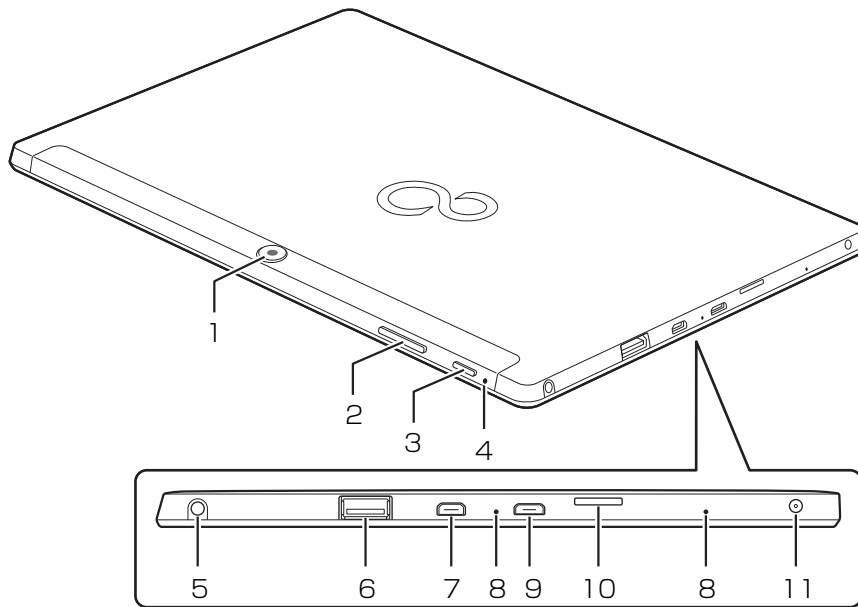
AC アダプタに接続されている場合に、バッテリーの充電状態を表示します (→ P.107)。

17 DC-IN コネクタ (==)

添付の AC アダプタを接続します。

タブレット本体裏面

■arrows Tab QH35/B1



(イラストは機種や状況により異なります)

1 アウト Web カメラ

静止画や動画を撮影するときに使用します。

2 音量調節ボタン (+ / -)

音量を調節します。

3 電源ボタン (⏻)

Windows をスタートします (→ P.104)。

4 リセットスイッチ (RESET)

電源ボタンで電源が切れなくなったときに使用します (→ P.63)。

5 ヘッドホン・ヘッドセット兼用端子 (🎧)

外径 3.5mm のミニプラグに対応した市販のヘッドホン・ヘッドセットを接続します。

6 USB3.0 コネクタ (🔌)

USB 規格の周辺機器を接続します。
接続した USB 機器の動作は、周辺機器や間に接続されている USB ハブやケーブルの性能に依存します。

7 microHDMI 出力端子 (HDMI)

デジタルテレビや、デジタル接続の外部ディスプレイを接続します。



▶ 同時表示やマルチモニター表示などについては、「外部ディスプレイやデジタルテレビに表示できる解像度と発色数」(→ P.163) をご覧ください。

8 内蔵マイク

マイクを使うアプリで使用します。

9 microUSB コネクタ (micro🔌)

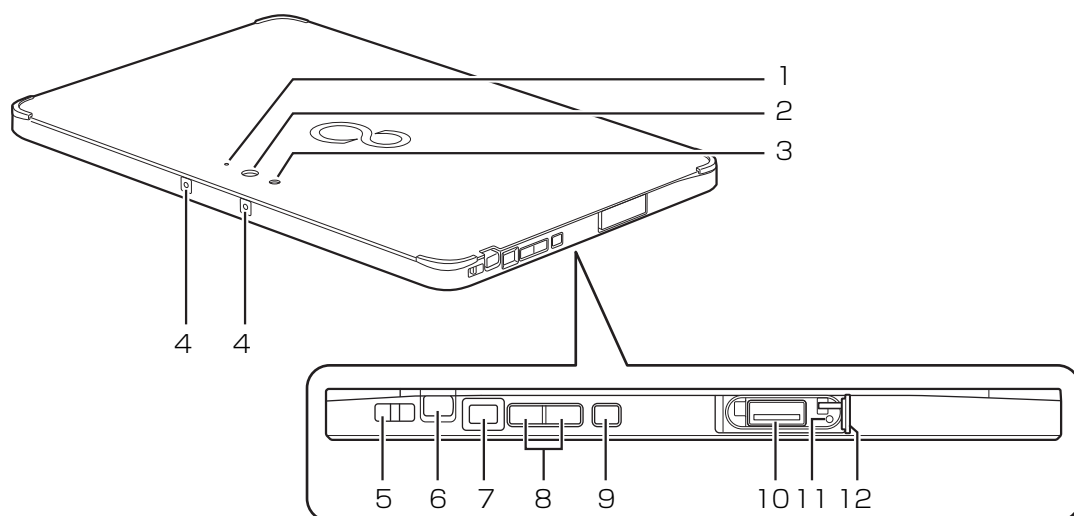
USB 変換ケーブルなど、microUSB 対応の各種変換ケーブル (別売) を接続します。
microUSB2.0 に対応しています。
接続した USB 機器の動作は、周辺機器や間に接続されている USB ハブやケーブルの性能に依存します。

10 ダイレクト・メモリスロット (microSD📁)

microSD メモリーカードを差し込みます (→ P.117)。

11 DC-IN コネクタ (==)

添付の AC アダプタを接続します。



(イラストは機種や状況により異なります)

1 アウト Web カメラ状態表示ランプ

アウト Web カメラが動作しているときに点灯します。

2 アウト Web カメラ

静止画や動画を撮影するときに使用します。

3 アウト Web カメラ用ライト

静止画撮影時のフラッシュ、動画撮影時のライトとして使用します (Windows の標準機能のカメラで動作します)。



- ▶ バッテリー残量が少ない状態では、アウト Web カメラでの写真撮影時のフラッシュの明るさが暗くなります。

4 内蔵マイク

マイクを使うアプリで使用します。

5 ペンひも取り付け用穴 (→ P.111)

6 ペンホルダー (ペン)

このタブレットに添付のペンを収納します (→ P.111)。

7 電源ボタン (⏻)

Windows をスタートします (→ P.104)。

8 音量調節ボタン (+ / -)

音量を調節します。

9 ショートカットボタン (■)

ご購入時はショートカットボタンの機能が設定されていますが、Windows ボタンの機能を設定することもできます。

ショートカットボタンの機能が設定されている場合は、次のように使用できます。

- ・ ボタンを短く押す
「ステータスパネルスイッチ」が起動します (→ P.149)。
- ・ ボタンを長く押す
「ワンタッチキャプチャ」が起動します (→ P.142)。

Windows ボタンの機能が設定されている場合は、ボタンを押すと、スリープからの復帰 (レジューム) や、「スタート」メニューを表示できます。このボタンの機能は、BIOS セットアップで設定します。BIOS セットアップについて詳しくは、「BIOS の設定」 (→ P.192) をご覧ください。

10 USB2.0 コネクタ (●)

USB 規格の周辺機器を接続します。

接続した USB 機器の動作は、周辺機器や間に接続されている USB ハブやケーブルの性能に依存します。

11 強制終了スイッチ

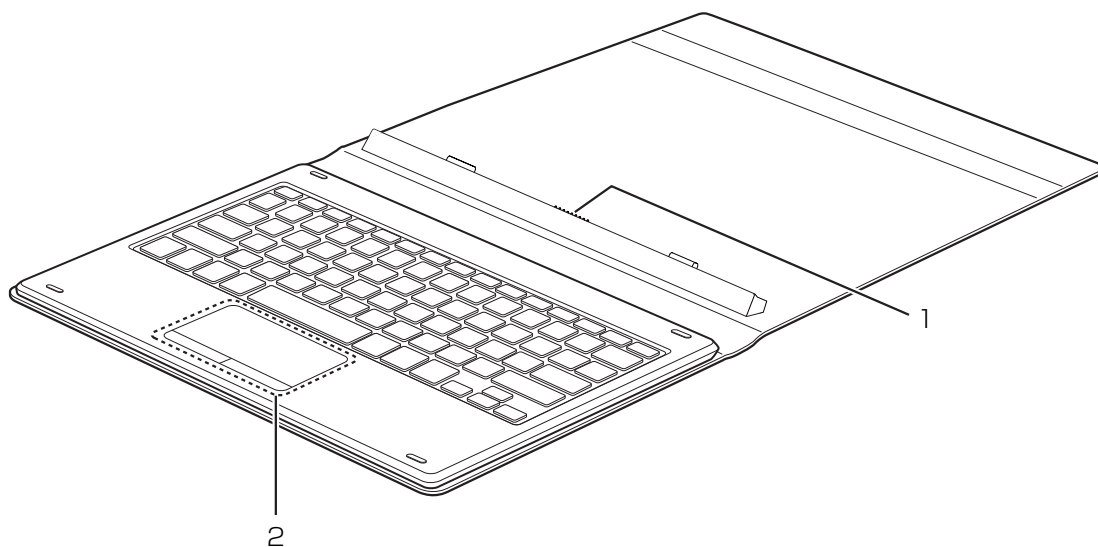
電源ボタンで電源が切れなくなったときに使用します (→ P.63)。

12 カバー

カバー付きキーボード

■arrows Tab QH35/B1

□上面



(イラストは機種や状況により異なります)

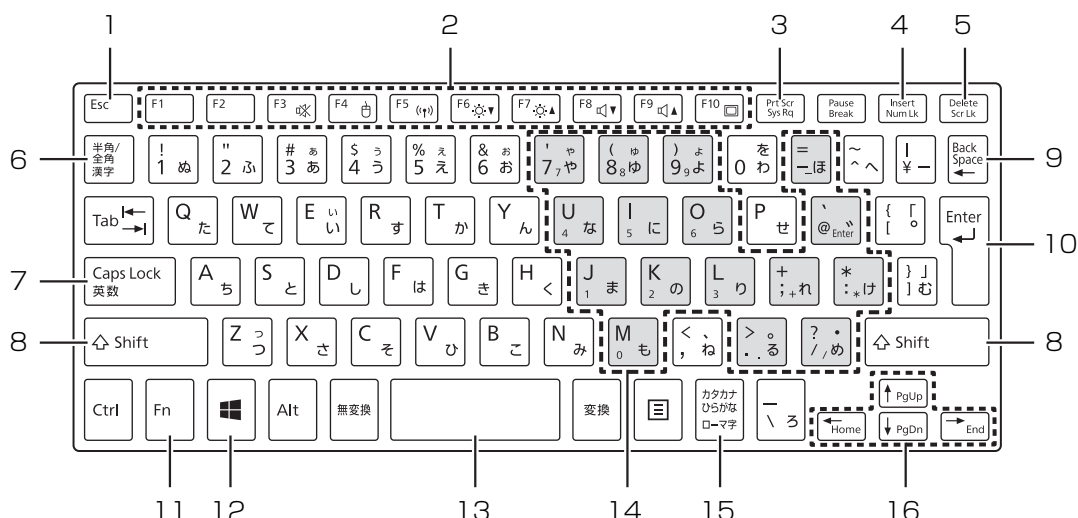
1 本体接続コネクタ

タブレット本体を接続します (→ P.55)。

2 フラットポイント

マウスポインター(☞)を操作します (→ P.110)。

□キーボード



1 Esc キー

現在の作業を取り消します。

2 ファンクションキー

アプリごとにいろいろな機能が割り当てられています。青い刻印の機能は、**[Fn]** を押しながらそのキーを押して使います。

3 Prt Sc キー

画面に表示されている内容を画像としてコピーできます。

4 Num Lk キー

[Fn] を押しながらこのキーを押すと、テンキーモード (→ P.89) になります。もう一度押すと解除されます。

5 Delete キー

カーソルの右側にある 1 文字を削除します。

6 半角/全角キー

このキーを押すごとに、半角入力/全角入力を切り替えます。全角入力にすると、日本語を入力できます。

7 Caps Lock キー

[Shift] を押しながらこのキーを押して、英大文字入力/小文字入力を切り替えます。

8 Shift キー

このキーを押しながら文字キーを押すと、キーの上段に刻印されている記号を入力できます。

9 Back Space キー

カーソルの左側にある 1 文字を削除します。

10 Enter キー

入力した文字を確定したり、改行したりします。

11 Fn キー

[Fn] を押しながら青い刻印のあるキーを押すと、それぞれのキーに割り当てられた機能を使用することができます。

[Fn] + [F3] 音声出力の ON/OFF を切り替えます。

[Fn] + [F4] フラットポイントの有効/無効を切り替えます (→ P.159)。

[Fn] + [F5] 本タブレットの内蔵アンテナを使用する無線通信機能の電波の発信/停止を切り替えます。

[Fn] + [F6] 画面を暗くします。

[Fn] + [F7] 画面を明るくします。

[Fn] + [F8] 音量を小さくします。

[Fn] + [F9] 音量を大きくします。

[Fn] + [F10] 外部ディスプレイを接続した場合に、液晶ディスプレイと外部ディスプレイで表示先を切り替えます。

[Fn] + [Home] カーソルを行の最初に移動します。

[Fn] + [Ctrl] + [Home] 文章の最初に移動します。

[Fn] + [Pg Up] 前の画面に切り替えます。

[Fn] + [Pg Dn] 次の画面に切り替えます。

[Fn] + [End] カーソルを行の最後に移動します。

[Fn] + [Ctrl] + [End] 文章の最後に移動します。

12 Windows キー

「スタート」メニューを表示したいときに押します。

13 空白 (Space) キー

文字を入力するときに、空白 (スペース) を入力します。

14 テンキーになるキー

テンキーモードのときに、テンキーとして使えるキーです。

15 カタカナ／ひらがなキー

 を押しながらこのキーを押して、ローマ字入力／ひらがな入力を切り替えます。

16 カーソルキー

カーソルを上下左右に移動します。

Point

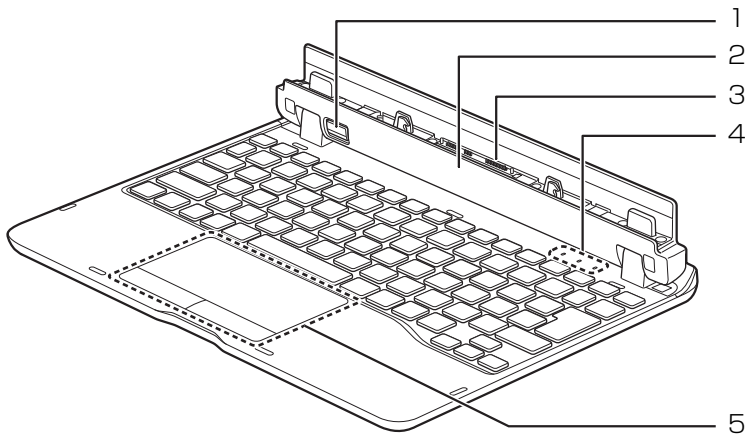
- ▶ テンキーモードとは、文字キーの一部をテンキー (数字の入力を容易にするキー配列) として使えるように切り替えた状態のことです。
テンキーモードで入力できる文字は、「テンキーになるキー」の下段に小さい文字で刻印されています。

スリムキーボード／軽量スリムキーボード

■arrows Tab WQ2/B1

タブレット本体と一緒に購入されていない場合は、別売として用意されています。

□上面



(イラストは機種や状況により異なります)

1 取り外しボタン

キーボードをタブレット本体から取り外す場合に押します (→ P.122)。

2 位置合わせマーク

タブレット本体を接続するときに位置を合わせます。

3 本体接続コネクタ

タブレット本体を接続します (→ P.122)。

4 状態表示 LED

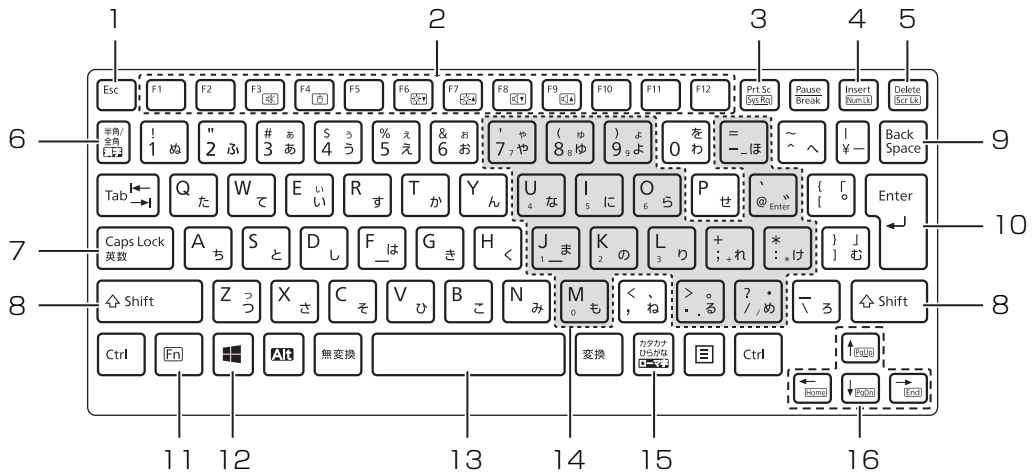
キーボードの状態を表示します。
軽量スリムキーボードには搭載されていません。

	Num Lock ランプ キーボードがテンキーモード (→ P.101) のときに点灯します。
	Caps Lock ランプ キーボードが英大文字固定モード (英字を大文字で入力する状態) のときに点灯します。
	Scroll Lock ランプ  を押しながら  を押したときに点灯します。点灯中の動作は、アプリによって異なります。

5 フラットポイント

マウスポインター()を操作します (→ P.110)。

□キーボード



1 Esc キー

現在の作業を取り消します。

10 Enter キー

入力した文字を確定したり、改行したりします。

2 ファンクションキー

アプリごとにいろいろな機能が割り当てられています。枠で囲まれた刻印の機能は、**[Fn]**を押しながらそのキーを押して使います。

11 Fn キー

[Fn]を押しながら、枠で囲まれた刻印のあるキーを押すと、それぞれのキーに割り当てられた機能を使用することができます。

3 Prt Sc キー

画面に表示されている内容を画像としてコピーできます。

[Fn] + [F3]

音声出力のON/OFFを切り替えます。

4 Num Lk キー

[Fn]を押しながらこのキーを押すと、テンキーモード（→ P.101）になります。もう一度押すと解除されます。

[Fn] + [F4]

フラットポイントの有効／無効を切り替えます（→ P.159）。

5 Delete キー

カーソルの右側にある 1 文字を削除します。

[Fn] + [F6]

画面を暗くします。

6 半角／全角キー

このキーを押すごとに、半角入力／全角入力を切り替えます。全角入力にすると、日本語を入力できます。

[Fn] + [F7]

画面を明るくします。

7 Caps Lock キー

[Shift]を押しながらこのキーを押して、英大文字入力／小文字入力を切り替えます。

[Fn] + [F8]

音量を小さくします。

8 Shift キー

このキーを押しながら文字キーを押すと、キーの上段に刻印されている記号を入力できます。

[Fn] + [F9]

音量を大きくします。

9 Back Space キー

カーソルの左側にある 1 文字を削除します。

[Fn] + [Home]

カーソルを行の最初に移動します。

[Fn] + [Ctrl] + [Home]

文章の最初に移動します。

[Fn] + [Pg Up]

前の画面に切り替えます。

[Fn] + [Pg Dn]

次の画面に切り替えます。

[Fn] + [End]

カーソルを行の最後に移動します。

[Fn] + [Ctrl] + [End]

文章の最後に移動します。

12 Windows キー

「スタート」メニューを表示したいときに押します。

13 空白 (Space) キー

文字を入力するときに、空白（スペース）を入力します。

14 テンキーになるキー

テンキーモードのときに、テンキーとして使えるキーです。

15 カタカナ／ひらがなキー

[Alt] を押しながらこのキーを押して、ローマ字入力／ひらがな入力を切り替えます。

16 カーソルキー

カーソルを上下左右に移動します。



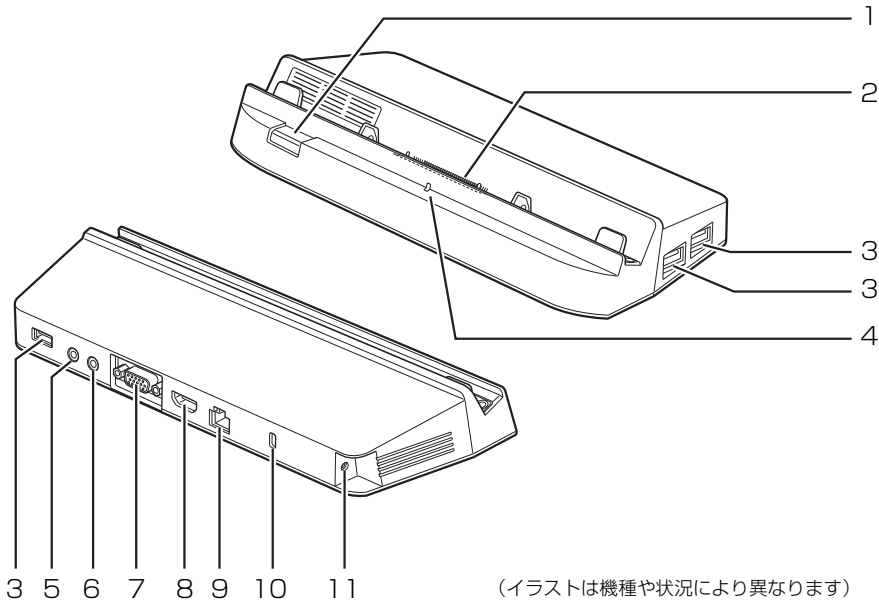
- ▶ テンキーモードとは、文字キーの一部をテンキー（数字の入力を容易にするキー配列）として使えるように切り替えた状態のことです。スリムキーボードをお使いの場合、テンキーモードのときは、状態表示 LED の Num Lock ランプが点灯します。

テンキーモードで入力できる文字は、「テンキーになるキー」の下段に小さい文字で刻印されています。

クレードル

■arrows Tab WQ2/B1

タブレット本体と一緒に購入されていない場合は、別売として用意されています。



(イラストは機種や状況により異なります)

1 取り外しボタン

クレードルをタブレット本体から取り外す場合に押します (→ P.126)。

2 本体接続コネクタ

タブレット本体を接続します (→ P.125)。

3 USB3.0 コネクタ (●⇄)

USB 規格の周辺機器を接続します。
接続した USB 機器の動作は、周辺機器や間に接続されている USB ハブやケーブルの性能に依存します。

4 接続確認ランプ

タブレット本体と正常に接続されている場合に点灯します。

次の状態では、タブレット本体を接続しても点灯しません。

- ・タブレット本体と正しく接続されていません。
タブレット本体を接続し直してください。
- ・AC アダプタが接続されていません。AC アダプタを接続してください。

5 マイク・ラインイン兼用端子 (🎧)

外径 3.5mm のミニプラグに対応した市販のマイクを接続します。

6 ヘッドホン・ラインアウト兼用端子 (🎧)

外径 3.5mm のミニプラグに対応した市販のヘッドホン接続します。

Point

- ▶ この端子にオーディオ機器を接続したり取り外したりするときは、オーディオ機器の再生音量を小さくするか、再生を停止してください。

7 アナログ RGB コネクタ (📺)

アナログディスプレイを接続します。

8 HDMI 出力端子 (HDMI)

デジタルテレビや、デジタル接続の外部ディスプレイを接続します。



- ▶ 同時表示やマルチモニター表示、HDMI 出力端子接続時の出力方式などについては、「外部ディスプレイやデジタルテレビに表示できる解像度と発色数」(→ P.163) をご覧ください。
- ▶ タブレット本体の microHDMI 出力端子にディスプレイや各種変換ケーブルを接続した場合、クレードルのアナログ RGB コネクタ、HDMI 出力端子は使用できません。
- ▶ クレードルのアナログ RGB コネクタと HDMI 出力端子は同時に使用できません。

9 LAN コネクタ (LAN)

LAN ケーブルを接続します。

10 盗難防止用ロック取り付け穴 (Lock)

市販の盗難防止用ケーブルを接続します。

11 DC-IN コネクタ (DC-IN)

クレードル専用の AC アダプタを接続します。

Windows をスタートする／終了する

Windows をスタートする

⚠ 注意

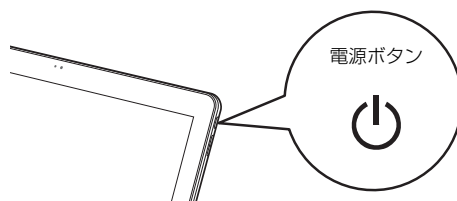
- AC アダプタを接続しているとき、落雷の可能性がある場合は、あらかじめタブレット本体の電源を切り、その後 AC アダプタをコンセントから抜き、ケーブル類を取り外しておいてください。落雷による感電、火災の原因となります。ケーブル類の接続作業は、落雷の可能性がなくなるまで行わないでください。
- AC アダプタは、このマニュアルをよく読み、正しく接続してください。誤った接続状態でお使いになると、感電・火災の原因となります。また、タブレット本体が故障する原因となります。

重要

- ▶ タブレットを長時間お使いになる場合は、バッテリー切れによるデータ消失などを防ぐため、必ず AC アダプタを取り付けてください。
- ▶ AC アダプタを取り付けるときは、変形や破損のないことを確認してください。
- ▶ 電源を入れてから Windows がスタートするまでは、画面やキーボードなどで操作しないでください。正常にスタートできない場合があります。

1 電源ボタン (⏻) を 2 秒ほど押し続けます。

電源ボタンを4秒以上(arrows Tab QH35/B1、WQ2/B1 の場合は 10 秒以上) 押すと、タブレットの電源が強制的に切れてしまいます。データが失われる場合もありますので、ご注意ください。



(イラストは機種や状況により異なります)

2 ロック画面を下から上にスライドします。

パスワードやPINを設定している場合は、パスワードやPINを入力します。

Windows がスタートします。

Point

- ▶ Windows がスタートしないときは
 - ・ AC アダプタを接続している場合
AC アダプタが正しく接続されているか確認してください。
 - ・ バッテリーのみで使う場合
バッテリー残量が少ないと電源を入れても Windows が起動しないことがあります。この場合は、AC アダプタを接続して、しばらく充電してから起動してください。
- それでも Windows がスタートしない場合は、「起動・終了時のトラブル」(→ P.61) をご覧ください。

Windowsを終了する

重要

- ▶ 次のような場合は、「タブレットの電源を完全に切るには」(→ P.77) をご覧になり、電源を切ってください。
 - ・ BIOS セットアップを起動する
- ▶ Windows がスタートして 1 分以上たってから終了するようにしてください。

1   (電源) ▶ 「シャットダウン」の順にタップします。
「スタート」メニューが表示されている場合は、 をタップする必要はありません。
しばらくすると、Windows が終了します。

Point

- ▶ Windows が終了できないときは、「起動・終了時のトラブル」(→ P.61) をご覧ください。
- ▶ arrows Tab QH35/B1、WQ2/B1 の場合は、次の手順で終了することもできます。
 1. 電源ボタンを 4 秒以上押します。
 2. 「スライドして PC をシャットダウンします」と表示されたら、画面をまっすぐ下にスライドします。
- ▶ タブレットは Windows を終了した状態でも少量の電力を消費し、バッテリー残量が減ります。長期間タブレットを使用しない場合は、タブレットの電源を完全に切ってください。AC アダプタを接続している場合は取り外してください。
 - ・ AC アダプタや電源ケーブルは、変形したり、割れたり、傷が付かないように保管してください。保管するときは、AC アダプタにケーブル類を巻きつけたりしないでください。

電源ランプの状態

arrows Tab RH77/B1、WQ2/B1 をお使いの方のみお読みください。

電源ランプ (①) は、タブレットの状態によって次のように動作します。

■arrows Tab RH77/B1

電源ランプの状態	タブレットの状態
点灯	タブレットの電源が入っている
点滅	スリープ
消灯	タブレットの電源が切れている

■arrows Tab WQ2/B1

電源ランプの状態	タブレットの状態
点灯	・ 動作状態 ・ スリープ状態
消灯	・ 電源オフ ・ 休止状態

スリープにする／復帰させる

スリープとは、Windows を終了せずに、作業中のデータなどをメモリに保存して、タブレットを待機状態にすることです。

スリープにしておくと、次にタブレットを使うときにすぐに使い始めることができます。

スリープにするときの注意

次の場合は、いったんタブレットの電源を切り、電源を入れ直してください。

- タブレットを長期間使わないとき
- タブレットの動作が遅くなったり、正常に動作しなくなったりするとき

重要

- ▶ スリープ中は、メモリに保存したデータなどを保持するために少しずつ電力を消費しています。

Point

- ▶ Web カメラを使用するアプリを起動中は、一定時間タブレットを操作しない場合に自動的にスリープになる機能はご使用になれません。

スリープにする

- 1   (電源) ▶ 「スリープ」の順にタップします。「スタート」メニューが表示されている場合は、 をタップする必要はありません。ディスプレイの表示が消えスリープになります。

Point

- ▶ 電源ボタンを押すことで、スリープにすることもできます。
- ▶ キーボードを取り付けてお使いの場合は、タブレット本体とキーボードを閉じることで、スリープにすることもできます。詳しくは、「スリープの設定変更」(→ P.147) をご覧ください。

スリープから復帰する

- 1 電源ボタン (⏻) を押します。

電源ボタンは4秒以上(arrows Tab QH35/B1、WQ2/B1 の場合は 10 秒以上) 押さないでください。タブレットの電源が切れてしまいます。

- 2 ロック画面が表示された場合は、次のように操作します。

1. ロック画面を下から上にスライドします。
パスワードや PIN を設定している場合は、パスワードや PIN を入力します。

Point

- ▶ スリープにした後は、必ず10秒以上たってから復帰(レジューム)するようにしてください。
- ▶ 復帰(レジューム)させた後は、必ず10秒以上たってから、スリープにするようにしてください。
- ▶ arrows Tab RH77/B1 をお使いの場合、タブレット本体のを押すことで、復帰(レジューム)することもできます。
- ▶ 電源ボタンを押す以外の方法でスリープから復帰(レジューム)させると、Windows の仕様により、画面が表示されない場合があります。画面が表示されない場合は、画面をタップ、またはキーボードやフラットポイントなどから入力を行うと画面が表示されます。
- ▶ 復帰(レジューム)後、画面が表示されないままの状態で一定時間経過すると、再度スリープになります。
- ▶ arrows Tab WQ2/B1 にキーボードを取り付けてお使いの場合は、タブレット本体とキーボードを開くことで、復帰(レジューム)することもできます。
- ▶ arrows Tab RH77/B1、QH35/B1 にキーボードを取り付けてお使いの場合、タブレット本体とキーボードを開いても復帰(レジューム)できません。

バッテリー

このタブレットは、バッテリーのみで動作させることができます。

重要

- ▶ バッテリーのみで使用する場合は、バッテリーが充電されているか確認してください。特にご購入時にはバッテリーが充電されていない場合があるので、ご注意ください。
- ▶ お客様自身でバッテリーを交換することはできません。

Point

- ▶ バッテリー残量が少ない場合、ACアダプタを接続しないと、タブレットの電源が入らないことがあります。
- ▶ arrows Tab WQ2/B1 の場合、バッテリー残量が0%になると、内蔵の時計がリセットされます。通知領域の日付と時刻を長押しし、表示されたメニューから「日付と時刻の調整」をタップして、日付と時刻を設定し直してください。

バッテリーの充電

- ACアダプタを接続すると、バッテリーの充電を開始します。充電が始まると、バッテリー充電ランプが点灯します。
- バッテリー残量が次の状態の場合は、ACアダプタを取り付けても充電されません。バッテリー残量が次の状態より少なくなると充電を開始します。
 - ・ arrows Tab RH77/B1 : 90% 以上
 - ・ arrows Tab QH35/B1、WQ2/B1 : 95% 以上

充電状態や残量の確認

■充電状態の確認

バッテリーの充電状態は、バッテリー充電ランプで確認できます。

- ACアダプタ接続時

バッテリー充電ランプの表示	状態
オレンジ色点灯	充電中

- ACアダプタ未接続時は、バッテリー充電ランプは消灯します。
- バッテリー残量が少なくなると、バッテリーの残り時間とバッテリー残量の不足を案内するポップアップや、「省電源移行バッテリーレベル」ウィンドウが表示されます。表示された場合は、ACアダプタを接続してください。

■残量の確認

バッテリーの残量は、通知領域にある  (電源アイコン) をタップすると確認できます。

なお、表示されるバッテリーの残量は、バッテリーの特性上、使用環境（温度条件やバッテリーの充放電回数など）により実際のバッテリーの残量とは異なる場合があります。

Point

- ▶ arrows Tab WQ2/B1 をお使いの場合、ご購入直後や修理直後、まれにバッテリー残量が正しく表示されない場合がありますが、故障ではありませんのでそのままお使いください。バッテリーの放電をした後、充電完了まで充電することで自動的に補正され正しい値になります。
- ▶ arrows Tab RH77/B1、WQ2/B1 の場合、次の手順でバッテリーの詳しい情報を確認できます。
 1.  ▶ 「FUJITSU - バッテリーユーティリティ」▶ 「バッテリーユーティリティ」の順にタップします。
 2. 「バッテリーの情報」をタップします。なお、arrows Tab WQ2/B1 では、タブレット本体を修理した場合、本情報がリセットされることがあります。修理に出す前にサイクル数をメモしておいてください。修理後にサイクル数が0に戻っていた場合は、メモしておいた回数を足した数をサイクル数の目安にしてください。

マウス

arrows Tab WQ2/B1 で、ご購入時にマウスも一緒に購入された方のみお読みください。

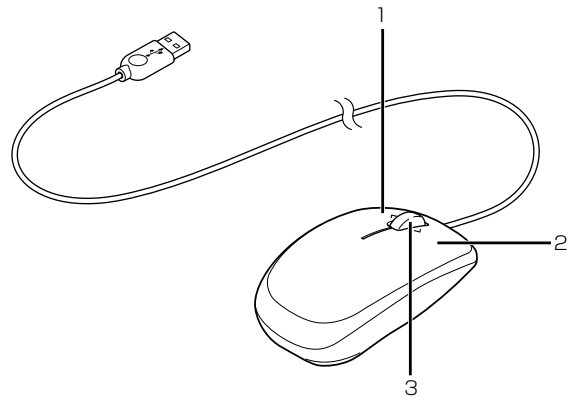
ご購入時に一緒に購入されたマウスは、底面からの光により照らし出されている陰影を検知し、マウスの動きを判断しています。このため、机の上だけでなく、衣類の上や紙の上でも使うことができます。

マウスをお使いになるうえでの注意

ご購入時に添付されているマウスを使うときの注意事項について説明します。

- マウス底面から発せられている光は、目に悪い影響を与えることがあります。直接見ないようにしてください。
- センサー部分を汚したり、傷を付けたりしないでください。
- 発光部分を他の用途に使わないでください。
- 次のようなものの表面では正しく動作しない場合があります。
 - ・鏡やガラスなど反射しやすいもの
 - ・光沢のあるもの
 - ・濃淡のはっきりしたしま模様や柄のもの（木目調など）
 - ・網点の印刷物など、同じパターンが連続しているもの
- このマウスは非接触でマウスの動きを検知しているため特にマウスパッドを必要としませんが、マウス本体は接触しているため、傷が付きやすい机やテーブルの上では、傷防止のためにマウスパッドなどを使うことをお勧めします。

各部の名称と働き



（イラストは機種や状況により異なります）

- 1 左ボタン**
クリックするとき押します。
- 2 右ボタン**
右クリックするとき押します。
- 3 スクロールホイール**
ホイールを回すと、画面を上下にスクロールできます。

マウスの使い方

ここでは、ご購入時に一緒に購入されたマウスの使い方について説明します。

Point

▶ マウスの設定について

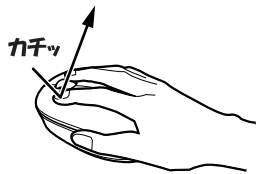
マウスの設定は次の手順で表示する設定画面で変更できます。ただし、設定項目によっては設定が反映されない場合があります。

1.  を右クリックし、表示されたメニューから「コントロールパネル」をタップします。
2. 「ハードウェアとサウンド」▶「デバイスとプリンター」の「マウス」の順にタップします。

▶ スクロール機能の動作は、お使いの状況により異なります。

■クリック

左ボタンをカチッと1回押して、すぐ離すことです。また、右ボタンを1回カチッと押すことを「右クリック」といいます。



(これ以降のイラストは機種や状況により異なります)

■ダブルクリック

左ボタンをカチカチッと2回素早く押して、すぐ離すことです。



■ポイント

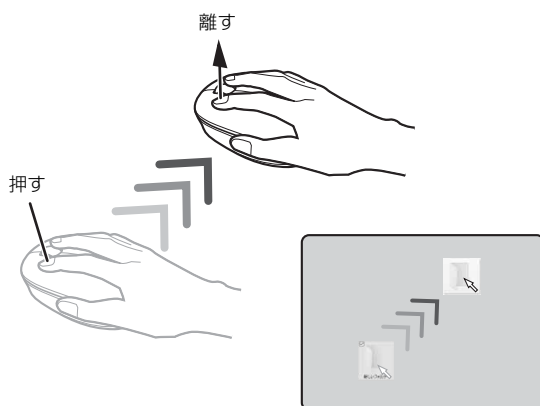
マウスポインター (☞) をアイコンやメニューなどに合わせることで、ポイントすることです。ポイントすると、項目が反転表示されたり、項目の説明が表示されたりします。



■ドラッグ

アイコンやウィンドウを、マウスポインター (☞) で掴むようにして移動させることです。

マウスポインター (☞) を任意の位置に移動し、左ボタンを押しながら希望の位置までマウスを移動し、指を離します。



■スクロール

スクロールホイールを回して、画面の表示を動かすことです。



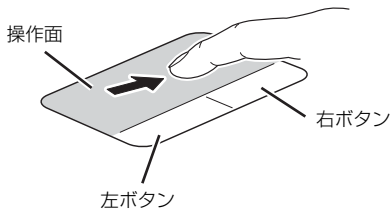
フラットポイント

タブレット本体にキーボードを取り付けている場合、フラットポイントを利用できます。

フラットポイントは、指先の操作でマウスポインターを動かしたり、画面やウィンドウの表示を切り替えたりすることができるポインティングデバイスです。

操作面を指先でなぞることで、画面上のマウスポインターを移動させることができます。

左右のボタンは、それぞれマウスの左右のボタンに相当し、その機能はアプリにより異なります。



(これ以降のイラストは機種や状況により異なります)

フラットポイントをお使いになるうえでの注意

- フラットポイントは操作面表面の結露、湿気などにより誤動作することがあります。また、濡れた手や汗をかいた手でお使いになった場合、あるいは操作面の表面が汚れている場合は、マウスポインターが正常に動作しないことがあります。このような場合は、電源を切ってから、薄めた中性洗剤を含ませた柔らかい布で汚れを拭き取ってください。
- フラットポイントの操作面で操作するときは、指の先が接触するようにしてください。指の腹を押さえるように操作すると、マウスポインターが正常に動作しないことがあります。



- ▶ フラットポイントの詳しい設定方法については、「使いこなすために」－「フラットポイント」(→ P.152) をご覧ください。

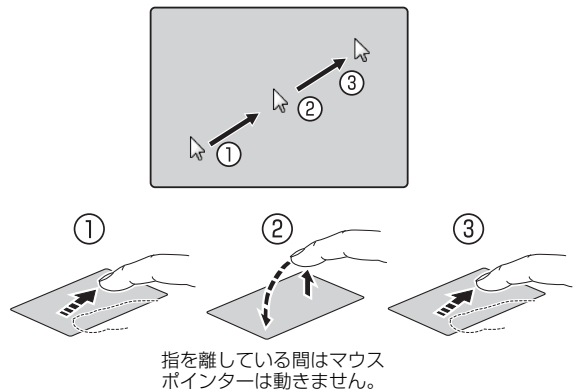
フラットポイントの基本的な使い方

ここでは、フラットポイントの機能について説明しています。

■マウスポインター (マウスポインター) を移動させる

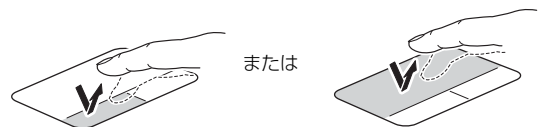
操作面を指先でなぞります。

指が操作面の端まできたら、いったん操作面から指を離して、もう一度別の位置からなぞってください。指を離してもマウスポインター (マウスポインター) は動きません。



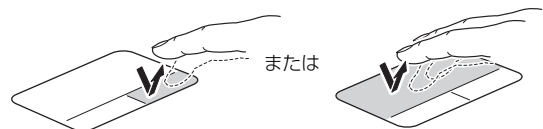
■クリック

左ボタンを 1 回押してすぐに離すか、操作面を 1 回軽くたたく (タップする) ことです。



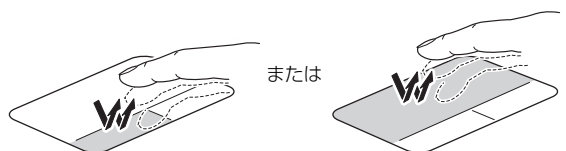
■右クリック

右ボタンを 1 回押してすぐに離すか、操作面を 2 本指で 1 回軽くたたく (タップする) ことを「右クリック」といいます。



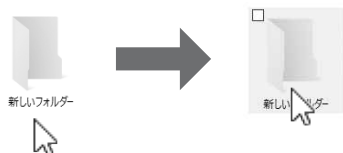
■ダブルクリック

左ボタンを 2 回連続して押すか、操作面を 2 回連続して軽くたたく (タップする) ことです。



■ポイント

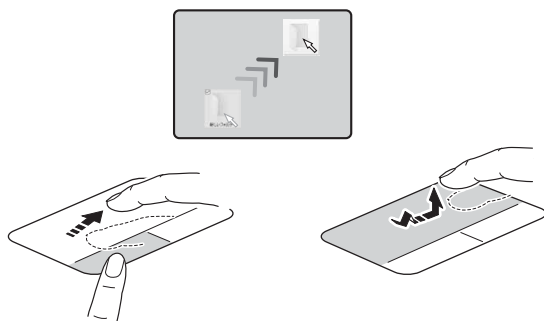
マウスポインター（) をアイコンやメニューなどに合わせることで、ポイントします。ポイントすると、項目が反転表示されたり、項目の説明が表示されたりします。



■ドラッグ

アイコンやウィンドウを、マウスポインター（) で掴むようにして移動させることです。

左ボタンを押したまま操作面をなぞり、希望の位置で指を離します。または、操作面を素早く 2 回タップし、2 回目のタップのときに指を操作面上から離さずになぞり、希望の位置で指を離します。



フラットポイントの設定を変更する方法など、詳しくは「使いこなすために」－「フラットポイント」(→ P.152) をご覧ください。

タッチ機能

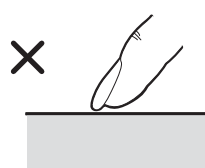
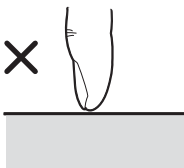
このタブレットは、液晶ディスプレイ（タッチパネル）を直接指先でタッチしたり、ペンを画面に近づけたりして操作できるタッチ機能を搭載しています。画面を指でタッチしたり、ペンを画面に近づけたりするだけで操作することができます。画面上で直接操作できるので、直感的でスピーディな操作が可能です。

なお、この項目のペンに関する説明は、arrows Tab RH77/B1、WQ2/B1 をお使いの方のみお読みください（arrows Tab QH35/B1 にペンは添付されていません）。

タッチ機能をお使いになるうえでの注意

■タッチ機能で操作するときの注意

- 液晶ディスプレイを強く押さないでください。
- 液晶ディスプレイ表面を引っかいたり、金属製のものや固いもので突いたりしないでください。液晶ディスプレイが破損するおそれがあります。
- 濡れた手や、指先が汚れた状態で操作しないでください。
- アプリによっては、次のような場合があります。この場合は、マウスやフラットポイントをお使いください。
 - ・タッチ操作しづらい
 - ・タッチ機能の反応が悪い
 - ・タッチ機能に対応していない
- 爪や手袋をした指では操作できません。必ず、指の皮膚の部分が画面に触れるようにしてください。



（イラストは機種や状況により異なります）

- 指で操作するとき、同時にペンで操作したり、ペンを手に持って操作したりしないでください。

- 液晶ディスプレイ（タッチパネル）に、ほこりや皮脂が付着していると、タッチ機能が正しく動作しない場合があります。液晶ディスプレイは、ときどき清掃してください（→P.131）。

Point

- ▶「タブレット PC 設定」ウィンドウの「画面」タブにある「調整」をタップして表示される画面で、タッチする位置を調整しないでください。調整してしまった場合は、ご購入時の設定に戻してください。ご購入時の設定に戻す方法は、次のとおりです。

1.  を長押しし、表示されたメニューから「コントロールパネル」をタップします。
2. 「ハードウェアとサウンド」▶「タブレット PC 設定」の順にタップします。
「タブレット PC 設定」ウィンドウが表示されます。
3. 「画面」タブで、「リセット」をタップします。
ご購入時の設定に戻ります。

- ▶「タブレット PC 設定」ウィンドウの「画面」タブにある「調整」をタップし、「ペン入力」または「タッチ入力」をタップした後に「はい」を選択した場合は、次の操作で元に戻ります。

- ・タブレット本体だけでお使いの場合
 1. 次のようにボタンを押します。
 - ・arrows Tab RH77/B1
 を押しながら電源ボタンを押す。
 - ・arrows Tab QH35/B1、WQ2/B1
電源ボタンを押しながら音量調節ボタン（-）を押す。
 2. 「サインアウト」をタップします。
 3. ロック画面を下から上にスライドします。
パスワードや PIN を設定している場合は、パスワードや PIN を入力します。
- ・キーボードを取り付けている場合
 1. 画面表示の向きが左に90度回転しますので、 を押します。
デスクトップ画面に戻ります。
 2. キーボードを取り外し、再度取り付けます。

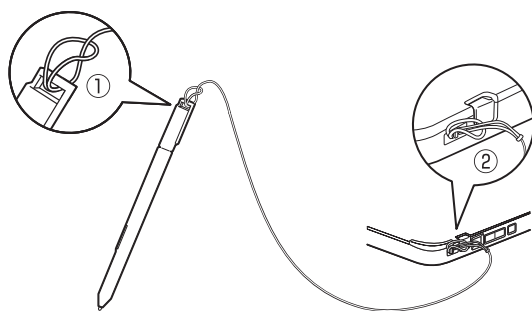
- ▶このタブレットのタッチパネルでは、複数箇所を同時にタッチして操作することができます。

■ペンをお使いになるときの注意

- ペンで操作するときは、次のような点に注意してください。

- ・力を入れて画面をなぞる必要はありません。画面に近づけて移動させるだけで操作できます。
- ・必ず添付のペンで操作してください。
- ・「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示された場合、一時的にペンが使えなくなることがあります。この場合は、いったんペンを画面から放すと、その後は使えるようになります。
- ・ペンで画面を押すと、ペン先の周囲に影が発生する場合がありますが、故障ではありません。
- ・ペンの内部に精密部品が内蔵されています。ペンを落とすなど強い衝撃を与えないでください。故障の原因となります。

- arrows Tab WQ2/B1 の場合、ペンの紛失や、落下による故障を防ぐために、必ず添付のペンひもでペンとタブレット本体をつないでください。
ペンひもは、必ず①ペン側 ②タブレット本体側の順に取り付けてください。



- ペンを使用しないときは、ペンホルダーに戻してください。arrows Tab RH77/B1 の場合は、添付のペンホルダーをタブレット本体に貼り付けてお使いください（→P.127）。
- arrows Tab WQ2/B1 で六角形スタイラスペンをお使いの場合は、タブレット本体のペンホルダーに格納することはできません。
- ペン先を机などに押し付けるなど、強い衝撃を与えないでください。破損の原因となります。
- ペン先（芯）部は消耗品です。長期間使用すると、ペン先がすり減ってきます。
ペン先の交換方法は、「ペン先を交換する」（→P.127）をご覧ください。

- 交換用ペン先の購入、およびペンを破損したり紛失したりしたときは、本タブレットに対応しているペンをご購入ください。詳しくは、次の内容をご覧ください。

商品名（商品番号）：

arrows Tab RH77/B1 の場合

- ・スタイラスペン TAB6（0635204）
本タブレットに添付のペンと同等です。
- ・スタイラスペン用替え芯（0635205）
スタイラスペン TAB6 用の替え芯です。

arrows Tab WQ2/B1 の場合

- ・スタイラスペン TAB4（0635199）
本タブレットに添付のペンと同等です。
- ・スタイラスペン TAB5（0635202）
六角形スタイラスペンです。本体に格納できません。
- ・スタイラスペン用替え芯（0635203）
スタイラスペン TAB4 用の替え芯です。

お問い合わせ先：

富士通コワーコ株式会社 お客様総合センター
電話：0120-505-279

※ 携帯電話・PHS からの場合：

03-5520-5820（通話料金お客様負担）

受付時間：月～金 9：00～17：30

（土・日・祝祭日・指定休業日を除く）

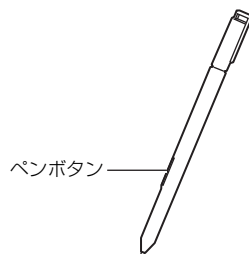
URL：<http://jp.fujitsu.com/group/coworco/>



- ▶ ペンボタンを押しながら操作したときの動作は、アプリにより異なります。
アプリによっては使用できない場合があります。
- ・arrows Tab RH77/B1 の場合



- ・arrows Tab WQ2/B1 の場合



- ▶ arrows Tab WQ2/B1 でペンをお使いのとき、画面を見る角度によって入力位置にずれを感じる場合があります。このずれが気になる場合は、次の手順でタッチする位置を調整してください。
 - 1. を長押しし、表示されたメニューから「コントロールパネル」をタップします。
 - 2. 「ハードウェアとサウンド」▶「タブレット PC 設定」の順にタップします。
「タブレット PC 設定」ウィンドウが表示されます。
 - 3. 「画面」タブの「調整」をタップします。
 - 4. 「ペン入力」をタップします。
 - 5. 「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示されたら、「はい」をタップします。
「続行するには管理者アカウントのパスワードを入力して、[はい] をクリックしてください。」と表示されている場合は、そのアカウントのパスワードを入力してから「はい」をタップします。
 - 6. 画面の「+」マークの交点を正確にペンでタップします。
「+」マークが次の調整ポイントに移動します。
 - 7. 同様に「+」マークを順番にタップします。
合計 4ヶ所をタップします。
 - 8. 「はい」をタップします。
- なお、ペンの場合、「画面」タブの「リセット」は無効になります。

タッチ機能を使う

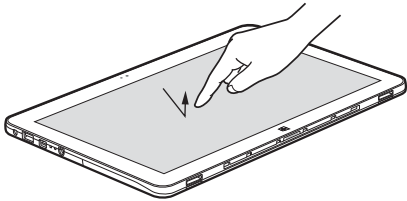
画面上でタップ（マウスのクリックと同様の操作）をする場合は、指またはペン先で操作します。マウスポインターは、画面上をなぞった方向に移動します。

タッチ機能を使った主な操作は次のとおりです。

■タップ

●指の操作

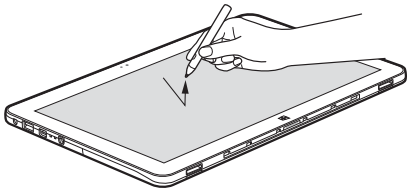
画面を 1 回素早くたたきます。



（これ以降のイラストは機種や状況により異なります）

●ペンの操作

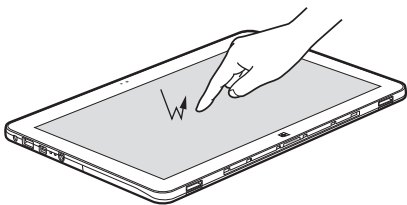
画面を 1 回押して離します。



■ダブルタップ

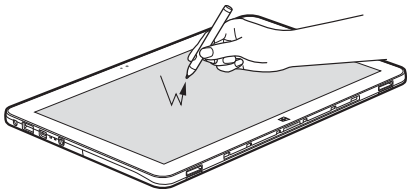
●指の操作

画面を素早く 2 回連続して軽くたたきます。



●ペンの操作

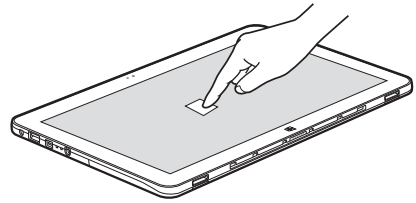
画面を素早く 2 回連続で押して離します。



■長押し

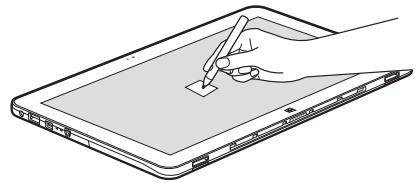
●指の操作

1 本指で画面を触れた状態でしばらく待ち、四角い枠が表示されたら画面から指を離します。



●ペンの操作

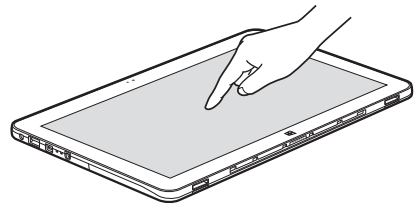
画面を長押しします。



■ポイント

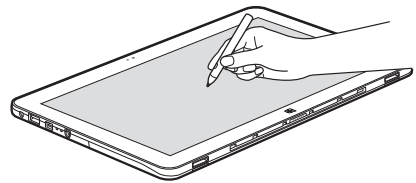
●指の操作

画面に軽く触れます。



●ペンの操作

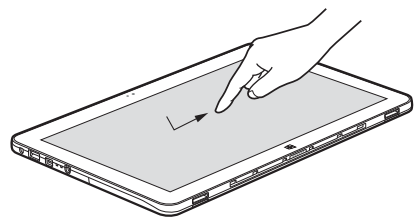
画面に近づけるか軽く触れます。



■ドラッグ

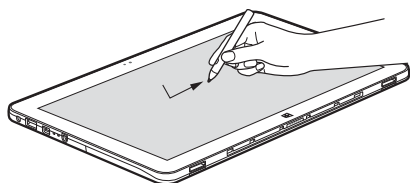
●指の操作

画面に指を軽く押しつけながらなぞります。



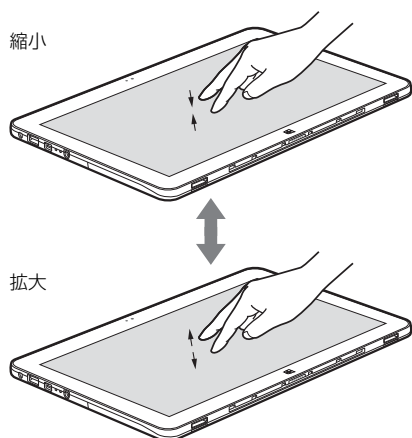
●ペンの操作

画面に軽く押しつけながらなぞります。



■拡大／縮小（指の操作のみ）

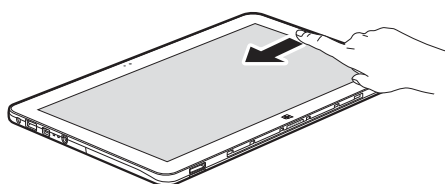
2本指を画面に軽く押しつけながら指をつまんだり開いたりします。つまむと画像やウィンドウ内の画面が縮小表示され、開くと拡大表示されます。



■アクションセンターを表示する（指の操作のみ）

1本指を画面右端の外から中へスワイプするとアクションセンターが表示されます。

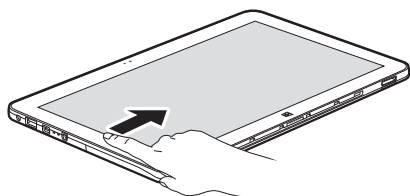
『Windows 10 基本操作クイックガイド』



■タスクビューを表示する（指の操作のみ）

1本指を画面左端の外から中へスワイプするとタスクビューが表示されます。

『Windows 10 基本操作クイックガイド』



音量

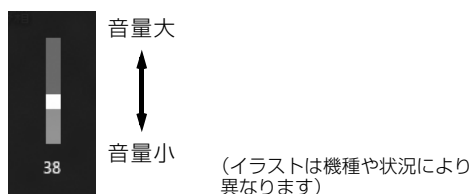
次の方法で音量を調節できます。

重要

- ▶ 音量はスピーカーから聞こえる音がひずまない範囲に設定・調節してください。スピーカーが故障する原因となる場合があります。
- ▶ 「ステータスパネルスイッチ」でスピーカーを「ミュート」にしている場合、音声の再生や録音ができなくなります。
詳しくは、「ステータスパネルスイッチ」（→ P.149）をご覧ください。

●音量を調節する

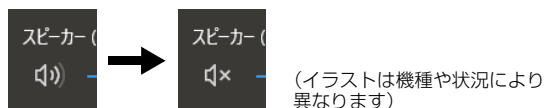
タブレット本体の音量調節ボタンの「-」を押すと小さく、「+」を押すと大きくなります。



キーボードをお使いの場合は、**[Fn]** を押しながら **[F9]** を押して大きく、**[F8]** を押して小さくします。

●音を消す

通知領域の  をタップし、スライダーの左にある  をタップします。



もう一度タップすると、音が出るようになります。
キーボードをお使いの場合は、**[Fn]** を押しながら **[F3]** を押します。

Point

- ▶ キーボードをお使いの場合は、フラットポイントを使って音量を調節することもできます。詳しくは、「使いこなすために」－「フラットポイント」（→ P.152）をご覧ください。

画面の明るさ

このタブレットに搭載されている「明るさセンサー」機能を有効にすると、センサーが周囲の明るさを検知して、画面の明るさを自動的に調節します。ご購入時は、有効に設定されています。

「明るさセンサー」の設定は、次の手順で変更することができます。

- 1  ▶ 「FUJITSU - ステータスパネルスイッチ」▶ 「ステータスパネルスイッチ」の順にタップします。
arrows Tab WQ2/B1 の場合、ショートカットボタンを押して「ステータスパネルスイッチ」を起動することもできます。

- 2 「ステータスパネルスイッチ」ウィンドウの「画面の明るさ自動調整」をタップし、「ON」に切り替えます。

Point

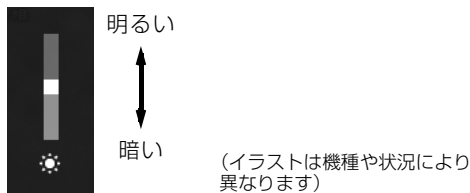
- ▶ 「明るさセンサー」をテープやシールなどでふさがないでください。
「明るさセンサー」機能が有効になっている場合、画面が暗くなります。

「ステータスパネルスイッチ」の「画面の明るさ自動調整」を「OFF」にすると、次の操作で画面の明るさを手動で調節できます。

- 1 通知領域の  をタップします。

- 2  のボタンをタップします。

タップするごとに画面の明るさが変化します。



キーボードをお使いの場合は、**[Fn]** を押しながら **[F7]** を押して明るく、**[F6]** を押して暗くします。

Point

▶ 明るさの設定について

- ・ご購入時は、ACアダプタを接続している場合は明るく、バッテリーで使っている場合は少し暗くなるように設定されています。
- ・明るさは、ACアダプタを接続している場合と、バッテリーで使っている場合とで別々に設定できます。設定を変更する場合は、次の手順で操作してください。
 1.  を長押しし、表示されたメニューから「コントロールパネル」をタップします。
 2. 「システムとセキュリティ」▶「電源オプション」の順にタップします。
 3. 設定を変更するプランの「プラン設定の変更」をタップします。
 4. 明るさを変更し、「変更の保存」をタップします。
- ・タブレットを再起動したり、スリープから復帰（レジューム）したり、ACアダプタの接続や取り外しを行った直後は、キーボードで明るさを変更しても有効にならないことがあります。このような場合は、しばらく時間をおいてから変更してください。

メモリーカード

ダイレクト・メモリースロットは、デジタルカメラなどに使われているメモリーカードに直接データを読み書きするためのスロットです。

お使いになるうえでの注意

- メモリーカードは、静電気に対して非常に弱い部品で構成されており、人体にたまった静電気により破壊される場合があります。メモリーカードを取り扱う前は、一度アルミサッシやドアノブなどの金属に手を触れて、静電気を放電してください。
- Windows の ReadyBoost には対応していません。
- メモリーカードや記録されているデータの取り扱いについては、メモリーカードや周辺機器のマニュアルをご覧ください。
- メモリーカードをデジタルカメラなどで使っている場合は、お使いの機器でフォーマットしてください。このタブレットでフォーマットすると、デジタルカメラなどでメモリーカードが使えなくなります。デジタルカメラなどでのフォーマットの方法については、お使いの機器のマニュアルをご覧ください。

使えるメモリーカード

ダイレクト・メモリースロットが対応しているメモリーカードと、その最大容量は次のとおりです。ただし、すべてのメモリーカードの動作を保証するものではありません。

 [注]	・ microSD カード (2GB) ・ microSDHC カード (32GB) ・ microSDXC カード (64GB)
--	---

注：・マルチメディアカード、セキュアマルチメディアカードには対応していません。
・SDIO カードには対応していません。
・著作権保護機能 (CPRM [シーピーアールエム]) に対応していません。

メモリーカードを差し込む／取り出す

⚠ 注意



- メモリーカードを差し込んだり取り出したりするときは、次の点に注意してください。
 - ・ダイレクト・メモリースロットに指などを入れないでください。けがの原因となることがあります。
 - ・arrows Tab RH77/B1 をお使いの場合、体や物が U スタンドにあたらないように注意してください。U スタンドが閉じて、メモリーカードや指などがはさまれ、メモリーカードの破損や、けがの原因となることがあります。

■メモリーカードを差し込む

以降の説明は、お使いの機種にあわせてご覧ください。

- arrows Tab RH77/B1 をお使いの場合 (→P.118)
- arrows Tab QH35/B1 をお使いの場合 (→P.118)
- arrows Tab WQ2/B1 をお使いの場合 (→P.119)

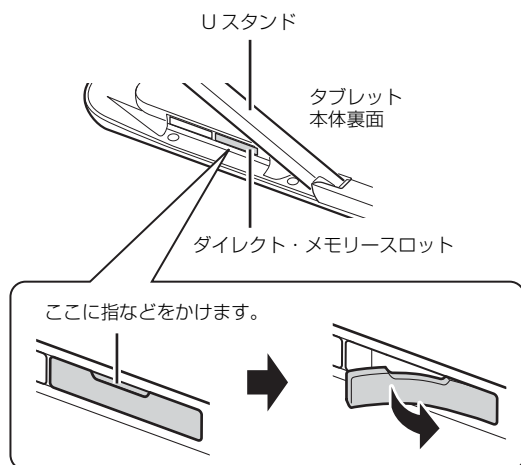
□arrows Tab RH77/B1 の場合

1 次のようにしてカバーを開けます。

Point

▶ カバーを開閉するときは、強く引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったりしないでください。

- ① タブレット本体を裏返して、平らな場所に置きます。このとき、液晶ディスプレイに傷が付かないように注意してください。
- ② U スタンドを開き、カバーのすき間に爪や先の細い棒などをかけ、矢印の方向にカバーを開けます。

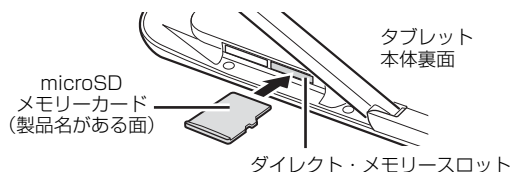


(これ以降のイラストは機種や状況により異なります)

2 メモリーカードをダイレクト・メモリスロットに差し込みます。

メモリーカードの製品名のある面を、タブレット本体の裏面 (U スタンド) 側にして、まっすぐに差し込み、「カチッ」と音がするまでメモリーカードを押します。

指で押しにくいときは、硬貨などを使って押してください。



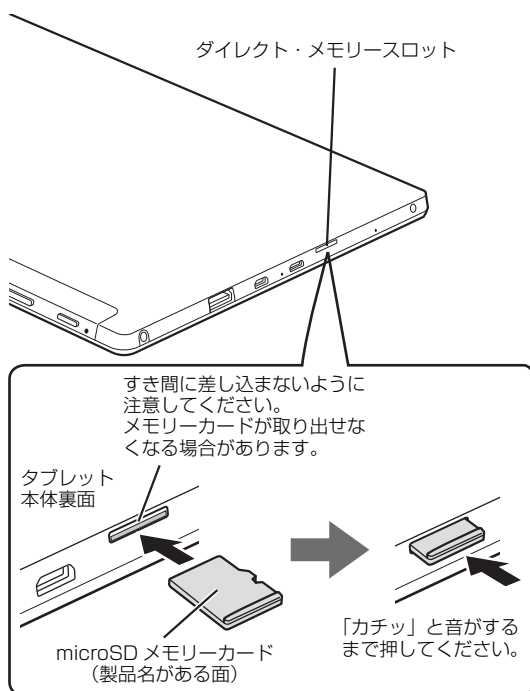
3 カバーを閉じます。

□arrows Tab QH35/B1 の場合

1 タブレット本体を裏返します。

2 メモリーカードをダイレクト・メモリスロットに差し込みます。

メモリーカードの製品名のある面を、タブレット本体の裏面側にして、まっすぐに差し込み、「カチッ」と音がするまでメモリーカードを押します。指で押しにくいときは、硬貨などを使って押してください。



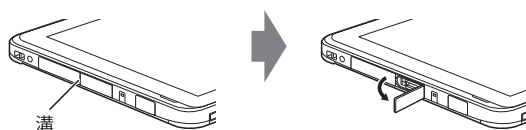
(イラストは機種や状況により異なります)

□arrows Tab WQ2/B1 の場合

- 1 溝に指をかけ、矢印の方向にカバーを開けます。

Point

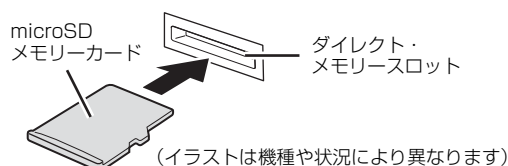
- ▶ カバーを開閉するときは、強く引っ張ったり、無理に曲げたり、ねじったりしないでください。



- 2 メモリーカードをダイレクト・メモリスロットに差し込みます。

メモリーカードの製品名のある面を、タブレット本体の表面（液晶ディスプレイ）側にして、まっすぐに差し込み、「カチッ」と音がするまでメモリーカードを押します。

指で押しにくいときは、硬貨などを使って押してください。



- 3 カバーを閉じます。

■メモリーカードを取り出す

- 1 arrows Tab RH77/B1、WQ2/B1 をお使いの場合は、メモリーカードを差し込むときと同じようにしてカバーを開けます。

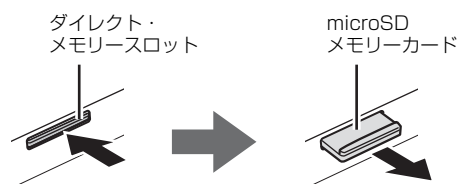
- 2 通知領域の  をタップし、表示されたアイコン（ハードウェアを安全に取り外してメディアを取り出す）をタップします。

アイコンは、、、 など、お使いの状況により異なります。また、メモリーカードによっては、アイコン（ハードウェアを安全に取り外してメディアを取り出す）が表示されないものもあります。アイコンが表示されない場合には、メモリーカードのマニュアルをご覧ください。

- 3 「nnn の取り出し」をタップします。

nnn にはお使いのメモリーカードの名称が表示されます。

- 4 「nnn はコンピューターから安全に取り外すことができます。」というメッセージが表示されたら、メモリーカードをタブレットから取り出します。メモリーカードを一度「カチッ」と音がするまで押し、少し出てきたメモリーカードを引き抜きます。指で押しにくいときは、硬貨などを使って押してください。



（イラストは機種や状況により異なります）

重要

- ▶ メモリーカードを引き抜くときは、ひねったり斜めに引いたりして、メモリーカードに無理な力がかからないようにしてください。
- ▶ ダイレクト・メモリスロットからメモリーカードを取り出すときは、次のことに注意してください。
 - ・メモリーカードを強く押さないでください。指を離れたときメモリーカードが飛び出し、紛失したり、衝撃で破損したりするおそれがあります。
 - ・ダイレクト・メモリスロットを人に向けたり、顔を近づけたりしないでください。メモリーカードが飛び出して、思わぬけがをするおそれがあります。
 - ・必ずメモリーカードを一度押して、少し出てきた状態にしてから引き抜くようにしてください。そのまま引き抜くと誤動作の原因になります。

- 5 arrows Tab RH77/B1、WQ2/B1 をお使いの場合は、カバーを閉じます。

周辺機器の取り扱い

周辺機器とは、USB マウス、プリンター、デジタルカメラ、USB メモリ、携帯オーディオプレーヤーなどのタブレット本体に接続する装置の総称です。

警告



- 周辺機器のなかには、取り付け／取り外しを行うときに、タブレットや周辺機器の電源を切り、AC アダプタや電源ケーブルをコンセントから抜いた状態で行わなければならない場合があります。必ず添付のマニュアルでご確認ください。感電の原因となります。



- 周辺機器のケーブルは、このマニュアルをよく読み、正しく接続してください。誤った接続状態でお使いになると、感電・火災の原因となります。また、タブレットおよび周辺機器が故障する原因となります。

周辺機器の取り扱い上の注意

- **周辺機器の接続は、取り付ける周辺機器のマニュアルをよくご覧になり、正しく行ってください**

- **弊社純正品をお使いください**

弊社純正の周辺機器については、販売店にお問い合わせいただくか、富士通ショッピングサイト「WEB MART」(<http://www.fujitsu-webmart.com/>) をご覧ください。

他社製品につきましては、このタブレットで正しく動作するかどうか、保証いたしかねます。他社製品をお使いになる場合は、製造元のメーカーにお問い合わせくださいますようお願いいたします。

- **一度に取り付ける周辺機器は1つだけにしてください**
一度に複数の周辺機器を取り付けると、ドライバーのインストールなどが正常に行われずおそれがあります。1つの周辺機器の取り付けと動作確認が完了してから、別の周辺機器を取り付けてください。
- **コネクタの向きを確認し、まっすぐ接続してください**

電源オフ USB 充電機能

arrows Tab RH77/B1 でのみお使いいただけます。

電源オフ USB 充電機能とは

電源オフ USB 充電機能とは、タブレットが電源オフ、スリープのときでも、USB 充電に対応した周辺機器を充電することができる機能です。

電源オフ USB 充電機能は、ご購入時には無効に設定されています。

お使いになる場合は、機能を有効にしてください。詳しくは、サポートページから Q&A ナンバー「6708-5851」を検索してご覧ください (→ P.64)。

また、お使いになるときは、次の注意をよくお読みになり、正しくお使いください。

電源オフ USB 充電機能をお使いになるうえでの注意

電源オフ USB 充電機能を有効にした場合、USB メモリなどの充電機能をもたない USB 周辺機器は、電源オフ USB 充電機能対応の USB コネクタに接続しないでください。

※ 電源オフ USB 充電機能対応の USB コネクタ (●●) の場所については、「各部の名称と働き」をご覧ください。

- 周辺機器によっては、電源オフ USB 充電ができない場合があります。

- スリープから復帰したときに、電源オフ USB 充電機能対応の USB コネクタに接続した USB 周辺機器について、次の現象が発生する場合があります。

なお、現象が発生しても USB 周辺機器本体および記録データが破損することはありません。

- ・ デバイス認識のポップアップウィンドウが表示される
- ・ 「自動再生」ウィンドウが表示される
- ・ 接続した USB 周辺機器のドライブ名が変わる
- ・ 接続した USB 周辺機器と連携しているアプリが起動する

- 電源ボタンを4秒以上押してこのタブレットの電源を切った場合は、電源オフ USB 充電はできません。

カバーキーボード

arrows Tab RH77/B1 でのみお使いいただけます。

タブレット本体にカバーキーボードを取り付けると、ノートパソコンと同じ感覚でキーボードとフラットポイントで操作できます。また、持ち運ぶときにカバーをたたんでタブレット本体を収納できます。

■カバーキーボードをお使いになるうえでの注意
「カバーキーボード、カバー付きキーボードの取り扱い上の注意 (arrows Tab RH77/B1、QH35/B1 のみ)」(→ P.17) もあわせてご覧ください。

- タブレット本体の接続コネクタ部が汚れていると、キーボードが使用できないことがあります。タブレット本体の接続コネクタ部を、乾いた柔らかい布で拭いてください。
- キーボードや、タブレット本体の液晶ディスプレイに砂ぼこりなどの汚れが付いた状態で、本体を閉じて持ち運ばないでください。液晶ディスプレイに傷が付く原因となります。
「お手入れ」(→ P.131) をご覧になり、汚れを取り除いてください。
- カバーキーボードとタブレット本体を開きすぎると、カバーキーボードが外れる場合がありますので、ご注意ください。

■カバーキーボードを取り付ける／取り外す
「U スタンド、カバーキーボードを使う (arrows Tab RH77/B1 のみ)」(→ P.53) をご覧ください。

カバー付きキーボード

arrows Tab QH35/B1 でのみお使いいただけます。

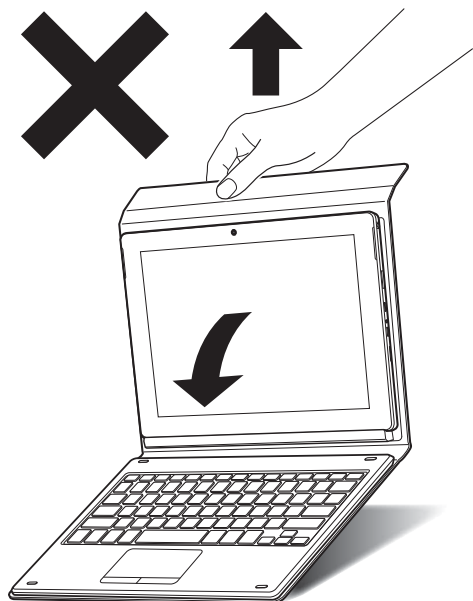
タブレット本体にカバー付きキーボードを取り付けると、ノートパソコンと同じ感覚でキーボードとフラットポイントで操作できます。また、持ち運ぶときにカバーをたたんでタブレット本体を収納できます。

■カバー付きキーボードをお使いになるうえでの注意

「カバーキーボード、カバー付きキーボードの取り扱い上の注意 (arrows Tab RH77/B1、QH35/B1 のみ)」(→ P.17) もあわせてご覧ください。

- タブレット本体の接続コネクタが汚れていると、カバー付きキーボードとの接触が悪くなる場合があります。タブレット本体の接続コネクタは、乾いた綿棒などで、ときどき清掃してください。清掃するときは、タブレット本体の接続コネクタを破損や変形させないように充分ご注意ください。
- キーボードや、タブレット本体の液晶ディスプレイに砂ぼこりなどの汚れが付いた状態で、本体を閉じて持ち運ばないでください。液晶ディスプレイに傷が付く原因となります。
「お手入れ」(→ P.131) をご覧になり、汚れを取り除いてください。
- カバー付きキーボードとタブレット本体を開きすぎると、カバー付きキーボードが外れる場合がありますので、ご注意ください。

- カバー付きキーボードにタブレット本体を取り付けた場合、下図のようにカバーの端だけを掴んで持ち上げないでください。タブレット本体が外れて落下し、けが、破損、故障の原因になります。



- カバー付きキーボードを取り付ける／取り外す
「カバー付きキーボードを使う (arrows Tab QH35/B1 のみ)」(→ P.55) をご覧ください。

スリムキーボード／軽量スリムキーボード

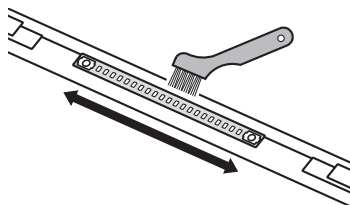
arrows Tab WQ2/B1 でのみお使いいただけます。
タブレット本体と一緒に購入されていない場合は、別売として用意されています。

タブレット本体とスリムキーボード／軽量スリムキーボードを接続することで、ノートパソコンのようにキーボードとフラットポイントで操作することができます。

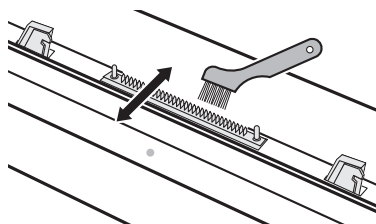
この項目の以降の説明では、スリムキーボードと軽量スリムキーボードをまとめて「スリムキーボード」と表記しています。

- スリムキーボードをお使いになるうえでの注意
「スリムキーボード／軽量スリムキーボードの取り扱い上の注意(arrows Tab WQ2/B1 のみ)」(→ P.18) もあわせてご覧ください。

- タブレット本体とスリムキーボードの接続コネクタ部が汚れていると、キーボードが使用できないことがあります。その場合は、タブレット本体とスリムキーボードの接続コネクタ部を、添付のブラシで清掃してから再度接続してください。
また、スリムキーボードの接続コネクタ部は指で触れないでください。汚れが付着する原因となります。



ドッキングコネクタ (タブレット本体)



本体接続コネクタ (スリムキーボード)

- キーボードや、タブレット本体の液晶ディスプレイに砂ぼこりなどの汚れが付いた状態で、本体を閉じて持ち運ばないでください。液晶ディスプレイに傷が付く原因となります。

「お手入れ」(→ P.131) をご覧になり、汚れを取り除いてください。

- タブレット本体とスリムキーボードの角度によっては、スリムキーボードの手前が浮いたり、後ろに倒れる場合があります。

タブレット本体とスリムキーボードは、開きすぎないように注意してお使いください。

- スリムキーボードの装着時、タブレット本体は180°まで開かず、途中で止まる仕様になっています。途中で止まったら、それ以上無理に開かないでください。破損の原因になります。

■スリムキーボードを取り付ける／取り外す

「スリムキーボード／軽量スリムキーボードを使う (arrows Tab WQ2/B1 のみ)」(→ P.56) をご覧ください。

クレードル

arrows Tab RH77/B1、WQ2/B1 をお使いの方のみお読みください (arrows Tab QH35/B1 はクレードルを使用できません)。

arrows Tab RH77/B1 はオプション (別売) として用意されています。

また、arrows Tab WQ2/B1 で、タブレット本体と一緒に購入されていない場合も、別売として用意されています。

タブレット本体にクレードルを取り付けると、クレードルに搭載されているコネクタを使用できるようになります。

以降の説明は、お使いの機種にあわせてご覧ください。

- arrows Tab RH77/B1 をお使いの場合 (→ P.123)

- arrows Tab WQ2/B1 をお使いの場合 (→ P.125)

arrows Tab RH77/B1 の場合

■クレードルをお使いになるうえでの注意

- クレードルを取り付けた状態では、本タブレットを持ち運ばないでください。タブレット本体およびクレードルのコネクタの破損の原因となります。
- クレードルをお使いになる場合は、必ずクレードルの DC-IN コネクタ (→ P.90) に、クレードル専用の AC アダプタを接続してください。
- クレードルの取り付け／取り外しを行うときは、次の点に注意してください。
 - ・取り付けるときは、U スタンドを閉じてください。
 - ・クレードルを取り付けた状態で U スタンドを開くことはできません。

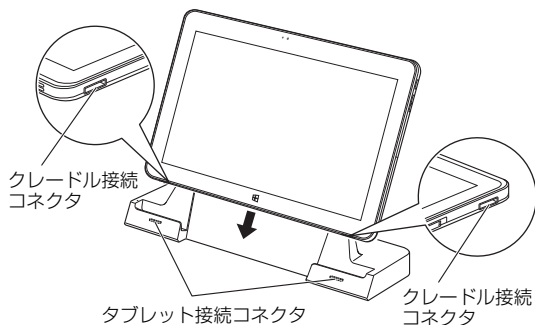
■クレードルを取り付ける

重要

- ▶ クレードルとタブレット本体が平行になるように取り付けてください。
- ▶ 固くて水平な場所に置いてください。
ソファの上など、柔らかい場所に置くと本体が傾いてしまうことがあります。
- ▶ 周囲に物を置かないでください。
周りに物があると、正しくセットできないことがあります。

1 タブレット本体のコネクタから、周辺機器を取り外します。

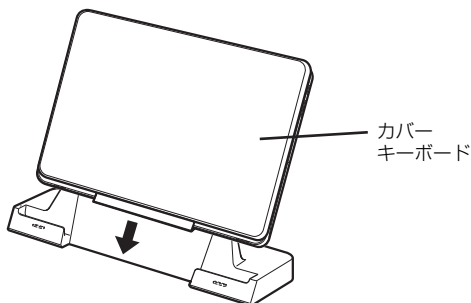
2 クレードルとタブレット本体を接続します。
タブレット本体のクレードル接続コネクタと、クレードルのタブレット接続コネクタ（2ヶ所）の位置を合わせて、タブレット本体をまっすぐ下します。



（これ以降のイラストは機種や状況により異なります）

Point

▶ タブレット本体にカバーキーボードを取り付けているときは、必ずカバーキーボードを閉じてクレードルに取り付けてください。



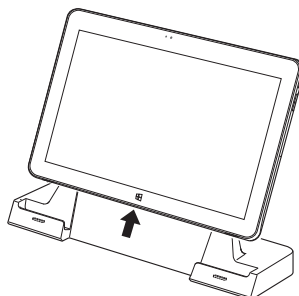
クレードルに取り付けた後は、カバーキーボードを開いてお使いいただけます。

3 タブレット本体に添付の AC アダプタを、クレードルの DC-IN コネクタに接続します。

■クレードルを取り外す

1 クレードルのコネクタに接続されている周辺機器の電源を切ります。

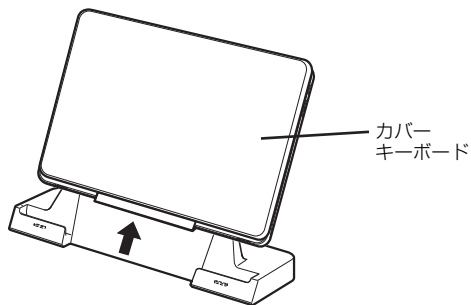
2 タブレット本体をクレードルから取り外します。
本体の上側中央部分とクレードルに手を添えて、クレードルに沿ってタブレット本体をまっすぐ上に持ち上げます。



（これ以降のイラストは機種や状況により異なります）

Point

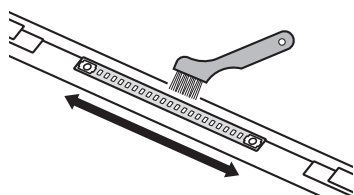
▶ タブレット本体にカバーキーボードを取り付けているときは、必ずカバーキーボードを閉じてクレードルから取り外してください。



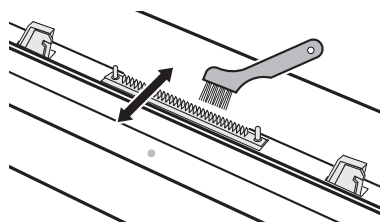
arrows Tab WQ2/B1 の場合

■クレードルをお使いになるうえでの注意

- クレードルを取り付けた状態では、本タブレットを持ち運ばないでください。タブレット本体およびクレードルのコネクタの破損の原因となります。
 - クレードルのアナログRGBコネクタとHDMI出力端子に、同時にディスプレイを接続しないでください。
 - タブレット本体とクレードルの接続コネクタ部が汚れていると、クレードルが使用できないことがあります。その場合は、タブレット本体とクレードルの接続コネクタ部を、添付のブラシで清掃してから再度接続してください。
- また、クレードルの接続コネクタ部は指で触れないでください。汚れが付着する原因となります。



ドッキングコネクタ (タブレット本体)



本体接続コネクタ (クレードル)

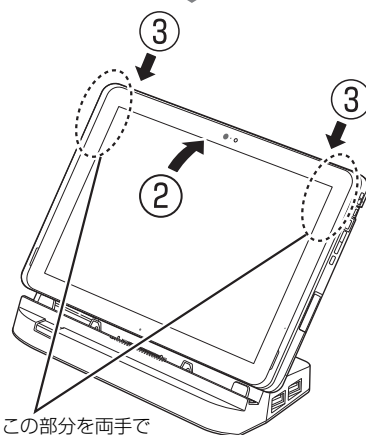
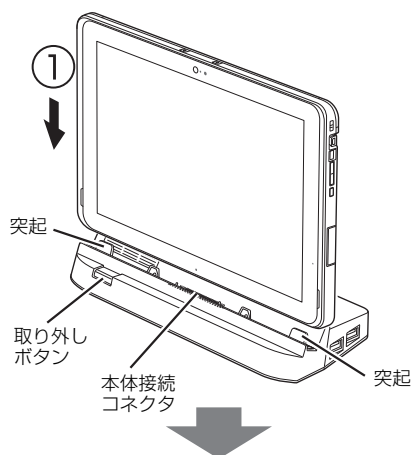
- クレードルをお使いになる場合は、必ずクレードルの DC-IN コネクタ (→ P.102) に、クレードル専用の AC アダプタを接続してください。

■クレードルを取り付ける

重要

- ▶ クレードルとタブレット本体が平行になるように取り付けてください。
- ▶ 固くて水平な場所に置いてください。
ソファの上など、柔らかい場所に置くと本体が傾いてしまうことがあります。
- ▶ 周囲に物を置かないでください。
周りに物があると、正しくセットできないことがあります。
- ▶ 接続したクレードルとタブレット本体を取り外して、もう一度取り付ける場合は、2～3秒おいてから取り付けてください。

- 1 タブレット本体のコネクタから、周辺機器を取り外します。
- 2 クレードルの取り外しボタンを押して、赤いマークを確認します。
- 3 クレードルとタブレット本体を接続します。
 - ① タブレット本体の穴と、クレードルの突起 (2ヶ所) の位置を合わせて、タブレット本体をまっすぐ下します。
 - ② タブレット本体をクレードル側にやや倒すようにします。
 - ③ イラストの点線部に両手を添えて矢印の方向に動かし、「カチッ」と音がするまでしっかりと取り付けます。
挿入のしかたによっては、「カチッカチッ」と2回音がする場合があります。
 - ④ 接続後タブレット本体を軽く引っ張り、きちんとロックされているか確認します。
ロックされていない場合は、取り外しボタンを押してタブレット本体をいったん取り外してから、もう一度取り付けてください。

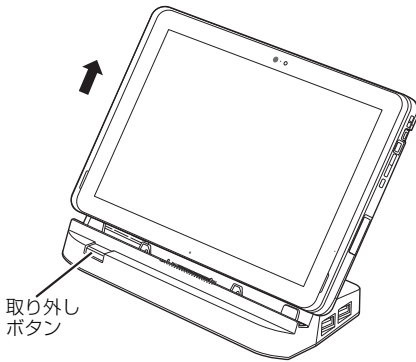


この部分を両手で
しっかり持ちます。

(イラストは機種や状況により異なります)

■クレードルを取り外す

- 1 クレードルのコネクタに接続されている周辺機器の電源を切ります。
- 2 タブレット本体をクレードルから取り外します。本体に手を添えて、クレードルの取り外しボタンを押し、クレードルに沿ってタブレット本体を持ち上げます。



※ クレードルの取り外しボタンを押す前に、タブレット本体を持ち上げないでください。タブレット本体を持ち上げていると、取り外しボタンが押せなくなる場合があります。

(イラストは機種や状況により異なります)

スタイラスペン

arrows Tab RH77/B1、WQ2/B1 をお使いの方のみお読みください (arrows Tab QH35/B1 にペンは添付されていません)。

ペンでの操作や、操作するときの注意点などについては「タッチ機能」(→ P.111) をご覧ください。

ペンのメンテナンス

⚠ 注意

- 電池ボックスに金属物を入れたり、落としたりしないでください。故障の原因となることがあります。
- 使い切って寿命のなくなった電池はすぐに取り出してください。電池の液もれなどの原因となることがあります。
- 使用済み乾電池を充電して使用しないでください。液もれ、破裂の原因になります。

■電池を交換する(arrows Tab RH77/B1 のみ)
「スタイラスペンを使う」(→ P.53) をご覧ください。

Point

- ▶ 新しい電池を使用した場合、電池の寿命の目安は約半年です。
ただし、使用状況によっては、この期間に満たないで寿命に達する場合があります。電池の寿命は、お使いの状況によって大幅に変わります。
- ▶ ご購入時に添付されている乾電池は初期動作確認用です。すぐに寿命に達する場合がありますので、お早めに新しい電池に交換してください。
- ▶ ペンは、使用せずに放置していても、電池は消耗します。長期間使用しないときは、電池を取り出してください。

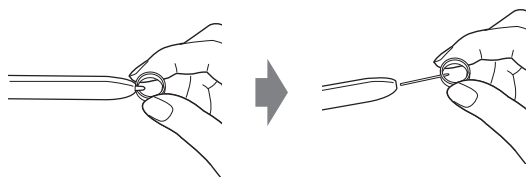
■ペン先を交換する

ペン先が破損したり、滑りが悪くなったりしたときは、次の手順に従って新しいペン先と交換してください。

Point

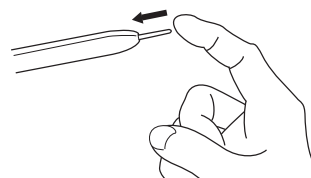
- ▶ ペン先の交換には、別売の交換用ペン先をご購入ください。詳しくは、「ペンをお使いになるときの注意」(→ P.112)をご覧ください。

- 1 arrows Tab WQ2/B1 の場合は、交換用ペン先に添付のクリップでペン先をはさみ、ペン本体から外れるまでまっすぐ引き抜きます。



arrows Tab RH77/B1 の場合は、爪や指先でペン先をはさみ、ペン本体から外れるまでまっすぐ引き抜きます。

- 2 新しいペン先をペン本体に差し込みます。
ペン先の向きを確かめて、ペン本体の穴にまっすぐ差し込みます。



ペンホルダー

添付のペンを収納します。

arrows Tab WQ2/B1 の場合は、タブレット本体に搭載されています (→ P.95)。

arrows Tab RH77/B1 の場合は、添付のペンホルダーをタブレット本体に貼り付けて利用します。以降の説明は、arrows Tab RH77/B1 をお使いの方のみお読みください。

■ペンホルダーをお使いになるうえでの注意

- ペンホルダーにペンを挿してタブレット本体を持ち運ぶときは、ペンをぶつけたりしないように注意してください。
- ペンホルダーにペンを挿しているときは、ペンホルダー周辺のコネクタやボタンを操作しにくい場合があります。その場合は、ペンをペンホルダーから抜いてください。

■ペンホルダーを取り付ける

ペンホルダーのはくり紙を剥がし、粘着テープ部分をタブレット本体裏面に貼り付けてください。

貼り付け場所は、右側面側なら音量調節ボタン、左側面側なら USB3.0 コネクタの位置を目安としてください。

Point

- ▶ ペンをペンホルダーに挿したとき、タブレット本体の上下面からペンがはみ出さない位置に貼り付けてください。
- ▶ ペンホルダーの取り付け/取り外しを繰り返すと粘着力が落ちてきます。粘着力は回復できません。
- ▶ ペンホルダーの筒部分に、ペンを挿します。
ペンを挿し込むとき、ペンのクリップを少し開くようにすると挿しやすくなります。

防水性能

arrows Tab WQ2/B1 をお使いの方のみお読みください (arrows Tab RH77/B1、QH35/B1 は防水性能を有していません)。

端子カバーとスロットカバーをしっかりと閉じた状態で、IPX5、IPX7、IPX8 の防水性能を有しています。

- ・ IPX5 とは、内径 6.3mm の注水ノズルを使用し、約 3m の距離から 12.5L / 分の水を最低 3 分間注水する条件であらゆる方向から噴流を当てても、タブレットとしての機能を有することを意味します。
- ・ IPX7 とは、常温で水道水、かつ静水の水深 1.0m のところに本タブレットを静かに沈め、約 30 分間放置後に取り出したときにタブレットとしての機能を有することを意味します。
- ・ IPX8 とは、常温で水道水、かつ静水の水深 1.5m のところに本タブレットを静かに沈め、約 30 分間放置後に取り出したときにタブレットとしての機能を有することを意味します。

防水性能でできること

- 1 時間の雨量が 20mm 程度の雨の中で、傘をささずに通信ができます。
 - ・ 手が濡れているときやタブレットに水滴がついているときには、端子カバーやスロットカバーの開閉はしないでください。
- 水深 1.5m の水の中に沈めることができます。
 - ・ 水中で操作しないでください。
 - ・ 水につけるときは、30 分以内としてください。
 - ・ プールの水がかかったり、プールの水に浸けたりした場合は、洗い流して水抜きしてください (→ P.130)。

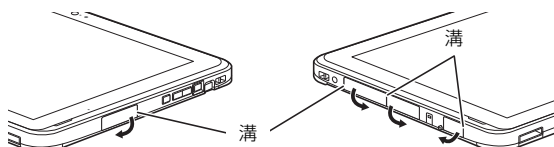
- お風呂場で使用できます。

- ・ 湯船にはつけないでください。また、お湯の中で使用しないでください。故障の原因となります。万が一、湯船に落としてしまった場合には、すぐに拾って水抜きしてください (→ P.130)。
- ・ 温泉や石けん、洗剤、入浴剤の入った水には絶対につけないでください。万が一、水道水以外が付着してしまった場合は、ただちに洗い流して水抜きしてください (→ P.130)。
- ・ お風呂場では、温度は 5℃～35℃、湿度は 20%～80%RH、使用時間は 2 時間以内の範囲でご使用ください。
- ・ 急激な温度変化は結露の原因となります。寒い所から暖かいお風呂などに本タブレットを持ち込むときは、本タブレットが常温になるまで待ってください。
- ・ 蛇口やシャワーから水やお湯などをかけないでください。
- 洗面器などに張った静水につけて、ゆすりながら汚れを洗い流すことができます。
 - ・ 洗うときは、端子カバーとスロットカバーが開かないように押さえたまま、ブラシやスポンジなどは使用せず洗ってください。

防水性能を維持するために

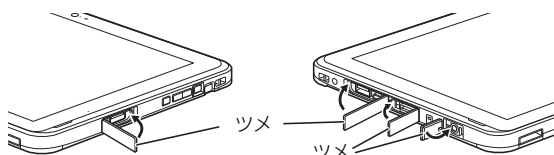
水の浸入を防ぐために、必ず次の点を守ってください。

- 常温の水道水以外の液体をかけたり、つけたりしないでください。
- microSD カードの取り付け／取り外し時や外部接続端子を使用するときには、次の図に示す溝に指を掛けてすこし引き出し、矢印の方向にカバーを開けてください。



(これ以降のイラストは機種や状況により異なります)

また、microSD カードの取り付け／取り外し後や外部接続端子使用後は、矢印のように動かしてカバーを閉じ、ツメを押し込んでカバーの浮きがないことを確認してください。



- 端子カバーとスロットカバーはしっかりと閉じてください。接触面に微細なゴミ（髪の毛 1 本、砂粒 1 つ、微細な繊維など）が挟まると、浸水の原因となります。
- カバーが閉じにくい場合は、カバーの両端を同時に押し込んでください。
- スピーカーなどを綿棒やとがったものでつつかないでください。
- 落下させないでください。傷の発生などにより防水性能の劣化を招くことがあります。
- 端子カバー、スロットカバーのゴムパッキンは防水性能を維持する上で重要な役割を担っています。ゴムパッキンをはがしたり傷つけたりしないでください。また、ゴミが付着しないようにしてください。
- 端子カバーのアーム部が外れる場合があります。これはお客様が端子カバーを交換できるよう取り外し可能な仕様になっているためです。端子カバーが外れた場合は、カバー穴にアーム部を挿入してください。

Point

- ▶ 防水性能を維持するため、異常の有無にかかわらず必ず2年に1回、部品の交換が必要となります。部品の交換はタブレットをお預かりして有料にて承ります。「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」までお問い合わせください。

防水性能をお使いになるうえでの注意

次のような行為は行わないでください。

- 石けん、洗剤、または入浴剤をつける
- ブラシやスポンジで洗う
- 洗濯機で洗う
- 強すぎる水流を当てる
- 海水につける
- 温泉で使う
- 砂や泥をつける

また、次の注意事項を守って正しくお使いください。

- 付属品は防水性能を有していません。クレードル（→ P.123）やスリムキーボード／軽量スリムキーボード（→ P.122）にタブレットを差し込んだ状態で動画再生などをする場合、AC アダプタを接続していない状態でも、お風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りでは使用しないでください。
- 防水性能以上の強い水流（例えば、蛇口やシャワーから肌当てて痛みを感じるほどの強さの水流）を直接当てないでください。本タブレットは IPX5 の防水性能を有していますが、内部に水が入り、感電や電池の腐食などの原因となります。
- 熱湯につけたり、サウナで使用したり、温風（ドライヤーなど）を当てたりしないでください。
- 本タブレットを水中で移動させたり、水面に叩きつけたりしないでください。
- 水道水やプールの水につけるときは、30 分以内としてください。
- プールで使用するときは、その施設の規則を守って、使用してください。
- 本タブレットは水に浮きません。
- 水滴が付着したまま放置しないでください。電源端子がショートしたり、寒冷地では凍結したりして、故障の原因となります。
- スピーカーに水滴を残さないでください。動作不良となるおそれがあります。

- 端子カバーやスロットカバーが開いている状態で水などの液体がかかった場合、内部に液体が入り、感電や故障の原因となります。そのまま使用せずに電源を切り、「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」までお問い合わせください。
- 端子カバーやスロットカバーのゴムパッキングが傷ついたり、変形したりした場合は、「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」までお問い合わせください。

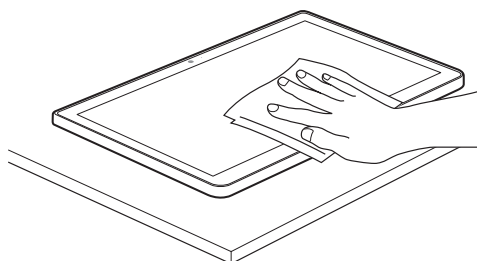
Point

- ▶ 実際の使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。また、調査の結果、お客様の取り扱いの不備による故障と判明した場合、保証の対象外となります。

水抜き

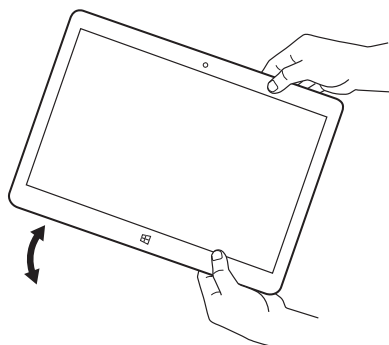
本タブレットを水に濡らすと、拭き取れなかった水が後からもれてくることがありますので、次の手順で水抜きを行ってください。

- 1 本タブレットを安定した台などに置き、表面、裏面を乾いた清潔な布などでよく拭き取ってください。

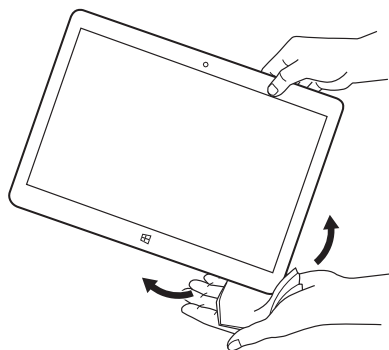


(これ以降のイラストは機種や状況により異なります)

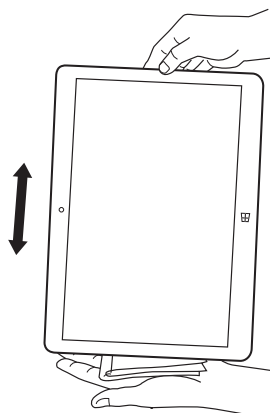
- 2 本タブレットのディスプレイ面を下にして、長い辺を両手でしっかりと持ち、10 回程度水滴が飛ばなくなるまで振ってください。その後、180 度持ち替えて同様に 10 回程度水滴が飛ばなくなるまで振ってください。



- 3 外周部の隙間にたまった水は、乾いた清潔な布などに本タブレットの四隅を各 10 回程度振るよう押し当てて拭き取ってください。



- 4 スピーカーなどの隙間にたまった水は、乾いた清潔な布などに本タブレットを 10 回程度振るよう押し当てて拭き取ってください。



- 5 本タブレットから出てきた水分を乾いた清潔な布などで十分に拭き取り、自然乾燥させてください。
 - ・水を拭き取った後に本体内部に水滴が残っている場合は、水が染み出ることがあります。
 - ・隙間にたまった水を綿棒などで直接拭き取らないでください。

充電のときの注意

充電時および充電後には、必ず次の点を確認してください。

- 充電時は、本タブレットが濡れていないか確認してください。本タブレットが濡れている状態では、絶対に充電しないでください。
- 付属品は防水性能を有していません。
- 本タブレットが濡れている場合や水に濡れた後に充電する場合は、よく水抜きをして乾いた清潔な布などで水を拭き取ってから、クレードル（→P.123）やスリムキーボード／軽量スリムキーボード（→P.122）に差し込んだり、端子カバーを開いたりしてください。
- 端子カバーを開いて充電した場合には、充電後はしっかりとカバーを閉じてください。なお、外部接続端子からの浸水を防ぐため、クレードル（→P.123）を使用して充電することをお勧めします。
- AC アダプタ、クレードル（→P.123）やスリムキーボード／軽量スリムキーボード（→P.122）は、お風呂場、シャワー室、台所、洗面所などの水周りや水のかかる場所で使用しないでください。
火災や感電の原因となります。
- 濡れた手で AC アダプタ、クレードル（→P.123）やスリムキーボード／軽量スリムキーボード（→P.122）に触れないでください。
感電の原因となります。

お手入れ

このタブレットを快適にお使いいただくための、日ごろのお手入れについて説明します。

警告



- 感電やけがの原因となるので、お手入れの前に、次の事項を必ず行ってください。
 - ・タブレット本体の電源を切り、AC アダプタを取り外してください。
 - ・周辺機器やケーブル類を接続している場合は、タブレット本体から取り外してください。
 - 清掃するときは、清掃用スプレー（可燃性物質を含むもの）を使用しないでください。故障・火災の原因となります。
-
- タブレット本体の汚れを取る場合は、次の点に注意してください。
 - ・爪や指輪などで傷を付けないように注意してください。
 - ・OA クリーニング用のクロスや不織布などの乾いた柔らかい布を使って軽く拭き取ってください。
 - ・汚れがひどい場合は、水または水で薄めた中性洗剤を含ませた布を固く絞って拭き取り、中性洗剤を使用した場合は、水に浸した布で拭き取ってください。また、拭き取るときは、タブレット本体に水が入らないよう十分に注意してください。
 - ・アセトン、シンナー、ベンジンなど揮発性の強いものや、化学ぞうきん、除光液、清掃用スプレー（可燃性物質を含むもの）は絶対に使わないでください。

●液晶ディスプレイの汚れを取る場合は、さらに次の点に注意してください。

- ・OA クリーニング用のクロスや不織布などの乾いた柔らかい布かメガネ拭きを使って軽く拭き取ってください。水や中性洗剤を使用して拭かないでください。
- ・市販のクリーナー、除光液、化学ぞうきんを使うと、成分によっては、画面の表面のコーティングを傷めるおそれがあります。次のものは、使わないでください。
 - ・アルカリ性成分を含んだもの
 - ・界面活性剤を含んだもの
 - ・アセトン、シンナー、ベンジンなどの揮発性の強いもの
 - ・研磨剤を含むもの
- ・液晶ディスプレイの表面を固いものでこすったり、強く押しつけたりしないでください。破損するおそれがあります。
- ・arrows Tab RH77/B1 の場合、カバーキーボードやクレードルを取り外し、U スタンドを閉じた後、平らで安定した場所にタブレット本体を置いてから行ってください。タブレット本体を立てたまま行くと、本製品が倒れるおそれがあります。
- ・arrows Tab QH35/B1 の場合、カバー付きキーボードを取り外した後、平らで安定した場所に、液晶ディスプレイを上向きにしてタブレット本体を置いてから行ってください。

●キーボードをお使いのときに、キーボードのキーとキーの間のほこりを取る場合は、次の点に注意してください。

- ・ゴミは吹き飛ばして取らないでください。キーボード内部にゴミが入り、故障の原因となる場合があります。また、掃除機などを使って、キーを強い力で引っ張らないでください。
- ・ほこりなどを取る場合は、柔らかいブラシなどを使って軽くほこりを取り除いてください。そのとき、毛先が抜けやすいブラシは使用しないでください。キーボード内部にブラシの毛などの異物が入り、故障の原因となる場合があります。

●arrows Tab RH77/B1、QH35/B1 で、キーボードの汚れを取る場合は、さらに次の点に注意してください。

- ・本製品は洗濯できません。汚れた場合は、水に浸した布をよく絞ってから汚れを拭き取り、その後、乾いた布で拭いてください。
- ・ベンジン、シンナー、アルコールなどの溶剤や家庭用洗剤・化学ぞうきんは、変質、変色するおそれがありますので、使用しないでください。
- ・濡れたときは、乾燥したタオルなどで濡れた部分の水分を拭き取ってください。

バックアップ

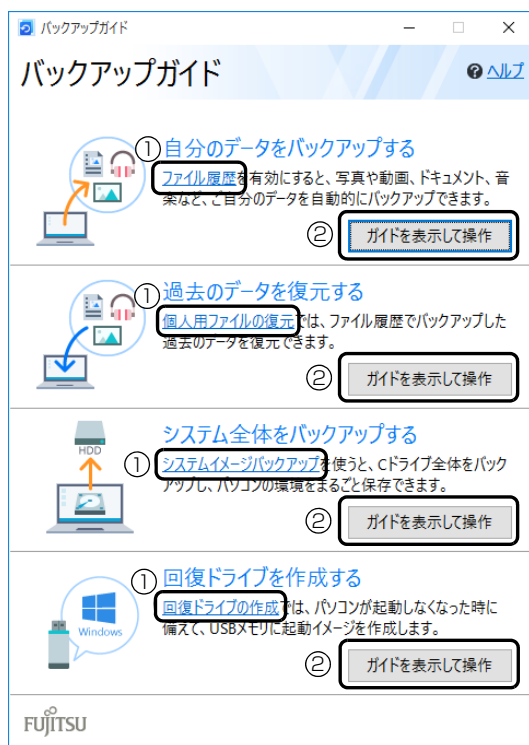
Windows が起動しなくなった場合や、データを誤って紛失してしまった場合に備え、大切なデータのコピーを保存しておくことを「バックアップ」といいます。バックアップは大変重要ですので、忘れずに行うようにしてください。この章でバックアップ方法を紹介していますので、組み合わせて効率的にバックアップをとりましょう。

バックアップガイド

Windows 10にはトラブルに備えてデータをバックアップする機能や、故障に備えた機能が搭載されています。「バックアップガイド」は、設定の手順を説明したガイドを表示したり、各機能を設定するウィンドウを簡単に表示したりします。

バックアップガイドの使い方

- 1  ▶「FUJITSU - バックアップガイド」▶「バックアップガイド」の順にタップします。
- 2 「バックアップガイド」の概要を説明するウィンドウが表示されたら、「次へ」をタップします。
- 3 次のように操作します。



- ① タップすると、各機能を設定するウィンドウが表示されます。
- ② 「ガイドを表示して操作」をタップすると「Microsoft Edge」が起動し概要と操作方法を説明するページが表示されます。

Point

- ▶ ガイドを表示するにはインターネット接続が必要です。

■どのような機能かは、次の節もご覧ください

- 「ファイル履歴」および「個人用ファイルの復元」
「ファイル履歴を有効にしてバックアップ／管理／復元する」(→ P.134)
- 「システムイメージバックアップ」
「システムイメージバックアップ」(→ P.135)
- 「回復ドライブの作成」
「回復ドライブを作成する」(→ P.50)

ファイル履歴を有効にしてバックアップ／管理／復元する

ファイル履歴を有効にすると、タブレット上のドキュメント、ピクチャ、ビデオ、ミュージックなどの各フォルダーに保存されているファイルを自動でバックアップできます。

バックアップは変更のあったファイルがコピーされ、バックアップした日時ごとに管理することができます。

ファイルを紛失、または破損してしまったときに備え、ファイル履歴をオンにしてバックアップするようしておきましょう。

- 「バックアップガイド」で「自分のデータをバックアップする」の「ファイル履歴」をタップすると、ファイル履歴のオン／オフを切り替えられるウィンドウが表示されます。
- 「バックアップガイド」で「過去のデータを復元する」の「個人用ファイルの復元」をタップすると、ファイル履歴でバックアップしたデータを復元できるウィンドウが表示されます。

バックアップ／復元できる項目

C:\Users¥ [ユーザー名] 配下の、次のデータなどが対象です。

- OneDrive
- Windows アドレス帳
- 「Internet Explorer」のお気に入り
- デスクトップに保存されているファイル
- ドキュメント
- ピクチャ
- ビデオ
- ミュージック
- リンク
- 検索
- 保存したゲーム
- カメラロール
- 保存済みの写真

ファイル履歴の注意事項

- すべてのデータのバックアップ／復元を保証するものではありません

「バックアップガイド」から設定できる Windows の各機能は、すべてのデータのバックアップ／復元を保証するものではありません。また著作権保護された映像（デジタル放送の録画番組など）や音楽などはバックアップ／復元できない場合があります。

- 万が一、ファイル履歴で復元できないときのために、大事なファイルは個別にバックアップしてください

- タブレット本体のフラッシュメモリにはバックアップできません

外付けハードディスクや、USB メモリ、メモリーカードなど、データをバックアップできる容量がある媒体をご用意ください。またネットワーク上のドライブにもバックアップできます。



- ▶ すべての周辺機器の動作を保証するものではありません。

- 次のデータは、バックアップできません

- 著作権保護された音楽データ、映像データ
デジタル放送の録画番組、インターネット上の音楽配信サイトからダウンロードしたファイルなど、著作権保護された映像データや音楽データなどはバックアップ／復元できない場合があります。
著作権保護された音楽データ、映像データのバックアップ／復元については、お使いのアプリのマニュアルやヘルプをご覧ください。
- テレビ番組を録画したデータ
容量が大きいので、フラッシュメモリの空き容量が少なくなってしまったときは、個別にDVDなどディスクにバックアップすることをお勧めします。

ファイル履歴のバックアップ／管理／復元方法

ファイル履歴のバックアップ／管理／復元方法は、サポートページから次の Q&A ナンバーを検索してご覧ください (→ P.64)。

- ファイル履歴を使用してバックアップする方法
「1510-8222」
- ファイル履歴を管理する方法「8910-8224」
- ファイル履歴を使用して復元する方法
「5210-8223」

システムイメージバックアップ

システムイメージバックアップとは、C ドライブ全体をシステムイメージとしてバックアップできる機能です。

現在のタブレットの状態をそのままバックアップするので、インターネットの設定や、メールの設定、インストールしたアプリなどの情報を保存できます。復元するとシステムイメージを作成した時点の状態に復元されます。

トラブルに備えて、タブレットのセットアップが完了した後、タブレットが快適に使用できている状態のときにバックアップすることをお勧めします。

- 「バックアップガイド」で「システム全体をバックアップする」の「システムイメージバックアップ」をタップすると「システムイメージの作成」ウィンドウが表示されます。

システムイメージバックアップの注意事項

- システムイメージバックアップとファイル履歴を組み合わせるバックアップをとることをお勧めします

システムイメージを復元すると、バックアップ作成時点以降のデータは削除されます。

そのため、バックアップ作成時点以降のデータはファイル履歴を使用してバックアップを復元してください。

システムイメージを復元する直前にファイル履歴を使用してバックアップを行うことをお勧めします。手動でバックアップを取る方法は、サポートページから Q&A ナンバー「1510-8222」を検索してご覧ください (→ P.64)。

- すべてのデータのバックアップ／復元を保証するものではありません

「バックアップガイド」から設定できる Windows の各機能は、すべてのデータのバックアップ／復元を保証するものではありません。また著作権保護された映像（デジタル放送の録画番組など）や音楽などはバックアップ／復元できない場合があります。

- 万が一、システムイメージで復元できないのために、大事なファイルは個別にバックアップしてください

- タブレットに不具合が起きているときは、システムイメージをバックアップしないでください

システムイメージバックアップは、タブレットの C ドライブをそのままの状態で作成するため、不具合も保存されてしまい、復元時に不具合も復元してしまいます。

- システムイメージから復元をする場合は、復元する項目を個別に選択できません

現在のアプリ、システム設定、およびファイルやフォルダーは、システムイメージバックアップをとった時点の内容ですべて上書きされます。

- システムイメージバックアップは 1 つの保存先に 1 つしかとれません

保存先ドライブにすでにシステムイメージがある場合、「このコンピューターに関する既存のシステムイメージは、上書きされる場合があります。」と警告が表示され、上書きされます。以前にとったシステムイメージバックアップを消したくない場合は別の保存先を用意してください。

- 管理者アカウントで Windows にサインインしていることを確認してください

セットアップ時に作成したアカウントは管理者アカウントです。

標準アカウントでサインインしている場合は、「ユーザーアカウント制御」ウィンドウで管理者アカウントのパスワードを入力してバックアップしてください。

- バックアップ／復元するときは、必ず AC アダプタを接続してください

- 復元するときは、画面表示の向きに合わせて、タブレット本体を持ち替えて操作してください。

システムイメージをバックアップする場所



- ▶ すべての周辺機器の動作を保証するものではありません。

■外付けハードディスク

直接システムイメージをバックアップできます。外付けハードディスクは USB 接続のものを用意してください。USB 接続以外の接続方式では正常に動作しない場合があります。

■別のパソコンの共有フォルダー

LAN変換アダプタを使い、有線LANで接続した別のパソコンの共有フォルダーにバックアップしてください。

システムイメージを別のパソコンの共有フォルダーにバックアップする方法は、サポートページからQ&A ナンバー「0510-8219」を検索してご覧ください (→ P.64)。

■DVD-R、DVD-R DL、DVD+R DL (スーパーマルチドライブユニット対応機種のみ)

システムイメージをバックアップ／復元する

システムイメージをバックアップ／復元する方法は、サポートページから次の Q&A ナンバーを検索してご覧ください (→ P.64)。

- システムイメージをバックアップする方法
「0010-8227」

- システムイメージを復元する方法「3710-8228」
作業中にタブレットから Q&A が見られない状態になるので、この Q&A を印刷しておくか、「富士通アドバイザー」(スマートフォン版) を使ってご覧いただくことをお勧めします。「富士通アドバイザー」(スマートフォン版) について詳しくは「「富士通アドバイザー」を活用する」(→ P.48) をご覧ください。

システムイメージを削除する

システムイメージは容量が大きい場合があります。不要なデータを削除するには、システムイメージを管理する機能を使用します。サポートページから Q&A ナンバー「7810-8221」を検索してご覧ください (→ P.64)。

使いこなすために

本製品ならではの機能のご紹介や、本製品を使いこなすための細かい設定方法などを説明しています。

搭載されているアプリを使う (@メニュー)

このタブレットには、搭載されているデスクトップアプリを簡単に探すための、「@メニュー」が搭載されています。

やりたいことがあるけれど、どのアプリを使えばよいかわからないときは、「@メニュー」で探すことができます。

「@メニュー」の使い方

- 1 「@メニュー」▶「@メニュー」の順にタップします。
- 2 次の画面の操作をします。



(画面は機種や状況により異なります)

- ① カテゴリを選択します。
- ② ジャンルを選択します。
- ③ やりたいことを選択します。
- ④ 「実行する」をタップします。

Point

- ▶ アプリを起動する方法は他にもあります。
詳しくは、『Windows 10 基本操作クイックガイド』をご覧ください。
- ▶ このタブレットに搭載されているアプリの一覧は、富士通製品情報ページ
(<http://www.fmwORLD.net/fmv/>) に掲載されています。
- ▶ ⑤が表示されている場合はタップすると各アプリのお問い合わせ先を確認することもできます。

My Cloud プレイを活用する

「My Cloud プレイ」は、パソコンや Blu-ray / DVD レコーダーなどに保存してある写真・動画・音楽・録画番組などをまとめて管理して楽しむことができます。写真を加工したり、BGM 付きのデジタルアルバムを作ったり、スマートフォンやタブレットでパソコンの音楽を聴いたり、録画番組を見たりすることもできます。

Point

- ▶ すべての機能をお使いになるには「ストア」で最新版にアップデートしてください。
初期設定では「ストア」から自動的にアップデートされるよう設定されています。「ストア」の設定でアプリの自動更新をオフにしないことをお勧めします。



(「My Cloud プレイ」ホーム画面)

詳しい使い方については …

「My Cloud プレイの紹介ページ」
(http://azby.fmwORLD.net/mycloud/apps_top/play/) から My Cloud プレイのマニュアルをご覧ください。

「My Cloud プレイ」でできること

■写真をもっと楽しむ

たくさんの写真データを自動で整理して、アルバムでまとめたり、選んだ写真を編集したり、年賀状を作成したりと、さまざまな方法でお楽しみいただけます。

□おまかせアルバム

写真の撮影日、場所などを分析してイベントごとにまとめたアルバムを自動的に作成します。

□オリジナルアルバム

お気に入りの写真を選んでアルバムを作成することができます。さらにお気に入りの音楽を選んで BGM 付きのアルバムも簡単に作成できます。

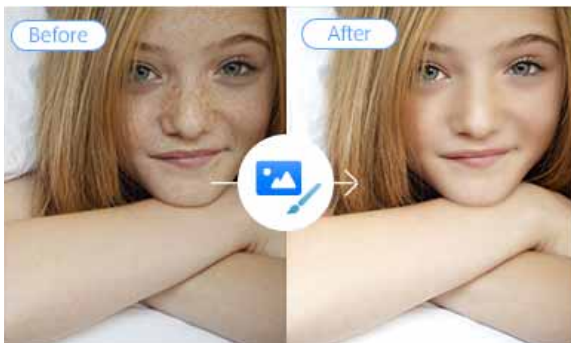
□成長フォトムービー

人物ごとにまとめられた写真一覧からワンクリックで、1 年分の写真をピックアップし、子供の成長が感じられるムービーを自動的に作成します。



□写真編集

編集機能を使用すれば、スタンプやフレームでデコレーションしたり、色調や鮮やかさを変化させたり、肌をなめらかにしたり…と写真の楽しみが広がります。



□はがき・年賀状作成

写真が日付や人物別に自動で整理されるので、お気に入りの写真を簡単に選ぶことができます。ボタン 1 つで「筆ぐるめ」と連携して、きれいなはがきや年賀状を簡単に作成することができます。



■録画番組・音楽・写真・動画を家でも外でも楽しむ

自宅のパソコンや Blu-ray / DVD レコーダーなどのデータに、スマートフォンやタブレットからアクセスすることができます。Blu-ray / DVD レコーダーにある録画番組を自宅でもワイヤレスで見たり、カフェや帰省先からも自宅のパソコンのデータを楽しんだりできます。



■離れた家族や友人と写真や動画を共有する

「ゲストアカウント」機能を利用すると、自宅のパソコンの共有フォルダーのデータを離れた家族や友人に共有することができます。実家の親に子供の写真を見せたり、友達に写真や動画を共有したりすることができます。



「My Cloud プレイ」には、この他にもさまざまな機能が搭載されています。まずは一度お試しください。

「My Cloud プレイ」を使う

- 1 「My Cloud ホーム 2.0」の順にタップします。



タイルが見つからない場合は、画面を上スクロールしてください。

- 2 「My Cloud ホーム 2.0」という画面が表示されたら、「My Cloud プレイ」をタップします。



- 3 「My Cloud プレイ」という画面が表示されたら、「My Cloud プレイを今すぐ試してみる」をタップします。

「My Cloud プレイ」が起動します。

- 4 この後は画面の指示に従って操作します。

「My Cloud プレイ使用許諾契約」が表示された場合は、よく読んで「同意する」にチェックをつけ、「OK」をタップします。

「My Cloud プレイ」のホーム画面が表示されます。

「My Cloud プレイ」のすべての機能を使う

「My Cloud プレイ」のすべての機能をお使いになるためには、My Cloud アカウントでのログインが必要です。ログインすると、次の機能を楽しむことができます。

- スマートフォンやタブレットでの録画番組のストリーミング再生
- スマートフォンやタブレットへの録画番組の持ち出し

F-LINK Neo

「F-LINK Neo」は写真や動画をスマートフォン／タブレットからパソコンへ簡単に取り込むことができます。



「F-LINK Neo」を使うと、次のようなことができます。

- パソコンにSDカードを挿したり（ダイレクト・メモリスロット搭載機種のみ）、スマートフォン／タブレットとパソコンをケーブルで接続したりするだけで、写真や動画の取り込みを自動で開始します。
- Android OSのスマートフォン／タブレットに「F-LINK Neo」をインストールして、My Cloud ID でペアリングをすると、自宅のWi-Fi ネットワークに接続するだけで、取り込みを自動で開始します。

Point

- ▶ 「F-LINK Neo」は他のデスクトップアプリと同様に「アップデートナビ」でアップデートすることができます。「F-LINK Neo」は常に最新の状態に更新してお使いください。
- ▶ 詳しい使い方については、サポートページからQ&A ナンバー「4110-8220」を検索してご覧ください（→ P.64）。

「F-LINK Neo」をお使いになるうえでの注意

■対応スマートフォン／タブレットについて

「F-LINK Neo」に対応したスマートフォン／タブレットについては、ホームページ（<http://azby.fmworld.net/support/soft/mycloudapps/flink-neo/>）をご覧ください。

■注意事項

- 次のプログラムからネットワークの接続の要求があったときは、接続を許可するように設定してください。
 - ・ MyCloudLink.exe
- 受信側の空き容量が少ないと全部のファイルが取り込めないことや、送信側からファイルを送れない場合があります。表示されたメッセージに従ってください。
- ルーターで機器間の通信を遮断する設定が行われていた場合、ルーター経由で「F-LINK Neo」の機能が動作しません。ルーターを経由する場合は、機器間の通信を許可する設定をしてください。設定の方法は、ルーターのマニュアルをご覧ください。

ワンタッチプライバシー

「ワンタッチプライバシー」は、登録したデータを簡単に隠すことで、あなたの大切なデータを守ることができるアプリです。

あらかじめ指定した期間に利用がない場合は、登録したデータを自動で消去することもできます。



「ワンタッチプライバシー」の初期設定をする

- 1 ▶「ワンタッチプライバシー」▶「ワンタッチプライバシー」の順にタップします。
- 2 「セットアップ」画面が表示されたら、「次へ」をタップします。
- 3 「追加使用条件」画面が表示されたら、よく読んで「追加使用条件に同意する」の ☐ をタップして ☒ にし、「次へ」をタップします。
- 4 「パスワード登録」画面が表示されたら、パスワードを設定して「登録する」をタップします。
- 5 ワンタッチプライバシーの使い方が表示されたら、「次へ」をタップして読み進め、最後のページで「完了」をタップします。
「登録データ一覧」画面が表示されたら初期設定は完了です。

詳しい使い方については …

「ワンタッチプライバシーの紹介ページ」(http://azby.fmworld.net/mycloud/apps_top/otp/)から「ワンタッチプライバシー」のマニュアルをご覧ください。

表示中の画面を保存する

タブレットの状態でも、表示している画面をスクリーンショットして保存できます。

arrows Tab WQ2/B1 では、本体のショートカットボタンを長押しするだけで、表示している画面をキャプチャして保存できるワンタッチキャプチャがお使いになれます。

スクリーンショット

■スクリーンショットするうえでの注意

- スクリーンショットは、Windows にサインインしている間のみ実行できます。
- スクリーンショットは、使用中のアプリやディスプレイの設定によっては、画面を正常に画像として保存できないことがあります。

■スクリーンショットする

- 1 保存したい画面を表示します。

- 2 次の操作をします。

ボタンの場所については、「各部の名称と動き」(→ P.84) をご覧ください。

■arrows Tab RH77/B1 の場合

タブレットのWindowsボタンを押した直後に音量調節ボタン(－)を押し、画面が一瞬暗くなったらすぐに両方のボタンから指を離します。

■arrows Tab QH35/B1、WQ2/B1 の場合

タブレットの電源ボタンを押した直後に音量調節ボタン(＋)を押し、画面が一瞬暗くなったらすぐに両方のボタンから指を離します。

- 3 保存ができたか確認します。

1. を長押しし、表示されたメニューから「エクスプローラー」をタップします。
2. クイックアクセスの「ピクチャ」フォルダー内の「スクリーンショット」フォルダーに画像が保存されるので、確認します。

point

- ▶ キーボードスタイルでは次のように操作するとスクリーンショットできます。

を押した直後に を押し、画面が一瞬暗くなったらすぐ離します。

ワンタッチキャプチャ

arrows Tab WQ2/B1 のみ

■ワンタッチキャプチャするうえでの注意

- ワンタッチキャプチャ機能は、Microsoft アカウントでサインインしている間のみ実行できます。
- 初めてお使いになるときは「OneNote」の初期設定が必要です。Microsoft アカウントでサインインし、画面の指示に従って操作してください。
- ワンタッチキャプチャ機能は、使用中のアプリやディスプレイの設定によっては、画面を正常に画像として保存できないことがあります。
- 「ステータスパネルスイッチ」をアンインストールするとお使いになれません。

■ワンタッチキャプチャする

- 1 キャプチャしたい画面を表示中に、ショートカットボタンを長押しします。
ショートカットボタンの場所については、「各部の名称と働き」(→ P.84) をご覧ください。
- 2 「OneNote」が起動するので、キャプチャしたい範囲を選択します。
「OneNote」の新しいページに画面キャプチャが表示されます。

Cortana (コルタナ)

最新のWindows 10にはCortanaという機能があり、さまざまな操作をより快適に行うことができます。

Cortana を利用するには、検索ボックスに、Cortana にしてほしいことを入力します。検索だけでなく、メールの送信、アプリを開く、リマインダー、冗談を言うことなどができます。マイク搭載機種は、音声入力もできます。

CortanaはWindowsを最新の状態にアップデートすると、できることが追加されたり、機能が改善したり、進化します。また使えば使うほど、ユーザーの状況に合わせて使いやすくなります。

Cortana をお使いになる前に

■Cortana をお使いになるうえでの注意

- インターネットに接続し、Microsoft アカウントでサインインしてください。
- 音声入力するときは、静かな環境でご利用ください。
- 音声入力するときに、タブレットに近づく必要はありません。通常タブレットを使うときと同じ程度の距離が適切です。

Point

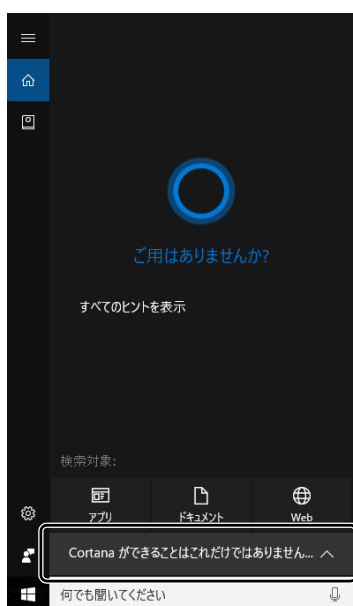
▶ Windowsのセットアップ時にCortanaを後で設定する選択をした場合、使用許諾をする必要があります。

1. 検索ボックスをタップします。タブレットモードのときは、タスクバーの🔍をタップします。



(これ以降の画面は機種や状況により異なります)

2. 「Cortana ができることはこれだけではありません...」をタップします。



3. 「許可します」をタップします。

■Cortana の設定を変更する

設定を変更したり、ホームの表示項目を追加したりできます。画面の指示に従って操作してください。



① ホーム

他の画面を表示しているときにタップするとホームに戻ります。「ヘルプとヒント」の「さらにヒントを表示」をタップするとホームに表示されていない項目のヒントも見ることができます。

② ノートブック

カレンダー、リマインダー、ミュージックなどの各項目の、ホームに表示するかしないかを切り替えたり、設定を変更したりします。

③ 設定

ロック画面でのCortanaの使用可否を切り替えるなど、Cortana をお使いになるうえでの環境の設定をします。

■呼びかけで音声入力を開始できるようにする (マイク搭載機種のみ)

タブレットに「コルタナさん」と呼びかけたら Cortana が応答するよう設定します。

- 1 検索ボックスをタップし、 (設定) をタップします。
- 2 「コルタナさん」の  (オフ) をタップして  (オン) にします。
- 3 応答する相手を自分だけにしたいときは、「「コルタナさん」の発音を覚えさせる」をタップします。この後は画面の指示に従って声を覚えさせてください。

Point

- ▶ マイクのセットアップ画面が表示された場合は、画面の指示に従ってセットアップしてください。
- ▶ この設定をしない場合も、検索ボックスの  をタップすると音声認識が開始されます。

Cortana を使う

ここでは音声入力でカレンダーに予定を入力してみましょう。

話しかける内容を、キーボードまたはタッチキーボードで入力しても同じように操作できます。

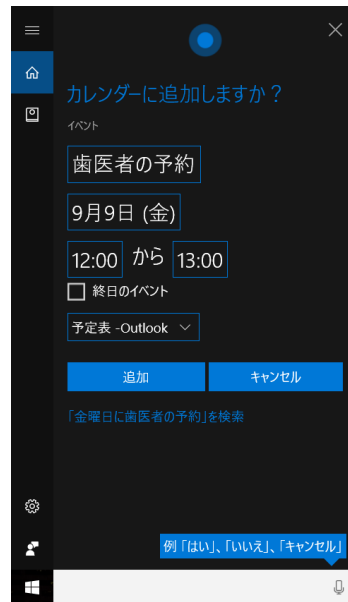
- 1 「コルタナさん」を  (オン) にしている場合は、「コルタナさん」と呼びかけます。
「コルタナさん」を  (オフ) にしている場合は、 をタップします。
- 2 ピボットと音が鳴った後、①が表示されている間に「金曜日に歯医者予約」と話しかけます。
①が表示されている間だけ、音声入力ができます。



(これ以降の画面は機種や状況により異なります)

- 3 予定が表示され、「何時ですか?」と聞かれたら、「正午」と話しかけます。

- 4 予約内容に間違いがなければ、「はい」と話しかけます。
「追加」をタップしても、予約を確定できます。表示内容に間違いがあれば、タップして修正してください。



- 5 「追加しました」と表示されたら、予約完了です。
 ▶ 「カレンダー」の順にタップして、予約が追加されていることを確認してみましょう。

i-フィルター

このタブレットに用意されている「i-フィルター」は30日のお試し版となっています。ぜひお試しください。初めてお使いになるときは、次の手順で初期設定を行ってください。

なお、お試し版を利用するにはメールアドレスの登録が必要です。

- 1 インターネットに接続します。
- 2 **「@メニュー」▶「@メニュー」の順にタップします。**
- 3 ①「アプリ・サービス」▶②「インターネット・メール」▶③「目的でさがす」▶④「有害サイトの閲覧を制限する」▶⑤「実行する」の順にをタップします。



- 4 「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示された場合は、「はい」をタップします。

「続行するには管理者アカウントのパスワードを入力して、[はい] をタップしてください。」と表示されている場合は、そのアカウントのパスワードを入力してから「はい」をタップします。

「i-フィルター」のご紹介の画面が表示されます。

- 5 「「i-フィルター6.0」をインストールする」をタップします。

使用許諾の画面が表示されます。

この後は画面の指示に従ってインストールを進めてください。

Point

- ▶ 「すでにインストールされています。」というメッセージが表示された場合は、「i-フィルター」はインストール済みです。
「OK」▶「完了」の順にタップして、画面を閉じてください。

- 6 「i-フィルター 6.0」の画面が表示されたら、インターネットに接続していることを確認して、「お申し込み」ボタンをタップします。

この後は画面の指示に従ってメールアドレスの登録を進めてください。

登録が完了すると「i-フィルター」が利用できるようになります。

次回使うときは、通知領域に表示された  アイコンから、設定を行うことができます。



試用期間を超えてご利用になる場合は、継続利用（有償）のお手続きを行ってください。別のフィルタリングアプリをご利用になる場合は、市販のアプリをご購入のうえ、ご利用ください。

スリープ

Windows の省電力機能を使用すると、タブレットを待機状態にしているときに消費電力を抑えることができます。ここでは、省電力機能のうち、「スリープ」について説明しています。

スリープとは

■スリープ

作業中のデータなどをメモリに保存してタブレットを待機状態にすることです。

ご購入時の設定では、一定時間タブレットを操作しないと、自動的にスリープになるように設定されています。手動でスリープにする操作については、「スリープにする／復帰させる」(→ P.106)をご覧ください。

スリープにするうえでの注意

- タブレットをお使いの状況によっては、スリープ、復帰(レジューム)に時間がかかる場合があります。
- スリープにした後、すぐに復帰(レジューム)しないでください。必ず、10 秒以上たってから復帰(レジューム)するようにしてください。また、再度スリープにする場合は、復帰(レジューム)させた後、必ず 10 秒以上たってから、スリープにするようにしてください。
- スリープに移行するまでの間、USB マウスや USB キーボードなどの周辺機器を操作しないでください。復帰(レジューム)した後、周辺機器を正しく認識しなくなることがあります。
- 接続している周辺機器のドライバーが正しくインストールされていない場合、スリープにならないことがあります。
- スリープ、復帰(レジューム)のときに、画面に一瞬ノイズが発生する場合がありますが、故障ではありません。
- スリープ中は、周辺機器の取り付け／取り外しをしないでください。
- ネットワークの設定によっては、スリープ中に DHCP サーバーから割り当てられた IP アドレスの有効期限が切れると、タブレット本体がスリープから元の状態に戻ることがあります。
この場合は、IP アドレスの有効期間を延長するか、DHCP の使用を中止して固定 IP をお使いください。

- arrows Tab RH77/B1、WQ2/B1 では、次の場合は自動的にスリープになりません。
 - ・ DVD-VIDEO などの動画再生時
- 次の場合は、スリープにしないでください。
 - ・ Windows の起動処理中または終了処理中
 - ・ タブレットが何か処理をしている最中(プリンター出力中など)、および処理完了直後
 - ・ フラッシュメモリディスクにアクセス中
 - ・ オートラン CD-ROM/DVD-ROM(セットすると自動で始まる CD-ROM/DVD-ROM)を使用中(スーパーマルチドライブユニット対応機種のみ)
 - ・ ビデオ CD や DVD-VIDEO、音楽 CD などを再生中(スーパーマルチドライブユニット対応機種のみ)
 - ・ 音楽やゲームソフトなどのサウンドを再生中
 - ・ ディスクにデータを書き込みまたは書き換え中
 - ・ ドライバーのインストールが必要な周辺機器を取り付けて、ドライバーをインストールしているとき
 - ・ マルチモニター機能を使用中
 - ・ ネットワークに接続して通信中
 - ・ デジタルテレビに表示しているとき
 - ・ マウスの操作中
 - ・ LAN 機能を使ってネットワーク(インターネットなど)に接続中

ディスプレイの電源を切る、スリープになるまでの時間を変更する

次の手順で表示する画面から、ディスプレイの電源を切るまでの時間、スリープになるまでの時間を変更できます。

この方法は簡易的な方法で、「電源オプション」ウィンドウで選択されている電源プランに対してのみ変更を加えることができます。詳細な設定変更をしたいときは「スリープの設定変更」(→ P.147)をご覧ください。

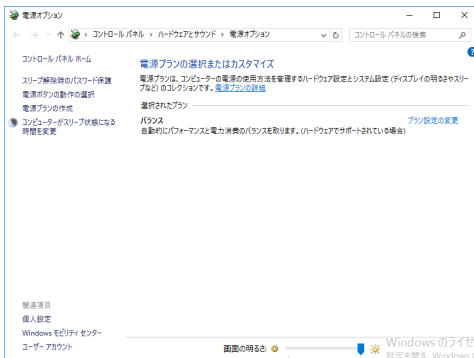
- 1   (設定) ▶ 「システム」の順にタップします。
- 2 「システム」ウィンドウ左の「電源とスリープ」をタップします。

スリープの設定変更

ディスクにデータを書き込むときや、LAN を使用するときなど、必要に応じて設定を変更してください。スリープの設定変更は「電源オプション」ウィンドウで行います。

■「電源オプション」ウィンドウを表示する

- 1  を長押しし、表示されたメニューから「電源オプション」をタップします。
「電源オプション」ウィンドウが表示されます。



■電源ボタンを押したときの省電力機能を変更する

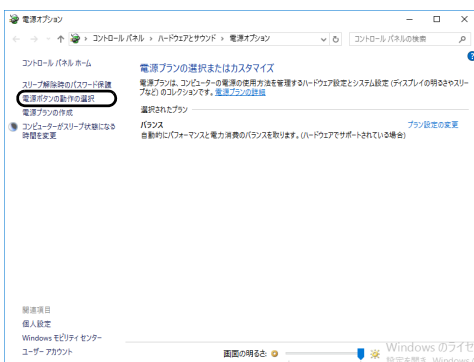
☐ ご購入時の設定

●電源ボタンを押す

スリープ状態に切り替わる

☐ 設定を変更する

- 1 「電源オプション」ウィンドウで、「電源ボタンの動作の選択」をタップします。



（これ以降の画面は機種や状況により異なります）

2 必要に応じて電源ボタンの項目を変更します。



3 「変更の保存」をタップします。



- ▶ タブレットがスリープから復帰（レジューム）するとき、あらかじめ Windows に設定してあるパスワードや PIN を入力する必要があります。次の手順で設定変更できますが、セキュリティを高めるため、サインインを求める設定にしておくことをお勧めします。

1.  (設定) ▶ 「アカウント」の順にタップします。
2. ウィンドウ左の「サインインオプション」をタップし、ウィンドウ右の「サインインを求める」の設定を変更します。

■電源プラン

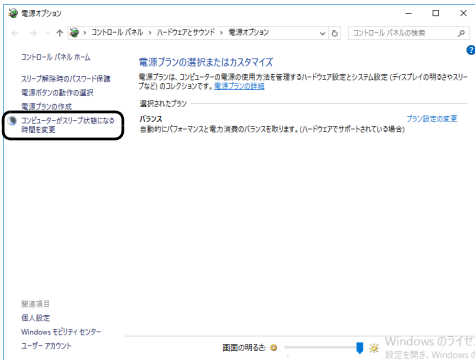
このタブレットでは「バランス」が選択されています。タブレットの利用状況に応じた設定に変更することで、消費電力を抑えることができます。

●バランス

ハードウェアでサポートされている場合に、自動的にパフォーマンスと消費電力のバランスをとります。

□スリープになるまでの時間を変更する

- 1 「電源オプション」 ウィンドウで、「コンピューターがスリープ状態になる時間を変更」をタップします。



(これ以降の画面は機種や状況により異なります)

- 2 ①「コンピューターをスリープ状態にする」の設定を変更します。



Point

▶ 変更した設定は次の手順で元に戻すことができます。

1. ②「このプランの既定の設定を復元」をタップします。
2. 「はい」をタップします。

- 3 「変更の保存」をタップします。

節電

省電力モード

一部の機能の使用を制限することで、タブレット本体の動作を中断させずに、消費電力を抑えることができます。詳しくは、「ステータスパネルスイッチ」(→ P.149)をご覧ください。

バッテリーユーティリティ - ECO Sleep

arrows Tab RH77/B1 のみ

■「ECO Sleep」とは

「ECO Sleep」とは、電源オフ状態や休止状態でバッテリーの充電が完了している場合に、AC アダプタからの電力供給を止めることにより消費電力を抑える機能です。

■「ECO Sleep」の設定を変更する

「ECO Sleep」の設定は、「バッテリーユーティリティ」で変更します。

- 1  「FUJITSU - バッテリーユーティリティ」▶

「バッテリーユーティリティ」の順にタップします。「バッテリーユーティリティ」ウィンドウが表示されます。

- 2 「ECO Sleep」をタップします。

- 3 「変更」をタップします。

「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示されたら、「はい」をタップします。

- 4 「ECO Sleep」を有効にする場合は「低待機モード」を、「ECO Sleep」を無効にする場合は「通常モード」をタップし、「OK」▶「閉じる」の順にタップします。

●「ECO Sleep」について詳しくは、次の手順で表示されるヘルプをご覧ください。

1.  「FUJITSU - バッテリーユーティリティ」▶「ヘルプ」の順にタップします。

●「ECO Sleep」が動作中の場合、電源オフ状態や休止状態ではバッテリー充電ランプは点灯しません。

バッテリーユーティリティ - 満充電量の設定

arrows Tab RH77/B1 のみ

バッテリーの満充電量を 80% に抑えることで、バッテリーの充電に使用する電力を節約するとともに、バッテリーの消耗を抑え、バッテリーの寿命を延ばすことができます。

■設定を変更する

- 1  ▶「FUJITSU - バッテリーユーティリティ」▶
「バッテリーユーティリティ」の順にタップします。
「バッテリーユーティリティ」ウィンドウが表示されます。
- 2 「バッテリー満充電量」をタップします。
- 3 「変更」をタップします。
「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示されたら、「はい」をタップします。
- 4 「80% 充電モード」を選択し、「OK」▶「閉じる」の順にタップします。

- ご購入時のバッテリーの満充電量は、100% に設定されています。
- 「80% 充電モード」に変更すると、バッテリー残量が 70% 以上の場合、AC アダプタを取り付けても充電されません。69% 以下で充電されます。

ステータスパネルスイッチ

「ステータスパネルスイッチ」は、画面上のボタンで、画面の明るさや CPU パフォーマンスなどを一括で変更し、タブレットを使用する状況に適したモードに変更できる機能です。

- ・ブルーライトカットモード搭載機種では、気になるブルーライトを軽減する「ブルーライトカットモード」の設定もできます。

「ステータスパネルスイッチ」をお使いになるうえでの注意

- CPU パフォーマンスを次の設定にしていると動画の再生時にコマ落ちが発生する場合があります。
 - ・低
 - ・中このような場合には、CPU パフォーマンスを次のいずれかに設定してください。
 - ・高
 - ・「モード切り替え設定」で、CPU パフォーマンスの ☒ を ☐ にする
- 複数のユーザーアカウントでタブレットを使用している場合、各モードでの設定は、タブレット 1 台に対して 1 つの設定です。例えば、省電力モード中に他のユーザーアカウントでサインインし直しても、省電力の状態は変化しません。
- 各デバイスの状態を「ON」から「OFF」に切り替える場合、切り替え前にそのデバイスの利用を中止し、接続または挿入されているデバイスをすべて取り外してから切り替えてください。デバイスを使用中に切り替えると、デバイスを停止できない場合があります。
また、各デバイスの状態を「OFF」から「ON」に切り替える場合は、切り替え後に各デバイスをタブレットに接続または挿入してください。
- Windows ヘサインインした直後は、各デバイスの状態の切り替えに失敗する場合があります。
各デバイスの状態の切り替えは、Windows ヘサインインした後、しばらくしてから実行してください。

●arrows Tab RH77/B1 で、タッチパネルで「ペンのみ」にしている場合、音量調節ボタン（－）と（＋）を同時に押して「ステータスパネルスイッチ」を起動した後、もう一度音量調節ボタン（－）と（＋）を同時に押すことで「タッチ&ペン」に切り替えることができます。

●arrows Tab WQ2/B1 で、タッチパネルで「ペンのみ」にしている場合、ショートカットボタンを押して「ステータスパネルスイッチ」を起動した後、もう一度ショートカットボタンを押すことで「タッチ&ペン」に切り替えることができます。

●arrows Tab RH77/B1、WQ2/B1 のスーパークリアモードは、屋外などの明るい場所でタブレットを使うとき、画面の明るさを最大にします。画面の明るさを自分の好みに調整したい場合、スーパークリアモードを「OFF」にしてください。

■ブルーライトカットモードについて (arrows Tab RH77/B1 のみ)

- ブルーライトカットモードは、画面の色合いを調整してブルーライトを約 30% カットします。
画面の設定をお好みに調整した後、ブルーライトカットモードの「ON」／「OFF」を切り替えると、出荷時の色設定に戻ります。
ブルーライトカットモードを「OFF」にした状態で、再度、画面の設定をお好みに調整してください。
- ブルーライトカットモードは、タブレット本体の液晶ディスプレイにのみ効果があります。

「ステータスパネルスイッチ」の使い方

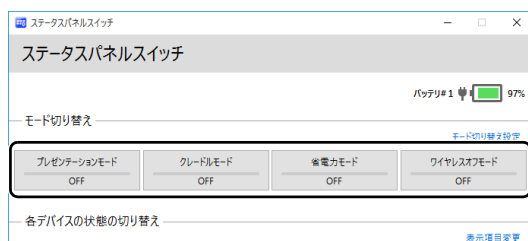
- 1  「FUJITSU - ステータスパネルスイッチ」▶
「ステータスパネルスイッチ」の順にタップします。
「ステータスパネルスイッチ」ウィンドウが表示されます。



- ▶ arrows Tab WQ2/B1 の場合、ショートカットボタンを押しても「ステータスパネルスイッチ」ウィンドウを表示できます。
ボタンの場所については、「各部の名称と働き」(→ P.84) をご覧ください。

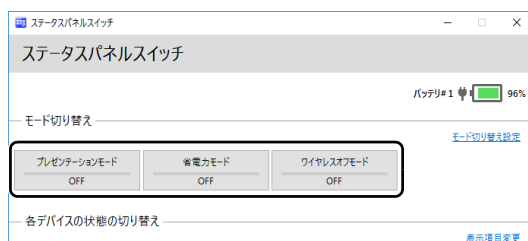
- 2 「モード切り替え」から、使用したいモードのボタンをタップします。
選択したモードに切り替わります。

■arrows Tab RH77/B1、WQ2/B1 の場合



(画面は機種や状況により異なります)

■arrows Tab QH35/B1 の場合



(画面は機種や状況により異なります)

- ・プレゼンテーションモード
タブレットを使ってプレゼンテーションなどを行うのに適したモードです。
- ・クレードルモード (arrows Tab RH77/B1、WQ2/B1 のみ)
本体をクレードルに取り付けて使用するときのモードです。
ご購入時の設定では、クレードルに本体を取り付けると自動的にクレードルモードが「ON」になり、クレードルから本体を取り外すと自動的にクレードルモードが「OFF」になります。
- ・省電力モード
画面の明るさやCPUパフォーマンス、タブレットの消費電力を抑えることができるモードです。
- ・ワイヤレスオフモード
無線LANやBluetoothワイヤレステクノロジーなどの無線通信機能の電波を停止するモードです。



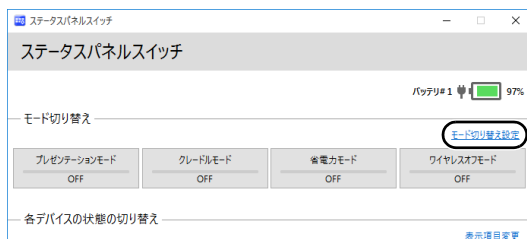
- ▶ 「各デバイスの状態の切り替え」で、それぞれの機能のボタンをタップすると、個別に状態を変更できます。
また、「表示項目変更」をタップすると、「各デバイスの状態の切り替え」に表示する項目を変更できます。

各モードの設定を変更する

各モードで制御するデバイスを選択したり、各デバイスの状態を個別に変更したりすることができます。

- 1 「ステータスパネルスイッチ」ウィンドウで、「モード切り替え設定」をタップします。

■arrows Tab RH77/B1、WQ2/B1 の場合



(これ以降の画面は機種や状況により異なります)

■arrows Tab QH35/B1 の場合



(これ以降の画面は機種や状況により異なります)

- 2 設定を変更します。



- ① モードを選択します。
- ② 制御するデバイスを選択します。
- ③ デバイスの状態や値を設定します。

- 3 「適用」をタップします。

- 4 「OK」をタップします。

フラットポイント

arrows Tab WQ2/B1 では、スリムキーボード(→P.99)を購入された場合、使用できます。

フラットポイントは、指先の操作でマウスポインターを動かすことのできる便利なポインティングデバイスです。設定を変更することで、フラットポイントをさらに便利に使えるようになります。

フラットポイントの基本操作については、「取り扱い」－「フラットポイント」(→P.110)をご覧ください。

フラットポイントでできる機能



- ▶ ここで説明している機能は、使用するアプリや、アプリの状態によって、動作が異なったり、お使いになれなかったりすることがあります。

- arrows Tab RH77/B1 (→P.152)
- arrows Tab QH35/B1 (→P.154)
- arrows Tab WQ2/B1 (→P.155)

■arrows Tab RH77/B1

フラットポイントの操作面で、さまざまな操作ができる機能があります。

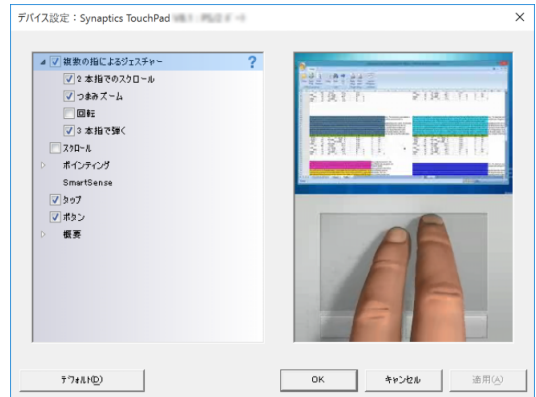
□各機能を使えるように設定する

ご購入時の設定では無効になっているものもあります。必要に応じて、各機能の有効／無効の設定を変更してください。

- 1 通知領域の  をタップし、表示された

 (Synaptics ポインティングデバイス) をダブルタップします。

「デバイス設定」ウィンドウが表示されます。



(これ以降の画面は機種や状況により異なります)

- 2 設定したい機能の ☒ を ☐ にし、「適用」をタップします。

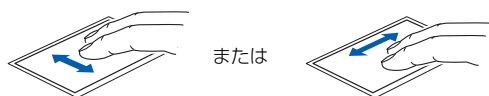


- ▶ 各項目を選択すると、ウィンドウの右側に各機能の操作方法が動画で表示されます。
- ▶ 各項目を選択したときに表示される  をタップすると、詳細な設定を行うことができます(項目によっては  が表示されないものもあります)。

□複数の指によるジェスチャー

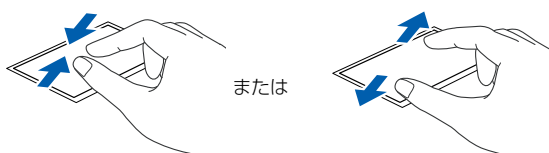
●2本指でのスクロール

フラットポイントの操作面の任意の位置に2本の指を置き、上下や左右になぞると画面やウィンドウのスクロールが行えます。



●つまみズーム

フラットポイントの操作面で、2本の指でつまんだり開いたりする動作をします。つまむ操作をすると画像やウィンドウ内の画面が縮小表示され、開く操作をすると拡大表示されます。



●回転

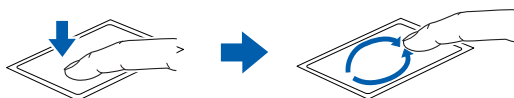
・TwistRotate (ツイストローテイト)

フラットポイントの操作面に2本の指を置き、時計回り、または反時計回りに弧を描くようになぞると、なぞった方向に画像などを回転させることができます。



・ChiralRotate (カイラルローテイト)

フラットポイントの操作面の左端に指を置き、そこから時計回りまたは反時計回りに円を描くようになぞります。なぞった方向に画像を90度単位で回転させることができます。

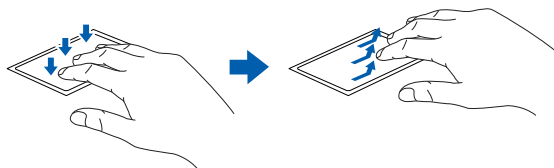


●3本指で弾く

フラットポイントの操作面に3本の指を置き、すばやくはらいます。

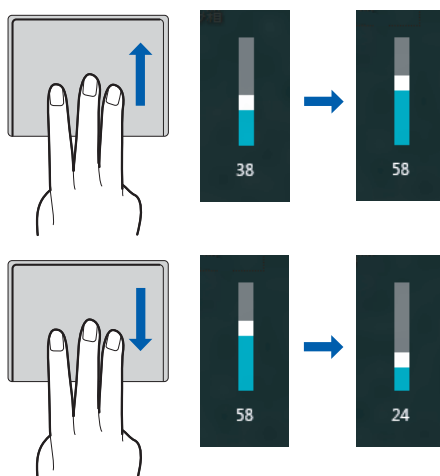
ブラウザーなどを表示しているときに、右にはらうと「進む」と同様の動きをします。左にはらうと「戻る」と同様の動きをします。

うまく反応しない場合は、3本の指を少し離して操作してください。



●音量を調節する

フラットポイントの操作面に3本の指を置いて、上下になぞることで音量を調節できます。

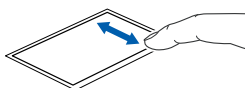


□スクロール

フラットポイントの操作面の右端や下端をなぞると画面やウィンドウのスクロールが行えます。

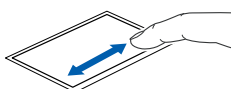
●上下にスクロールしたい場合（垂直スクロール）

フラットポイントの操作面の右端を上下になぞります。



●左右にスクロールしたい場合（水平スクロール）

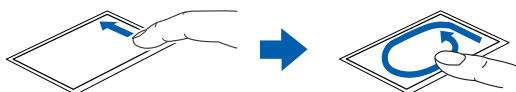
フラットポイントの操作面の下端を左右になぞります。



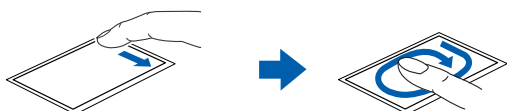
●ChiralScrolling（カイラルスクローリング）

1 本指でのスクロールをした後に、そのままフラットポイントの操作面から指を離さずに、フラットポイント内を時計回りや反時計回りになぞると、指を動かしている間、ウィンドウ内のスクロールが続きます。

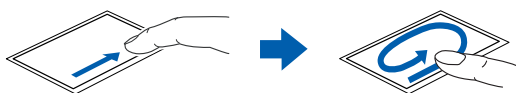
・ 上方向にスクロールし続ける場合



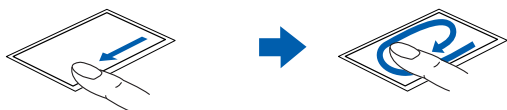
・ 下方向にスクロールし続ける場合



・ 右方向にスクロールし続ける場合



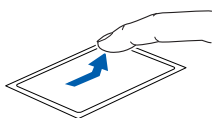
・ 左方向にスクロールし続ける場合



□ポインティング

●Momentum（モーメントム）

フラットポイントの操作面をすばやくなぞると、しばらくの間、なぞった方向にマウスポインターが動きます。



■arrows Tab QH35/B1

フラットポイントの操作面で、さまざまな操作ができる機能があります。

□複数の指によるジェスチャー

●2 本指でのスクロール

フラットポイントの操作面の任意の位置に2本の指を置き、上下や左右になぞると画面やウィンドウのスクロールが行えます。



または



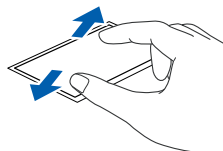
●ピンチまたはストレッチによるズーム

フラットポイントの操作面で、2本の指でつまんだり開いたりする動作をします。

つまむ操作をすると画像やウィンドウ内の画面が縮小表示され、開く操作をすると拡大表示されます。



または



■arrows Tab WQ2/B1

フラットポイントの操作面で、さまざまな操作ができる機能があります。

□各機能を使えるように設定する

ご購入時の設定では無効になっているものもあります。必要に応じて、各機能の有効／無効の設定を変更してください。

- 1 通知領域にある  をタップし、表示された  (ELAN Pointing Device) をダブルタップします。「Elan Smart-Pad」ウィンドウが表示されます。

- 2 各機能を設定します。



- ① 「基本」「拡張」「追加」のいずれかのタブをタップします。
- ② 画面左側の各項目から設定したい項目をタップして選択します。
- ③ 「有効」がある場合は、☐ をタップして ☒ にしてから、詳細な設定を行います。
- ④ 「適用」をタップします。



- ▶ 各項目のウィンドウの右上側にある  をタップすると、「ヘルプ」が表示されます。
- ▶ 各項目のウィンドウの右上側にある  をタップすると、操作方法が動画で表示されます。

□複数の指によるジェスチャー

フラットポイントの操作面で、次のような操作を行うことができます。

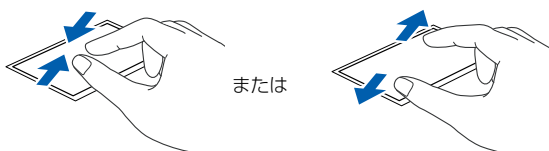
●2本指でのスクロール

フラットポイントの操作面の任意の位置に2本の指を置き、上下や左右になぞると画面やウィンドウのスクロールが行えます。



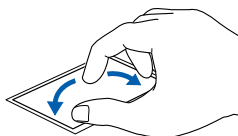
●2本指でのズーム

フラットポイントの操作面で、2本の指でつまんだり開いたりする動作をします。つまむ操作をすると画像やウィンドウ内の画面が縮小表示され、開く操作をすると拡大表示されます。



●2本指での回転

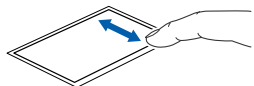
フラットポイントの操作面に2本の指を置き、時計回り、または反時計回りに弧を描くようなぞると、なぞった方向に画像などを回転させることができます。



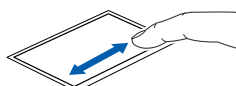
□エッジスクロール

フラットポイントの操作面の右端や下端をなぞると画面やウィンドウのスクロールが行えます。

- 上下にスクロールしたい場合（垂直スクロール）
フラットポイントの操作面の右端を上下になぞります。



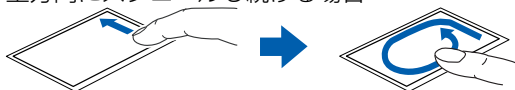
- 左右にスクロールしたい場合（水平スクロール）
フラットポイントの操作面の下端を左右になぞります。



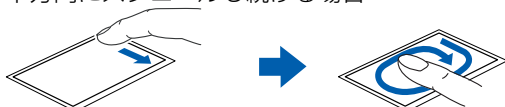
●円形スクロール

1 本指でのスクロールをした後に、そのままフラットポイントの操作面から指を離さずに、フラットポイント内を時計回りや反時計回りになぞると、指を動かしている間、ウィンドウ内のスクロールが続きます。

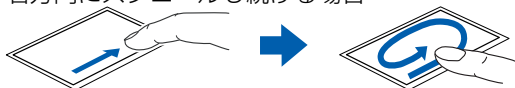
- ・ 上方向にスクロールし続ける場合



- ・ 下方向にスクロールし続ける場合



- ・ 右方向にスクロールし続ける場合



- ・ 左方向にスクロールし続ける場合



フラットポイントの設定を変更する

- arrows Tab RH77/B1 (→ P.156)
- arrows Tab QH35/B1 (→ P.158)
- arrows Tab WQ2/B1 (→ P.158)

■arrows Tab RH77/B1

□左きき用に設定する

- 1 を長押しし、表示されたメニューから「コントロールパネル」をタップします。
- 2 「ハードウェアとサウンド」▶「デバイスとプリンター」の「マウス」をタップすると表示される「マウスのプロパティ」ウィンドウの、「ボタン」タブの設定画面から変更することができます。

□マウスポインターのデザインを変える

- 1 を長押しし、表示されたメニューから「コントロールパネル」をタップします。
- 2 「ハードウェアとサウンド」▶「デバイスとプリンター」の「マウス」をタップすると表示される「マウスのプロパティ」ウィンドウの、「ポインター」タブの設定画面から変更することができます。

□マウスポインターの速度を変える

- 1 を長押しし、表示されたメニューから「コントロールパネル」をタップします。
- 2 「ハードウェアとサウンド」▶「デバイスとプリンター」の「マウス」をタップすると表示される「マウスのプロパティ」ウィンドウの、「ポインターオプション」タブの設定画面から変更することができます。

□ホイールのスクロールの量を変える

- 1 を長押しし、表示されたメニューから「コントロールパネル」をタップします。
- 2 「ハードウェアとサウンド」▶「デバイスとプリンター」の「マウス」をタップすると表示される「マウスのプロパティ」ウィンドウの、「ホイール」タブの設定画面から変更することができます。

□フラットポイントのタッチの感度を変更する

- 1 通知領域の  をタップし、表示された  (Synaptics ポインティングデバイス) をダブルタップします。
「デバイス設定」ウィンドウが表示されます。
- 2 「ポインティング」をダブルタップし、「感度」▶「感度」の右にある  の順にタップします。
- 3 タッチ感度の設定を変更します。
スライダーを「軽く」側に動かすとタッチ感度が上がり、「重く」側に動かすとタッチ感度が下がります。
- 4 「閉じる」▶「OK」の順にタップします。

Point

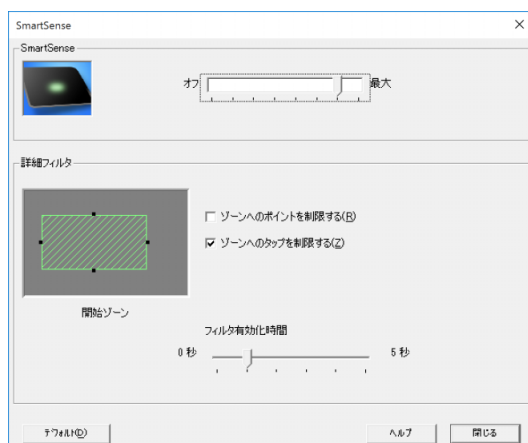
- ▶ マウスポインターが勝手に動くときは、タッチの感度を下げると改善できる場合があります。

□フラットポイントの誤動作を軽減する

フラットポイントの誤動作を軽減する SmartSense 機能が搭載されています。

次のように調整ができます。

- 1 通知領域の  をタップし、表示された  (Synaptics ポインティングデバイス) をダブルタップします。
「デバイス設定」ウィンドウが表示されます。
- 2 「SmartSense」をダブルタップします。
- 3 「SmartSense」ウィンドウが表示されたら設定を変更します。



・ SmartSense

フラットポイントの反応を制限する機能です。手のひらがフラットポイントに触れてマウスポインターが動いてしまう場合に、スライダーを「最大」の方に動かして調整してください。調整後フラットポイントが反応しにくくなったら、「オフ」の方へ戻し調整してください。

・ オフ

SmartSense による制限が無効になり、フラットポイントの反応を制限しません。

・ 最大

SmartSense による制限が最大になり、手のひらで触れても反応しにくくなります。

・ 詳細フィルタ

操作に制限をかけるフィルタを設定できます。意図せず触れてしまうことが多い部分にフィルタがかかることで、誤動作を防げます。

・ フィルタ有効化時間

いったん指を離した後、続けて操作ができる時間を設定できます。設定した時間を過ぎるとフィルタがかかり操作が制限されます。時間を短くすることで誤動作を防ぐ効果があります。

・ 開始ゾーン

緑色の開始ゾーンでは、ポイント操作とタップ操作のフィルタが無効になります。「フィルタ有効化時間」経過後にフィルタが有効になり操作できなくなっても、緑色の開始ゾーンで操作するとすぐに反応します。

黒い点をドラッグするとサイズ変更ができます。

・ ゾーンへのポイントを抑える

チェックを付けると、「フィルタ有効化時間」経過後、フィルタ有効化部分（灰色の部分）でマウスポインター操作ができなくなります。

・ ゾーンへのタップを抑える

チェックを付けると、「フィルタ有効化時間」経過後、フィルタ有効化部分（灰色の部分）でタップ操作ができなくなります。

- 4 「閉じる」▶「OK」の順にタップします。

□シングルクリックとダブルクリックの設定を変更する

- 1 を長押しし、表示されたメニューから「コントロールパネル」をタップします。
- 2 「デスクトップのカスタマイズ」▶「エクスプローラーのオプション」の順にタップし、「全般」タブの「クリック方法」で設定を変更することができます。

■arrows Tab QH35/B1

□左きき用に設定する

- 1 を長押しし、表示されたメニューから「コントロールパネル」をタップします。
- 2 「ハードウェアとサウンド」▶「デバイスとプリンター」の「マウス」をタップすると表示される「マウスのプロパティ」ウィンドウの、「ボタン」タブの設定画面から変更することができます。

□マウスポインターのデザインを変える

- 1 を長押しし、表示されたメニューから「コントロールパネル」をタップします。
- 2 「ハードウェアとサウンド」▶「デバイスとプリンター」の「マウス」をタップすると表示される「マウスのプロパティ」ウィンドウの、「ポインター」タブの設定画面から変更することができます。

□マウスポインターの速度を変える

- 1 を長押しし、表示されたメニューから「コントロールパネル」をタップします。
- 2 「ハードウェアとサウンド」▶「デバイスとプリンター」の「マウス」をタップすると表示される「マウスのプロパティ」ウィンドウの、「ポインターオプション」タブの設定画面から変更することができます。

□ホイールのスクロールの量を変える

- 1 を長押しし、表示されたメニューから「コントロールパネル」をタップします。
- 2 「ハードウェアとサウンド」▶「デバイスとプリンター」の「マウス」をタップすると表示される「マウスのプロパティ」ウィンドウの、「ホイール」タブの設定画面から変更することができます。

□シングルクリックとダブルクリックの設定を変更する

- 1 を長押しし、表示されたメニューから「コントロールパネル」をタップします。
- 2 「デスクトップのカスタマイズ」▶「エクスプローラーのオプション」の順にタップし、「全般」タブの「クリック方法」で設定を変更することができます。

■arrows Tab WQ2/B1

□左きき用に設定する

- 1 を長押しし、表示されたメニューから「コントロールパネル」をタップします。
- 2 「ハードウェアとサウンド」▶「デバイスとプリンター」の「マウス」をタップすると表示される「マウスのプロパティ」ウィンドウの、「ボタン」タブの設定画面から変更することができます。

□マウスポインターのデザインを変える

- 1 を長押しし、表示されたメニューから「コントロールパネル」をタップします。
- 2 「ハードウェアとサウンド」▶「デバイスとプリンター」の「マウス」をタップすると表示される「マウスのプロパティ」ウィンドウの、「ポインター」タブの設定画面から変更することができます。

□マウスポインターの速度を変える

- 1 を長押しし、表示されたメニューから「コントロールパネル」をタップします。
- 2 「ハードウェアとサウンド」▶「デバイスとプリンター」の「マウス」をタップすると表示される「マウスのプロパティ」ウィンドウの、「ポインターオプション」タブの設定画面から変更することができます。

□ホイールのスクロールの量を変える

- 1 を長押しし、表示されたメニューから「コントロールパネル」をタップします。
- 2 「ハードウェアとサウンド」▶「デバイスとプリンター」の「マウス」をタップすると表示される「マウスのプロパティ」ウィンドウの、「ホイール」タブの設定画面から変更することができます。

□フラットポイントのタッチの感度を変更する

- 1 通知領域にある  をタップし、表示された  (ELAN Pointing Device) をダブルタップします。「Elan Smart-Pad」ウィンドウが表示されます。
- 2 「追加」タブをタップし、画面左の「感度」をタップします。
- 3 タッチ感度の設定を変更します。
スライダーを「高」側に動かすとタッチ感度が上がり、「低」側に動かすとタッチ感度が下がります。
- 4 「適用」▶「OK」の順にタップします。

point

- ▶ マウスポインターが勝手に動くときは、タッチの感度を下げると改善できる場合があります。

□シングルクリックとダブルクリックの設定を変更する

- 1  を長押しし、表示されたメニューから「コントロールパネル」をタップします。
- 2 「デスクトップのカスタマイズ」▶「エクスプローラーのオプション」の順にタップし、「全般」タブの「クリック方法」で設定を変更することができます。

フラットポイントの有効／無効の切り替え

ここでは、フラットポイントの有効／無効の切り替え方法について説明します。

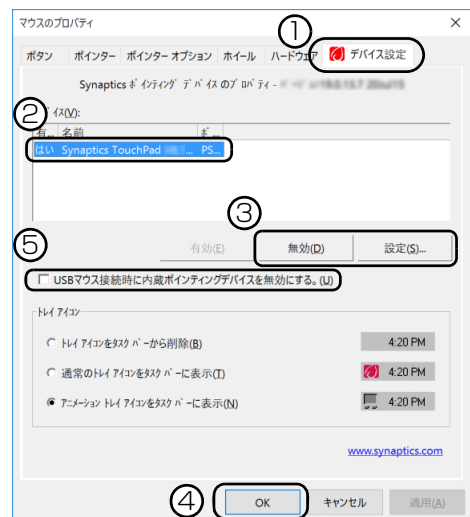
point

- ▶ この設定はシャットダウンや再起動を行っても維持されます。
- ▶ サインアウトしている状態では、常に有効（フラットポイントが使える状態）になります。
- ▶ arrows Tab QH35/B1 は、デスクトップから切り替えできません。キーボードで切り替えてください（→ P.160）。

■デスクトップから切り替える

□arrows Tab RH77/B1

- 1  を長押しし、表示されたメニューから「コントロールパネル」をタップします。
- 2 「ハードウェアとサウンド」▶「デバイスとプリンター」の「マウス」の順にタップします。「マウスのプロパティ」ウィンドウが表示されます。
- 3 次の画面の操作をします。

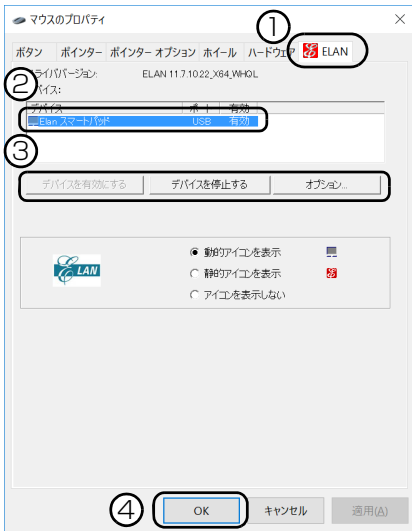


- ① 「デバイス設定」タブをタップします。
- ② 「Synaptics TouchPad」を選択します。
- ③ 「無効」または「有効」をタップします。
- ④ 「OK」をタップします。

point

- ▶ USBマウスを接続したときにフラットポイントが無効にする場合は、⑤「USBマウス接続時に内蔵ポインティングデバイスを無効にする。」の ☐ を ☒ にし、「OK」をタップします。

- 1 **■**を長押しし、表示されたメニューから「コントロールパネル」をタップします。
- 2 「ハードウェアとサウンド」▶「デバイスとプリンター」の「マウス」の順にタップします。
「マウスのプロパティ」ウィンドウが表示されます。
- 3 次の画面の操作をします。



- ① 「ELAN」タブをタップします。
- ② 「Elan スマートパッド」を選択します。
- ③ フラットポイントを無効にしたい場合は、「デバイスを停止する」をタップします。
有効にしたい場合は「デバイスを有効にする」をタップします。
- ④ 「OK」をタップします。

■キーボードで切り替える

[Fn] + [F4] を押すと、次のようにフラットポイントの設定が切り替わります。

有効



無効

ディスプレイ

タブレットの画面は、タブレット本体の液晶ディスプレイの他に、外部ディスプレイやデジタルテレビにも表示することができます。

ここでは、アナログディスプレイとデジタルディスプレイをまとめて外部ディスプレイと呼びます。

解像度と発色数についての注意

ディスプレイにタブレットの画面を表示するときは、次の点に注意してください。

- アプリによっては、解像度の設定により、正常に動作しないことがあります。アプリの動作環境を確認し、解像度を変更してください。
- 解像度を切り替えるときなどに、一時的に表示画面が乱れることがありますが、故障ではありません。
- 画面の解像度、およびリフレッシュレートを変更するときは、起動中のアプリや常駐しているプログラムを終了させてください。また、変更後は必ずタブレットを再起動してください。
- 外部ディスプレイやデジタルテレビで表示できる解像度は、ディスプレイによって異なります。外部ディスプレイやデジタルテレビのマニュアルでご確認ください。
- プラグアンドプレイに対応している外部ディスプレイやデジタルテレビの場合、最大解像度は、液晶ディスプレイまたは接続したディスプレイの、どちらかの最大解像度の小さい方に設定されます。
- 同時表示を選択した場合、外部ディスプレイやデジタルテレビの画面は、液晶ディスプレイの画面と同一の解像度になります。
- 同時表示時に、外部ディスプレイやデジタルテレビの画面が正しく表示されないことがあります。
解像度と発色数は、「外部ディスプレイやデジタルテレビに表示できる解像度と発色数」(→ P.163)の表の組み合わせ以外には設定しないでください。
- HDMI 出力端子で出力した場合、出力先のデジタルテレビでは画面の端が一部欠けることがあります。
このような場合は、外部ディスプレイやデジタルテレビ側で設定を「ドットバイドット表示」などに変更してください。
詳しくは、お使いのデジタルテレビや外部ディスプレイのマニュアルをご覧ください。

タブレット本体の液晶ディスプレイに表示できる解像度と発色数

タブレット本体の液晶ディスプレイに表示できる解像度と発色数は、次のとおりです。

■arrows Tab RH77/B1

解像度 (ピクセル)	発色数
1024×768	約 1677 万色
1280×720	
1280×800	
1280×1024	
1360×768	
1366×768	
1440×900	
1600×900	
1680×1050	
1920×1080	

■arrows Tab QH35/B1

解像度 (ピクセル)	発色数
1024×768	約 1677 万色
1280×800	

■arrows Tab WQ2/B1

解像度 (ピクセル)	発色数
1024×768	約 1677 万色
1280×1024	
1360×768	
1440×900	
1600×900	
1600×1200	
1680×1050	
1920×1080	

接続できるディスプレイ

コネクタにより接続できるディスプレイが異なります。

■コネクタの種類と対応ディスプレイ

- DisplayPort コネクタまたは miniDisplayPort コネクタ：デジタルテレビやデジタルディスプレイを接続できます。
- HDMI 出力端子または microHDMI コネクタ：デジタルテレビやデジタルディスプレイを接続できます。
- アナログ RGB コネクタ：アナログディスプレイを接続できます。

■搭載コネクタ

□arrows Tab RH77/B1 の場合

- タブレット本体
 - ・ DisplayPort コネクタ (miniDisplayPort コネクタ)別売の VGA 変換アダプタを接続すると、アナログディスプレイを接続できます。
- 別売の HDMI 変換アダプタを接続すると、HDMI 対応のデジタルテレビやデジタルディスプレイを接続できます。
- 別売のクレードル接続時
 - ・ DisplayPort コネクタ
 - ・ HDMI 出力端子
 - ・ アナログ RGB コネクタ

□arrows Tab QH35/B1

- タブレット本体
 - ・ HDMI 出力端子 (microHDMI コネクタ)別売の VGA 変換アダプタを接続すると、アナログディスプレイを接続できます。

□arrows Tab WQ2/B1 の場合

- タブレット本体
 - ・ HDMI 出力端子 (microHDMI コネクタ)別売の VGA 変換アダプタを接続すると、アナログディスプレイを接続できます。
- 別売のクレードル接続時
 - ・ HDMI 出力端子
 - ・ アナログ RGB コネクタ

外部ディスプレイやデジタルテレビの接続

■外部ディスプレイやデジタルテレビを接続すること

タブレット本体に外部ディスプレイやデジタルテレビを接続することで、次のことができます。

- 表示するディスプレイを切り替える。
- 2つのディスプレイに同時に表示する。
- 2つのディスプレイで1つのデスクトップを表示する（マルチモニター機能）。
- 接続したデジタルテレビやディスプレイで音声を出力する。



- ▶ arrows Tab RH77/B1でクレードルを接続した場合、外部ディスプレイを2台接続できるため、本体と合わせ3つのディスプレイを同時に使用できます。
ただし同時表示とマルチモニターを同時に設定することはできません。

□arrows Tab RH77/B1 でクレードルを接続した場合
外部ディスプレイは2台まで接続できます。タブレット本体の液晶ディスプレイと合わせ同時に3つのディスプレイに表示できます。

ただし、次の組み合わせでのみ使用してください。

- 1台目：タブレット本体の液晶ディスプレイ
2台目：本体の DisplayPort コネクタ（miniDisplayPort コネクタ）
3台目：クレードルのコネクタ（DisplayPort コネクタ、HDMI 出力端子、アナログ RGB コネクタ）のいずれか1つ
- 1台目：タブレット本体の液晶ディスプレイ
2、3台目：クレードルのコネクタ（DisplayPort コネクタ、HDMI 出力端子（microHDMI コネクタ）、アナログ RGB コネクタ）のいずれか2つ

□arrows Tab WQ2/B1でクレードルを接続した場合
外部ディスプレイは1台のみ接続できます。
外部ディスプレイは本体のHDMI出力端子（microHDMI コネクタ）とクレードルのアナログ RGB コネクタおよび HDMI 出力端子との同時出力には対応していません。
どれか1つのコネクタに接続してお使いください。

重要

- ▶ HDMI出力端子に接続したデジタルテレビやディスプレイで音声を出力するには、設定が必要な場合があります（→P.174）。

■必要なものを用意する

□外部ディスプレイやデジタルテレビ

外部ディスプレイやデジタルテレビによって接続するコネクタや接続方法が異なります。

□ディスプレイケーブル

ディスプレイによりケーブルが異なります。対応するケーブルをご用意ください。

□外部ディスプレイやデジタルテレビのマニュアル

外部ディスプレイやデジタルテレビにより接続方法が異なります。必ず外部ディスプレイやデジタルテレビのマニュアルもご覧ください。

■外部ディスプレイやデジタルテレビを接続する

警告



- 外部ディスプレイやデジタルテレビの接続／取り外しを行う場合は、必ずタブレット本体の電源を切り、AC アダプタを取り外してください。
感電の原因となります。

重要

- ▶ 外部ディスプレイなどを接続する場合は、消費電力が大きいため、AC アダプタのご使用をお勧めします。

1 タブレット本体の電源を切り、AC アダプタを接続している場合は、取り外します。

2 タブレット本体にケーブルを接続します。

必要に応じて別売のクレードルや別売のHDMI変換アダプタ、別売のVGA変換アダプタを先に接続してください（対象機種のみ）。

接続するコネクタにより使用するケーブルの種類が異なります。

また、コネクタの場所については、「各部の名称と働き」（→P.84）をご覧ください。

- 3 外部ディスプレイやデジタルテレビにケーブルのもう一方のコネクタを接続します。
接続方法は、外部ディスプレイやデジタルテレビのマニュアルをご覧ください。
- 4 外部ディスプレイやデジタルテレビの電源ケーブルを接続して、電源を入れます。
- 5 タブレット本体に AC アダプタを接続します。
arrows Tab RH77/B1、WQ2/B1 で別売のクレードルを接続する場合は、クレードルに AC アダプタを接続します。
- 6 タブレット本体の電源を入れます。

Point

- ▶ 外部ディスプレイやデジタルテレビ接続後、「新しいハードウェアの追加ウィザード」ウィンドウが表示された場合は、次のように対応してください。
 - ・ 外部ディスプレイやデジタルテレビにCD-ROMなどで必要なファイルが添付されていることがあります。この場合は、添付のマニュアルをご覧ください。必要なファイルをインストールしてください。
- ▶ 外部ディスプレイやデジタルテレビを接続後、接続したディスプレイのみに表示する設定にしても、接続するディスプレイによっては、タブレット本体の液晶ディスプレイと接続したディスプレイの両方に画面が表示されることがあります。必要に応じて、表示するディスプレイを切り替えてください。
- ▶ 液晶ディスプレイや接続した外部ディスプレイやデジタルテレビに、タブレットの画面を表示するときの画面の解像度については、「解像度と発色数についての注意」(→ P.160) をご覧ください。

外部ディスプレイやデジタルテレビに表示できる解像度と発色数

■外部ディスプレイを接続する場合

接続した外部ディスプレイがサポートしている次の解像度を表示できます。

外部ディスプレイがこの解像度をサポートしているかどうかは、お使いの外部ディスプレイのマニュアルをご覧ください。

□arrows Tab RH77/B1

解像度 (ピクセル) [注 1]	発色数
1024×768	約 1677 万色
1280×720	
1280×800	
1280×1024	
1360×768	
1366×768	
1440×900	
1600×900	
1600×1200	
1680×1050	
1920×1080	
1920×1200	
1920×1440 [注 2] [注 3]	
2560×1440 [注 2] [注 3]	
2560×1600 [注 2] [注 3]	
3840×2160 [注 2] [注 3] [注 4]	
4096×2160 [注 5]	

注 1 接続した外部ディスプレイやデジタルテレビの解像度より大きい解像度の場合は表示できません。

注 2 DisplayPort コネクタ (miniDisplayPort コネクタ) および HDMI 出力端子 (microHDMI コネクタ) を使用する場合に表示できます。

注 3 クレードルの DisplayPort コネクタと、クレードルのアナログ RGB コネクタまたは HDMI 出力端子を同時に使用する場合、DisplayPort のリフレッシュレートは 30Hz になります。

注 4 HDMI 出力端子 (microHDMI コネクタ) を使用する場合、リフレッシュレートは 30Hz になります。

注 5 HDMI 出力端子 (microHDMI コネクタ) を使用する場合に表示できます。リフレッシュレートは 24Hz になります。

□arrows Tab QH35/B1

●アナログディスプレイを接続する場合

解像度（ピクセル） ^[注 1]	発色数
1024×768	約 1677 万色
1280×800	
1280×1024	
1360×768	
1440×900	
1600×900	
1600×1200	
1680×1050	
1920×1080	
1920×1200 ^[注 2]	

注 1 接続した外部ディスプレイやデジタルテレビの解像度より大きい解像度の場合は表示できません。

注 2 アナログ RGB 出力の場合、最大サポート解像度は 1920×1200 ドット、60Hz (CVT RB: Coordinated Video Timings Reduced Blanking) です。
お使いのディスプレイがアナログ RGB 入力での 1920×1200 ドット表示を CVT RB で対応していれば選択できますが、CVT RB ではなく、Standard Timings で対応している場合には選択できず、1920×1080、1680×1050 などの解像度が選択可能な解像度になります。

●HDMI 対応のデジタルテレビやディスプレイを接続する場合

解像度（ピクセル） ^[注]	発色数
1280×720 (720p)	約 1677 万色
1360×768	
1920×1080 (1080i, 1080p)	

注 接続したデジタルテレビやディスプレイの解像度より大きい解像度の場合は表示できません。

□arrows Tab WQ2/B1

解像度（ピクセル） ^[注 1]	発色数
1024×768	約 1677 万色
1280×1024	
1360×768	
1440×900	
1600×900	
1600×1200	
1680×1050	
1920×1080	
1920×1200 ^[注 2]	
2560×1600 ^[注 3]	
3840×2160 ^[注 4]	

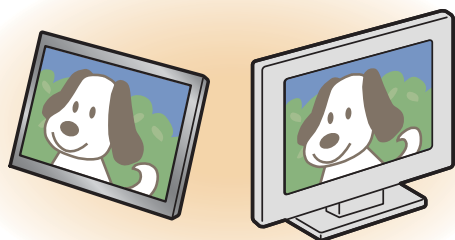
注 1 接続した外部ディスプレイやデジタルテレビの解像度より大きい解像度の場合は表示できません。

注 2 アナログ RGB 出力の場合、最大サポート解像度は 1920×1200 ドット、60Hz (CVT RB: Coordinated Video Timings Reduced Blanking) です。
お使いのディスプレイがアナログ RGB 入力での 1920×1200 ドット表示を CVT RB で対応していれば選択できますが、CVT RB ではなく、Standard Timings で対応している場合には選択できず、1920×1080、1680×1050 などの解像度が選択可能な解像度になります。

注 3 HDMI 出力端子（microHDMI コネクタ）を使用する場合に表示できます。

注 4 タブレット本体の HDMI 出力端子（microHDMI コネクタ）を使用する場合に表示できます。

■同時表示の場合



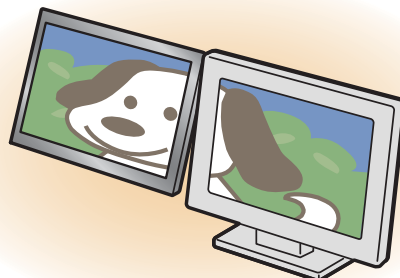
- 同時表示を行う場合、表示するディスプレイを次のように設定してください。

- ・タブレット本体の液晶ディスプレイ
メインディスプレイ（またはプライマリデバイス）：
内蔵ディスプレイ（またはノートブック、Notebook）
- ・外部ディスプレイやデジタルテレビ
2番目のディスプレイ（またはセカンダリデバイス）：
PC モニター nnn（またはPC モニタ）
nnn には、お使いのディスプレイの型名が表示されます。

Point

- ▶ arrows Tab RH77/B1でクレードルを接続して外部ディスプレイを2台接続した場合、2番目のディスプレイと同様に3番目のディスプレイの設定もできます。
- 次のすべてで一致した解像度が表示できます。
 - ・タブレット本体の液晶ディスプレイに表示できる解像度
「タブレット本体の液晶ディスプレイに表示できる解像度と発色数」（→P.161）
 - ・接続した外部ディスプレイやデジタルテレビに表示できる解像度
「外部ディスプレイやデジタルテレビに表示できる解像度と発色数」（→P.163）
 - ・接続した外部ディスプレイやデジタルテレビがサポートしている解像度
外部ディスプレイやデジタルテレビのマニュアルをご覧ください。

■マルチモニターの場合



- マルチモニター機能をお使いになるときは、表示するディスプレイを次のように設定してください。

- ・タブレット本体の液晶ディスプレイ
メインディスプレイ（またはプライマリデバイス）：
内蔵ディスプレイ（またはノートブック、Notebook）
- ・外部ディスプレイやデジタルテレビ
2番目のディスプレイ（またはセカンダリデバイス）：
PC モニター nnn（またはPC モニタ、デジタルテレビ）
nnn には、お使いのディスプレイの型名が表示されます。

接続したディスプレイに表示できるそれぞれの解像度で表示できます。

Point

- ▶ arrows Tab RH77/B1でクレードルを接続して外部ディスプレイを2台接続した場合、2番目のディスプレイと同様に3番目のディスプレイの設定もできます。

画面の解像度の変更

ここでは、ディスプレイにタブレットの画面を表示するときの、画面の解像度を変更する方法について説明しています。

重要

- ▶ 設定変更時の画面表示の乱れについて
解像度を変更するときに一時的に画面表示が乱れることがあります。故障ではありません。

1. (設定) ▶ 「システム」▶ 画面左側の「ディスプレイ」▶ 画面右下側の「ディスプレイの詳細設定」の順にタップします。
「ディスプレイの詳細設定」ウィンドウが表示されます。

2 解像度を変更します。

- ①「解像度」の をタップし、変更したい解像度を選択します。



(これ以降の画面は機種や状況により異なります)

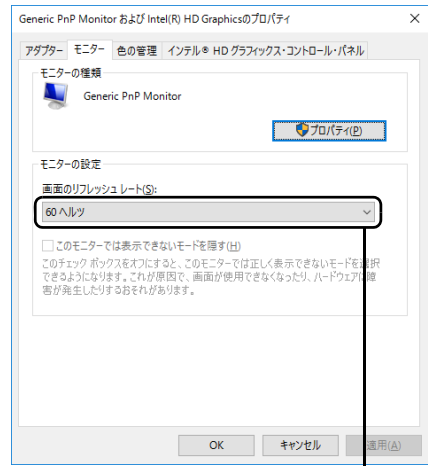
接続した外部ディスプレイやデジタルテレビの解像度を変更したい場合は、②でディスプレイを選んでから設定してください。設定可能な解像度は外部ディスプレイやデジタルテレビのマニュアルをご覧ください。

3 「適用」をタップします。

設定を確認するメッセージが表示されたら、「変更の維持」をタップします。

■リフレッシュレートの変更

- 1.「画面の解像度」ウィンドウで「詳細設定」をタップし、表示されたウィンドウで「モニター」タブをタップします。
- 2.リフレッシュレートの をタップし、表示されるメニューからリフレッシュレートを変更します。



をタップして選びます。

3.「適用」をタップします。

設定を確認するウィンドウが表示されたら、「変更を維持する」をタップし、「OK」をタップします。

表示するディスプレイの切り替え

このタブレットに外部ディスプレイやデジタルテレビなどを接続した場合に、表示するディスプレイを切り替えることができます。

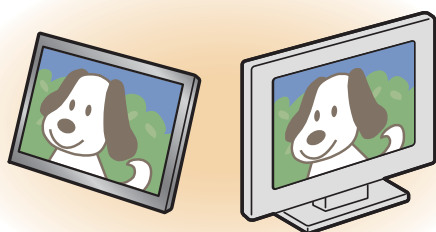
ここでは、切り替え方法について説明しています。

■ディスプレイの表示について

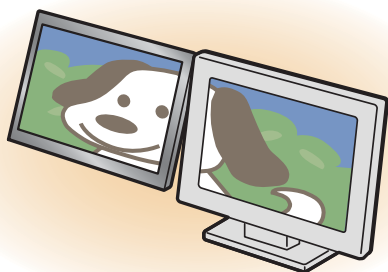
ディスプレイの表示は、次のように切り替えることができます。なお、お使いのタブレットにより搭載されているコネクタが異なります。

●1つのディスプレイで表示する

●2つのディスプレイで同時に表示する



●2つのディスプレイで1つのデスクトップを表示する



2つのディスプレイで1つのデスクトップを表示する方法については、「マルチモニター機能を使う」(→P.169)をご覧ください。

重要

- ▶ 動画再生中に、表示するディスプレイを切り替えないでください。

Point

- ▶ HDMI 出力端子 (microHDMI コネクタ) および DisplayPort コネクタ (miniDisplayPort コネクタ) に接続したデジタルテレビやディスプレイには、BIOS セットアップの画面を表示することはできません。
- ▶ Windowsが起動すると、表示されるディスプレイは、前回 Windows で使用していた状態になります。
ただし、外部ディスプレイが接続されていない場合や、プラグアンドプレイに対応していないディスプレイが接続されている場合は、液晶ディスプレイのみの表示になります。
- ▶ お使いのテレビによってはテレビの解像度が液晶ディスプレイよりも低いため、鮮明に表示できない場合があります。
- ▶ arrows Tab RH77/B1でクレードルを接続して外部ディスプレイを2台接続した場合、2番目のディスプレイと同様に3番目のディスプレイの設定もできます。

■デスクトップから切り替える

Point

- ▶ 外部ディスプレイによって対応している解像度や走査周波数が異なるため、正常に表示されないことがあります。状況に応じて次の操作を行ってください。
 - ・何も表示されない場合
何も操作しないでお待ちください。10秒ほどで表示先が液晶ディスプレイに戻ります。
 - ・正常に表示されない場合
外部ディスプレイのマニュアルで外部ディスプレイが対応している解像度や走査周波数を確認し、設定を変更してください。

- 1 外部ディスプレイをタブレットに接続します。
「外部ディスプレイやデジタルテレビを接続する」
(→ P.162)
- 2 デスクトップの何もないとこを長押しし、表示されるメニューから「インテル® グラフィックスの設定」をタップします。
「インテル® HDグラフィックス・コントロール・パネル」ウィンドウが表示されます。
- 3 「ディスプレイ」をタップします。



(これ以降の画面は機種や状況により異なります)

- 4 「マルチ・ディスプレイ」をタップします。



- 5 表示するディスプレイを選択します。

■ 1 つのディスプレイで表示する場合

「ディスプレイ・モードの選択」の「シングル・ディスプレイ」をタップした後、「アクティブ・ディスプレイの選択」の $\checkmark$ をタップし、表示するディスプレイを選択します。



■ 2 つのディスプレイで同時に表示する場合

「ディスプレイ・モードの選択」の「クローン・ディスプレイ」をタップした後、「アクティブ・ディスプレイの選択」の $\checkmark$ をタップし、表示するディスプレイを選択します。このとき、最上段は「内蔵ディスプレイ」に設定してください。



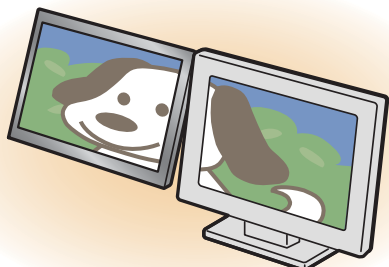
- 6 適用をタップします。

「適用」をタップすると、画面にウィンドウが表示されることがあります。この場合は画面の指示に従って操作してください。

- 7 画面右上の $\times$ をタップし、すべてのウィンドウを閉じます。

■マルチモニター機能を使う

このタブレットには、タブレットの液晶ディスプレイと接続したディスプレイを使用して、2つのディスプレイで1つのデスクトップを表示できる「マルチモニター機能」があります。



□マルチモニター機能をお使いになるうえでの注意

- マルチモニター機能をお使いになる前に、使用中のアプリを終了してください。
- マルチモニター機能をお使いになるときは、タブレットの液晶ディスプレイをメインディスプレイ（プライマリデバイス）、接続したディスプレイを2番目のディスプレイ（セカンダリデバイス）に設定してください。
- マルチモニター機能の使用中的ご注意
 - ・マルチモニター機能使用中は、キーボードでディスプレイの表示を切り替えることはできません。
 - ・2つのディスプレイにまたがるウィンドウがある場合は、表示するディスプレイの設定を変更しないでください。
 - ・2番目のディスプレイ（セカンダリデバイス）のみに表示されているアプリを起動中に、2番目のディスプレイ（セカンダリデバイス）の使用を終了しないでください。アプリおよびWindowsの動作が不安定になり、データが保存されないことがあります。
- メインディスプレイ（プライマリデバイス）のみで表示されるもの
 - ・液晶ディスプレイの全画面表示
 - ・一部のスクリーンセーバー
 - ・動画再生画面の全画面表示
 - ・アクセラレーター機能を使用している動画再生画面

□マルチモニター機能を設定する

- 1 外部ディスプレイをタブレットに接続します。
「外部ディスプレイやデジタルテレビを接続する」
（→ P.162）
- 2 デスクトップの何もないところを長押しし、表示されるメニューから「インテル® グラフィックスの設定」をタップします。
「インテル® HDグラフィックス・コントロール・パネル」ウィンドウが表示されます。
- 3 「ディスプレイ」をタップします。



（これ以降の画面は機種や状況により異なります）

- 4 「マルチ・ディスプレイ」をタップします。



5 次の画面の操作をします。



- ①「ディスプレイ・モードの選択」の「拡張デスクトップ」をタップします。
- ②「アクティブ・ディスプレイの選択」の▼をタップし、表示するディスプレイを選択します。主ディスプレイは内蔵ディスプレイに設定してください。
- ③「ディスプレイの配置」でそれぞれのディスプレイを表示したい位置にドラッグします。

6 「適用」をタップします。

「適用」をタップすると、画面にウィンドウが表示されることがあります。画面の指示に従って操作してください。

Point

- ▶ 適用完了後、画面が回転する場合があります。その場合は手順4の「一般設定」画面で画像の向きを変更してください。「ディスプレイの選択」で変更したいディスプレイを選択して、「回転」で角度を選択します。

7 画面右上の✕をタップし、すべてのウィンドウを閉じます。

Point

- ▶ 各ディスプレイの解像度やリフレッシュレートなどの詳細な設定は、ウィンドウ左の「一般設定」をタップして表示される設定項目から変更することができます。
- ▶ 手順5の「ディスプレイの配置」により、ディスプレイ間の項目の移動方法が決定されます。ディスプレイ間で項目を左右にドラッグして移動させたい場合はイラストを横に並べて配置し、項目を上下にドラッグして移動させたい場合はイラストを縦に並べて配置します。
なお、イラストの位置をディスプレイの物理的な配置と対応させる必要はありません。実際にはディスプレイが横に並んでいても、イラストは上下に並べて配置できます。

■キーボードで切り替える

キーボードで表示する画面を切り替えるには、 + **[P]** を押し、カーソルキーで表示方法を選んで、**[Enter]** を押してください。

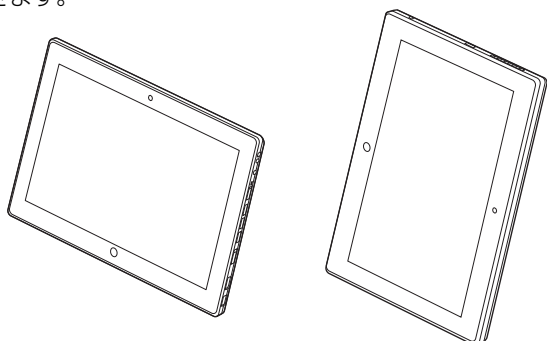


Point

- ▶ プラグアンドプレイに対応していない外部ディスプレイの場合、キーボードで切り替えることはできません。「デスクトップから切り替える」(→ P.167) をご覧ください。
- ▶ キーボードで切り替える場合には、拡張表示のメインディスプレイの変更はできません。メインディスプレイは、自動的に以前に設定したディスプレイになります。

画面表示の回転

横向きでも縦向きでもタブレットを操作できます。画面表示の向きは手動で変更したり、タブレット本体の向きを変えたりしたときに自動的に変更するように設定できます。



■注意事項

- 画面表示の向きの設定は、Windows が起動している場合にのみ有効です。
- 外部ディスプレイやデジタルテレビのみで表示した場合、タブレット本体の向きを変えるように動かすと、外部ディスプレイやデジタルテレビの表示も回転します。

■手動で画面表示の向きを変える

タブレット本体の向きにかかわらず手動で画面表示の向きを変更できます。

1 ▶ (設定) ▶ 「システム」▶ 「ディスプレイ」の順にタップします。

2 「向き」の をタップし、表示したい向きをタップします。

- ・ 横
- ・ 縦
- ・ 横 (反対向き)
- ・ 縦 (反対向き)

※機種によって表示される順番などが異なる場合があります。

3 「適用する」をタップします。

4 画面にメッセージが表示されたら、画面の指示に従って操作してください。

■状態が変わったときの動作を設定する

□「ステータスパネルスイッチ」で設定を変更する

1 ▶ 「FUJITSU - ステータスパネルスイッチ」▶ 「ステータスパネルスイッチ」の順にタップします。

2 「ステータスパネルスイッチ」ウィンドウの「自動回転」ボタンをタップします。

タップするたびに、画面左上部に「自動回転オフ」「自動回転オン」と表示され、タブレット本体を傾けたときの画面の自動回転の ON / OFF が切り替わります。

Point

- ▶ カバー付きキーボード、スリムキーボードまたはカバーキーボードを接続している場合、自動回転は OFF になり、ON / OFF は切り替えられません。

ディスプレイ省電テクノロジー設定

このタブレットには、見た目の画質を維持したままバックライトの省電力を行い、バッテリー駆動時間を延ばす「ディスプレイ省電テクノロジー」機能があります。

■ディスプレイ省電テクノロジーをお使いになるうえでの注意

- バッテリー駆動時のみ動作します。
- ご購入時は次のように設定されています。
 - ・ディスプレイ省電テクノロジー機能：「有効」
 - ・レベル：一番左
- ディスプレイ省電テクノロジー機能が動作しているときは、次のように表示される場合がありますが、故障ではありません。
 - ・表示している画像を切り替えたときに画面の明るさや色調が徐々に変更される。
 - ・画像のグラデーション部分に段差が見える。

■ディスプレイ省電テクノロジー機能を設定する

1 デスクトップの何も無いところを長押しし、表示されるメニューから「インテル® グラフィックスの設定」をタップします。

「インテル® HDグラフィックス・コントロール・パネル」ウィンドウが表示されます。

2 「電源」をタップします。

3 「ディスプレイ省電テクノロジー」を設定します。

- ・動作させる場合は、「有効」をタップし、動作レベルのバーを設定します。
バーを左に設定するほど画質が優先され、バーを右に設定するほどバッテリー駆動時間が優先される設定になります。
- ・動作させない場合は、「無効」をタップするか、「最高画質」に設定します。

4 「適用」をタップします。

「適用」をタップすると、画面にメッセージが表示されることがあります。この場合は、画面の指示に従って操作してください。

5 画面右上の × をタップし、すべてのウィンドウを閉じます。

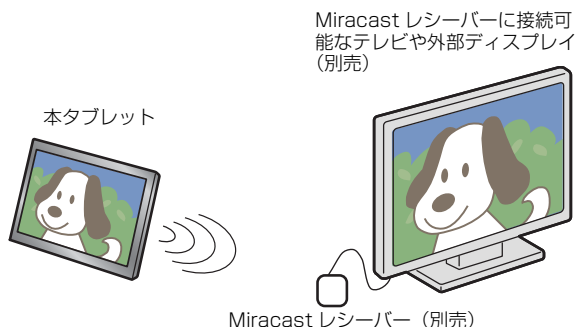
Miracast を使う

arrows Tab RH77/B1、WQ2/B1 のみ

ここでは、Miracast を使うために必要なものや、接続方法について説明しています。

■Miracast とは

Miracast（ミラキャスト）とは、このタブレットに搭載されている無線 LAN 機能を利用して、タブレットの画面やタブレットに保存している動画などをワイヤレスでテレビや外部ディスプレイに表示する機能です。



■お使いになるうえでの注意

- Miracast をお使いになるには、本タブレットの他に次のものがが必要です。
 - ・別売の Miracast レシーバー
 - ・Miracast レシーバーに接続可能な、別売のテレビや外部ディスプレイMiracast レシーバーに添付されているマニュアルをご覧ください。
- 同時に使用できるディスプレイは、タブレット本体の液晶ディスプレイと、Miracast で表示しているディスプレイの 2 つまでです。
- BIOS セットアップの画面、Windows 起動中の画面、省電力モードからの復帰中の画面、およびシャットダウン中の画面はテレビや外部ディスプレイに表示できません。
- Miracast で接続すると、音声は接続したテレビや外部ディスプレイからの出力に切り替わります。

- Miracast で表示した画面では、マウスカーソルやウィンドウの移動、入力した文字などの表示には遅延が生じます。
- 動画コンテンツを表示する場合、再生する映像によっては、タブレットの画面やスピーカーで再生する場合に比べて画質や音質が低下し、なめらかな映像が視聴できない場合があります。
特に、AVCHD 形式の動画などは、映像再生の負荷が高いため、映像が乱れたり音声が途切れたりする場合があります。
- ご利用の Miracast レシーバー（別売）によっては、著作権保護機能が使用されている動画を再生するときに、アダプターのアップデートが必要になる場合があります。
- 高ビットレートの動画を再生すると、なめらかに再生されない場合があります。
- Miracast は無線 LAN を使用するため、ご利用環境によっては、通信速度の低下や通信不能が原因でテレビや外部ディスプレイに画面が表示されない場合があります。無線 LAN について詳しくは、「無線 LAN」(→ P.180) をご覧ください。
- Miracast は無線 LAN を使用しますが、Web サイト閲覧など、通常のインターネット接続と同時にご利用いただけます。
- Miracast と無線 LAN でのインターネット接続を同時にお使いになる場合は、無線 LAN アクセスポイントとの接続を完了させてから、Miracast の接続を行ってください。
- 無線 LAN の電波を停止している場合は、Miracast をお使いになることができません。

■Miracast を使う

- 1 テレビや外部ディスプレイに、別売の Miracast レシーバーを接続します。

接続方法については、お使いのテレビや外部ディスプレイと、Miracast レシーバーのマニュアルをご覧ください。

- 2 通知領域の  をタップします。
- 3 「アクションセンター」が表示されたら、「接続」をタップします。

1 列しか機能が表示されていないときは、「展開」をタップするとすべての機能が表示されます。「折りたたむ」をタップすると 1 列のみ表示になります。

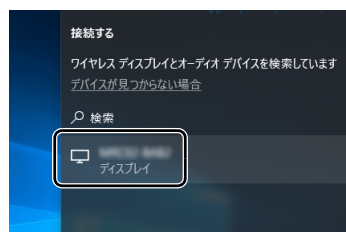


(画面は機種や状況により異なります)

この後は、状況により操作が異なります。お使いの状況にあわせてご覧ください。

□接続方法

- 1 接続対象の Miracast レシーバーをタップします。



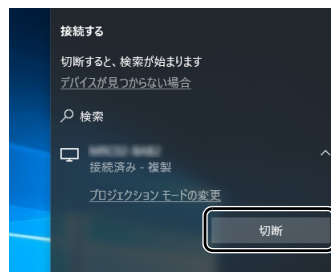
接続対象のディスプレイに画面が表示されます。

Point

- ▶ Miracast レシーバーの種類によっては、暗証番号の入力が必要な場合があります。

□切断方法

- 1 通知領域の  をタップし、「接続」をタップします。
- 2 「切断」をタップします。



表示されていた接続先ディスプレイの画面が消えます。

Point

- ▶ 表示するディスプレイを切り替えるときは  +  を押します。2 つのキーを押すごとに、「複製 (タブレット本体の液晶ディスプレイと外部ディスプレイの同時表示) → 拡張 (タブレット本体の液晶ディスプレイと外部ディスプレイのマルチモニター表示) → プロジェクターのみ (外部ディスプレイ表示) …」の順でディスプレイ表示方法を選ぶことができます。

なお、テレビや外部ディスプレイに表示できる解像度と発色数については、「外部ディスプレイやデジタルテレビに表示できる解像度と発色数」(→ P.163) をご覧ください。

サウンド

再生時／録音時のサウンドを調節する

このタブレットのサウンドを調節するときは、スピーカーから聞こえる音がひずまない範囲に設定・調整してください。スピーカーが故障する原因となる場合があります。

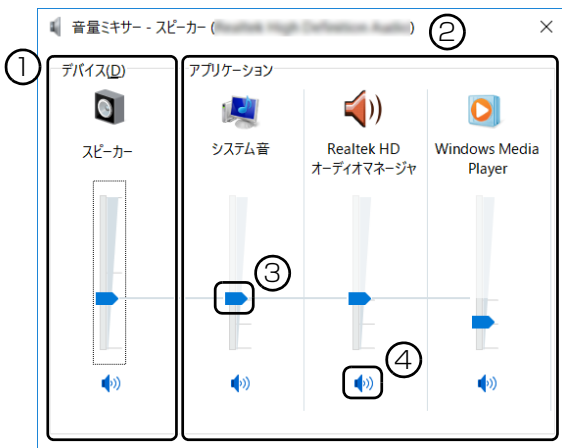


- ▶ お使いの環境によっては、ヘッドホンまたはヘッドセットをご利用ください。

■デスクトップアプリごとに音量を調節する

デスクトップアプリは「音量ミキサー」ウィンドウでアプリごとに音量を調節できます（一部のデスクトップアプリには個別に調節できないものもあります）。

- 1 音量を調節したいデスクトップアプリを起動します。
- 2 を長押しし、表示されたメニューから「コントロールパネル」をタップします。
- 3 「ハードウェアとサウンド」▶「サウンド」の「システム音量の調整」の順にタップします。「音量ミキサー」ウィンドウが表示されます。
- 4 「アプリケーション」の一覧で、音量の設定を変更したいアプリの③スライダーを上下にドラッグして、適切な音量に調節します。



（画面は機種や状況により異なります）

- ① このタブレットのスピーカーから出る音量です。通知領域の で設定した音量と同じです。HDMI 出力端子に接続したデジタルテレビやディスプレイから音を出す場合は、機器の名称が表示されます（HDMI出力端子搭載機種のみ）。

- ② 起動しているデスクトップアプリごとに音量を調節できます。「デバイス」に設定した音量が最大値になります。
- ③ 下にドラッグすると音が小さく、上にドラッグすると音が大きくなります。
- ④ ここをタップして にすると音が消えます。もう一度タップして にすると元の音量に戻ります。

5 × をタップします。

「音量ミキサー」ウィンドウが閉じます。

■再生や録音する機器ごとに音量を調節する

□再生や録音する機器を選択する

このタブレットで音声を再生したり録音したりするときに、音声の出力先を選択することができます。HDMI 出力端子に接続したデジタルテレビやディスプレイから音を出したい場合も、次の手順で再生する機器を選択してください（HDMI 出力端子搭載機種のみ）。

- 1 を長押しし、表示されたメニューから「コントロールパネル」をタップします。
- 2 「ハードウェアとサウンド」▶「サウンド」の順にタップします。「サウンド」ウィンドウが表示されます。

- 3 「再生」タブや「録音」タブで機器を選択し、「既定値に設定」をタップします。



(画面は機種や状況により異なります)

選択した機器にチェックマークが付きます。

- 4 「OK」をタップします。

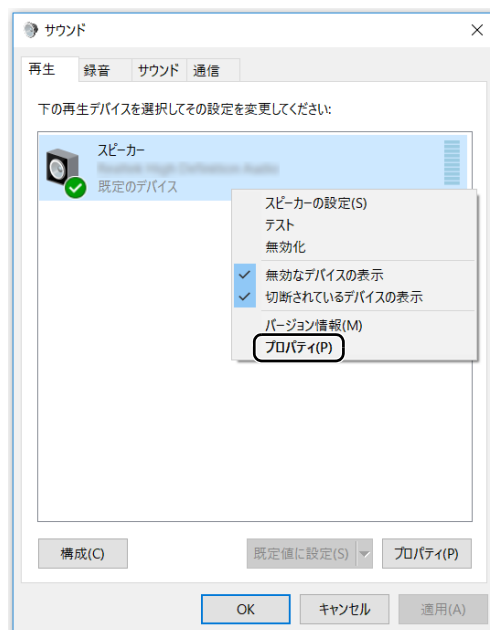
「サウンド」ウィンドウが閉じます。

□再生する機器の音量を調節する

ここでは、例としてスピーカーの音量を調節する方法を説明します。

- 1 音量アイコンを長押しし、表示されたメニューから「コントロールパネル」をタップします。
- 2 「ハードウェアとサウンド」▶「サウンド」の順にタップします。
「サウンド」ウィンドウが表示されます。

- 3 「再生」タブの「スピーカー」を長押しし、表示されるメニューから「プロパティ」をタップします。

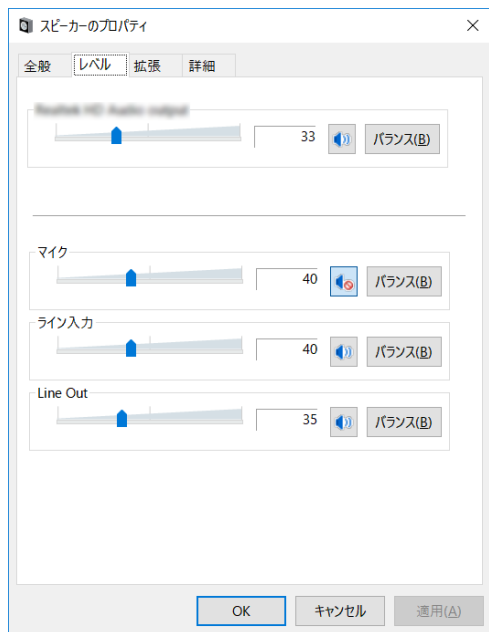


(これ以降の画面は機種や状況により異なります)

「スピーカーのプロパティ」ウィンドウが表示されます。

- 4 「レベル」タブをタップします。

- 5 音量を調節したい項目で、スライダーを左右にドラッグして、適切な音量に調節します。



- ・ : スピーカーから音が聞こえます。
- ・ : スピーカーから音が聞こえません（ミュートになっています）。
- ・ 「バランス」：左右の音量のバランスを調節できます。

- 6 「OK」をタップします。

「スピーカーのプロパティ」ウィンドウが閉じます。

- 7 「OK」をタップします。

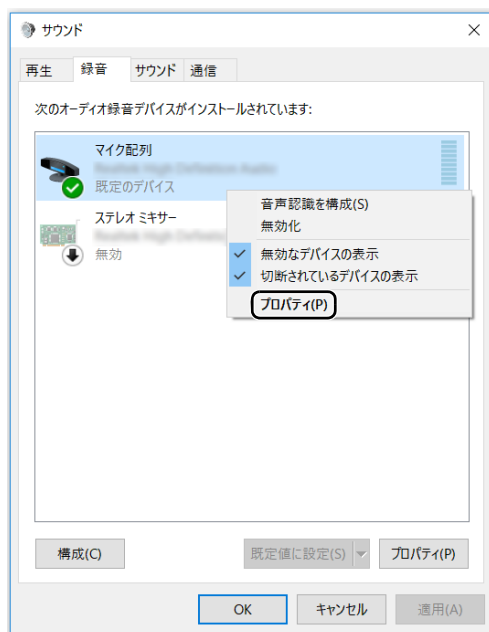
「サウンド」ウィンドウが閉じます。

□録音する機器の音量を調節する

ここでは、例としてマイクの音量を調節する方法を説明します。

- 1 を長押しし、表示されたメニューから「コントロールパネル」をタップします。
- 2 「ハードウェアとサウンド」▶「サウンド」の順にタップします。
「サウンド」ウィンドウが表示されます。

- 3 「録音」タブの「マイク」を長押しし、表示されるメニューから「プロパティ」をタップします。

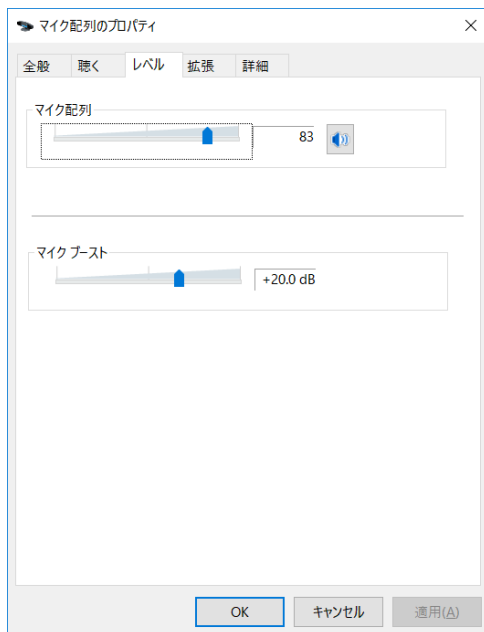


（これ以降の画面は機種や状況により異なります）

「マイクのプロパティ」ウィンドウが表示されます。

- 4 「レベル」タブをタップします。

- 5 音量を調節したい項目で、スライダーを左右にドラッグして、適切な音量に調節します。



- ・ : マイクで録音します。
- ・ : マイクで録音しないようにします。

6 「OK」をタップします。

「マイクのプロパティ」ウィンドウが閉じます。

7 「OK」をタップします。

「サウンド」ウィンドウが閉じます。

■スピーカーの音質を調節する

(arrows Tab RH77/B1、WQ2/B1 のみ)

タブレットに内蔵されているスピーカーの音質を、より詳細に調節することで、クリアで広がりのあるステレオ感や、重厚感のある低音を実現します。

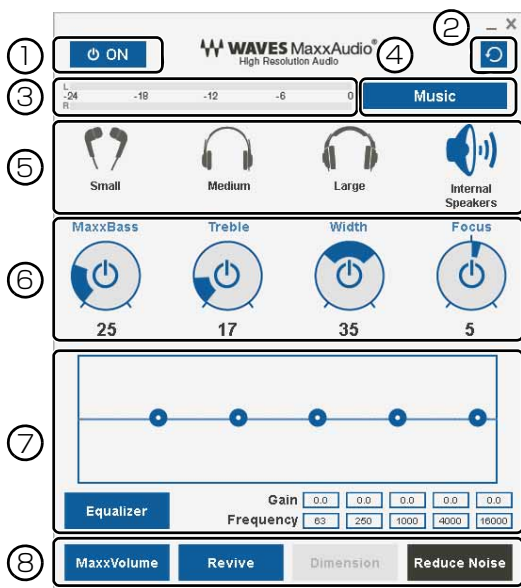
重要

- ▶ Waves MaxxAudio の音質の調節は、内蔵スピーカーとヘッドホンが対象となります。
- ▶ お使いの機種や状況によって、調節できない項目もあります。

1 設定アイコンを長押しし、表示されたメニューから「コントロールパネル」をタップします。

2 「ハードウェアとサウンド」▶「Waves MaxxAudio」の順にタップします。

3 好みの音質になるように、設定を変更します。



- 1 MaxxAudio機能のON／OFFを切り替えます。
- 2 各設定を初期値に戻します。
- 3 レベル・メーター
- 4 「Music」「Movie」からコンテンツのジャンルを選択できます。

5 ヘッドホンを使用するときは、「Small」「Medium」「Large」から選択します。

内蔵スピーカーを使用するときは「Internal Speakers」が選択されています。

ここで選択した出力デバイスと④のコンテンツのジャンルの組み合わせごとに音質を調節できます。

6 ドラッグして青い部分を増減させ、各種音質の調節ができます。

- ・ MaxBass
音響心理学に基づいた倍音再生技術により、低音を充分感じ取れるようにします。
- ・ Treble
高域の小さな音は大きくして聞き取りやすくする一方、高域の大きな音はやかましくならないよう一定レベル以下に抑えます。
- ・ Width
左右スピーカーの向く角度だけを擬似的に変えて、ステレオ感を広げます。ヘッドホン使用時は OFF になります。
- ・ Focus
映画のセリフなどを強調し、聞き取りやすくします。

7 Equalizer

●をドラッグすることで、好みの周波数特性を設定できます。

「Gain」と「Frequency」の5つの入力欄に直接数値を入力して設定することも可能です。「Equalizer」ボタンをタップしてグレーにすると、この機能のみ OFF にできます。

8 各機能のON／OFFを切り替えます。ONのときは青、OFFのときは濃いグレーになります。

- ・ MaxxVolume
ONのときは音声レベルを監視し、大きな信号は歪まないように抑え、小さな信号は聞きやすいように大きくします。
- ・ Revive
mp3等の低ビットレート・ソースで失われた小さな音を復元することで音質を改善します。
- ・ Dimension
ヘッドホン使用時、スピーカーで聞いているような自然な広がりステレオ感を得られます。スピーカー使用時は ON が選択できません。
- ・ Reduce Noise
背景から聞こえる定常的なノイズを除去します。通常は OFF でお使いください。

兼用端子の機能切り替え

arrows Tab RH77/B1、WQ2/B1 のみ

お使いの機種に搭載されている兼用端子は、複数の機能を兼用しています。必要に応じて機能の切り替えを行ってください。

オーディオの入出力端子の種類と場所については、「各部の名称と働き」(→ P.84) をご覧ください。

ご購入時の端子は次のように機能します。

●マイク・ラインイン・ヘッドホン・ラインアウト・ヘッドセット兼用端子：ヘッドホン

●ヘッドホン・ヘッドセット兼用端子：ヘッドホン
設定を変更するには、次の手順を行ってください。

重要

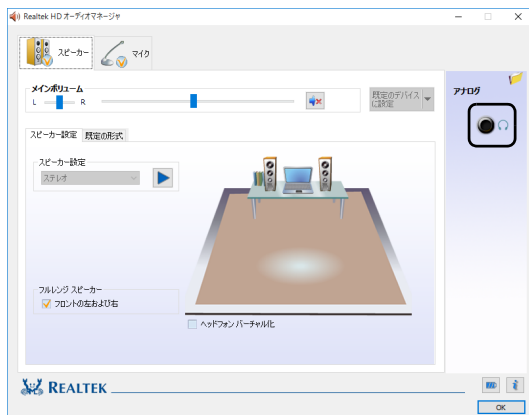
- ▶ 次の端子に機器を接続するときは、接続した機器の音量を小さくするか、出力を停止してください。
 - ・マイク・ラインイン・ヘッドホン・ラインアウト・ヘッドセット兼用端子
 - ・ヘッドホン・ヘッドセット兼用端子

1 機能を切り替えたい端子に外径 3.5mm のミニプラグに対応した機器を接続します。

機器を接続していないときは、切り替えられません。

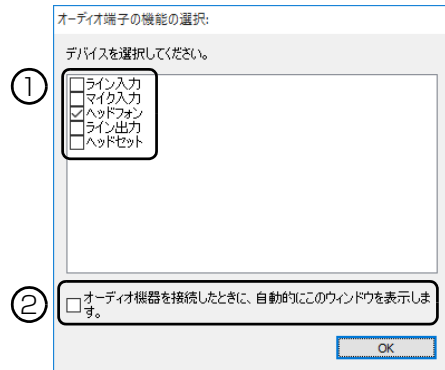
2 通知領域の  をタップし、 (Realtek HD オーディオマネージャ) を右長押しし、「サウンドマネージャ」をタップします。

3 「Realtek HD オーディオマネージャ」ウィンドウが表示されたら、切り替えたい端子のアイコンをダブルタップします。



(これ以降の画面は機種や状況により異なります)

4 「オーディオ端子の機能の選択:」ウィンドウが表示されたら、①使用するデバイスをタップして ☒ にします。



機種や状況により、表示される項目は異なります。

- ・「ヘッドホン」：ヘッドホン出力として動作します。
内蔵スピーカーから音が出なくなります。
- ・「ライン出力」：ライン出力として動作します。
内蔵スピーカーからも音が出ます。
- ・「マイク入力」：マイク入力として動作します。
- ・「ライン入力」：ライン入力として動作します。
- ・「ヘッドセット」：マイク入力、およびヘッドホン出力として動作します。
内蔵スピーカーから音が出なくなります。

Point

- ▶ ②をタップすると、各端子に機器を接続したときに、「オーディオ端子の機能の選択:」ウィンドウが自動的に表示されるか、されないかを切り替えることができます。
 - ☒：自動的に表示されます。
 - ☐：自動的に表示されません。

5 「OK」をタップし、すべてのウィンドウを閉じます。

重要

- ▶ インターネットに接続すると、コンピュータウィルスや不正アクセスなどさまざまな脅威にさらされます。必ずセキュリティ対策をしてください。
新たな脅威を防いでタブレットを安全に使うため、タブレットを最新の状態にアップデートしてください。またセキュリティソフトも最新の状態にしてお使いください。

有線 LAN

ここでは、LAN（有線 LAN）を使うために必要となるものや LAN ケーブルの接続方法、ネットワークの設定方法について説明しています。

無線 LAN をお使いになる場合には、「無線 LAN」（→ P.180）をご覧ください。

Point

- ▶ arrows Tab RH77/B1 の場合、別売のクレードル、または別売の LAN 変換アダプタを接続すると、有線 LAN をお使いになれます。
- ▶ arrows Tab QH35/B1 の場合、別売の LAN 変換アダプタを接続すると有線 LAN をお使いになれます。

■必要なものを用意する

LAN を利用してインターネットに接続するには、次のような機器が必要です。

- arrows Tab RH77/B1 の場合、別売のクレードルまたは別売の LAN 変換アダプタ
- arrows Tab QH35/B1 の場合、別売の LAN 変換アダプタ
- ネットワーク機器

ネットワーク接続の目的に合わせて、このタブレットで使える LAN のスピードを確認してから必要なものをご用意ください。ネットワーク機器には次のようなものがあります。

- ・ダイヤルアップルーター
- ・ブロードバンドルーター
- ・ブロードバンドモデム
- ・ハブ

●LAN ケーブル

ストレートタイプとクロスタイプがあります。また、お使いになるネットワークのスピードに合ったものが必要です。接続するネットワーク機器のマニュアルをご覧ください。必要なものをご用意ください。

●ネットワーク機器のマニュアル

お使いになるネットワーク機器によって、接続や設定の方法異なります。必ずネットワーク機器のマニュアルや、プロバイダーや回線事業者から提供されるマニュアルもご覧ください。

■LAN ケーブルを接続する

⚠ 警告



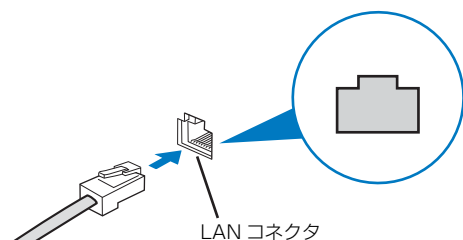
- 雷が鳴り出したときは、落雷の可能性がなくなるまでタブレット本体やケーブル類に触れないでください。ケーブル類の接続作業は、落雷の可能性がなくなるまで行わないでください。
落雷の可能性がある場合は、あらかじめタブレット本体の電源を切り、その後電源ケーブルをコンセントから抜き、ケーブル類を取り外しておいてください。
落雷による感電、火災の原因となります。

⚠ 注意



- LAN コネクタに指などを入れないでください。
感電の原因となることがあります。
- LAN ケーブルを接続する場合は、必ず LAN コネクタに接続してください。
接続するコネクタを間違えると、故障の原因となることがあります。

- 1 LAN コネクタに、LAN ケーブルの一方を接続し、もう一方を、お使いになるネットワーク機器のコネクタに接続します。



LAN ケーブルをコネクタの向きに合わせてしっかり差し込みます。

Point

- ▶ スリープの解除をお勧めします

LAN 機能を使ってネットワーク（インターネットなど）に接続中は、スリープにしないことをお勧めします。お使いの環境によっては、ネットワーク（インターネットなど）への接続が正常に行われない場合があります。

なお、ご購入時の状態では、一定時間タブレットを操作しないとスリープになるよう設定されていますので、前述のような不都合がある場合には、「スリープの設定変更」（→ P.147）をご覧ください。

- ▶ LAN ケーブルを取り外すときは

LAN コネクタから LAN ケーブルを取り外すときは、プラグのツメを押さえながら引き抜いてください。ツメを押さえずに無理に引き抜くと破損の原因となります。

無線 LAN

無線 LAN でインターネットに接続する方法については、「インターネットに接続する」（→ P.31）をご覧ください。

また、無線 LAN の電波を発信／停止する方法については、「無線通信機能の電波を発信する／停止する」（→ P.188）をご覧ください。

■無線 LAN をお使いになるうえでの注意

ここでは、無線 LAN をお使いになるうえで注意していただきたいことについて説明しています。

- 無線 LAN 製品ご使用時におけるセキュリティに関する注意

重要

- ▶ お客様の権利（プライバシー保護）に関する重要な事項です。

無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコンやタブレットなどと無線 LAN アクセスポイント（ワイヤレス LAN ステーション、ワイヤレスブロードバンドルーターなど）間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。その反面、電波はある範囲内であれば障害物（壁など）を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、次のような問題が発生する可能性があります。

●通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、

- ・ ID やパスワードまたはクレジットカード番号などの個人情報
- ・ メールの内容

などの通信内容を盗み見られる可能性があります。

●不正に侵入される

悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、

- ・ 個人情報や機密情報を取り出す（情報漏洩）
- ・ 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す（なりすまし）
- ・ 傍受した通信内容を書き換えて発信する（改ざん）
- ・ コンピューターウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する（破壊）

などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線 LAN アクセスポイントやタブレットに搭載されている無線 LAN は、これらの問題に対応するためのセキュリティのしくみをもっています。

そのため、別途ご購入された無線 LAN アクセスポイントなどの無線 LAN 製品の、セキュリティに関する設定を正しく行うことで、これらの問題が発生する可能性を少なくすることができます。

しかし、無線 LAN アクセスポイントなどの無線 LAN 製品は、ご購入時の状態ではセキュリティに関する設定が施されていない場合があります。

上記のようなセキュリティ問題が発生する可能性を少なくするためには、無線 LAN アクセスポイントなどの無線 LAN 製品に添付されている取扱説明書に従い、これらの製品のセキュリティに関するすべての設定を必ず行ってください。

なお、無線 LAN の仕様上、特殊な方法によりセキュリティ設定が破られることもあり得ますので、ご理解のうえ、ご使用ください。

セキュリティの設定などについて、お客様ご自身で対処できない場合には、「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」までお問い合わせください。

当社では、お客様がセキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を充分理解したうえで、お客様ご自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお勧めします。

セキュリティ対策を施さず、あるいは、無線 LAN の仕様上やむを得ない事情によりセキュリティの問題が発生した場合、当社は、これによって生じた損害に対する責任を負いかねます。

□5GHz 帯のチャンネル（周波数帯）の種類

5GHz 帯を利用した無線 LAN には、W52、W53、W56 という 3 種類のチャンネル（周波数帯）があります。これは、2007 年 1 月 31 日および 2005 年 5 月 16 日に総務省により発表された「電波法施行規則の一部を改正する省令」により、5GHz 帯のチャンネル（周波数帯）の変更と、新チャンネルの追加が行われたためです。

- IEEE 802.11a/b/g/n/ac 準拠

IEEE802.11b/g/n

IEEE802.11a/n/ac

J52 W52 W53 W56



- ▶ IEEE 802.11n では、2.4GHz/5GHz 両方の周波数帯のチャンネルを使用します。

□電波放射の環境への影響

- このタブレットは、他の高周波デバイス同様に、高周波エネルギーを放出していますが、このタブレットが放出するエネルギーのレベルは、例えば携帯電話のような無線デバイスが放出する電磁エネルギーよりはるかに低く抑えられています。
- このタブレットは、高周波安全基準および勧告のガイドライン内で動作するため、本製品の使用者に対し、安全性を確信しています。本基準および勧告は、科学界の統一見解を反映しており、研究班の審議および広範な研究文献を継続的に調査・解釈する科学者たちの委員会を根本としています。
- ある状況や環境において、このタブレットの使用は、建物の所有者や団体の責任ある代表者により制限されることがあります。例えば、下記の場合です。
 - ・他のデバイスやサービスに対し干渉の危険がある環境での使用
- 特定の団体や環境（例えば空港）で無線デバイスの使用に適用される方針が明確にわからない場合は、機器の電源を入れる前に本製品の使用許可について各団体などへ問い合わせをしてください。

□電波放射の人体への影響

このタブレットから放射される出力パワーは、例えば携帯電話が放射する電波のレベルよりはるかに低くなっています。それでも、このタブレットは、通常の動作中に人間の接触に対し電位が最小限にとどめられるように使用されなくてはなりません。使用中はこのタブレットのアンテナ部分に極力触れないでください。

無線 LAN アンテナの場所については、「各部の名称と働き」（→ P.84）をご覧ください。

□無線 LAN による通信を行うための注意

- 電波法の定めによりW56のチャンネルは屋外でご利用になれますが、W52、W53 のチャンネルは屋外でご利用になれません。このタブレットに内蔵の無線 LAN を 5GHz 帯でご利用になる場合、特定のチャンネルの電波の発信を停止することはできないため、屋外ではご利用になれません。
- このタブレットは、日本国内での無線規格に準拠し、認定を取得しています。日本国内でのみお使いいただけます。また、海外でご利用になると罰せられることがあります。
- 航空機内での使用は、各航空会社に事前にご確認ください。
- IEEE 802.11g と IEEE 802.11b が混在する環境では、IEEE 802.11g は IEEE 802.11b との互換性をとるため、IEEE 802.11g 本来の性能が出ない場合があります。IEEE 802.11g 本来の性能が必要な場合は、IEEE 802.11g と IEEE 802.11b を別の無線 LAN ネットワークにし、使用しているチャンネルの間隔を5チャンネル以上空けてお使いください。
- このタブレットの使用上、特に無線 LAN で通信中はアンテナ部分に極力触れないでください。通信性能が低下する場合があります。
また、このタブレットを設置する場合には、周囲が金属などの導体（電気を通しやすいもの）でできている場所を避けてください。通信性能が低下し、設置環境によっては通信できなくなることがあります。
無線 LAN アンテナの場所については、「各部の名称と働き」（→ P.84）をご覧ください。
- このマニュアルに従わずに設定したり使用したりすると、無線通信に有害な干渉を生じることがあります。
- このタブレットがラジオ、テレビの受信機に有害な干渉を与える原因となっている場合は（このタブレットの電源を入／切することで原因となっているかが判別できます）、次の方法で干渉を取り除くようにしてください。
 - ・このタブレットと受信機の距離を離す
 - ・受信機を接続しているコンセントと別系統回路のコンセントにこのタブレットを接続する
 - ・経験のあるラジオ／テレビ技術者に相談する

- このタブレットの不正な改造は行わないでください。不正な改造により発生した、ラジオやテレビへの干渉についての責任は負いません。
- 近くに他のチャンネルを使用している無線 LAN 機器がある場合、干渉により本来の性能が出ない場合があります。この場合、他のチャンネルを使用している無線 LAN 機器と使用しているチャンネルの間隔を空けるように変更して、干渉の影響が最小となるチャンネルでお使いください。それでも解決しない場合は、他のチャンネルを使用している無線 LAN 機器から3m以上離して干渉の影響が最小となる場所でお使いください。

□良好な通信を行うために

- タブレット本体と通信相手の機器との推奨する最大通信距離は、次のとおりです。

無線 LAN の種類 ^[注]	推奨する最大通信距離
IEEE 802.11a 準拠	見通し半径 15m 以内
IEEE 802.11b、 IEEE 802.11g 準拠	見通し半径 25m 以内
IEEE 802.11n、 IEEE 802.11ac 準拠	見通し半径 50m 以内

注 お使いの機種により搭載されていない種類もあります。

ただし、無線 LAN の特性上、ご利用になる建物の構造・材質、障害物、アプリ、設置状況、電波状況などの使用環境により通信距離は異なります。また、通信速度の低下や通信不能となる場合もありますのであらかじめご了承ください。

- タブレット本体は、他の電気機器から離して設置してください。タブレット本体と電源が入った電気機器を近づけていると、正常に通信できなかったり、電気機器の障害になったりすることがあります。正常に通信できない場合は、使用するチャンネルや使用場所を変更してください。特に、電子レンジなどの強い高周波エネルギーを出す機器の使用時は、影響を受けやすく、正常に通信できないことがあります。
- 放送局や無線機などが近く、正常に通信できないときは、タブレット本体の設置場所を変えてみてください。周囲の電波が強すぎると、正常に通信できないことがあります。

- このタブレットの無線 LAN は、Bluetooth ワイヤレステクノロジー機器と同じ周波数帯(2.4GHz帯)を使用するため、タブレット本体の近辺で Bluetooth ワイヤレステクノロジー機器を使用すると電波干渉が発生し、通信速度の低下や接続不能になる場合があります。
- Bluetooth ワイヤレステクノロジー機器との電波干渉を防ぐには、次の対策を行うと、電波の干渉を防ぐことができます。
 - ・ Bluetooth ワイヤレステクノロジー機器とタブレット本体との間は 10m 以上離して使用する。
 - ・ Bluetooth ワイヤレステクノロジー機器の電源を切るか、電波を停止する。
Bluetooth ワイヤレステクノロジー機器のマニュアルをご覧ください、電源を切るか、電波を停止してください（単独で電源を切れないものを除く）。
 - ・ 無線 LAN の 5GHz 帯を利用する（ただし利用できるのは屋内のみ）。
- 5GHz 帯チャンネルの W53 (52 ~ 64ch)、W56 (100 ~ 140ch) では、無線 LAN アクセスポイントの DFS 機能が作動した場合、W53/W56 の通信はいったん切断されます。DFS 機能により、その無線 LAN アクセスポイントが再起動した場合は、W53/W56 以外のすべての通信もいったん切断されます。

■無線 LAN の仕様 (IEEE 802.11a/b/g/n/ac 準拠)

項目	仕様 [注 1]
ネットワークの種類	IEEE 802.11a準拠、IEEE 802.11b準拠、IEEE 802.11g準拠、IEEE 802.11n準拠、IEEE 802.11ac準拠 (5GHz 帯のチャンネルは W52/W53/W56 です) (Wi-Fi® 準拠) [注 2]
転送レート	IEEE 802.11b 準拠: 11 ~ 1Mbps (自動切り替え) IEEE 802.11a 準拠、IEEE 802.11g 準拠: 54 ~ 6Mbps (自動切り替え) IEEE 802.11n 準拠: 150 ~ 6Mbps (自動切り替え、HT20/40 対応) [注 3] [注 4] IEEE 802.11ac 準拠: 433 ~ 6Mbps (自動切り替え、VHT20/40/80 対応) [注 5] [注 6]
使用周波数	2,400MHz ~ 2,483.5MHz 5,150MHz ~ 5,340MHz 5,460MHz ~ 5,740MHz
チャンネル [注 8]	IEEE 802.11b 準拠、IEEE 802.11g 準拠: 1 ~ 13ch IEEE 802.11a 準拠: W52 (36/40/44/48ch) /W53 (52/56/60/64ch) /W56 (100/104/108/112/116/120/124/128/132/136/140ch) IEEE 802.11n 準拠: 2.4GHz モード 1 ~ 13ch 5GHz モード W52 (36/40/44/48ch) /W53 (52/56/60/64ch) /W56 (100/104/108/112/116/120/124/128/132/136/140ch) IEEE 802.11ac 準拠: W52 (36/40/44/48ch) /W53 (52/56/60/64ch) /W56 (100/104/108/112/116/120/124/128/132/136/140ch)
セキュリティ [注 9]	SSID (ネットワーク名) WEP (セキュリティキー (WEP キー): 64/128 ビット) [注 7] WPA- パーソナル (WPA-PSK) (TKIP/AES) WPA2- パーソナル (WPA2-PSK) (TKIP/AES) WPA- エンタープライズ (WPA) (TLS/PEAP) (TKIP/AES) WPA2- エンタープライズ (WPA2) (TLS/PEAP) (TKIP/AES) IEEE 802.1X (TLS/PEAP)

注 1 アドホック通信には対応していません。

注 2 Wi-Fi® 準拠とは、無線 LAN の相互接続性を保証する団体「Wi-Fi Alliance®」の相互接続性テストに合格していることを示します。

注 3 IEEE 802.11n では HT20/40 に対応しています。HT40 を利用するには、無線 LAN アクセスポイントも HT40 に対応している必要があります。

注 4 IEEE 802.11n を使用するときの無線 LAN アクセスポイントの設定で、HT40 の機能を有効にする場合には、周囲の電波状況を確認して他の無線局に電波干渉を与えないことを事前に確認してください。万一、他の無線局において電波干渉が発生した場合には、ただちに HT40 の機能を無効にしてください。

注 5 IEEE 802.11ac では VHT20/40/80 に対応しています。VHT80 を利用するには、無線 LAN アクセスポイントも VHT80 に対応している必要があります。

注 6 IEEE 802.11ac を使用するときの無線 LAN アクセスポイントの設定で、VHT40/80 の機能を有効にする場合には、周囲の電波状況を確認して他の無線局に電波干渉を与えないことを事前に確認してください。万一、他の無線局において電波干渉が発生した場合には、ただちに VHT40/80 の機能を無効にしてください。

注 7 WEP による暗号化は上記ビット数で行いますが、ユーザーが設定可能なビット数は固定長 24 ビットを引いた 40 ビット / 104 ビットです。

注 8 このタブレットに搭載されている無線 LAN の IEEE 802.11b では、無線チャンネルとしてチャンネル 1 ~ 13 を使用しています。無線 LAN アクセスポイントのチャンネルを、1 ~ 13 の間で設定してください。設定方法については、無線 LAN アクセスポイントのマニュアルをご覧ください。

注 9 IEEE 802.11n、IEEE 802.11ac で接続するためには、パスフレーズ (PSK) を AES に設定する必要があります。

Bluetooth ワイヤレステクノロジー

ここでは、Bluetooth ワイヤレステクノロジーを使用する方法について説明しています。

■Bluetooth ワイヤレステクノロジーとは

Bluetooth ワイヤレステクノロジーとは、ヘッドセットやモデム、携帯電話などの周辺機器や他の Bluetooth ワイヤレステクノロジー搭載のパソコンやタブレットなどに、ケーブルを使わず電波で接続できる技術です。

重要

- ▶ Bluetooth ワイヤレステクノロジーをお使いになる場合は、セキュリティの設定をすることをお勧めします。
セキュリティの設定をしないと、通信内容を傍受されたり、ネットワークに侵入されたりする危険があります。

■Bluetooth ワイヤレステクノロジーを使うための設定をする

タブレットと Bluetooth ワイヤレステクノロジー対応機器を接続するためには、「Bluetooth デバイスの管理」を使用します。

- 1  (設定) ▶ 「デバイス」の順にタップし、「デバイス」ウィンドウ左の「Bluetooth」をタップします。
「Bluetooth デバイスの管理」の画面が表示されます。

Point

- ▶ Bluetooth ワイヤレステクノロジー機器のマニュアルもあわせてご覧ください。それらのマニュアルに設定方法が記載されている場合は、そちらの手順に従って設定してください。

■Bluetooth ワイヤレステクノロジーの特長

このタブレットの Bluetooth ワイヤレステクノロジーの主な特長は、次のとおりです。

なお、すべての Bluetooth ワイヤレステクノロジー機器に接続可能なことを保証するものではありません。

□arrows Tab RH77/B1、WQ2/B1 の場合

規格：Bluetooth v4.1 準拠 ^[注 1]

出力：Class 1

最大通信速度：2.1Mbps ^[注 2]

与干渉距離：80m

□arrows Tab QH35/B1 の場合

規格：Bluetooth v4.0 準拠 ^[注 1]

出力：Class 1

最大通信速度：2.1Mbps ^[注 2]

与干渉距離：80m

注 1：これ以前の規格に準拠した機器と接続が可能です。

注 2：実際の通信速度はお使いの環境により異なります。

■必要なものを用意する

●Bluetooth ワイヤレステクノロジー機器

Bluetooth ワイヤレステクノロジーを利用してタブレットと接続する機器です。お使いのタブレットに搭載されている Bluetooth ワイヤレステクノロジーの規格に対応したものをご用意ください。なお、Bluetooth ワイヤレステクノロジー機器には次のようなものがあります。お使いになる目的に応じてご用意ください。

- ・ キーボード
- ・ マウス
- ・ プリンター
- ・ ヘッドセット
- ・ 携帯電話

- Bluetooth ワイヤレステクノロジー機器のマニュアル
お使いになる Bluetooth ワイヤレステクノロジー機器によって設定方法が異なる場合があります。必ず Bluetooth ワイヤレステクノロジー機器のマニュアルもご覧ください。

重要

- ▶ ペ어링コード (PIN またはパスコード) について

タブレットと Bluetooth ワイヤレステクノロジー機器の接続 (ペ어링) 設定をするときには、機器によっては「ペ어링コード (PIN またはパスコード)」が必要になる場合があります。「ペ어링コード (PIN またはパスコード)」については、後述の「Windows ヘルプとサポート」および Bluetooth ワイヤレステクノロジー機器のマニュアルをご覧ください。

- ▶ プロファイルについて

Bluetooth ワイヤレステクノロジーには「プロファイル」という仕様があり、同じプロファイルをもつ Bluetooth ワイヤレステクノロジー機器どうしを接続し、そのプロファイルの機能を使用することができます。

このタブレットには、このタブレットがサポートしているプロファイルに対応した Bluetooth ワイヤレステクノロジー機器を使用することができます。このタブレットがサポートしているプロファイルは次のとおりです。

- ・ HID、HCRP、DUN、SPP、OPP、PAN、A2DP、AVRCP、HFP、HOGP

■Bluetooth ワイヤレステクノロジーをお使いになるうえでの注意

ここでは、Bluetooth ワイヤレステクノロジーをお使いになるうえで注意していただきたいことについて説明しています。

□Bluetooth ワイヤレステクノロジーご使用時にけるセキュリティに関する注意

重要

- ▶ お客様の権利 (プライバシー保護) に関する重要な事項です。

Bluetooth ワイヤレステクノロジーでは、電波を利用して周辺機器や他のパソコンやタブレットとの間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物 (壁など) を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

●通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、ID やパスワード、その他の個人情報などの通信内容を盗み見る可能性があります。

●不正に使用される

悪意ある第三者が、無断で個人や会社内の周辺機器やタブレットへアクセスし、次の行為をされてしまうおそれがあります。

- ・ 個人情報や機密情報を取り出す (情報漏洩)
- ・ 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す (なりすまし)
- ・ 傍受した通信内容を書き換えて発信する (改ざん)
- ・ コンピューターウイルスなどを流しデータやシステムを破壊する (破壊)

このタブレットおよび一部の周辺機器や他のパソコンやタブレットに内蔵されている Bluetooth ワイヤレステクノロジーは、これらの問題に対応するためのセキュリティのしくみをもっています。

そのため、別途ご購入された Bluetooth ワイヤレステクノロジー搭載の周辺機器や他のパソコンやタブレットがセキュリティのしくみをもっている場合、セキュリティに関する設定を正しく行うことで、これらの問題が発生する可能性を少なくすることができます。しかし、Bluetooth ワイヤレステクノロジー内蔵の周辺機器や他のパソコンやタブレットは、ご購入時の状態ではセキュリティに関する設定が施されていない場合があります。上記のようなセキュリティ問題が発生する可能性を少なくするためには、周辺機器や他のパソコンやタブレットに添付されている取扱説明書に従い、これらの製品のセキュリティに関するすべての設定を必ず行ってください。

なお、Bluetooth ワイヤレステクノロジーの仕様上、特殊な方法によりセキュリティ設定が破られることもあり得ますので、ご理解のうえ、ご使用ください。セキュリティの設定などについて、お客様ご自身で対処できない場合には、「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」までお問い合わせください。

当社では、お客様がセキュリティの設定を行わないで
使用した場合の問題を充分理解したうえで、お客様ご
自身の判断と責任においてセキュリティに関する設
定を行い、製品を使用することをお勧めします。

セキュリティ対策を施さず、あるいは、Bluetooth ワ
イヤレステクノロジーの仕様上やむを得ない事情に
よりセキュリティの問題が発生した場合、当社は、こ
れによって生じた損害に対する責任を負いかねます。

□Bluetooth ワイヤレステクノロジーによる通信を行 うための注意

- このタブレットの Bluetooth ワイヤレステクノロ
ジー用アンテナは、タブレット本体に内蔵されてい
ます。このタブレットの使用上、特に Bluetooth ワ
イヤレステクノロジーの通信中はアンテナ部分に極
力触れないでください。通信性能が低下する場合が
あります。

また、タブレット本体を設置する場合には、周囲が
金属などの導体（電気を通しやすいもの）でできて
いる場所を避けてください。通信性能が低下し、設
置環境によっては通信できなくなることがあります。

Bluetooth ワイヤレステクノロジー用アンテナの
場所については、「各部の名称と働き」（→ P.84）
をご覧ください。

- タブレット本体と通信相手の機器との推奨する最
大通信距離は、見通し半径 10m 以内です。
ただし、Bluetooth ワイヤレステクノロジーの特性
上、ご利用になる建物の構造・材質、障害物、アプ
リ、設置状況、電波状況などの使用環境により通信
距離は異なります。また、通信速度の低下や通信不
能となる場合もありますのであらかじめご了承ください。
- タブレット本体は、他の電気機器から離して設置し
てください。タブレット本体と電源が入った電気機
器を近づけていると、正常に通信できなかったり、
電気機器の障害になったりすることがあります。正
常に通信できない場合は、使用場所を変更してくだ
さい。特に、電子レンジなどの強い高周波エネルギー
を出す機器の使用時は、影響を受けやすく、正
常に通信できないことがあります。
- 放送局や無線機などが近く、正常に通信できないと
きは、タブレット本体の設置場所を変えてみてくだ
さい。周囲の電波が強すぎると、正常に通信できな
いことがあります。

- Bluetooth ワイヤレステクノロジーは IEEE
802.11b、IEEE 802.11g や IEEE 802.11n の
2.4GHz 帯規格の無線 LAN と同じ周波数帯の電波
を使用します。そのため、ご使用の状態によっては
無線 LAN と Bluetooth ワイヤレステクノロジーの
電波が干渉し、他のパソコンやタブレットなどとの
通信速度が低下したり、Bluetooth ワイヤレステク
ノロジーで接続したワイヤレスヘッドホンなどの
音質が悪くなったりする場合があります。

- 無線 LAN 機器との電波干渉を防ぐには、次の対策
を行うと、電波の干渉を防ぐことができる場合があ
ります。

- ・無線 LAN 機器とタブレット本体との間は 10m 以
上離して使用する。
- ・無線 LAN 機器の電源を切る。
- ・無線 LAN 機器の電波を停止する。
- ・無線 LAN の 5GHz 帯を利用する（ただし利用で
きるのは屋内のみ）。

- このタブレットに USB アダプタ型などの他の
Bluetooth ワイヤレステクノロジー機器を取り付
けて、同時に使用しないでください。

□電波放射の環境への影響

- このタブレットは、他の高周波デバイス同様に、高
周波エネルギーを放出していますが、このタブレッ
トが放出するエネルギーのレベルは、例えば携帯電
話のような無線デバイスが放出する電磁エネル
ギーよりはるかに低く抑えられています。
- このタブレットは、高周波安全基準および勧告のガ
イドライン内で動作するため、このタブレットの使
用者に対し、安全性を確信しています。本基準およ
び勧告は、科学界の統一見解を反映しており、研究
班の審議および広範な研究文献を継続的に調査し
解釈する科学者たちの委員会を根本としています。
- ある状況や環境において、このタブレットの使用
は、建物の所有者や団体の責任ある代表者により制
限されることがあります。例えば、下記にあげる場
合です。
 - ・他のデバイスやサービスに対し干渉の危険がある
環境での使用
- 特定の団体や環境（例えば空港）で無線デバイスの
使用に適用される方針が明確にわからない場合は、
機器の電源を入れる前にこのタブレットの使用許
可について問い合わせをしてください。

□電波放射の人体への影響

- このタブレットから放射される出力パワーは、例えば携帯電話が放射する電波のレベルよりはるかに低くなっています。それでも、このタブレットは、通常の動作中に人間の接触に対し電位が最小限にとどめられるように使用されなくてはなりません。使用中はこのタブレットのアンテナ部分に極力触れないでください。

□干渉に関する注意

- このマニュアルに従わずに設定したり使用したりすると、無線通信に有害な干渉を生じることがあります。
- このタブレットがラジオ、テレビの受信機に有害な干渉を与える原因となっている場合は（このタブレットの電源を入／切することで原因となっているかが判別できます）、次の方法で干渉を取り除くようにしてください。
 - ・タブレット本体と受信機の距離を離す
 - ・受信機を接続しているコンセントと別系統回路のコンセントにこのタブレットを接続する
 - ・経験のあるラジオ／テレビ技術者に相談する
- このタブレットの不正な改造は行わないでください。不正な改造により発生した、ラジオやテレビへの干渉についての責任を負いません。

無線通信機能の電波を発信する／停止する

タブレットに搭載されている無線 LAN や Bluetooth ワイヤレステクノロジーなどの無線通信機能の電波を発信／停止する方法について説明します。

病院や飛行機内、その他電子機器使用の規制がある場所では、あらかじめ無線通信機能の電波を停止してください。

無線通信機能の電波の発信／停止には、次の 2 つの方法があります。

- すべての無線通信機能の電波を発信／停止する
タブレットに搭載されている、すべての無線通信機能の電波を発信／停止します。
- 特定の無線通信機能の電波だけを発信／停止する
すべての無線通信機能の電波が発信されている状態で、特定の無線通信機能の電波の発信／停止だけを切り替えます。
例えば、無線 LAN の電波は発信したまま、Bluetooth ワイヤレステクノロジーの電波を停止したいときなどに便利です。

■すべての無線通信機能の電波を発信／停止する
タブレットに搭載されている、すべての無線通信機能の電波を発信／停止します。

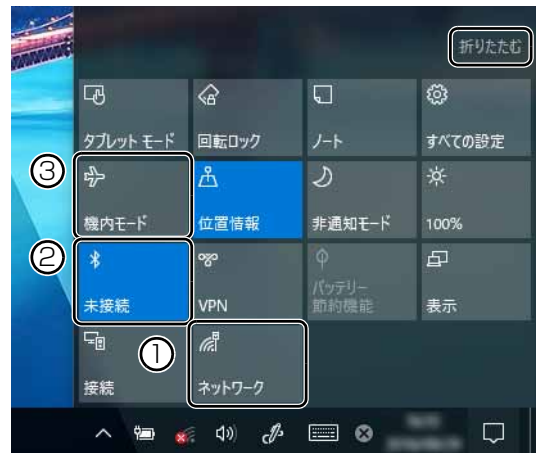
機内モードに切り替えて電波の発信を止めてください。手順については、サポートページから Q&A ナンバー「2610-8225」を検索してご覧ください（→ P.64）。

■特定の無線通信機能の電波だけを発信／停止する

1 通知領域の  をタップします。

2 「アクションセンター」が表示されたら、発信／停止したい機能をタップします。

1 列しか機能が表示されていないときは、「展開」をタップするとすべての機能が表示されます。「折りたたむ」をタップすると 1 列のみ表示になります。停止されているときはグレーになり、発信されているときはアクセントカラーになります。



（画面は機種や状況により異なります）

- ① 無線 LAN を発信／停止したいときにタップします。
- ② Bluetooth を発信／停止したいときにタップします。
- ③ タップすると機内モードのオン／オフを切り替えられます。①②も連動して発信／停止が切り替わります。

Point

- ▶ アクセントカラーは、（設定）▶「パーソナル設定」の順にタップし、「パーソナル設定」ウィンドウ左の「色」をタップすると確認や変更ができます。

アプリ

このタブレットには、あらかじめたくさんのアプリがインストールされています。

一度削除したアプリをもう一度使いたいときや、アプリの動作がおかしくなったとき、アプリをインストールし直すことができます。

Windows 10 には、Windows ユニバーサル アプリと、デスクトップアプリの 2 種類があります。

Windows ユニバーサル アプリ

Windows 8 以降の Windows で動作する新しいアプリです。

■インストール

ストアからインストールします。ストアの利用には Microsoft アカウントでサインインする必要があります。

1  「ストア」 タップします。

2 インストールしたいアプリをタップします。

インストールしたいアプリは画面下側に隠れている場合があります。画面を上スクロールしてください。



- ▶ 画面右上にある入力フォームから検索することもできます。検索したいアプリの名前を入力して、 をタップします。

この後は画面の指示に従って操作してください。

■更新プログラム

インターネットに接続していると、インストール済の Windows ユニバーサル アプリが最新のバージョンでなかった場合、自動的に更新されます。

☐ 自動更新を無効にする

1 「ストア」画面右上の  をタップし、表示されたメニューから「設定」をタップします。

2 「アプリ更新」の「Wi-Fi 接続時にアプリを自動的に更新する」の  (オン) をタップして  (オフ) にします。

■アンインストール

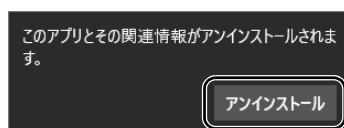
「スタート」メニューの操作でアンインストールできます。アンインストールした Windows ユニバーサル アプリはストアから再インストールすることができます。

1  をタップしアンインストールしたいアプリを長押しします。

「スタート」メニューにピン留めされてないときは、アプリ一覧の下の方に隠れているのでスクロールして表示してください。

2 「アンインストール」をタップします。

3 次の画面が表示されたら「アンインストール」をタップします。



デスクトップアプリ

Windows 7、Windows 8.1 で使用していたものがほとんどそのまま使用できます。

■デスクトップアプリをインストール／アンインストールするうえでの注意

- デスクトップアプリをインストールする前には、必ずアプリのマニュアルなどを読んで、インストールの方法を確認する
- インストールし直す場合は、元のアプリを削除する
- 管理者アカウントでサインインする
ユーザーアカウントの種類が、「標準アカウント」、「Guest アカウント」の場合はアプリの削除ができません。管理者アカウントでサインインしてください。ユーザーアカウントの種類は、次の手順で確認できます。

1.  を長押しし、表示されたメニューから「コントロールパネル」をタップします。
2. 「ユーザーアカウント」をタップします。
「ユーザーアカウント」ウィンドウが表示されます。
3. 画面右のアカウント名の下に表示されている、アカウントの種類を確認します。
「Administrator」は、管理者アカウントであることを意味します。

- 起動しているデスクトップアプリをすべて終了する
他のアプリが起動していると、エラーが発生する場合があります。アプリの削除をする前に、次の作業を行ってください。

- ・起動しているアプリをすべて終了する
- ・タスクバーに常駐するタイプのアプリをすべて終了する
- ・スクリーンセーバーを「なし」に設定する
 1. デスクトップの何も無いところを長押しし、表示されたメニューから「個人用設定」をタップします。
 2. ウィンドウ左の「ロック画面」▶ウィンドウ右下の「スクリーンセーバー設定」の順にタップします。
 3. 「スクリーンセーバー」を「(なし)」にして、「OK」をタップします。

- 共有ファイルは削除しない

アプリの削除中に、「共有ファイルを削除しますか?」というメッセージが表示されることがあります。

共有ファイルは削除しないことをお勧めします。共有ファイルを削除すると、インストールされている他のデスクトップアプリが影響を受け、正しく動作しなくなる場合があります。

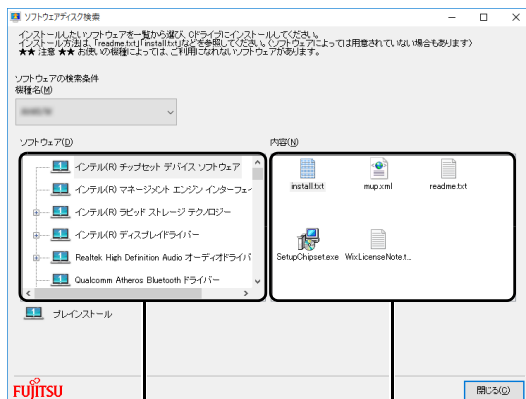
■インストール

□搭載デスクトップアプリをインストールする

次の手順で、フラッシュメモリディスク内のデータからアプリをインストールすることができます。

- 1 **田▶「FUJITSU - ソフトウェアディスク検索」▶「ソフトウェアディスク検索 (ハードディスク)」の順にタップします。**
- 2 「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示されたら、「はい」をタップします。
- 3 「ソフトウェアディスク検索 (ハードディスク)」ウィンドウが表示されたら、「OK」をタップします。
- 4 「機種名」欄の右側の▼をタップし、表示されたリストからお使いの機種名 (品名) をタップして選択します。

- 5 「ソフトウェア一覧」からインストールするアプリの名称をタップしてインストールします。
デスクトップアプリの名称をタップすると、アプリに含まれるファイルが画面右側に表示されます。



デスクトップアプリの名称 含まれるファイル
(画面は機種や状況により異なります)

- 6 デスクトップアプリのインストール方法は、各デスクトップアプリによって異なります。それぞれの「readme.txt」、「install.txt」などでインストール方法を確認してください。

□「Office」をインストールし直す 「Office」搭載機種のみ

「Office」搭載機種をお使いの方で、「Office」のみインストールし直したい場合は、マイクロソフト社のホームページからダウンロードしてインストールしてください。インストール方法については次のホームページをご覧ください。

<http://www.office.com/jppipcsetup/>

□ドライバーをインストールし直す

サウンドの再生や画面表示などが正常に行われな
いとき、ドライバーを更新すると問題が解決できる場合
があります。

□お使いのタブレットに搭載されているドライバーについて

- 各ドライバーは、改善のため事前連絡なしに変更することがあり、ご購入時に添付されているものよりも新しいバージョンのドライバーが、サポートページ (<http://azby.fmworld.net/support/>) の「機種別サポート情報・ダウンロード」で公開されている場合があります。

サポートページ (<http://azby.fmworld.net/support/>) の「機種別サポート情報・ダウンロード」に最新のドライバーがない場合は、ドライバーを削除し、再インストールしてください。

Point

- ▶「富士通アドバイザー」でドライバーが最新のものになっているか確認できます (→ P.48)。「アップデート情報」の「更新する」をタップしてください。最新のドライバーでない場合は、画面の指示に従って更新してください。
- ドライバーの削除や、再インストール手順については、各ドライバーのフォルダー内にある「readme.txt」「install.txt」などのファイルをご覧ください。
- ドライバーの格納されているフォルダーは、次の手順でご確認ください。
 1.  ▶「FUJITSU - ソフトウェアディスク検索」▶「ソフトウェアディスク検索 (ハードディスク)」の順にタップします。
 2. 「ユーザーアカウント制御」ウィンドウが表示されたら、「はい」をタップします。
 3. 「ソフトウェアディスク検索 (ハードディスク)」ウィンドウが表示されたら、「OK」をタップします。「ソフトウェアディスク検索」ウィンドウが表示されます。
 4. 「機種名」欄の右側の  をタップし、表示されたリストからお使いの機種名 (品名) をタップして選択します。
 5. 「ソフトウェア」の一覧から更新したいドライバーをタップして選択します。選択したドライバーが格納されているフォルダーの内容が表示されます。

Point

- ▶ プリンターなど、このタブレットに添付されていない周辺機器のドライバーについては、お使いの周辺機器のマニュアルをご覧ください。

■アンインストール

□デスクトップアプリのアンインストール機能を使う
Windows に対応したデスクトップアプリには、アンインストール機能 (デスクトップアプリを削除する機能) が用意されているものがあります。

デスクトップアプリによって操作方法異なります。詳しくは、デスクトップアプリのマニュアルまたはヘルプをご覧ください。

□「プログラムのアンインストール」機能を使う

- 1 起動しているデスクトップアプリをすべて終了します。
- 2  を長押しし、表示されたメニューから「プログラムと機能」をタップします。
- 3 一覧から削除したい項目をタップします。
- 4 「アンインストールと変更」 (または「アンインストール」) をタップし、画面の指示に従ってアプリを削除します。
- 5 デスクトップアプリの削除が終了したら、「プログラムと機能」ウィンドウで、× をタップします。

Point

- ▶ 「プログラムのアンインストール」機能で削除できないデスクトップアプリについては、デスクトップアプリのマニュアルまたはヘルプをご覧ください。
- ▶ 「いくつかのファイルは削除されませんでした」と表示されても、削除が完了していれば通常問題ありません。

BIOS の設定

電源を切って作業しますので、この内容を印刷しておくか、「富士通アドバイザー」（スマートフォン版）を使って本書をご覧くださいことをお勧めします。「富士通アドバイザー」（スマートフォン版）について詳しくは、「「富士通アドバイザー」を活用する」（→ P.48）をご覧ください。

BIOS セットアップの操作

■BIOS セットアップとは

BIOS セットアップとは、タブレットの環境を設定するためのプログラムです。タブレットご購入時は、すでに最適なハードウェア環境に設定されています。通常の使用状態では、BIOS セットアップで環境を設定（変更）する必要はありません。

BIOS セットアップの設定は、次の場合などに行います。

- 特定の人だけがタブレットを使用できるように、パスワード（暗証番号）を設定するとき
- 起動時の自己診断テストで BIOS セットアップに関するエラーメッセージが表示されたとき

Point

- ▶ arrows Tab QH35/B1 の場合、BIOS セットアップ画面は英語表記のみです。
- ▶ BIOS セットアップの設定項目については、BIOS セットアップ画面の「項目ヘルプ」をご覧ください。
- ▶ BIOS セットアップ画面の表示について
HDMI 出力端子に接続したテレビやディスプレイには BIOS セットアップ画面は、表示されません。
- ▶ 起動時の自己診断テスト（POST（ポスト））
タブレットの電源を入れたときや再起動したときに、ハードウェアの動作に異常がないか、どのような周辺機器が接続されているかなどを自動的に調べます。これを「起動時の自己診断テスト」（POST : Power On Self Test）といいます。
 - ・起動時の自己診断テスト中は電源を切らないでください。
 - ・POST の画面は、液晶ディスプレイのみに表示されることがあります。また、HDMI 出力端子に接続したテレビやディスプレイには表示されません。
 - ・タブレットは、自己診断テスト中の異常終了の回数を数えており、3 回続いた場合は 4 回目の起動時に「前回の起動が正常に完了しませんでした。」というメッセージを表示します。

- ▶ arrows Tab RH77/B1、WQ2/B1 で、カバーキーボードまたはスリムキーボードを購入した場合は、取り付けて BIOS セットアップを操作できます。

■arrows Tab QH35/B1 で、BIOS セットアップを操作するうえでの注意

- カバー付きキーボードを取り外してください。
- タブレットを縦にして操作してください。
- タッチで操作し、スクリーンキーボードで入力してください。

■BIOS セットアップを起動する

BIOS セットアップは、完全に電源が切れた状態から操作を始めてください。

「タブレットの電源を完全に切るには」（→ P.77）

□arrows Tab RH77/B1 の場合

音量調節ボタン（+）を押しながら、タブレットの電源ボタンを押し続け、BIOS セットアップ画面が表示されたら両方のボタンから指を離します。

□arrows Tab QH35/B1 の場合

- 1 AC アダプタを接続し、音量調節ボタン（+）を押しながら、タブレットの電源ボタンを押します。
- 2 BIOS セットアップ画面が表示されたら、音量調節ボタン（+）から指を離します。

□arrows Tab WQ2/B1 の場合

音量調節ボタン（-）を押しながら、タブレットの電源ボタンを押し続け、BIOS セットアップ画面が表示されたら両方のボタンから指を離します。

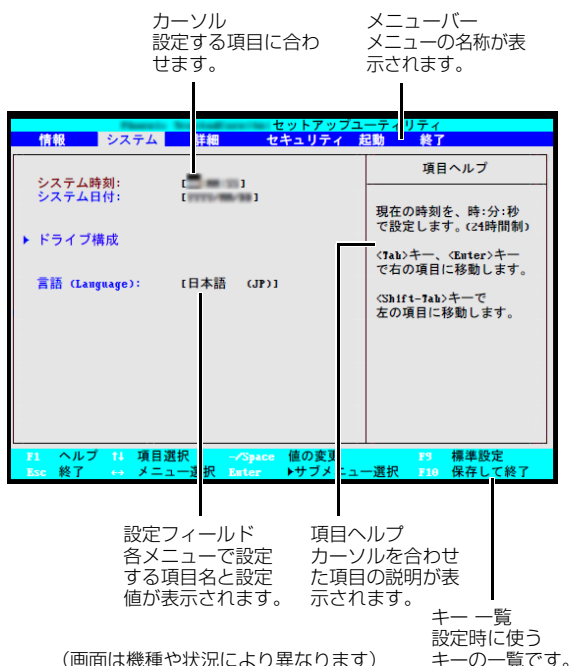
Point

- ▶ BIOS セットアップの画面ではなく Windows が起動してしまった場合は、起動が完了するのを待ってから、タブレットの電源を切り、もう一度やり直してください。

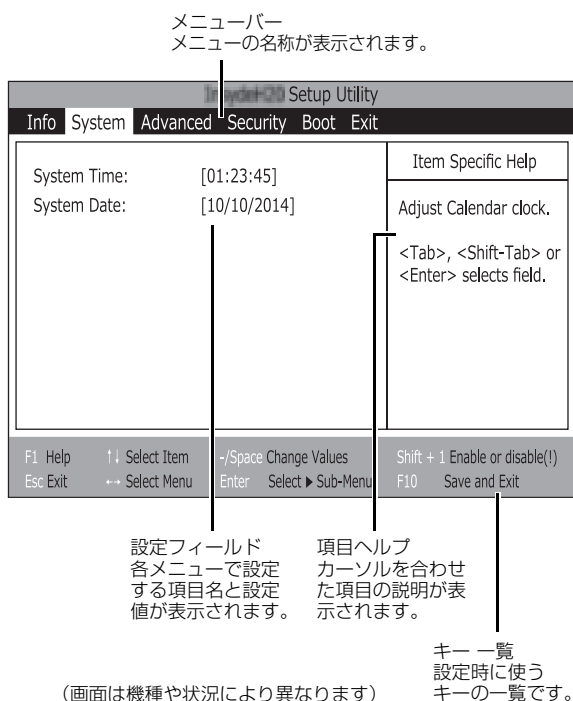
■BIOS セットアップ画面の各部の名称と役割

BIOS セットアップ画面の各部の名称と役割は、次のとおりです。

□arrows Tab RH77/B1、WQ2/B1 の場合



□arrows Tab QH35/B1 の場合



■設定を変更する

重要

▶ BIOS セットアップの設定を間違えると、タブレットが起動できなくなったり、正常に動作しなくなったりすることがあります。
このような場合には、変更した設定値を元に戻すか、ご購入時の設定に戻してタブレットを再起動してください。

- 1 メニューバーの設定したいメニューをタップします。
選択したメニュー画面が表示されます。
- 2 設定フィールドで、設定したい項目または設定値をタップで選択します。
項目名に「▶」が付いている項目にはサブメニューがあります。もう一度タップするとサブメニューが表示されます。
サブメニューから元の画面に戻るには、画面下のキー一覧の「Esc」をタップします。
- 3 選択したメニューの設定値をタップして変更します。
設定値はもう一度タップすると確定します。文字を入力する項目では、入力エリアをタップしてスクリーンキーボードが表示されたら、入力したい文字をタップしてください。
続けて他の設定項目を変更する場合は、手順 1 ～ 3 を繰り返してください。
- 4 設定を保存して終了します。

■変更内容を取り消す

設定した内容を取り消すには、保存してある変更前の設定値を読み込みます。

- 1 画面下のキー一覧の「Esc」をタップします。
「終了」(「Exit」)メニューが表示されます。サブメニューを表示しているときは、「終了」(「Exit」)メニューが表示されるまで、画面下のキー一覧の「Esc」を 2 ～ 3 回押してください。
- 2 「変更前の値を読み込む」(「Discard Changes」)をタップして選択し、もう一度タップします。
「変更前の値を読み込みますか？」(「Load previous configuration now?」)というメッセージが表示されます。
- 3 「はい」(「Yes」)をタップします。
BIOSセットアップのすべての設定項目に変更前の値が読み込まれ、すべての変更が取り消されます。



- ▶ 設定した内容を保存せずに BIOS セットアップを終了する

1. 「終了」(「Exit」)メニューの「変更を保存せずに終了する」(「Exit Discarding Changes」)をタップします。

設定値を変更していないときは、これで BIOS セットアップが終了します。

設定値を変更しているときは、「設定が変更されています！変更した内容を保存して終了しますか？」(「Setup Warning」)というメッセージが表示されます。

2. 「いいえ」(「No」)をタップします。

すべての変更が取り消されて、BIOS セットアップが終了します。

■BIOS セットアップを終了する

変更した設定を有効にするためには、設定内容を保存しておく必要があります。

次の操作を行って、設定内容を保存してから BIOS セットアップを終了してください。

1 画面下のキー一覧の「Esc」をタップします。

「終了」(「Exit」)メニューが表示されます。サブメニューを表示している場合は、「終了」(「Exit」)メニューが表示されるまで、画面下のキー一覧の「Esc」を2～3回押してください。

2 「変更を保存して終了する」(「Exit Saving

Changes」)をタップして選択し、もう一度タップします。

次のいずれかの確認メッセージが表示されます。

セットアップ確認
変更した内容を保存して終了しますか？
<input checked="" type="button" value="はい"/> いいえ

または

Setup Confirmation
Save configuration changes and exit now?
<input checked="" type="button" value="Yes"/> No

(画面は機種や状況により異なります)

3 「はい」(「Yes」)をタップします。

すべての設定値が保存された後、BIOS セットアップが終了し、このタブレットが再起動します。



- ▶ BIOS セットアップを終了せずに設定内容を保存する

次の操作をすると、いったん設定内容を保存した後、続けて他の項目を設定できます。

1. 「終了」(「Exit」)メニューの「変更を保存する」(「Save Changes」)をタップして選択し、もう一度タップします。

「変更した内容を保存しますか？」(「Save configuration changes now?」)というメッセージが表示されます。

2. 「はい」(「Yes」)をタップします。

■BIOS をご購入時の設定に戻す

ここでは、設定を変更した BIOS を、ご購入時の状態に戻す手順について説明しています。

1 BIOS セットアップを起動します。

2 画面下のキー一覧の「Esc」をタップします。

「終了」(「Exit」)メニューが表示されます。

3 「標準設定値を読み込む」(「Load Setup Defaults」)をタップして選択し、もう一度タップします。

確認のメッセージが表示されます。

4 「はい」(「Yes」)をタップします。

BIOS セットアップの設定項目に、標準設定値が読み込まれます。

5 「変更を保存して終了する」(「Exit Saving Changes」)をタップして選択し、もう一度タップします。

確認のメッセージが表示されます。

6 「はい」(「Yes」)をタップします。

読み込んだ標準設定値が保存された後、BIOS セットアップが終了し、このタブレットが再起動します。

BIOS のパスワード機能

このタブレットでは、不正使用を防止するために BIOS パスワードを設定することができます。パスワードを設定すると、正しいパスワードを知っている人以外はこのタブレットを使用できなくなります。BIOS のパスワードは Windows が起動する前の設定なので、Windows のパスワードよりもさらにセキュリティを高めたいときに有効です。

■BIOS のパスワードを設定するとできること

BIOS のパスワードを設定すると、次の場合にパスワードの入力を要求され、パスワードを知っている人のみこのタブレットを使用できるようになります。

- タブレットの電源を入れたとき
- タブレットを再起動したとき
- BIOS セットアップを始めるとき

■BIOS パスワード機能をお使いになるうえでの注意

このタブレットの BIOS パスワード機能を使うときは、次の点に注意してください。

- パスワード設定時に必ず行うこと
パスワードを忘れると、パスワード機能が解除できなくなり、修理が必要となります。
そのため、パスワードを設定したら、次のことを行ってください。
 - ・「パスワードを変更する」(→ P.196) および「パスワードを削除する」(→ P.197)を印刷しておく
 - ・設定したパスワードを忘れないよう、書き留めておくまた、これらは安全な場所に保管しておいてください。
パスワードを忘れてしまった場合は、「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」またはご購入元までご連絡ください。なお、保証期間にかかわらず修理は有償となります。

■パスワードの種類

このタブレットで設定できるパスワードは次の2つです。

- 管理者用パスワード (Supervisor Password)
このタブレットをご購入になった方などが使用するパスワードです。パスワード機能を使用するときは必ず設定してください。
- ユーザー用パスワード (User Password)
「管理者」以外でこのタブレットをお使いになる方(ご家族など)が使用するパスワードです。BIOS セットアップで変更可能な項目に制限があります。「管理者用パスワード」を設定した場合のみ設定できます。

■パスワードを設定する

管理者用パスワード／ユーザー用パスワードを設定する方法を説明します。

□管理者用パスワード／ユーザー用パスワードを設定する

- 1 BIOS セットアップを起動します。
- 2 「セキュリティ」(「Security」)メニューの「管理者用パスワード設定」(「Set Supervisor Password」)または「ユーザー用パスワード設定」(「Set User Password」)をタップして選択し、もう一度タップします。
パスワード入力用のウィンドウが表示されます。
- 3 入力エリアをタップし、スクリーンキーボードでパスワードを入力します。
入力エリアをタップするとスクリーンキーボードが表示されます。
 - ・入力できる文字種は次のとおりです。
 - 半角英数字 (英字の大文字と小文字は区別されます)
 - 半角スペース
 - 記号 (次の記号のみ使用できます)

使用できる記号	-	;	,	.	/
---------	---	---	---	---	---

次の記号を入力する場合は **[Shift]** を押しながら対応するキーを押してください。

使用できる記号	!	#	\$	%	<	>	?
対応するキー	1	3	4	5	,	.	/

- ・入力した文字は表示されず、代わりに「■」や「*」が表示されます。
- ・ユーザー用のパスワードの最低文字数は、「ユーザー用パスワード文字数」で設定することができます。

4 パスワードを入力したらスクリーンキーボードの **[Enter]** をタップします。

パスワードの再入力を求められます。

5 手順3で入力したパスワードをスクリーンキーボードで再度入力して、**[Enter]** をタップします。

「セットアップ通知」(「Setup Notice」)と書かれたウィンドウが表示されるか、「変更が保存されました。」(「Changes have been saved.」)というメッセージが表示されます。

6 「継続」または「Continue」をタップして、設定を終了します。

再入力したパスワードが間違っていた場合は、「セットアップ警告」(「Setup Warning」)と書かれたウィンドウか、「パスワードが一致しません。もう一度パスワードを入力して下さい。」

(「Passwords do not match. Re-enter password.」)というメッセージが表示されます。「継続」または「Continue」をタップして、手順3からやり直してください。

パスワードの設定を中止するときは、画面下のキー一覧の「Esc」をタップしてください。

7 「セキュリティ」(「Security」)メニューの「起動時のパスワード」(「Password on Boot」)を「使用しない」(「Disabled」)以外に設定します。

タブレットを起動したときに、BIOS のパスワードを求めるウィンドウが表示される設定になります。

■パスワード機能を使う

パスワードを設定すると、設定状態によって次の場合にパスワードの入力が必要になります。

●タブレットの電源を入れたとき

●タブレットを再起動したとき

●BIOS セットアップを始めるとき

パスワードの入力を求めるウィンドウが表示されたら、スクリーンキーボードでパスワードを入力し、**[Enter]** をタップしてください。

●設定したパスワードと違うパスワードを入力すると、「パスワードが正しくありません。」(「Invalid Password」)というメッセージが表示されます。その場合は、スクリーンキーボードの **[Enter]** をタップし、正しいパスワードを入力してください。

●誤ったパスワードを3回入力すると、「システムは使用できません。」(「System Disabled」)というメッセージが表示されます。その場合は、電源ボタンを10秒以上押してタブレットの電源を切ってから10秒ほど待って、もう一度電源を入れます。

●arrows Tab RH77/B1、WQ2/B1 では、BIOS セットアップの「セキュリティ」(「Security」)メニューの「自動ウェイクアップ時」(「On Automatic Wake up」)で、タブレットを指定時刻に起動させたり LAN を使って起動させたりする場合に、BIOS のパスワード入力を要求するかどうかを設定することができます。

■パスワードを変更する／削除する

□パスワードを変更する

設定したパスワードを変更するときは、次の操作を行ってください。

1 BIOS セットアップを起動します。

2 「セキュリティ」(「Security」)メニューで変更したいパスワード設定をタップして選択し、もう一度タップします。

・管理者用パスワード設定 (Set Supervisor Password)

・ユーザー用パスワード設定 (Set User Password)

パスワード入力用のウィンドウが表示されます。

3 設定してあるパスワードをスクリーンキーボードで入力し、**[Enter]** をタップします。

新しいパスワードの入力を求められます。

4 新しく設定したいパスワードをスクリーンキーボードで入力し、**[Enter]** をタップします。

新しいパスワードの再入力を求められます。

重要

▶ パスワード設定時に必ず行うこと

パスワードを忘れると、パスワード機能が解除できなくなり、修理が必要となります。

そのため、パスワードを設定したら、次のことを行ってください。

・解除する手順が書かれたこのページを印刷しておく

・設定したパスワードを忘れないよう、何かに書き留めておく

また、これらは安全な場所に保管しておいてください。

パスワードを忘れてしまった場合は、「富士通 パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」またはご購入元までご連絡ください。なお、保証期間にかかわらず修理は有償となります。

5 手順4で入力したパスワードをスクリーンキーボードで再度入力し、**[Enter]** をタップします。

「変更が保存されました。」(「Change has been saved」) というメッセージが表示されます。

6 「継続」または「Continue」をタップして、設定を終了します。

再入力したパスワードが間違っていた場合は、「セットアップ警告」(「Setup Warning」) と書かれたウィンドウか、「パスワードが一致しません。もう一度パスワードを入力して下さい。」

(「Passwords do not match. Re-enter password.」) というメッセージが表示されます。「継続」または「Continue」をタップして、手順4からやり直してください。

パスワードの設定を中止するときは、画面下のキー一覧の「Esc」をタップしてください。

Point

- ▶ 誤ったパスワードを3回入力すると、「システムは使用できません。」(「System Disabled」) というメッセージが表示されます。その場合は、電源ボタンを10秒以上押し続けてタブレットの電源を切ってから10秒ほど待って、もう一度電源を入れます。その後、正しいパスワードを入力してください。

□パスワードを削除する

設定したパスワードを削除するときは、「パスワードを変更する」(→ P.196) の手順を最初から行い、手順4～5で何も入力せずに、スクリーンボードの**[Enter]** をタップしてください。

Point

- ▶ arrows Tab RH77/B1、WQ2/B1 では、管理者以外の方がユーザー用パスワードを削除できるのは、「セキュリティ」(「Security」) メニューの「ユーザー用パスワード文字数」(「Minimum User Password Length」) が0に設定されているときだけです。0以外に設定されている場合は、パスワード文字数不足のメッセージが表示されます。ユーザー用パスワード文字数の設定については、「セキュリティ」(「Security」) メニューで「ユーザー用パスワード文字数」(「Minimum User Password Length」) の項目ヘルプをご覧ください。

BIOS が表示するメッセージ一覧

タブレットを起動した直後に、画面上にメッセージが表示される場合があります。これらのメッセージは「BIOS セットアップ」という、タブレットの環境を設定するためのプログラムが表示しています。

■メッセージが表示されたときは

タブレット本体や周辺機器に問題があると、タブレットを起動したときにエラーメッセージが表示されます。エラーメッセージが表示された場合は、次の手順に従って処置をしてください。

1 BIOS セットアップの設定値を確認します。

BIOS セットアップに関するエラーメッセージが表示された場合は、BIOS セットアップを起動して各項目の値が正しいか確認してください。

また、BIOS セットアップの設定値をご購入時の設定に戻して再起動してください。

それでもメッセージが表示される場合は、手順2に進んでください。

2 周辺機器を取り外します。

別売の周辺機器の拡張カードやメモリなどを取り付けている場合には、タブレットの電源を切ってからそれらの周辺機器を取り外し、再びタブレットを起動して動作を確認してください。

それでも同じメッセージが表示される場合には、「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」またはご購入元にご連絡ください。

「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」のご利用については、「お問い合わせ窓口のご紹介」(→ P.67) をご覧ください。

3 取り外した周辺機器を、1 つずつ取り付けます。

取り外した周辺機器を1つずつ取り付け、タブレットを再起動して動作を確認してください。

このとき、各周辺機器のマニュアルや、ユーティリティソフトがある場合にはそれらのマニュアルも、あわせてご覧ください。

上記のように処置してもまだ同じメッセージが表示される場合や、次の「メッセージ一覧」に当てはまるメッセージがない場合は、タブレット本体が故障している可能性があります。「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」またはご購入元にご連絡ください。

■メッセージ一覧

このタブレットが表示するメッセージの一覧は、次のとおりです。メッセージ中の「n」には数字が表示されます。また、メッセージは機種により異なります。

□arrows Tab RH77/B1、WQ2/B1 の場合

- < F1/Windows button ^[注] >キーを押すと継続、< F2/Volume-Down >キーを押すと BIOS セットアップを起動します。

Press <F1/Windows Button ^[注] > to Continue or <F2/Volume-Down> to Enter Setup

注：arrows Tab WQ2/B1 の場合は「Volume-Up」になります。

起動時の自己診断テストでエラーが発生したとき、OS を起動する前にこのメッセージが表示されます。Windows ボタン (arrows Tab WQ2/B1 の場合は音量調節ボタン (+)) を押すと発生しているエラーを無視して OS の起動を開始し、音量調節ボタン (-) を押すと BIOS セットアップを起動して設定を変更することができます。

- リアルタイムクロックのエラーです。日付と時刻の設定を確認してください。

(Real Time Clock Error - Check Date and Time settings)

日付と時刻の設定値が正しくありません。

設定値を確認し、正しい値を設定し直してください。

- Failure Fixed Disk n

- System timer error

システムタイマーのテストで、エラーが発生したことを示しています。

- Real time clock error

リアルタイムクロックのテストで、エラーが発生したことを示しています。

- Check date and time settings

日付と時刻の設定値が正しくありません。

設定値を確認し、正しい値を設定し直してください。

- System CMOS checksum bad - Default configuration used

CMOS RAM のテストでエラーが発見されたため、標準設定値が設定されたことを示しています。

音量調節ボタン (-) を押して BIOS セットアップを起動し、設定を保存して再起動してください。再起動してもこのメッセージが表示される場合は、バックアップ用バッテリーが消耗して、CMOS RAM に設定内容が保存されていないことが考えられます。

- NVRAM データが正しくありません。(Invalid NVRAM Data)

NVRAM データのテストでエラーが発見されたことを示しています。

- Extended Memory Failed at address line: nn

メモリのテスト中にエラーが発見されたことを示しています。

- Thermal Sensor Error has occurred

温度制御系の設定が正しく行えなかったことを示しています。

- 起動可能なデバイスが見つかりませんでした。

(Bootable Device was not found)

起動可能なデバイスが見つからなかった場合に 표시됩니다。Windows ボタン (arrows Tab WQ2/B1 の場合は音量調節ボタン (+)) を押すと起動メニュー (Boot Menu) が起動しますので、起動可能なデバイスが表示されているかどうかを確認してください。

□arrows Tab QH35/B1 の場合

- Boot Failure

起動メニューで選択された起動デバイスから、起動できなかった場合に 표시됩니다。

起動デバイスが正しく接続されているか確認してください。

セキュアブートに対応していない OS から起動する場合は、BIOS セットアップの「Security」メニューの「Secure Boot Configurations」－「Secure Boot Option」を「Disabled」に変更してください。

- Bootable device was not found.

起動可能なデバイスが見つからなかった場合に 표시됩니다。「Continue」をタップすると起動メニュー (Boot Menu) が起動しますので、起動可能なデバイスが表示されているかどうかを確認してください。

●**Invalid NVRAM Data NVRAM**

NVRAMデータのテストでエラーが発見されたことを示しています。

●**Real Time Clock Error - Check Date and Time settings**

リアルタイムクロックのテストで、エラーが発生したことを示しています。

●**Secure boot is failed **ACCESS DENIED****

セキュアブートに対応していないOS から起動しようとしたときに表示されます。

セキュアブートに対応していないOS から起動する場合は、BIOS セットアップの「Security」メニューの「Secure Boot Configurations」 – 「Secure Boot Option」を「Disabled」に変更してください。

■商標および著作権について

Intel、インテル、Intel Atom、Intel Core は、アメリカ合衆国および / またはその他の国における Intel Corporation の商標です。
Corel、Corel バルーンロゴ、PaintShop、Roxio、Roxio のロゴ、Roxio Creator、WinDVD は、カナダ、アメリカ合衆国および / またはその他の国の Corel Corporation および / またはその関連会社の商標または登録商標です。
McAfee、マカフィーは、米国法人 McAfee, Inc. またはその関係会社の米国またはその他の国における登録商標または商標です。
デジタルアーツ / DIGITAL ARTS、ZBRAIN、アイフィルター / i-フィルターはデジタルアーツ株式会社の登録商標です。
デジブックは株式会社ルクレの登録商標です。

SDXC ロゴは、SD-3C, LLC. の商標です。 

ExpressCard™、ExpressCard™ ロゴは、Personal Computer Memory Card International Association (PCMCIA) の商標で、富士通へライセンスされています。

MaxxAudio は、Waves Audio Ltd. の米国およびその他の国における登録商標です。

HDMI、High-Definition Multimedia Interface、および HDMI ロゴは、米国およびその他の国における HDMI Licensing, LLC の商標または、登録商標です。 

Bluetooth® のワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、富士通株式会社はこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。

Google、Google ロゴ、Android は、Google Inc. の商標または登録商標です。

その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。

その他の各製品は、各社の著作物です。

その他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。

Copyright FUJITSU LIMITED 2017

arrows Tab

取扱説明書<スタートガイド><活用ガイド>

B5FK-8111-02 Z0-02

発行日 2017年2月
発行責任 富士通株式会社

〒105-7123 東京都港区東新橋 1-5-2 汐留シティセンター

- このマニュアルの内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
- このマニュアルに記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
- 無断転載を禁じます。

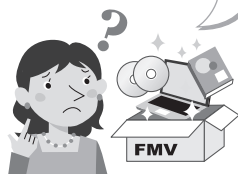
パソコン操作に困ったら、**お電話**ください。
プロがご自宅にお伺いし、解決します！

富士通パソコン出張サービス (有料)

PC家庭教師



セットアップって
むずかしそう…
やってくれないかな。



パソコン基本設定
・有線インターネット接続パック

めんどろなパソコンのセット
アップは、お任せください！

17,800円(税込)～

ネットにつながらない！
もしかして**ウイルス感染**？
うちに見に来てほしい



かけつけ診断

原因がわからないトラブルも
プロが解決に導きます！

11,000円(税込)～※

デジカメの写真、
プリントだけでなく
もっと活用したい！



ITチャレンジ

お客様の「したい」ことを
丁寧にご説明します！

14,300円(税込)～

(注) メニュー名、料金は、予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。

※診断の結果、トラブル解決に必要な作業が発生した場合、別途費用がかかります。

通話料
無料

みんな つなぐよ
0120-37-2794

■ 受付時間：10時～19時（年末年始、当社指定の休日を除く）

■ 訪問時間：10時～20時（有料サービス）

※携帯電話、PHSからも通話可能です。システムメンテナンスのため、休止させていただく場合がございます。

「PC家庭教師」は富士通が提供する有料の出張サービスです。電話での技術相談をご希望の場合は、「富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口」へお問い合わせください。

PC家庭教師について、メニューの内容や価格など詳細を知りたい方は
ホームページをご覧ください。

富士通 家庭教師

検索

